

令和5年度  
東広島市市民満足度調査  
報告書

令和6年1月  
東広島市



## 目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
4. 標本誤差	1
5. 報告書の見方	2
II 基本的な属性	3
III 調査の分析	5
1. 現在の住環境について	5
2. 市政運営について	27
3. 市が実施している施策の満足度と重要度について	30
4. 男女共同参画について	41
5. 「多文化共生のまちづくり」について	52
6. 地域コミュニティ活動の参加状況について	66
7. 住民自治協議会について	85
8. 消費生活について	87
9. 生涯学習について	95
10. 運動・スポーツについて	103
11. 防災について	114

・ 令和5年度 東広島市市民満足度調査 調査票

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「第五次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用することを目的として実施した。

## 2. 調査の設計

(1) 調査地域	東広島市全域
(2) 調査対象	東広島市内に居住している18歳以上の男女個人
(3) 標本数	2,500人
(4) 抽出方法	層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出)
(5) 調査方法	郵送配布・郵送回収およびインターネット回答によるアンケート調査
(6) 調査期間	令和5年7月6日(木)～令和5年8月22日(火)

## 3. 回収状況

(1) 配布数	2,500件
(2) 有効回収数	1,056件
(3) 有効回収率	42.2% (※前回調査：45.7%)

## 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(東広島市の18歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(回答サンプル数)及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は、±3.08%以内となる。

<算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数(東広島市の18歳以上の男女)
n = 比率算出の基数(回答サンプル数)
p = 回答の比率(0 ≤ p ≤ 1)

<早見表>

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.36	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00
200	±3.08	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07
500	±1.95	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
1,000	±1.38	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
1,056	±1.34	±1.85	±2.46	±2.82	±3.02	±3.08
5,000	±0.62	±0.85	±1.13	±1.30	±1.39	±1.41
10,000	±0.44	±0.60	±0.80	±0.92	±0.98	±1.00

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

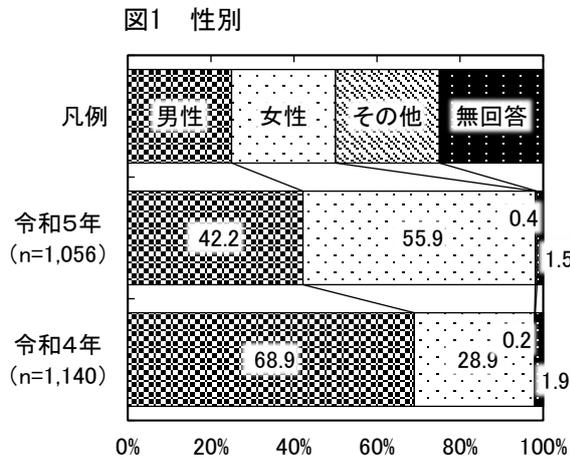
## 5. 報告書の見方

- (1) 図表中に示す n は、回答数総数のことである。
- (2) 割合は n を 100.0% として算出し、図表中の構成比(%)は、小数点第 2 位以下を四捨五入したため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0% を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いため、原則としてクロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象としている。  
 ※居住地別の「志和地区」、「福富地区」、「豊栄地区」、「河内地区」、「安芸津地区」は 50 サンプル未満であるが、コメントの対象としている。  
 ※限定質問で全体のサンプル数が少ない場合は、コメントの対象としている。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、全体及び属性間の集計結果と比較し、特徴または傾向がみられるものを記している。
- (6) 経年変化分析については、令和 4 年度調査結果(前回調査結果)を起点として変化分析を示し、参考値としてそれ以前の年度の調査結果をあわせて掲載している。
- (7) 表・グラフの属性別データは、無回答を除いて掲載しているため、回答数総数と属性の内訳の合計は一致しない。

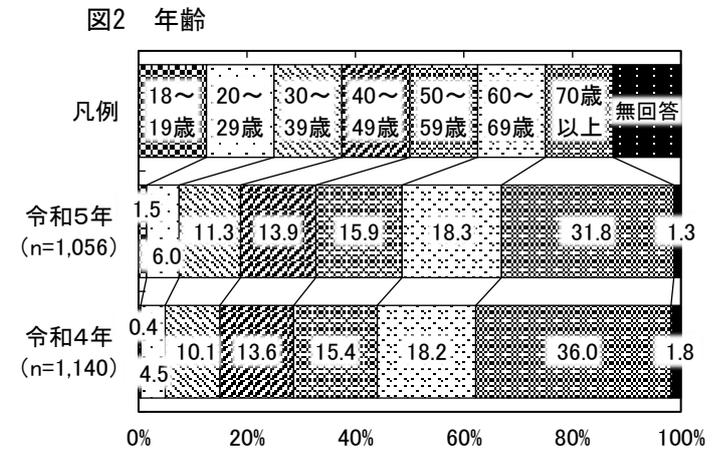
## II 基本的な属性

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

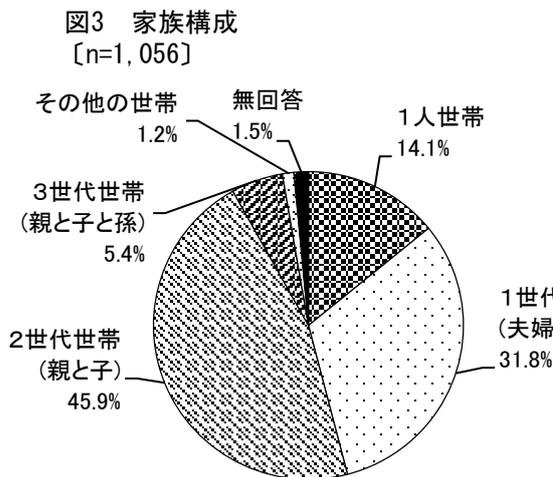
### (1) 性別



### (2) 年齢

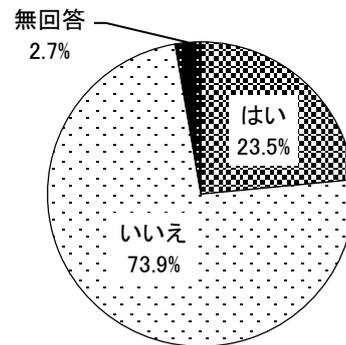


### (3) 家族構成



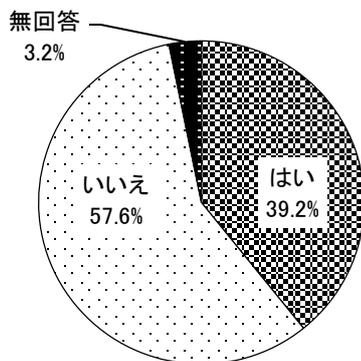
### (4) 18歳未満の子どもの同居の有無

図4 18歳未満の子どもの同居の有無 [n=1,056]



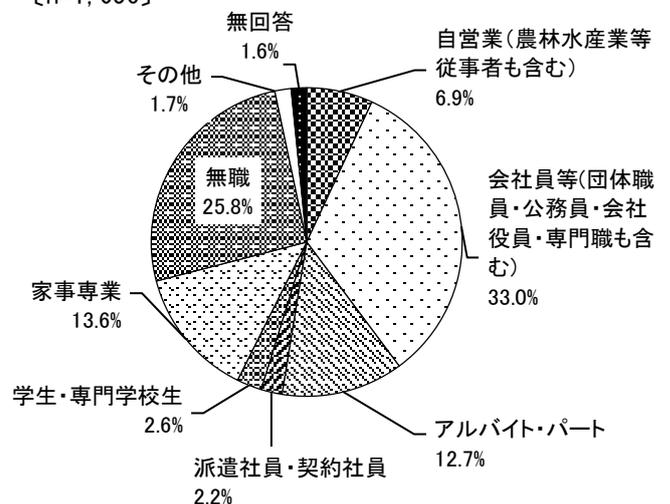
### (5) 65歳以上の方の同居の有無

図5 65歳以上の方の同居の有無 [n=1,056]



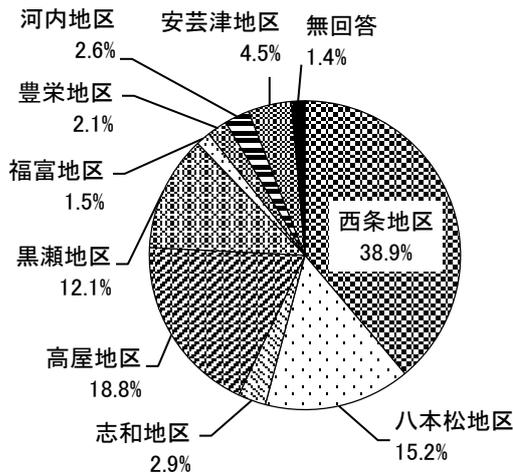
### (6) 職業

図6 職業 [n=1,056]



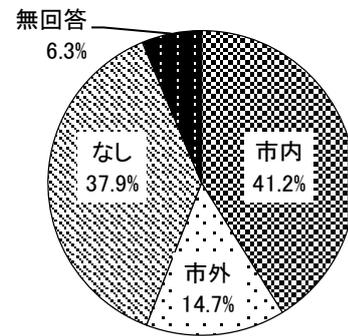
(7) 居住地区

図7 居住地区  
[n=1,056]



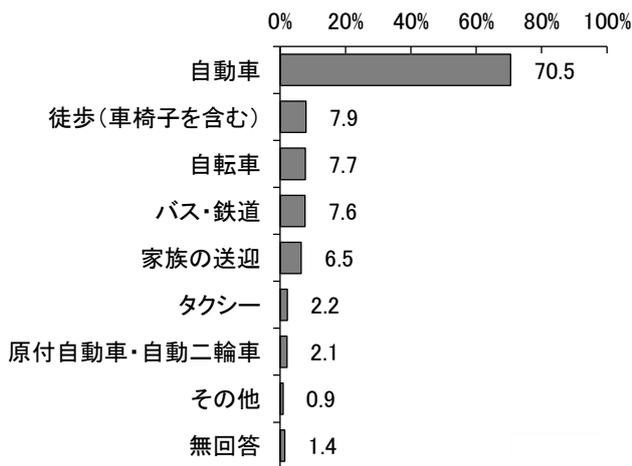
(8) 通勤、通学先

図8 通勤・通学先  
[n=1,056]



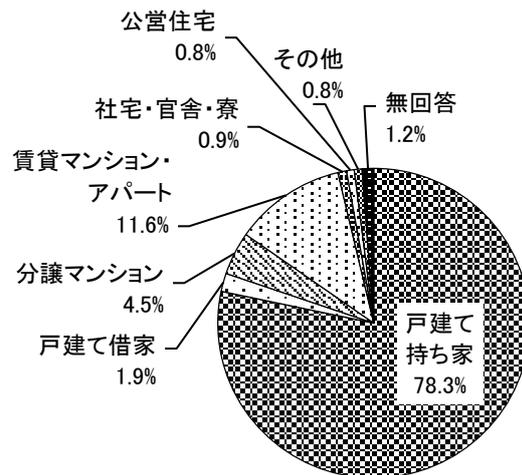
(9) 主な移動手段

図9 主な移動手段<複数回答>  
[n=1,056]



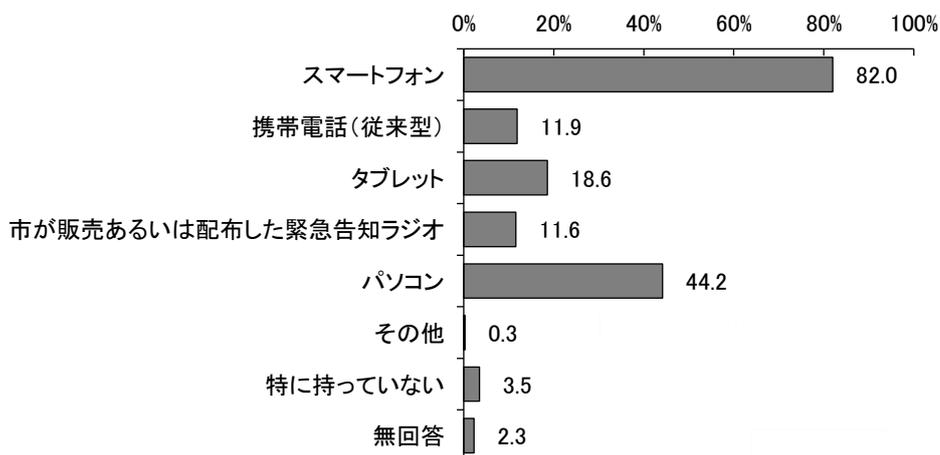
(10) 居住形態

図10 居住形態  
[n=1,056]



(11) お持ちの端末

図11 お持ちの端末<複数回答>  
[n=1,056]



### Ⅲ 調査の分析

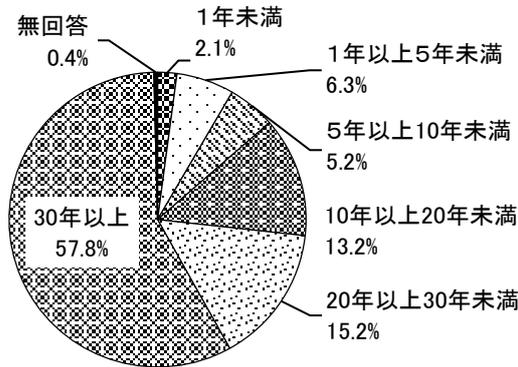
#### 1. 現在の住環境について

##### (1) 居住年数

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

居住年数については、「30年以上」が57.8%と最も高く、次いで、「20年以上30年未満」が15.2%、「10年以上20年未満」が13.2%、「1年以上5年未満」が6.3%、「5年以上10年未満」が5.2%、「1年未満」が2.1%となっている。10年以上は86.2%を占めている。

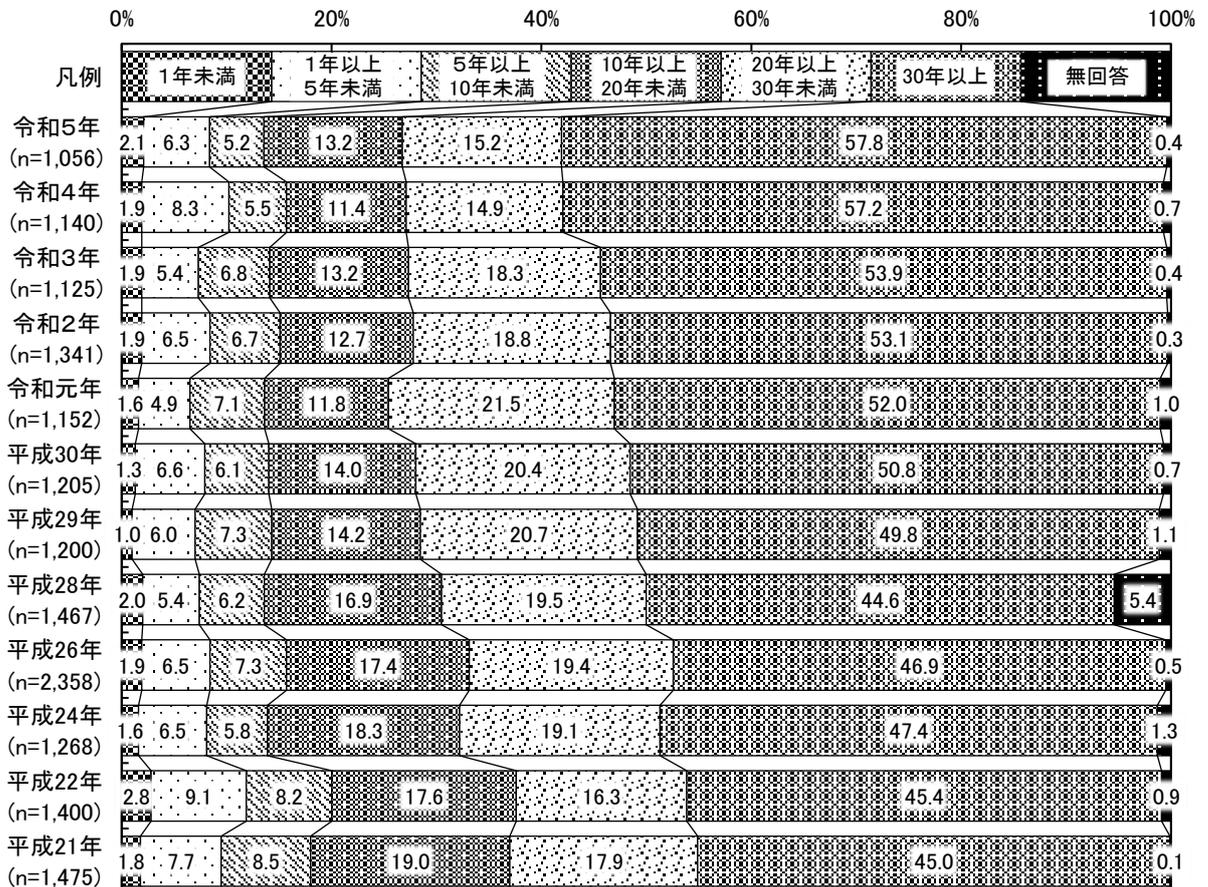
図1-1 居住年数 [n=1,056]



#### 【経年変化】

令和4年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図1-2 居住年数／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「30年以上」は『男性』が『女性』より5.9ポイント高い。

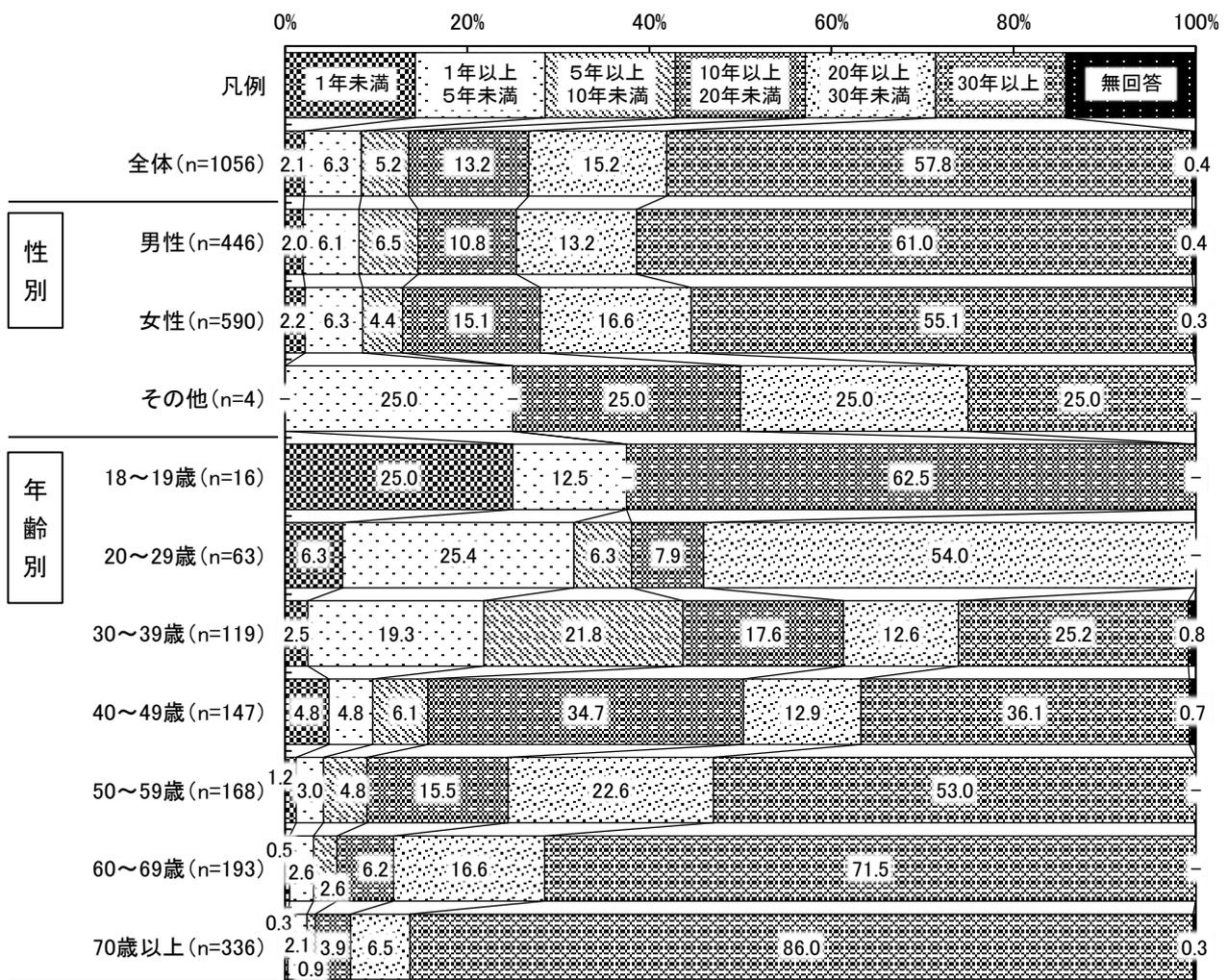
年齢別では、「1年以上5年未満」は『20～29歳』が25.4%と19.1ポイント、『30～39歳』が19.3%と13.0ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

「5年以上10年未満」は『30～39歳』が21.8%と16.6ポイント全体より高く、各年齢層の中で最も高い。「10年以上20年未満」は『40～49歳』が34.7%と21.5ポイント全体より高い。「20年以上30年未満」は『20～29歳』が54.0%と38.8ポイント、『50～59歳』が22.6%と7.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「30年以上」は『70歳以上』が86.0%と28.2ポイント全体より高く、各年齢層の中で最も高い。「30年以上」は年齢が上がるほど高くなっている。

※性別の『その他』および年齢別の『18～19歳』はサンプル数が少ないため、コメントしない。以下同様。

図1-3 居住年数／性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

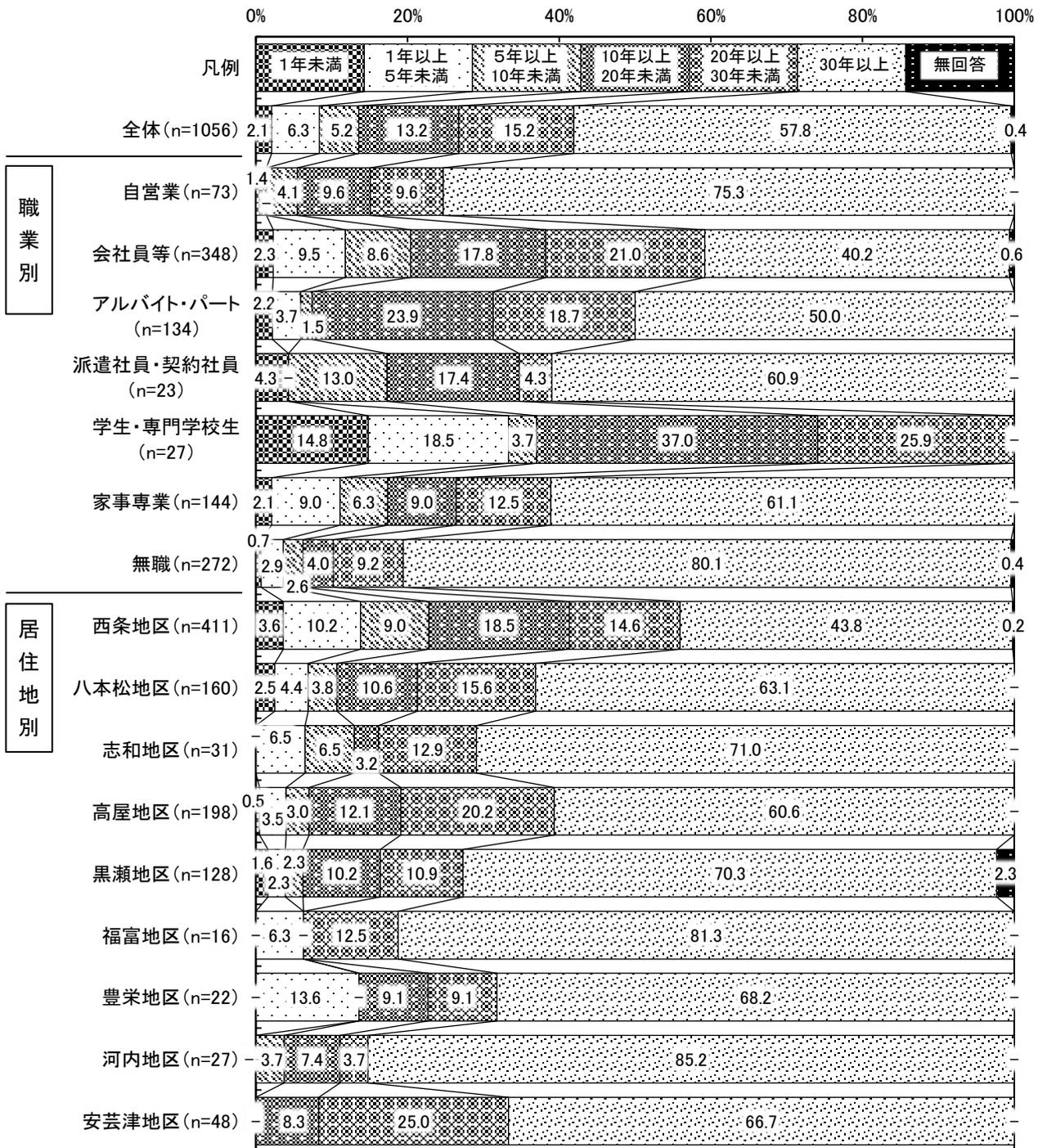
職業別では、「30年以上」は『自営業』が75.3%と17.5ポイント、『無職』が80.1%と22.3ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「1年以上5年未満」は『豊栄地区』が13.6%と7.3ポイント、「10年以上20年未満」は『西条地区』が18.5%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「30年以上」は『河内地区』が85.2%、『福富地区』が81.3%と、これらの地区では全体より20ポイント以上高くなっている。

※『派遣社員・契約社員』『学生・専門学校生』はサンプル数が少ないため、原則コメントしない。以下同様。

図1-4 居住年数／職業別・居住地別



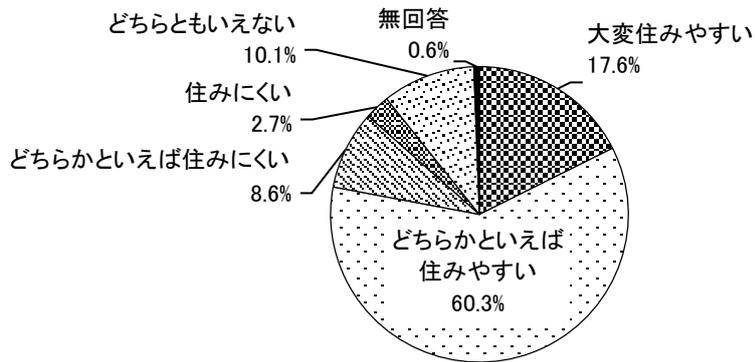
(2) 住み心地

問2 あなたは、東広島市の「住み心地」についてどう感じていますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

住み心地については、「大変住みやすい」が17.6%、「どちらかといえば住みやすい」が60.3%で、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は、77.9%と8割弱を占める。

「どちらかといえば住みにくい」は8.6%、「住みにくい」は2.7%で、“住みにくい”（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は、11.3%となっている。

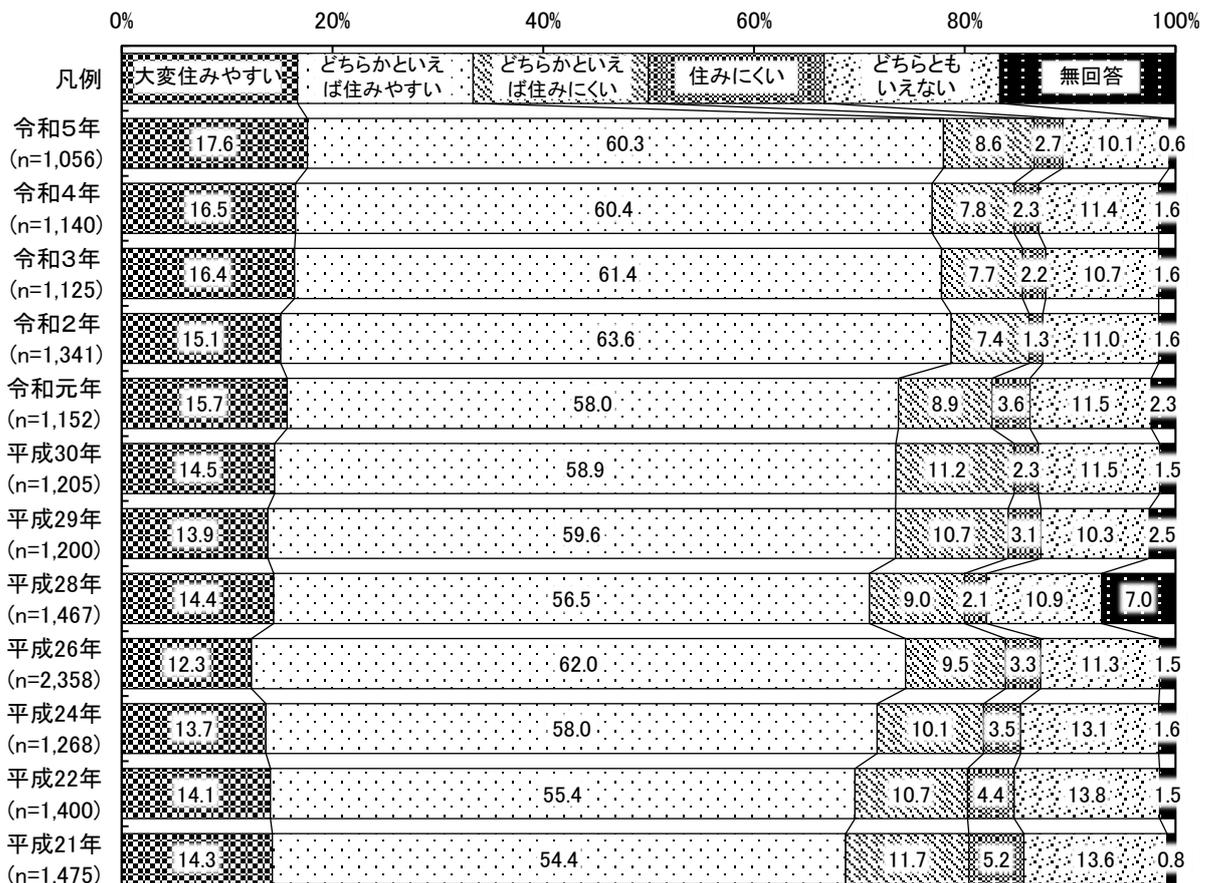
図2-1 住み心地 [n=1,056]



【経年変化】

令和4年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図2-2 住み心地／経年変化

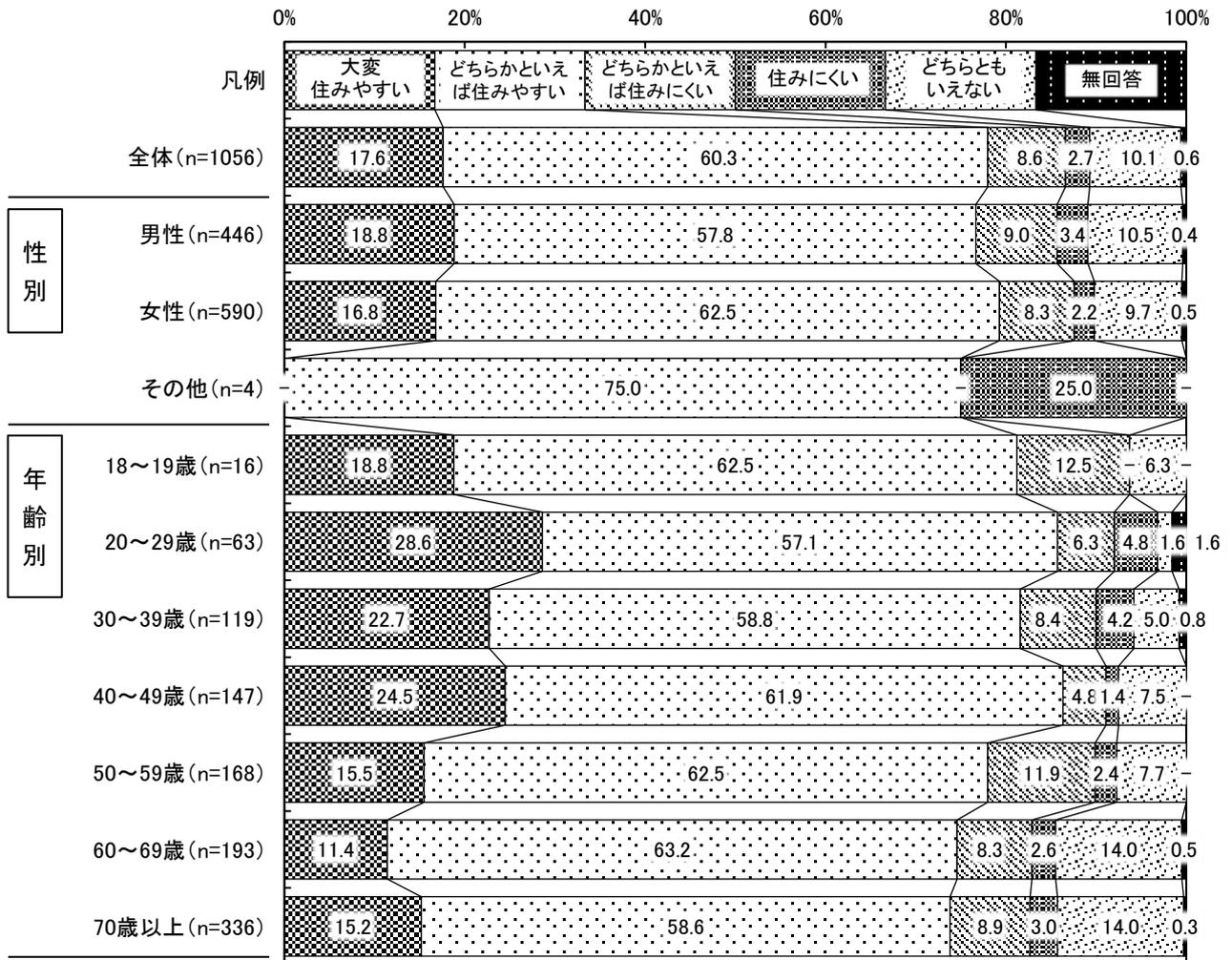


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「大変住みやすい」は『20～29歳』が28.6%と11.0ポイント、『40～49歳』が24.5%と6.9ポイント、『30～39歳』が22.7%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）についても50歳未満の各年齢層で8割以上と高くなっている。

図2-3 住み心地／性別・年齢別



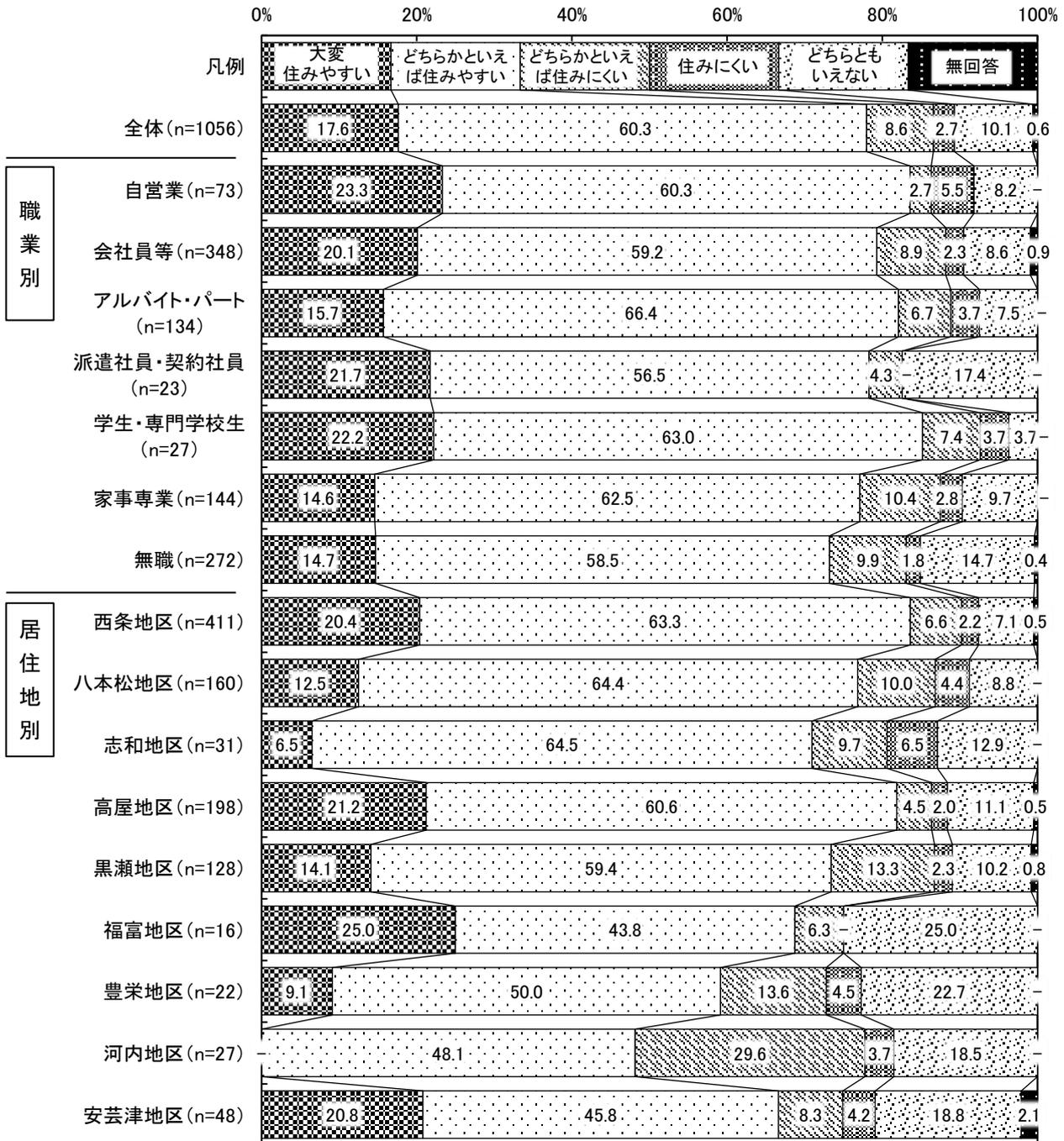
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「大変住みやすい」は『自営業』が23.3%と5.7ポイント全体より高い。

居住地別では、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は『西条地区』が83.7%と5.8ポイント全体より高い。

“住みにくい”（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は『河内地区』が33.3%と22.0ポイント、『豊栄地区』が18.1%と6.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図2-4 住み心地／職業別・居住地別



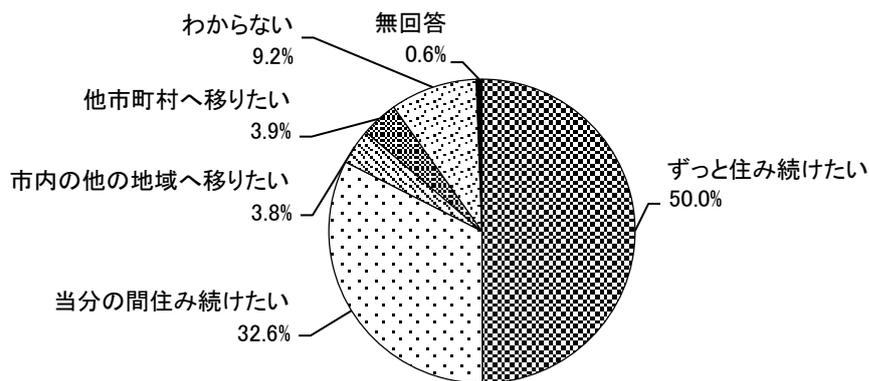
(3) 居住意向

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

居住意向については、「ずっと住み続けたい」が50.0%と最も高く、次いで、「当分の間住み続けたい」が32.6%で、“住み続けたい”(「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計)は、82.6%と8割以上を占める。

「他市町村へ移りたい」は3.9%、「市内の他の地域へ移りたい」は3.8%であった。

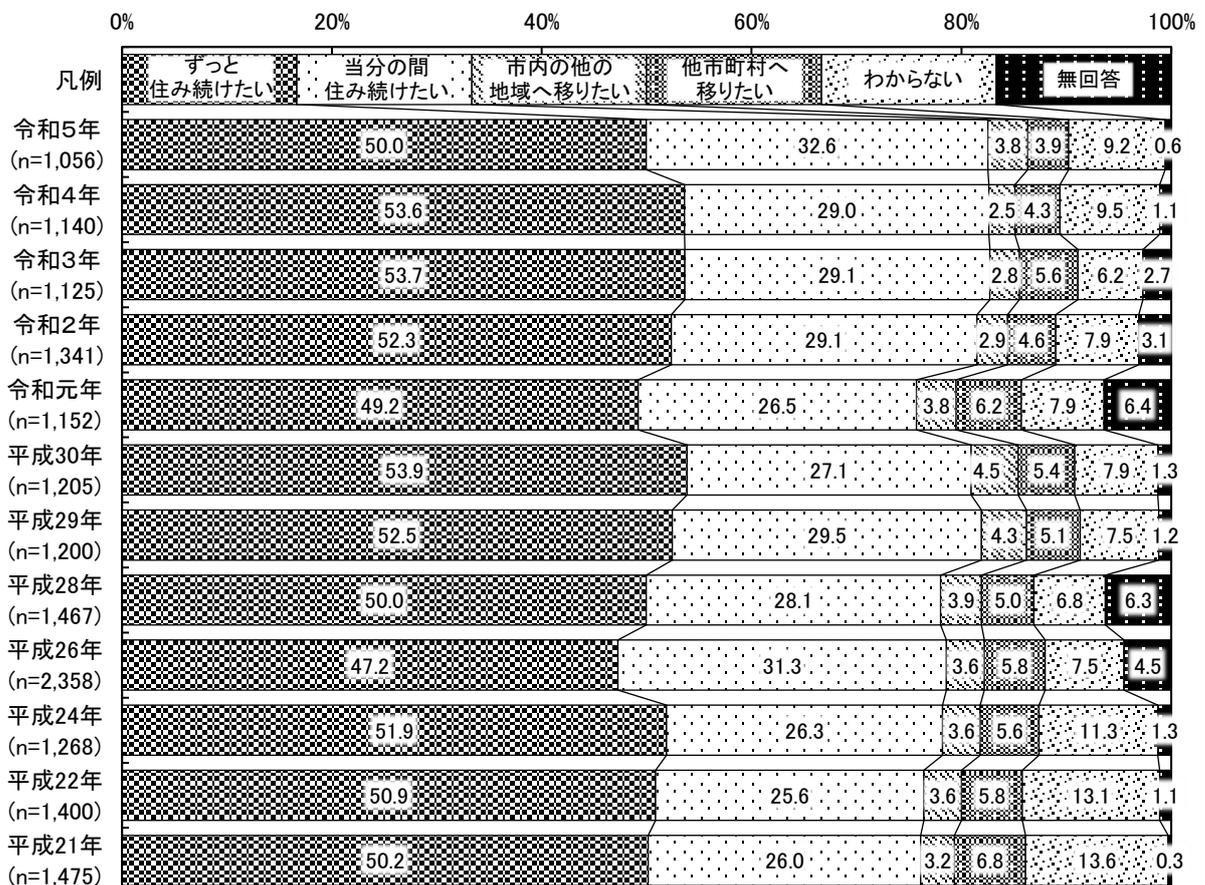
図3-1 居住意向 [n=1,056]



【経年変化】

令和4年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図3-2 居住意向／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

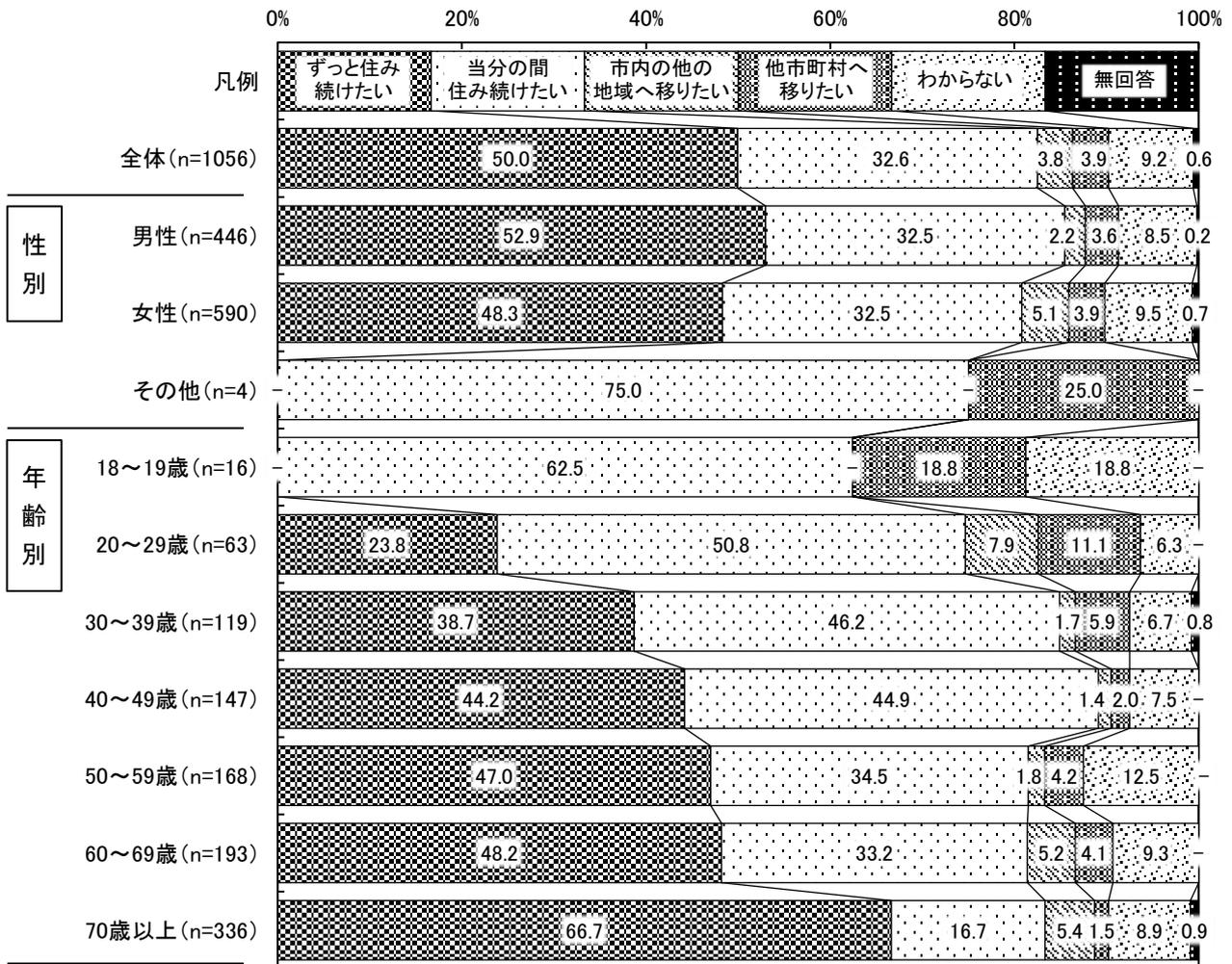
性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「ずっと住み続けたい」は『70歳以上』が66.7%と各年齢層の中で最も高く、年齢が上がるほど高くなっている。「当分の間住み続けたい」は『20～29歳』が50.8%と18.2ポイント、「30～39歳」が46.2%と13.6ポイント、「40～49歳」が44.9%と12.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「他市町村へ移りたい」は『20～29歳』が11.1%と7.2ポイント全体より高い。

“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）の値については『40～49歳』が89.1%と全体より6.5ポイント高くなっている。

図3-3 居留意向／性別・年齢別

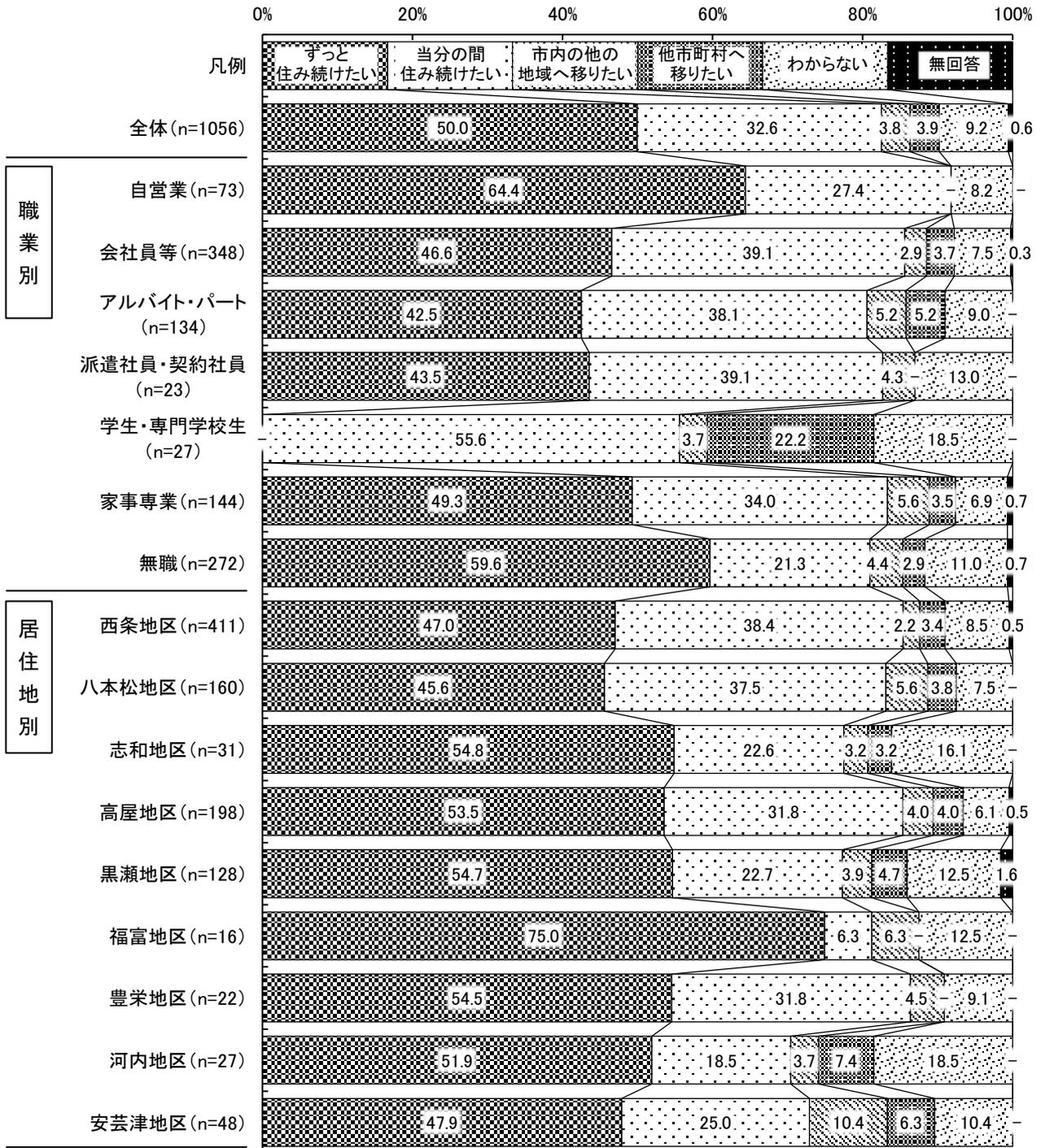


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ずっと住みたい」は『自営業』が64.4%と14.4ポイント、『無職』が59.6%と9.6ポイント、それぞれ全体より高い。“住みたい”についても『自営業』が91.8%と9.2ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「ずっと住みたい」は『福富地区』が75.0%と25.0ポイント全体より高く、「当分の間住みたい」は『西条地区』が38.4%と5.8ポイント全体より高い。「市内の他の地域へ移りたい」は、『安芸津地区』が10.4%と6.6ポイント全体より高くなっている。

図3-4 居住意向／職業別・居住地別

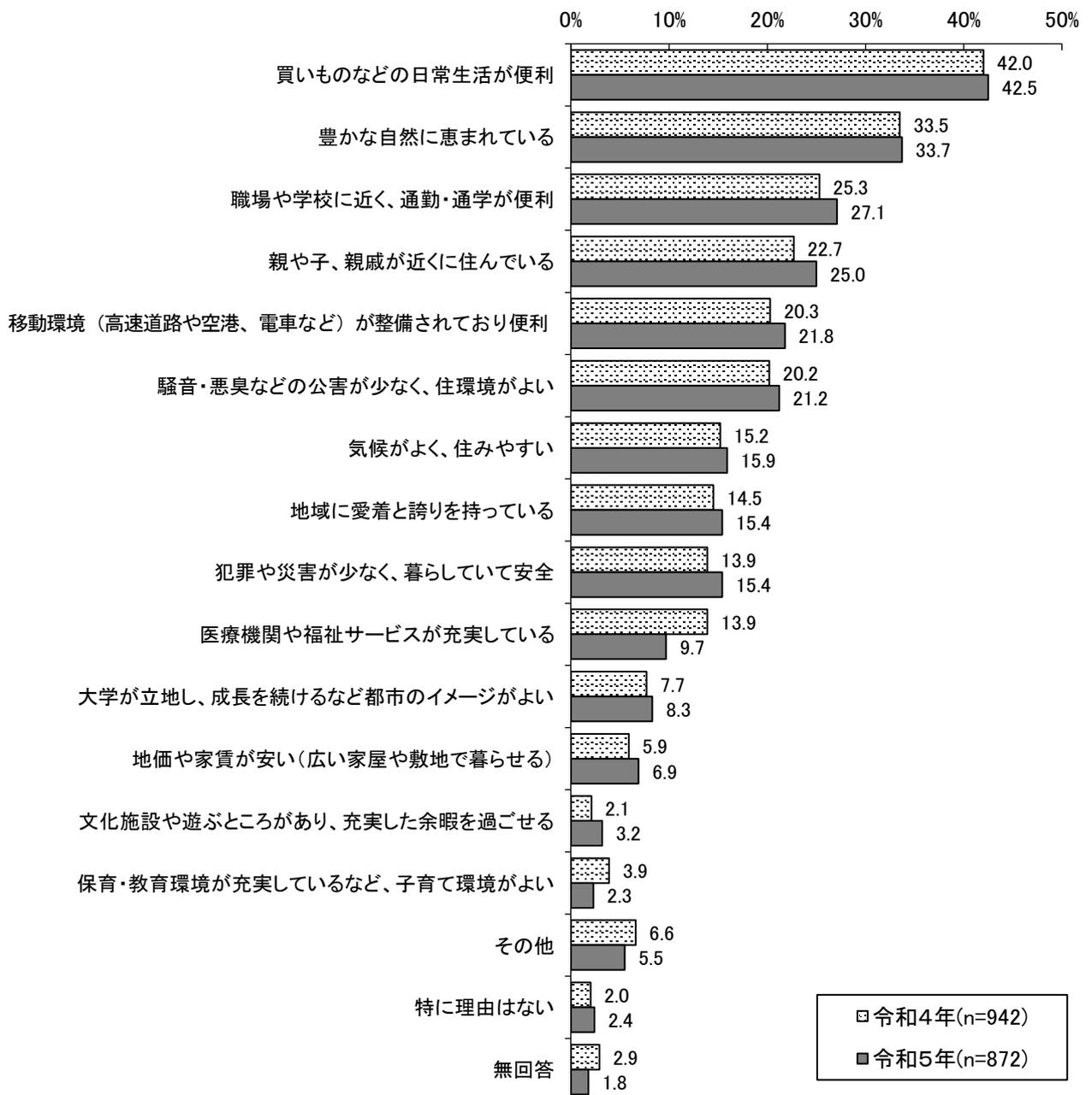


(4) 住み続けたい理由

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。  
 問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」の回答者(該当件数872件)に住み続けたい主な理由についてたずねると、「買い物などの日常生活が便利」が42.5%と最も高く、次いで、「豊かな自然に恵まれている」が33.7%、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が27.1%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が25.0%、「移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利」が21.8%、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」が21.2%となっている。

図3-5 住み続けたい理由<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は8.8ポイント、「地域に愛着と誇りを持っている」は5.2ポイント、「大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい」は5.8ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『40～49歳』が56.5%と14.0ポイント、『30～39歳』が49.5%と7.0ポイント、『50～59歳』が48.2%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『70歳以上』が41.8%と8.1ポイント、『20～29歳』が40.4%と6.7ポイント、それぞれ全体より高く、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は60歳未満の各年齢層で全体より10ポイント以上高い。

「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『70歳以上』が33.9%と12.7ポイント全体より高く、「気候がよく、住みやすい」、「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」についても『70歳以上』でそれぞれ5ポイント以上全体より高くなっている。

「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」は『20～29歳』が19.1%と12.2ポイント、『30～39歳』が13.9%と7.0ポイント、それぞれ全体より高く、「保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい」は『30～39歳』が10.9%と全体より8.6ポイント高くなっている。

表3-1 住み続けたい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		買い物などの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	気候がよく、住みやすい	地域に愛着と誇りを持っている	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	医療機関や福祉サービスが充実している	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=872)		42.5	33.7	27.1	25.0	21.8	21.2	15.9	15.4	15.4	9.7	8.3	6.9	3.2	2.3	5.5	2.4	1.8
性別	男性(n=381)	<b>42.3</b>	32.0	28.3	24.7	26.8	21.3	16.0	18.4	13.1	10.5	11.5	8.4	3.7	2.6	5.2	2.4	0.5
	女性(n=477)	<b>42.8</b>	34.6	26.2	25.2	18.0	21.4	15.9	13.2	17.2	8.8	5.7	5.5	2.9	2.1	5.9	2.5	2.9
	その他(n=3)	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=10)	50.0	60.0	60.0	20.0	20.0	10.0	-	30.0	-	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=47)	40.4	40.4	<b>42.6</b>	29.8	10.6	19.1	12.8	<b>23.4</b>	4.3	4.3	2.1	<b>19.1</b>	6.4	4.3	4.3	-	2.1
	30～39歳(n=101)	<b>49.5</b>	23.8	<b>45.5</b>	25.7	24.8	9.9	9.9	5.9	9.9	6.9	9.9	<b>13.9</b>	5.9	<b>10.9</b>	2.0	1.0	2.0
	40～49歳(n=131)	<b>56.5</b>	26.0	<b>45.0</b>	23.7	17.6	10.7	10.7	9.2	7.6	9.9	11.5	8.4	3.8	2.3	2.3	3.8	3.1
	50～59歳(n=137)	<b>48.2</b>	25.5	<b>39.4</b>	27.0	29.2	13.1	9.5	15.3	13.1	6.6	7.3	5.1	4.4	-	8.8	0.7	1.5
	60～69歳(n=157)	<b>41.4</b>	33.8	21.7	28.7	29.3	<b>22.9</b>	14.0	19.7	16.6	8.9	5.7	3.8	2.5	0.6	5.7	3.2	1.3
	70歳以上(n=280)	31.4	<b>41.8</b>	5.7	21.8	16.8	<b>33.9</b>	<b>25.7</b>	17.5	<b>23.6</b>	13.2	8.9	3.9	1.4	1.1	7.1	3.2	1.8

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「買いものなどの日常生活が便利」は、『アルバイト・パート』が54.6%と12.1ポイント、『会社員等』が48.3%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」、「親や子、親戚が近くに住んでいる」、「地域に愛着と誇りを持っている」はそれぞれ『自営業』が全体より5ポイント以上高くなっている。

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が46.3%と19.2ポイント、『アルバイト・パート』が32.4%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「買いものなどの日常生活が便利」は『西条地区』が58.1%と15.6ポイント、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」についても『西条地区』が35.3%と8.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』でそれぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『高屋地区』が33.1%と11.3ポイント全体より高い。

表3-2 住み続けたい理由／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		買いものなどの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	気候がよく、住みやすい	地域に愛着と誇りを持っている	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	医療機関や福祉サービスが充実している	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=872)		42.5	33.7	27.1	25.0	21.8	21.2	15.9	15.4	15.4	9.7	8.3	6.9	3.2	2.3	5.5	2.4	1.8
職業別	自営業 (n=67)	25.4	<b>41.8</b>	20.9	34.3	19.4	20.9	19.4	<b>29.9</b>	14.9	7.5	11.9	6.0	-	-	3.0	3.0	1.5
	会社員等 (n=298)	<b>48.3</b>	26.2	<b>46.3</b>	26.5	23.5	14.1	9.4	<b>13.1</b>	10.1	7.7	9.1	8.1	6.4	3.7	4.0	1.7	2.0
	アルバイト・パート (n=108)	<b>54.6</b>	25.9	<b>32.4</b>	23.1	<b>27.8</b>	14.8	11.1	13.9	10.2	8.3	4.6	9.3	1.9	0.9	6.5	0.9	1.9
	派遣社員・契約社員 (n=19)	47.4	42.1	47.4	15.8	15.8	21.1	21.1	26.3	5.3	15.8	5.3	5.3	-	-	-	5.3	-
	学生・専門学校生 (n=15)	46.7	60.0	60.0	20.0	13.3	13.3	6.7	20.0	-	13.3	13.3	20.0	-	-	-	-	-
	家事専業 (n=120)	<b>37.5</b>	36.7	8.3	22.5	17.5	<b>31.7</b>	17.5	11.7	<b>25.8</b>	12.5	5.8	5.8	2.5	3.3	8.3	2.5	2.5
	無職 (n=220)	35.9	<b>38.6</b>	8.2	23.2	22.3	27.7	24.5	15.5	21.4	11.4	9.1	4.5	1.8	1.8	7.7	4.1	1.4
居住地別	西条地区 (n=351)	<b>58.1</b>	24.5	<b>35.3</b>	23.9	26.2	12.3	12.3	14.8	11.7	9.4	12.0	7.7	5.7	4.3	4.8	1.1	2.0
	八本松地区 (n=133)	<b>41.4</b>	30.1	28.6	18.0	17.3	16.5	16.5	12.8	18.8	10.5	11.3	7.5	2.3	-	6.8	5.3	2.3
	志和地区 (n=24)	16.7	<b>70.8</b>	16.7	20.8	12.5	<b>41.7</b>	12.5	<b>41.7</b>	20.8	-	4.2	8.3	-	-	8.3	-	-
	高屋地区 (n=169)	35.5	<b>36.1</b>	23.1	24.9	<b>33.1</b>	30.8	11.8	12.4	14.8	13.6	4.1	4.7	1.8	1.2	7.1	2.4	1.2
	黒瀬地区 (n=99)	28.3	<b>40.4</b>	14.1	<b>36.4</b>	11.1	27.3	23.2	9.1	23.2	7.1	7.1	7.1	-	2.0	5.1	3.0	3.0
	福富地区 (n=13)	7.7	<b>69.2</b>	15.4	15.4	-	53.8	30.8	<b>30.8</b>	7.7	7.7	-	7.7	7.7	-	7.7	-	-
	豊栄地区 (n=19)	5.3	<b>52.6</b>	26.3	15.8	5.3	42.1	21.1	<b>42.1</b>	<b>31.6</b>	5.3	-	10.5	-	-	-	-	5.3
	河内地区 (n=19)	15.8	<b>47.4</b>	10.5	31.6	5.3	31.6	10.5	21.1	10.5	5.3	-	-	-	5.3	<b>10.5</b>	<b>10.5</b>	-
	安芸津地区 (n=35)	31.4	<b>45.7</b>	20.0	<b>37.1</b>	5.7	20.0	<b>45.7</b>	20.0	11.4	8.6	-	5.7	2.9	-	-	2.9	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、職業別のサンプル数が20未満はしない。

(5) 移転・転出したい理由

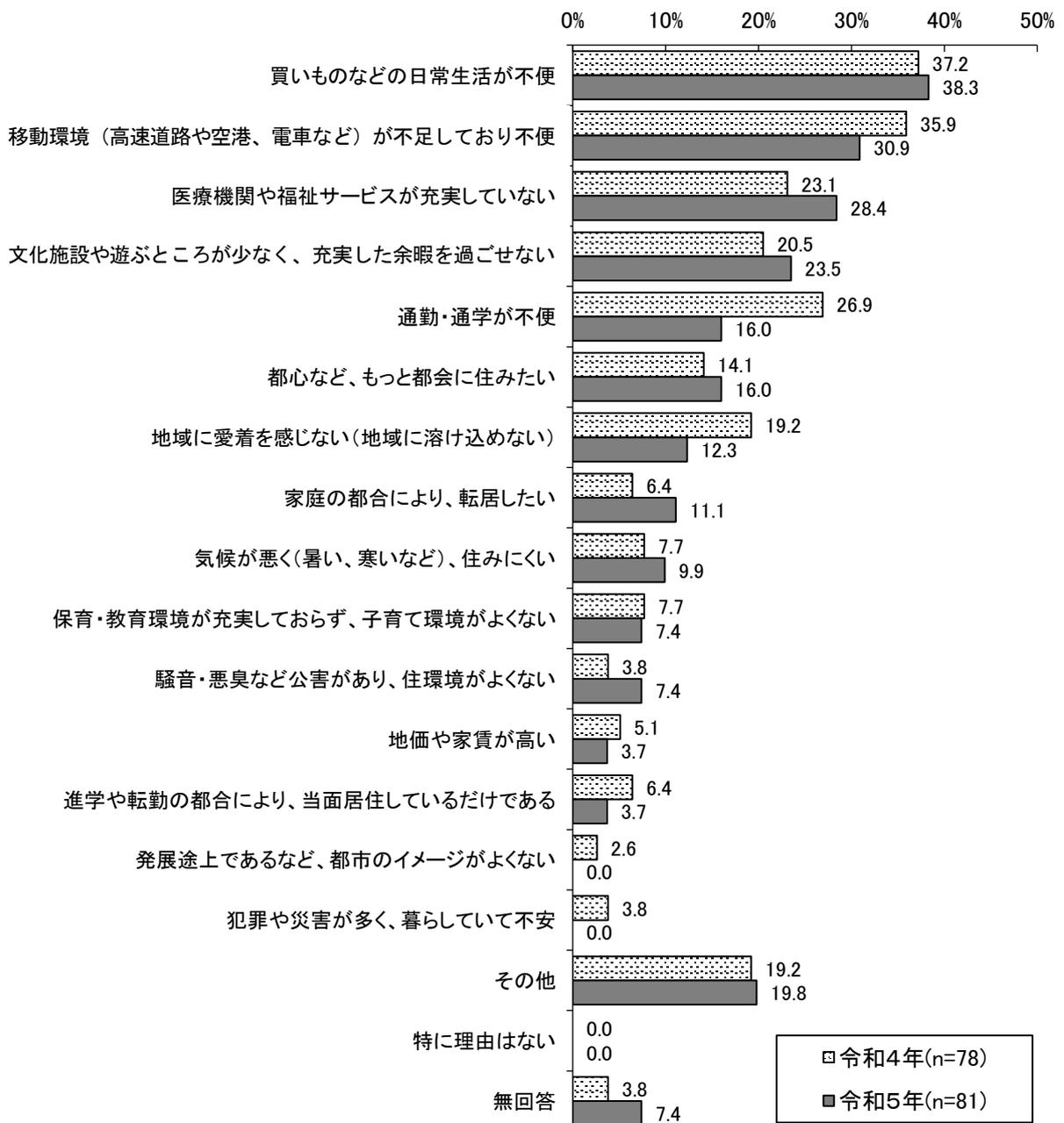
問3で、「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。

問3-2 移転・転出したい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」の回答者(該当件数81件)に移転・転出したい主な理由をたずねると、「買いものなど日常生活が不便」が38.3%と最も高く、次いで、「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」が30.9%、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が28.4%、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」が23.5%となっている。

図3-6 移転・転出したい理由<複数回答>

単位：%



【属性別の傾向】＜性別＞

『男性』が『女性』より高い項目としては、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が12.1ポイント、「進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである」が11.5ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高い。

反対に、『女性』が『男性』より高い項目としては、「地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）」が11.3ポイント、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が9.0ポイント、それぞれ『女性』が『男性』より高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「買いものなどの日常生活が不便」は『60～69歳』が61.1%と22.8ポイント、『70歳以上』が56.5%と18.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「医療機関や福祉サービスが充実していない」は『70歳以上』が47.8%と19.4ポイント、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は『50～59歳』が50.0%と26.5ポイント、「都心など、もっと都会に住みたい」は『20～29歳』が33.3%と17.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表3-3 移転・転出したい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		買いものなどの日常生活が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	通勤・通学が不便	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	家庭の都合により、転居したい	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	地価や家賃が高い	当面居住しているだけである	進学や転勤の都合により、都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らして不安	犯罪や災害が多く、	その他	特に理由はない	無回答	
全体(n=81)		38.3	30.9	28.4	23.5	16.0	16.0	12.3	11.1	9.9	7.4	7.4	3.7	3.7	-	-	19.8	-	7.4		
性別	男性(n=26)	<b>42.3</b>	38.5	23.1	26.9	19.2	11.5	3.8	11.5	11.5	11.5	11.5	7.7	11.5	-	-	7.7	-	7.7		
	女性(n=53)	<b>37.7</b>	26.4	32.1	22.6	15.1	18.9	15.1	11.3	9.4	5.7	3.8	1.9	-	-	-	26.4	-	5.7		
	その他(n=1)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳(n=3)	33.3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳(n=12)	16.7	25.0	8.3	16.7	<b>25.0</b>	<b>33.3</b>	8.3	16.7	-	8.3	16.7	8.3	8.3	-	-	-	25.0	-	-	
	30～39歳(n=9)	11.1	33.3	33.3	33.3	-	11.1	11.1	11.1	-	33.3	11.1	11.1	11.1	-	-	-	11.1	-	22.2	
	40～49歳(n=5)	20.0	60.0	20.0	-	40.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳(n=10)	20.0	40.0	30.0	<b>50.0</b>	-	-	10.0	20.0	<b>20.0</b>	-	10.0	-	-	-	-	-	-	<b>30.0</b>	-	-
	60～69歳(n=18)	<b>61.1</b>	33.3	22.2	22.2	16.7	22.2	16.7	5.6	16.7	-	5.6	-	5.6	-	-	-	27.8	-	-	
	70歳以上(n=23)	<b>56.5</b>	21.7	<b>47.8</b>	13.0	17.4	4.3	13.0	13.0	4.3	4.3	-	4.3	-	-	-	-	17.4	-	13.0	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「買い物などの日常生活が不便」は『無職』が50.0%と11.7ポイント全体より高く、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」は『会社員等』が56.5%と25.6ポイント全体より高い。

「医療機関や福祉サービスが充実していない」は『無職』が45.0%と16.6ポイント、『家事専業』が38.5%と10.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「買い物などの日常生活が不便」は『八本松地区』が53.3%と15.0ポイント、また「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」についても『八本松地区』が46.7%とは15.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「医療機関や福祉サービスが充実していない」は『黒瀬地区』が45.5%と17.1ポイント全体より高い。

「通勤・通学が不便」は『高屋地区』が31.3%と15.3ポイント、「保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない」は『西条地区』が17.4%と10.0ポイント、全体より高い。

表3-4 移転・転出したい理由／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		買い物などの日常生活が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	通勤・通学が不便	都心など、もっと都会に住みたい（地域に愛着を感じない）	家庭の都合により、転居したい	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	地価や家賃が高い	当面居住しているだけである	進学や転勤の都合により、都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、暮らしていて不安	犯罪や災害が多く、	その他	特に理由はない	無回答	
全体(n=81)		38.3	30.9	28.4	23.5	16.0	16.0	12.3	11.1	9.9	7.4	7.4	3.7	3.7	-	-	19.8	-	7.4	
職業別	自営業(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	会社員等(n=23)	34.8	<b>56.5</b>	26.1	30.4	17.4	<b>26.1</b>	4.3	13.0	4.3	13.0	8.7	<b>8.7</b>	<b>8.7</b>	-	-	17.4	-	-	
	アルバイト・パート(n=14)	<b>35.7</b>	28.6	14.3	21.4	14.3	14.3	21.4	14.3	<b>21.4</b>	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3
	派遣社員・契約社員(n=1)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	学生・専門学校生(n=7)	28.6	14.3	-	28.6	42.9	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-
	家事専業(n=13)	<b>38.5</b>	7.7	<b>38.5</b>	23.1	7.7	23.1	<b>23.1</b>	-	7.7	15.4	7.7	-	-	-	-	-	<b>38.5</b>	-	7.7
	無職(n=20)	<b>50.0</b>	25.0	<b>45.0</b>	15.0	10.0	5.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	-	-	-	20.0	-	10.0
居住地別	西条地区(n=23)	21.7	17.4	26.1	<b>30.4</b>	4.3	21.7	17.4	13.0	8.7	<b>17.4</b>	8.7	-	8.7	-	-	17.4	-	4.3	
	八本松地区(n=15)	<b>53.3</b>	<b>46.7</b>	20.0	26.7	-	20.0	13.3	<b>20.0</b>	6.7	-	-	<b>13.3</b>	-	-	-	20.0	-	6.7	
	志和地区(n=2)	100.0	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高屋地区(n=16)	<b>43.8</b>	25.0	25.0	18.8	<b>31.3</b>	18.8	6.3	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	-	<b>25.0</b>	-	6.3
	黒瀬地区(n=11)	18.2	36.4	<b>45.5</b>	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	-	<b>18.2</b>	-	-	-	-	-	18.2	-	18.2
	福富地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	豊栄地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区(n=3)	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
	安芸津地区(n=8)	50.0	37.5	25.0	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	25.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

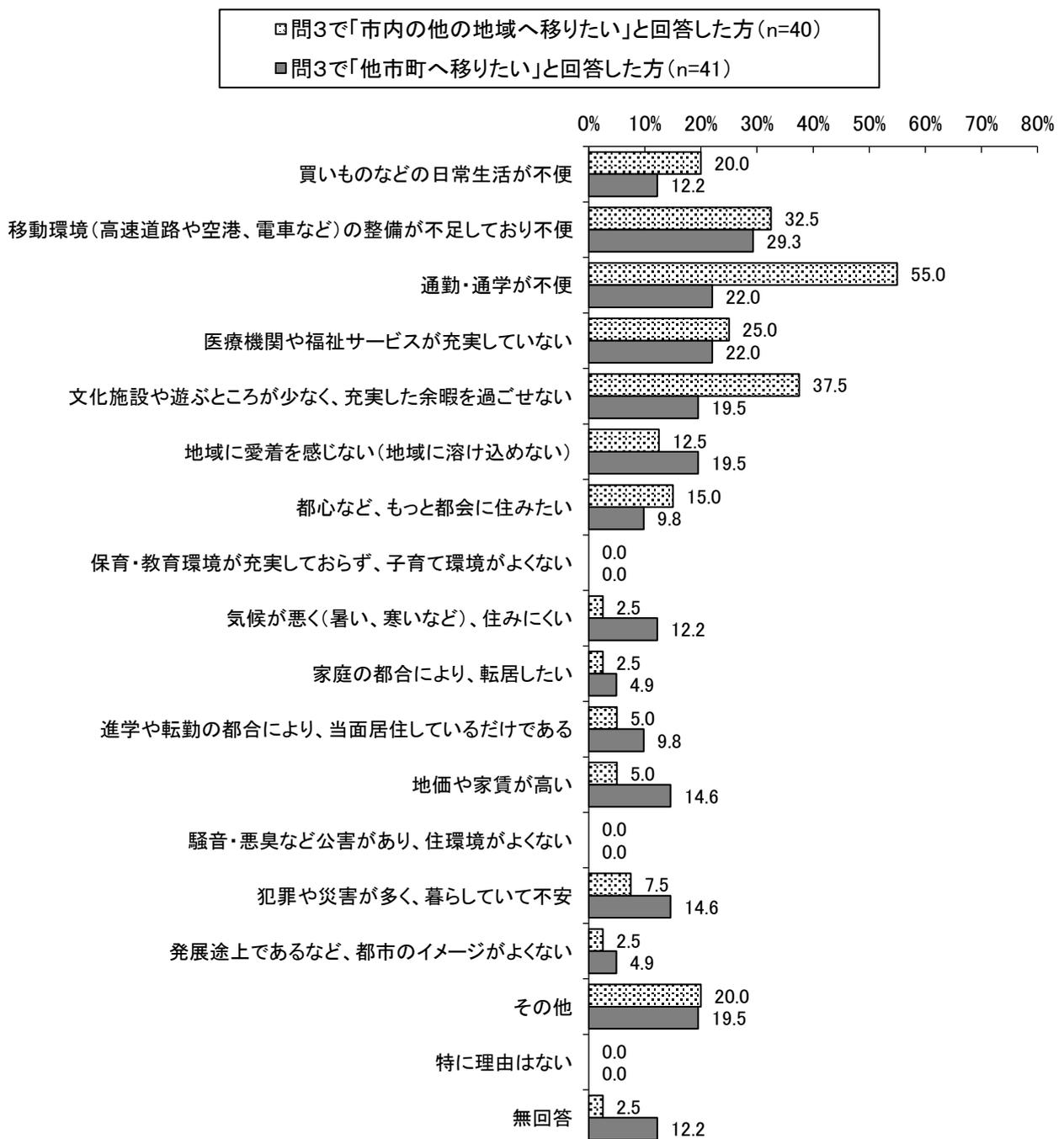
### 【属性別の傾向】＜移りたい場所別＞

移転・転出したい理由について、問3で『市内の他の地域へ移りたい』と回答した方では、「通勤・通学が不便」が55.0%と最も高く、次いで、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」が37.5%、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が32.5%と高い。

問3で『他市町へ移りたい』と回答した方では「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が29.3%と最も高くなっている。

「通勤・通学が不便」は33.0ポイント、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」は18.0ポイント、それぞれ『市内の他の地域へ移りたい』と回答した方の値が『他市町へ移りたい』と回答した方の値より高くなっており、特に差が大きい。

図3-7 移転・転出したい理由／移りたい場所別＜複数回答＞



※参考【属性別の傾向】問3で「市内の他の地域へ移りたい」と回答した方のみ

表3-5 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		通勤・通学が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	医療機関や福祉サービスが充実していない	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都市のイメージが良くない	発展途上であるなど、都市のイメージが良くない	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境が良くない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境が良くない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	犯罪や災害が多く、暮らして不安	家庭の都合により、転居したい	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=40)		20.0	32.5	55.0	25.0	37.5	12.5	15.0	-	2.5	2.5	5.0	5.0	-	7.5	2.5	20.0	-	2.5	
性別	男性(n=10)	20.0	50.0	70.0	30.0	30.0	-	10.0	-	-	-	10.0	-	-	10.0	10.0	10.0	-	-	
	女性(n=30)	20.0	26.7	50.0	23.3	40.0	16.7	16.7	-	3.3	3.3	3.3	6.7	-	6.7	-	23.3	-	3.3	
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=5)	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-
	30～39歳(n=2)	-	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～49歳(n=2)	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳(n=3)	-	-	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-
	60～69歳(n=10)	20.0	40.0	60.0	20.0	20.0	10.0	20.0	-	-	-	10.0	10.0	-	10.0	-	30.0	-	-	
	70歳以上(n=18)	22.2	22.2	72.2	16.7	55.6	5.6	16.7	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	16.7	-	5.6
職業別	自営業(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会社員等(n=10)	20.0	70.0	40.0	40.0	30.0	20.0	-	-	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	-	-	
	アルバイト・パート(n=7)	28.6	14.3	57.1	28.6	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-	28.6	-	-	
	派遣社員・契約社員(n=1)	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
	学生・専門学校生(n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	家事専業(n=8)	12.5	12.5	62.5	12.5	37.5	25.0	37.5	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	37.5	-	-
	無職(n=12)	16.7	33.3	66.7	16.7	58.3	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	8.3	-	8.3
居住地別	西条地区(n=9)	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	33.3	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	11.1	-	-
	八本松地区(n=9)	-	77.8	77.8	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	-	22.2	-	11.1	-	-	
	志和地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高屋地区(n=8)	37.5	12.5	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5	-	-	-	12.5	25.0	-	-	-	-	37.5	-	-
	黒瀬地区(n=5)	20.0	40.0	40.0	40.0	60.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0
	福富地区(n=1)	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	豊栄地区(n=1)	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区(n=1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	安芸津地区(n=5)	20.0	40.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-

※参考【属性別の傾向】問3で「他市町へ移りたい」と回答した方のみ

表3-6 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

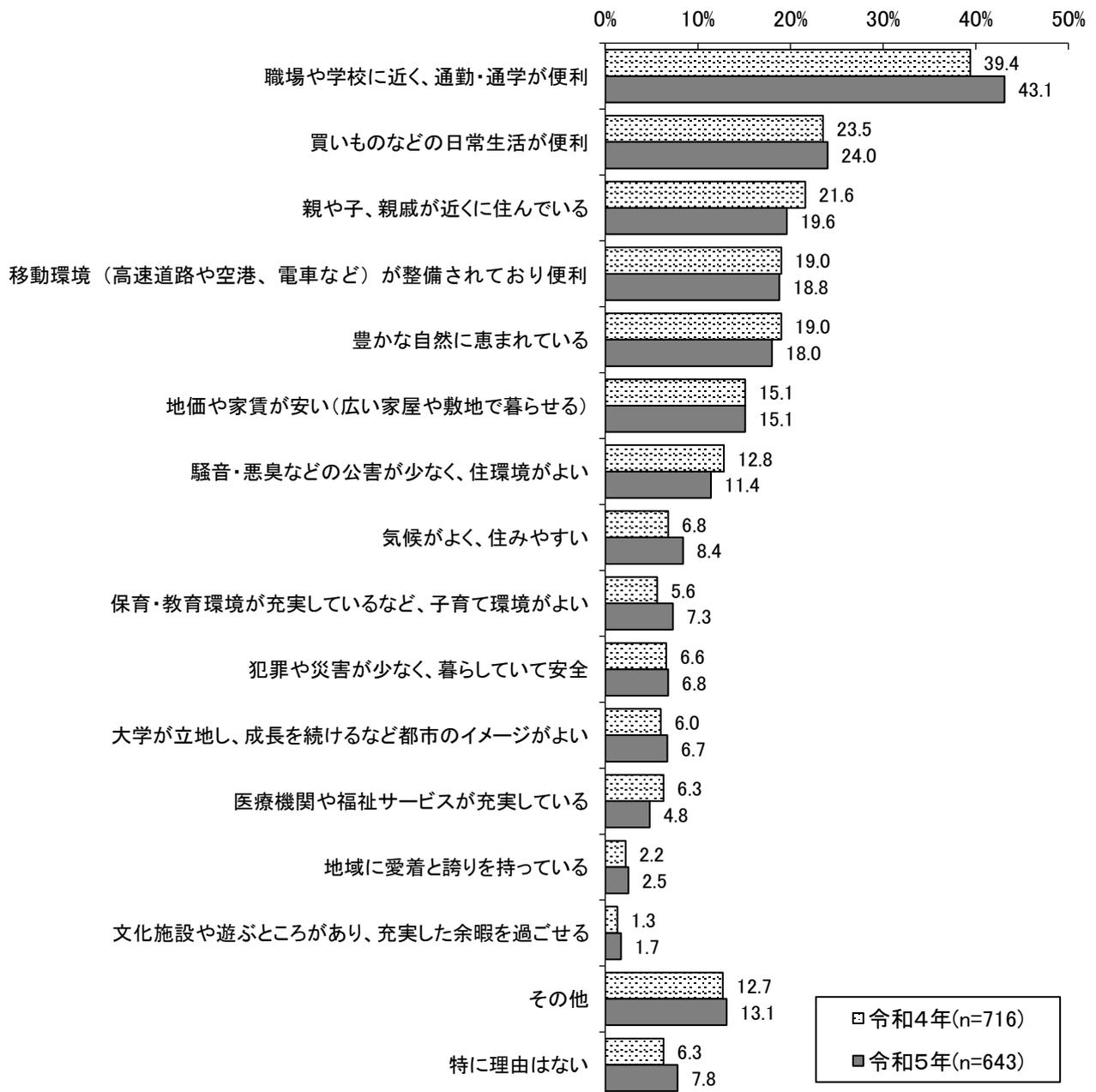
		通勤・通学が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	医療機関や福祉サービスが充実していない	都心など、もともと都会に住みたい	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	犯罪や災害が多く、暮らして不安	家庭の都合により、転居したい	当面居住しているだけである	進学や転勤の都合により、	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=41)		12.2	29.3	22.0	22.0	19.5	19.5	9.8	-	12.2	4.9	9.8	14.6	-	14.6	4.9	19.5	-	12.2		
性別	男性 (n=16)	18.8	31.3	25.0	25.0	18.8	18.8	-	-	18.8	12.5	12.5	18.8	-	12.5	12.5	6.3	-	12.5		
	女性 (n=23)	8.7	26.1	21.7	21.7	21.7	21.7	13.0	-	8.7	-	4.3	13.0	-	17.4	-	30.4	-	8.7		
	その他 (n=1)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳 (n=3)	33.3	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳 (n=7)	28.6	28.6	14.3	-	-	28.6	14.3	-	-	14.3	28.6	-	-	28.6	-	42.9	-	-		
	30～39歳 (n=7)	-	14.3	-	28.6	42.9	-	14.3	-	42.9	-	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	-	28.6		
	40～49歳 (n=3)	33.3	33.3	-	-	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳 (n=7)	-	57.1	28.6	42.9	28.6	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	28.6	-	14.3	-	-		
	60～69歳 (n=8)	12.5	25.0	62.5	25.0	25.0	37.5	12.5	-	-	-	-	-	25.0	-	-	12.5	25.0	-	-	
	70歳以上 (n=5)	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0	
職業別	自営業 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	会社員等 (n=13)	15.4	46.2	30.8	23.1	23.1	30.8	7.7	-	15.4	7.7	7.7	7.7	-	15.4	15.4	23.1	-	-		
	アルバイト・パート (n=7)	-	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	28.6	-	28.6	-	-	-	-	28.6	
	派遣社員・契約社員 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	学生・専門学校生 (n=6)	50.0	16.7	33.3	33.3	-	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	
	家事専業 (n=5)	-	-	-	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	20.0	
	無職 (n=8)	-	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	37.5	-	12.5		
	その他 (n=1)	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地別	西条地区 (n=14)	-	21.4	14.3	35.7	28.6	28.6	7.1	-	21.4	-	14.3	14.3	-	21.4	7.1	21.4	-	7.1		
	八本松地区 (n=6)	-	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7	-	33.3	-	16.7		
	志和地区 (n=1)	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	高屋地区 (n=8)	25.0	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5		
	黒瀬地区 (n=6)	16.7	33.3	-	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	-	16.7		
	福富地区 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	豊栄地区 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	河内地区 (n=2)	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	安芸津地区 (n=3)	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-		

(6) 転居する際に重視したこと

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。  
 ※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。  
 問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。  
 (主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に転居して来られた方に対し、転居に際して重視したことをみると、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が43.1%と最も高く、次いで、「買い物などの日常生活が便利」が24.0%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が19.6%、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」が18.8%となっている。

図4-1 転居する際に重視したこと<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『男性』47.2%、『女性』40.2%と7.0ポイント、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『男性』21.9%、『女性』16.7%と5.2ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は60歳未満の各年齢層が60歳以上の年齢層より高い。

「買いものなどの日常生活が便利」は『30～39歳』が35.4%と11.4ポイント、『20～29歳』が31.3%と7.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『70歳以上』が29.9%と11.9ポイント全体より高く、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」についても『70歳以上』が22.6%と11.2ポイント全体より高くなっている。

表4-1 転居する際に重視したこと／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買いものなどの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	豊かな自然に恵まれている	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	気候がよく、住みやすい	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らして安全	都市のイメージがよい	大学が立地し、成長を続けるなど	医療機関や福祉サービスが充実している	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない
全体(n=643)		43.1	24.0	19.6	18.8	18.0	15.1	11.4	8.4	7.3	6.8	6.7	4.8	2.5	1.7	13.1	7.8	
性別	男性(n=265)	<b>47.2</b>	23.8	20.4	21.9	20.4	17.7	12.8	9.4	7.9	4.9	8.7	4.9	3.8	2.6	8.7	7.5	
	女性(n=366)	<b>40.2</b>	23.8	19.4	16.7	16.4	13.4	10.4	7.7	7.1	7.9	5.5	4.9	1.4	0.8	16.1	7.9	
	その他(n=3)	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	
年齢別	18～19歳(n=9)	77.8	22.2	22.2	22.2	-	11.1	-	-	-	11.1	22.2	-	-	11.1	-	-	
	20～29歳(n=32)	<b>56.3</b>	31.3	15.6	9.4	6.3	12.5	6.3	-	-	3.1	3.1	-	-	<b>9.4</b>	9.4	9.4	
	30～39歳(n=79)	<b>53.2</b>	<b>35.4</b>	19.0	17.7	10.1	19.0	5.1	6.3	<b>12.7</b>	7.6	5.1	2.5	3.8	2.5	8.9	3.8	
	40～49歳(n=95)	<b>53.7</b>	28.4	13.7	22.1	12.6	9.5	5.3	3.2	<b>12.6</b>	4.2	7.4	7.4	2.1	2.1	17.9	7.4	
	50～59歳(n=113)	<b>49.6</b>	25.7	20.4	15.9	13.3	16.8	8.0	4.4	8.0	4.4	3.5	4.4	1.8	0.9	13.3	6.2	
	60～69歳(n=130)	<b>40.8</b>	24.6	22.3	16.9	18.5	14.6	9.2	9.2	6.2	7.7	4.6	6.9	3.1	-	12.3	10.0	
	70歳以上(n=177)	27.1	13.0	21.5	22.0	<b>29.9</b>	16.9	<b>22.6</b>	<b>15.8</b>	4.5	8.5	10.7	4.5	2.3	0.6	14.1	9.0	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が54.9%と11.8ポイント、「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『自営業』が26.9%と7.3ポイントそれぞれ全体より高い。「気候がよく、住みやすい」についても『自営業』が15.4%と7.0ポイント全体より高い。

「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『アルバイト・パート』が23.9%と5.1ポイント全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『西条地区』が52.2%と9.1ポイント、また「買い物などの日常生活が便利」についても『西条地区』が35.7%と11.7ポイント全体より高い。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『志和地区』と『安芸津地区』、「移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利」は『高屋地区』、「豊かな自然に恵まれている」は『志和地区』、「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」と「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」は『黒瀬地区』、「気候がよく、住みやすい」は『安芸津地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっている。

表4-2 転居する際に重視したこと／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	豊かな自然に恵まれている	（広い家屋や敷地で暮らせる） 地価や家賃が安い 住環境がよい	騒音・悪臭などの公害が少なく、 気候がよく、住みやすい	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	犯罪や災害が少なく、 暮らしやすい安全	大学が立地し、成長を続けるなど 都市のイメージがよい	医療機関や福祉サービスが 充実している	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、 充実した余暇を過ごせる	その他		
															特に理由はない		
全体 (n=643)		43.1	24.0	19.6	18.8	18.0	15.1	11.4	8.4	7.3	6.8	6.7	4.8	2.5	1.7	13.1	7.8
職業別	自営業 (n=26)	<b>38.5</b>	11.5	26.9	19.2	7.7	19.2	3.8	15.4	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	11.5	7.7
	会社員等 (n=224)	<b>54.9</b>	27.7	17.4	18.3	11.6	14.3	6.7	5.4	9.4	4.0	6.3	4.0	2.2	2.7	10.7	7.1
	アルバイト・パート (n=92)	<b>42.4</b>	25.0	13.0	23.9	17.4	17.4	9.8	4.3	6.5	8.7	5.4	5.4	2.2	1.1	16.3	8.7
	派遣社員・契約社員 (n=15)	53.3	33.3	33.3	13.3	40.0	13.3	13.3	6.7	6.7	-	-	13.3	13.3	6.7	-	-
	学生・専門学校生 (n=14)	78.6	35.7	21.4	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	21.4	-	-	7.1	-	-
	家事専業 (n=98)	<b>32.7</b>	22.4	18.4	16.3	20.4	13.3	12.2	10.2	8.2	8.2	3.1	5.1	1.0	-	18.4	7.1
	無職 (n=155)	<b>29.0</b>	18.1	24.5	20.0	27.7	16.1	20.0	13.5	4.5	7.1	10.3	5.2	2.6	0.6	14.2	10.3
居住地別	西条地区 (n=272)	<b>52.2</b>	<b>35.7</b>	17.6	19.1	12.9	10.3	5.5	5.1	7.7	7.4	7.0	5.1	1.8	3.3	13.2	5.1
	八本松地区 (n=102)	<b>45.1</b>	20.6	18.6	20.6	23.5	15.7	11.8	5.9	8.8	7.8	7.8	4.9	2.9	1.0	8.8	7.8
	志和地区 (n=13)	15.4	-	<b>53.8</b>	7.7	<b>30.8</b>	15.4	7.7	-	7.7	-	-	7.7	-	-	<b>23.1</b>	15.4
	高屋地区 (n=128)	<b>46.1</b>	18.0	17.2	<b>29.7</b>	15.6	16.4	14.8	10.2	8.6	2.3	8.6	7.8	1.6	-	9.4	10.9
	黒瀬地区 (n=82)	23.2	8.5	20.7	7.3	26.8	<b>30.5</b>	<b>22.0</b>	14.6	2.4	11.0	6.1	1.2	4.9	1.2	18.3	7.3
	福富地区 (n=5)	20.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0
	豊栄地区 (n=7)	42.9	-	14.3	-	57.1	14.3	42.9	14.3	14.3	28.6	-	-	14.3	-	-	-
	河内地区 (n=9)	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	11.1
	安芸津地区 (n=17)	-	5.9	<b>47.1</b>	5.9	5.9	5.9	11.8	<b>35.3</b>	5.9	-	-	-	-	-	<b>23.5</b>	17.6

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、職業別のサンプル数が20未満、地域別のサンプル数が10未満を除く。

【属性別の傾向】＜居住年数別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『居住10年未満』が31.8%と7.8ポイント、『居住10年以上30年未満』が29.8%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。

「保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい」は『居住10年未満』が12.4%と5.1ポイント全体より高くなっている。

「豊かな自然に恵まれている」、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」、「気候がよく、住みやすい」は『居住30年以上』がそれぞれ5ポイント以上全体より高い。

表4-3 転居する際に重視したこと／居住年数別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	豊かな自然に恵まれている	（広い家屋や敷地で暮らせる） 地価や家賃が安い	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	気候がよく、住みやすい	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	医療機関や福祉サービスが充実している	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない
全体(n=643)		43.1	24.0	19.6	18.8	18.0	15.1	11.4	8.4	7.3	6.8	6.7	4.8	2.5	1.7	13.1	7.8
居住年数	居住10年未満(n=129)	<b>44.2</b>	31.8	20.2	20.9	13.2	14.0	4.7	3.9	<b>12.4</b>	7.8	8.5	4.7	1.6	3.9	11.6	5.4
	居住10年以上30年未満(n=238)	<b>47.5</b>	29.8	20.6	19.3	13.0	14.7	7.1	5.0	6.3	5.0	5.9	7.1	2.5	1.7	13.4	7.6
	居住30年以上(n=275)	<b>38.9</b>	15.3	18.5	17.5	<b>24.4</b>	16.0	<b>18.2</b>	<b>13.5</b>	5.8	8.0	6.5	2.9	2.9	0.7	13.5	9.1

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 2. 市政運営について

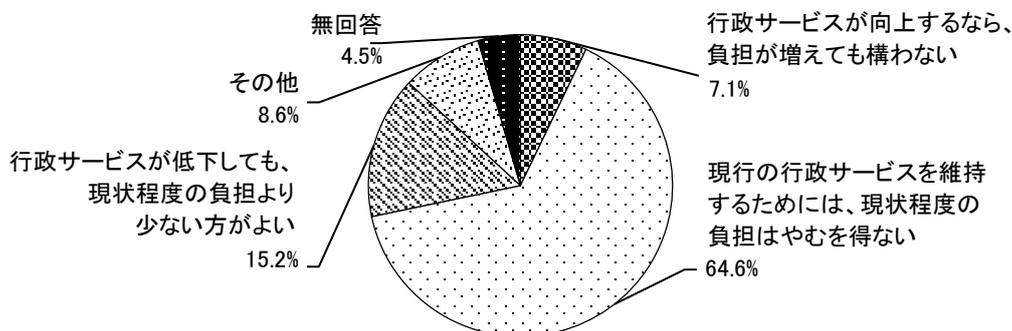
### (1) 今後の行政サービスのあり方

問5 国を始めとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つだけ選んで○をお付けください)

今後の行政サービスのあり方については、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」が64.6%と最も高く、6割以上を占める。次いで、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」が15.2%となっている。

「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は7.1%であった。

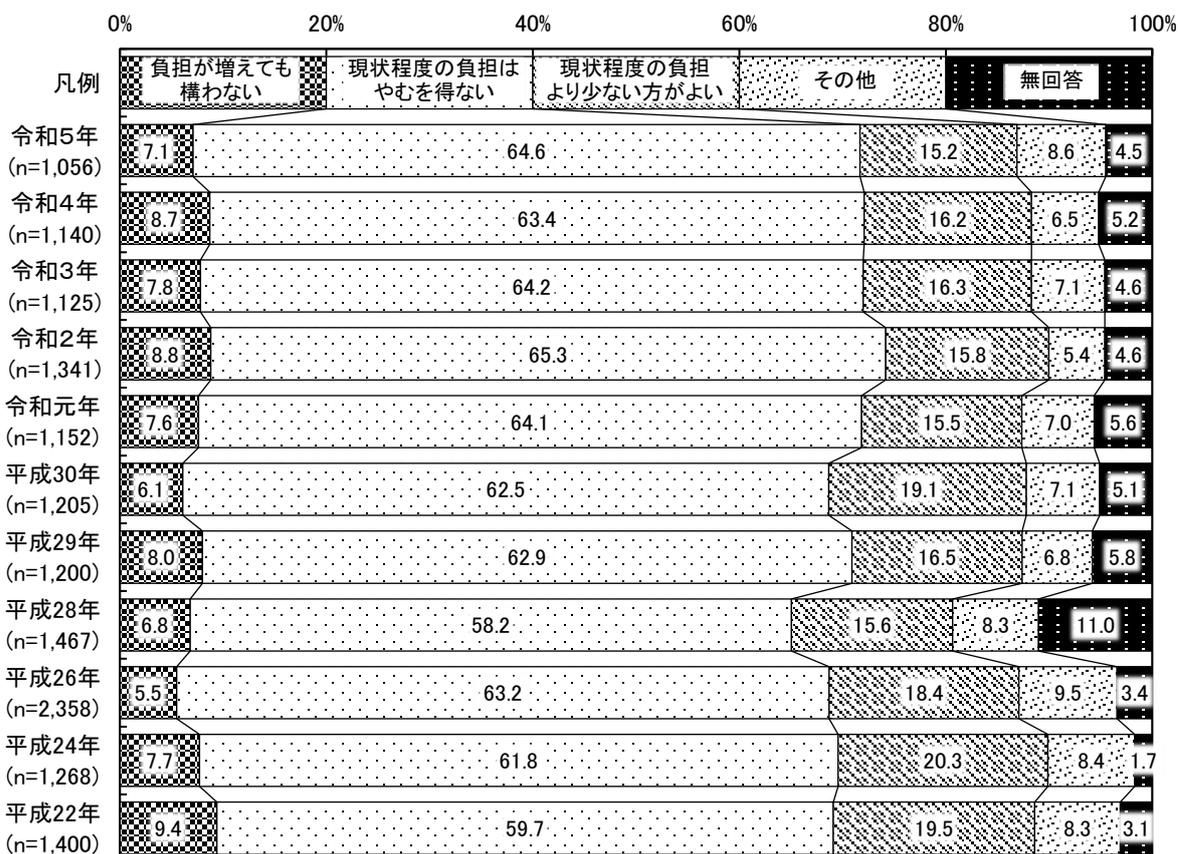
図5-1 今後の行政サービスのあり方 [n=1,056]



#### 【経年変化】

令和4年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図5-2 今後の行政サービスのあり方／経年変化



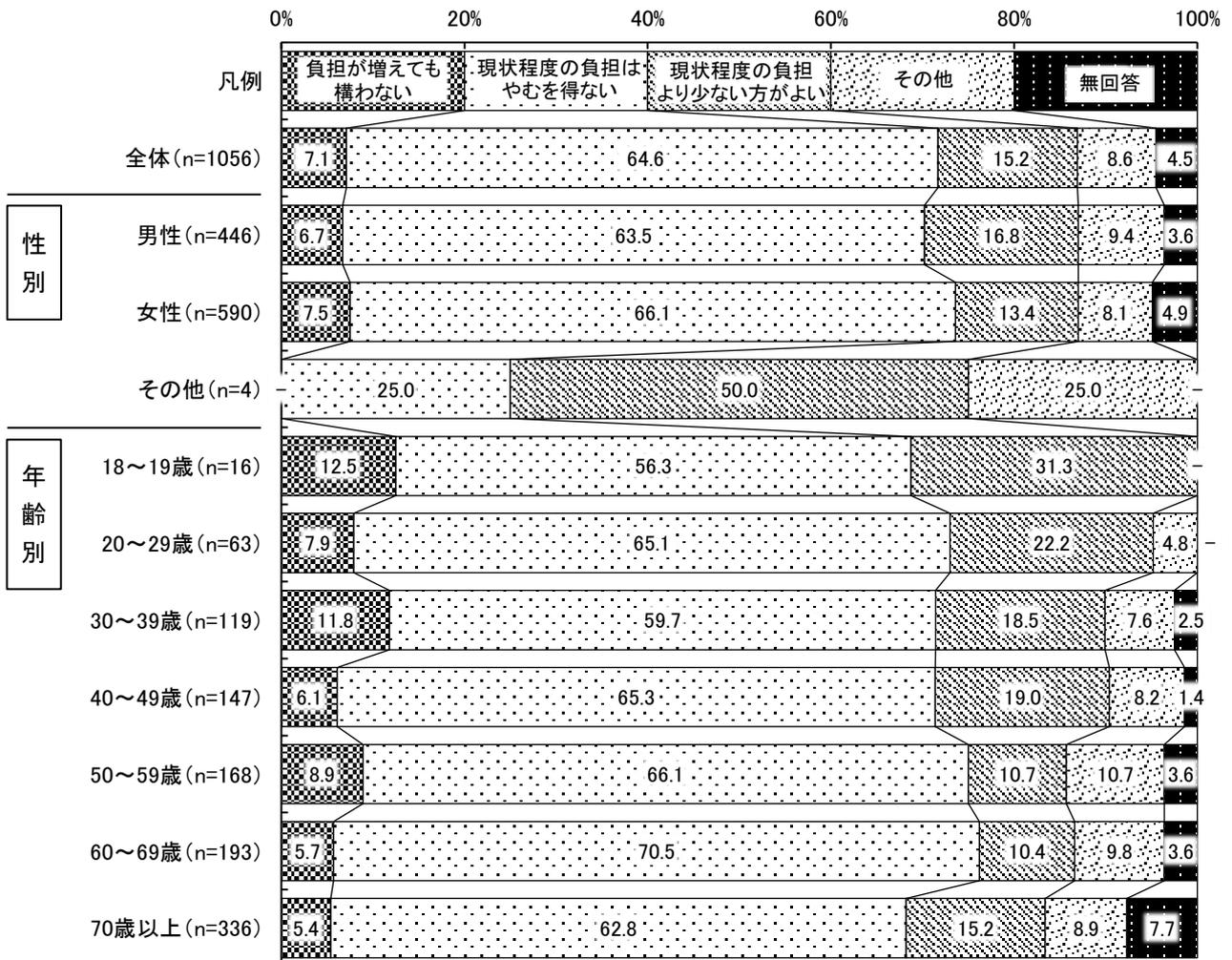
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『60～69歳』が70.5%と5.9ポイント全体より高い。

「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『20～29歳』が22.2%と7.0ポイント全体より高くなっている。

図5-3 今後の行政サービスのあり方／性別・年齢別



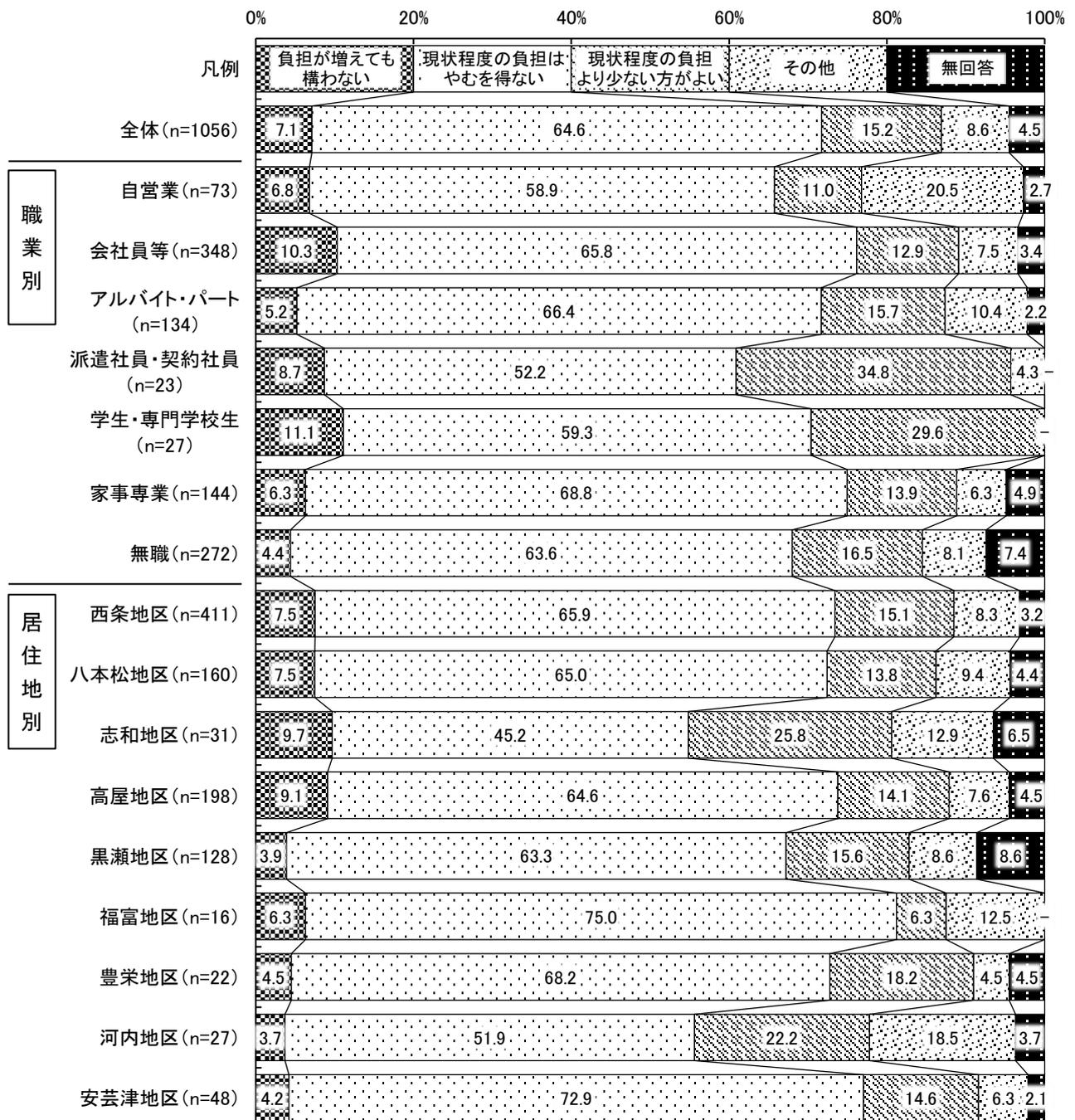
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、顕著な差はない。

居住地別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『福富地区』が75.0%と10.4ポイント、『安芸津地区』が72.9%と8.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『志和地区』が25.8%と10.6ポイント、『河内地区』が22.2%と7.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図5-4 今後の行政サービスのあり方／職業別・居住地別



### 3. 市が実施している施策の満足度と重要度について

#### (1) 施策の満足度と重要度

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。  
あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。  
また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。  
(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

#### ① 満足度と重要度の集計

##### 【単純集計結果】

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

##### 1. 満足度

満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{満足度} = (\text{「満足」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

##### 2. 重要度

重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{重要度} = (\text{「重要」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「あまり重要ではない」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「重要ではない」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

#### ② ニーズ度の算出

重要度と満足度との加重平均値の差を「ニーズ度」として算出した。

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} - \text{満足度}$$

#### ③ 満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、50の施策を散布図上に示したものが相関図である。

#### ④ 全体の集計結果

施策ごとの満足度と重要度の回答結果およびその点数化した際の得点は下記の通りである。

表6-1 満足度集計結果

単位：％、点

施策名	サンプル数	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満	満足+ やや満足	満足度 得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	979	5.0	16.8	67.2	9.2	1.8	21.8	0.139
1-2 地元企業の創出・強化	971	3.9	19.5	56.7	16.4	3.5	23.4	0.039
1-3 商業・サービス業の集積・強化	970	4.5	23.7	52.9	14.8	4.0	28.2	0.099
1-4 産業集積の推進	963	3.8	18.8	59.6	14.0	3.7	22.6	0.050
1-5 農業の強化	985	2.8	10.9	51.5	23.2	11.6	13.7	-0.298
1-6 森林の保全・整備	982	2.6	11.2	57.2	19.5	9.5	13.8	-0.219
1-7 漁業・養殖業の推進	966	2.2	7.8	73.2	13.3	3.6	9.9	-0.084
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	981	4.3	22.2	44.9	22.0	6.6	26.5	-0.045
1-9 労働・雇用環境の充実	978	3.2	13.8	49.2	25.1	8.8	17.0	-0.225
2-1 住みよい都市の形成	986	5.3	29.1	38.9	19.6	7.1	34.4	0.059
2-2 緑あふれる環境整備	988	6.6	31.4	41.9	15.3	4.9	38.0	0.195
2-3 良好な住宅ストックの形成	983	4.2	19.9	57.8	13.5	4.6	24.1	0.056
2-4 公共交通網の充実	993	5.0	18.4	24.6	31.5	20.4	23.5	-0.439
2-5 道路網の整備	988	6.2	23.4	26.6	31.0	12.9	29.6	-0.210
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	995	8.0	35.3	37.8	14.1	4.8	43.3	0.276
2-7 良質な水の供給・整備	996	13.9	32.1	39.8	9.7	4.5	46.0	0.411
2-8 汚水処理の推進	997	9.3	28.4	41.0	11.7	9.5	37.7	0.162
2-9 環境汚染の防止	988	6.7	23.0	56.6	9.9	3.8	29.7	0.187
2-10 自然環境・動植物の保全	990	5.4	21.6	53.6	14.9	4.4	27.0	0.085
2-11 地球温暖化防止の推進	983	3.7	15.9	59.8	14.3	6.3	19.5	-0.038
2-12 市民主体の地域社会の形成	989	3.3	22.6	57.9	12.1	3.9	26.0	0.093
2-13 市民参画の推進	986	2.9	14.7	69.7	9.5	3.1	17.6	0.048
2-14 多文化共生の推進	989	4.8	18.8	67.0	7.2	2.2	23.6	0.167
2-15 国際貢献・留学生支援	988	4.7	18.5	68.0	6.6	2.2	23.2	0.168
3-1 人権・平和行政の推進	983	3.4	18.1	67.8	8.2	2.5	21.5	0.115
3-2 保育サービスの充実	983	4.6	20.4	56.8	13.3	4.9	25.0	0.065
3-3 教育環境の整備・充実	984	5.3	26.1	49.9	14.1	4.6	31.4	0.134
3-4 学校教育の充実	981	5.9	21.6	53.4	14.1	5.0	27.5	0.094
3-5 青少年健全育成の推進	981	3.2	17.5	67.3	9.6	2.4	20.7	0.094
3-6 生涯学習活動の充実	985	3.8	22.0	62.7	9.6	1.8	25.8	0.162
3-7 芸術・文化の活性化	986	6.0	26.6	57.8	7.9	1.7	32.6	0.272
3-8 歴史・文化財の保護と活用	985	4.0	24.5	63.9	6.2	1.5	28.4	0.231
3-9 スポーツ環境の形成	986	4.8	21.9	59.9	11.0	2.4	26.7	0.156
4-1 大学や学生との交流・連携推進	980	4.5	18.0	69.2	7.1	1.2	22.4	0.173
4-2 移住・定住の促進	976	3.5	12.8	70.6	10.0	3.1	16.3	0.036
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	972	3.2	15.1	65.0	13.7	3.0	18.3	0.019
4-4 地域の景観の保全・形成	977	3.5	22.1	58.0	13.2	3.2	25.6	0.095
4-5 広域・高速交通体系の強化	980	7.2	30.8	38.6	15.8	7.6	38.1	0.144
4-6 情報通信技術の整備・活用	982	4.8	16.4	54.6	15.9	8.4	21.2	-0.066
5-1 防災の強化・推進	991	5.3	24.5	49.2	16.3	4.5	29.9	0.098
5-2 市民の安全・安心社会の形成	987	4.8	22.7	55.9	12.9	3.7	27.5	0.119
5-3 消防・救急・救助体制の強化	993	10.3	31.1	46.1	9.5	3.0	41.4	0.362
5-4 地域医療の構築	995	7.7	28.0	39.6	18.5	6.1	35.8	0.128
5-5 健康づくりの推進	990	6.1	24.9	56.1	10.2	2.7	31.0	0.214
5-6 高齢者支援の推進	993	4.2	18.4	54.6	17.8	4.9	22.7	-0.008
5-7 障害者支援の推進	985	3.4	17.6	60.6	13.4	5.1	20.9	0.007
5-8 地域福祉の形成	984	3.4	14.2	65.8	12.8	3.9	17.6	0.004
5-9 子育て支援の充実	984	5.0	17.0	56.6	14.7	6.7	22.0	-0.012
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	987	4.6	17.5	62.2	11.6	4.2	22.1	0.068
6-2 行政経営の向上	986	2.9	14.1	67.3	10.6	5.0	17.0	-0.006

※サンプル数は、総サンプル数の1,056件から無回答を除いた値。

49.210	5.0	20.9	55.2	13.9	5.0	25.8	0.068
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

表6-2 重要度集計結果

単位: %、点

施策名	サンプル数	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要では ない	重要 ではない	重要+ やや重要	重要度 得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	968	26.5	29.3	39.3	3.5	1.3	55.9	0.762
1-2 地元企業の創出・強化	957	34.6	36.8	27.1	0.9	0.6	71.4	1.038
1-3 商業・サービス業の集積・強化	957	31.2	39.2	28.4	0.7	0.4	70.4	1.001
1-4 産業集積の推進	955	27.1	35.8	33.6	2.7	0.7	62.9	0.859
1-5 農業の強化	974	36.9	33.3	27.0	2.0	0.9	70.1	1.032
1-6 森林の保全・整備	970	31.3	33.0	32.4	2.7	0.6	64.3	0.918
1-7 漁業・養殖業の推進	959	20.6	28.7	46.1	3.0	1.6	49.3	0.638
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	970	30.1	35.1	29.4	3.9	1.5	65.2	0.882
1-9 労働・雇用環境の充実	973	43.0	33.4	21.7	1.5	0.4	76.4	1.170
2-1 住みよい都市の形成	968	37.7	37.9	22.8	1.3	0.2	75.6	1.116
2-2 緑あふれる環境整備	973	31.3	39.9	25.5	3.1	0.2	71.2	0.991
2-3 良好な住宅ストックの形成	966	22.3	34.7	38.7	3.6	0.7	56.9	0.741
2-4 公共交通網の充実	978	51.1	34.9	12.0	1.4	0.6	86.0	1.345
2-5 道路網の整備	976	48.4	37.6	12.2	1.2	0.6	86.0	1.319
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	975	36.9	42.3	19.2	1.4	0.2	79.2	1.143
2-7 良質な水の供給・整備	980	48.6	34.4	16.3	0.7	0.0	83.0	1.308
2-8 汚水処理の推進	984	44.0	35.0	19.4	1.3	0.3	79.0	1.210
2-9 環境汚染の防止	975	38.3	34.5	25.6	1.4	0.2	72.7	1.091
2-10 自然環境・動植物の保全	980	33.3	38.8	25.6	2.1	0.2	72.0	1.028
2-11 地球温暖化防止の推進	976	37.2	31.4	28.2	1.9	1.3	68.5	1.011
2-12 市民主体の地域社会の形成	975	21.4	37.6	36.6	2.8	1.5	59.1	0.747
2-13 市民参画の推進	976	16.3	32.4	46.8	3.1	1.4	48.7	0.590
2-14 多文化共生の推進	980	16.5	33.7	42.7	4.8	2.3	50.2	0.572
2-15 国際貢献・留学生支援	979	16.1	34.2	42.7	4.2	2.8	50.4	0.568
3-1 人権・平和行政の推進	967	23.1	35.4	38.4	2.5	0.7	58.4	0.776
3-2 保育サービスの充実	972	39.5	32.7	26.3	1.0	0.4	72.2	1.099
3-3 教育環境の整備・充実	973	42.7	31.8	23.8	1.2	0.5	74.4	1.148
3-4 学校教育の充実	970	44.9	29.6	24.3	0.8	0.3	74.5	1.180
3-5 青少年健全育成の推進	971	31.3	32.6	34.2	1.5	0.3	64.0	0.931
3-6 生涯学習活動の充実	971	19.9	37.7	38.2	3.6	0.6	57.6	0.726
3-7 芸術・文化の活性化	973	18.0	35.0	42.3	3.5	1.1	53.0	0.653
3-8 歴史・文化財の保護と活用	971	17.6	35.9	41.4	4.1	0.9	53.6	0.652
3-9 スポーツ環境の形成	973	19.3	36.9	39.1	4.2	0.5	56.2	0.703
4-1 大学や学生との交流・連携推進	969	13.9	33.8	46.0	4.5	1.7	47.8	0.539
4-2 移住・定住の促進	965	17.4	34.3	43.3	3.8	1.1	51.7	0.630
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	959	20.1	34.5	42.1	2.6	0.6	54.6	0.709
4-4 地域の景観の保全・形成	964	19.6	37.2	39.3	2.8	1.0	56.8	0.716
4-5 広域・高速交通体系の強化	969	37.4	37.8	22.8	1.4	0.6	75.1	1.098
4-6 情報通信技術の整備・活用	970	26.7	32.0	36.2	3.3	1.9	58.7	0.784
5-1 防災の強化・推進	982	48.2	33.4	17.6	0.7	0.1	81.6	1.288
5-2 市民の安全・安心社会の形成	977	38.5	37.5	22.4	1.3	0.3	75.9	1.125
5-3 消防・救急・救助体制の強化	980	49.0	33.2	16.9	0.7	0.2	82.1	1.300
5-4 地域医療の構築	980	53.9	31.5	13.5	0.9	0.2	85.4	1.380
5-5 健康づくりの推進	979	33.4	40.2	24.7	1.3	0.3	73.6	1.051
5-6 高齢者支援の推進	981	40.7	37.1	19.2	1.9	1.1	77.8	1.143
5-7 障害者支援の推進	977	35.4	37.3	25.2	1.4	0.7	72.7	1.052
5-8 地域福祉の形成	974	30.1	35.7	31.1	1.8	1.2	65.8	0.916
5-9 子育て支援の充実	976	45.9	27.5	24.2	1.6	0.8	73.4	1.160
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	968	24.3	30.9	41.3	2.5	1.0	55.2	0.749
6-2 行政経営の向上	969	25.5	32.6	40.0	1.4	0.4	58.1	0.813

※サンプル数は、総サンプル数の1,056件から無回答を除いた値。

48.604	32.0	34.8	30.2	2.2	0.8	66.7	0.949
--------	------	------	------	-----	-----	------	-------

## ⑤ 満足度と重要度の集計

### 【満足度】

満足度は、「2-7 良質な水の供給・整備」0.411、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」0.362、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進」0.276、「3-7 芸術・文化の活性化」0.272、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」0.231、などが上位にあがっている。

一方、「2-4 公共交通網の充実」-0.439、「1-5 農業の強化」-0.298、「1-9 労働・雇用環境の充実」-0.225、「1-6 森林の保全・整備」-0.219、「2-5 道路網の整備」-0.210、などの満足度が低くなっている。

### 【重要度】

重要度は、「5-4 地域医療の構築」1.380、「2-4 公共交通網の充実」1.345、「2-5 道路網の整備」1.319、「2-7 良質な水の供給・整備」1.308、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」1.300、などが上位にあがっている。

一方、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.539、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.568、「2-14 多文化共生の推進」0.572、「2-13 市民参画の推進」0.590、「4-2 移住・定住の促進」0.630、などの重要度が低くなっている。

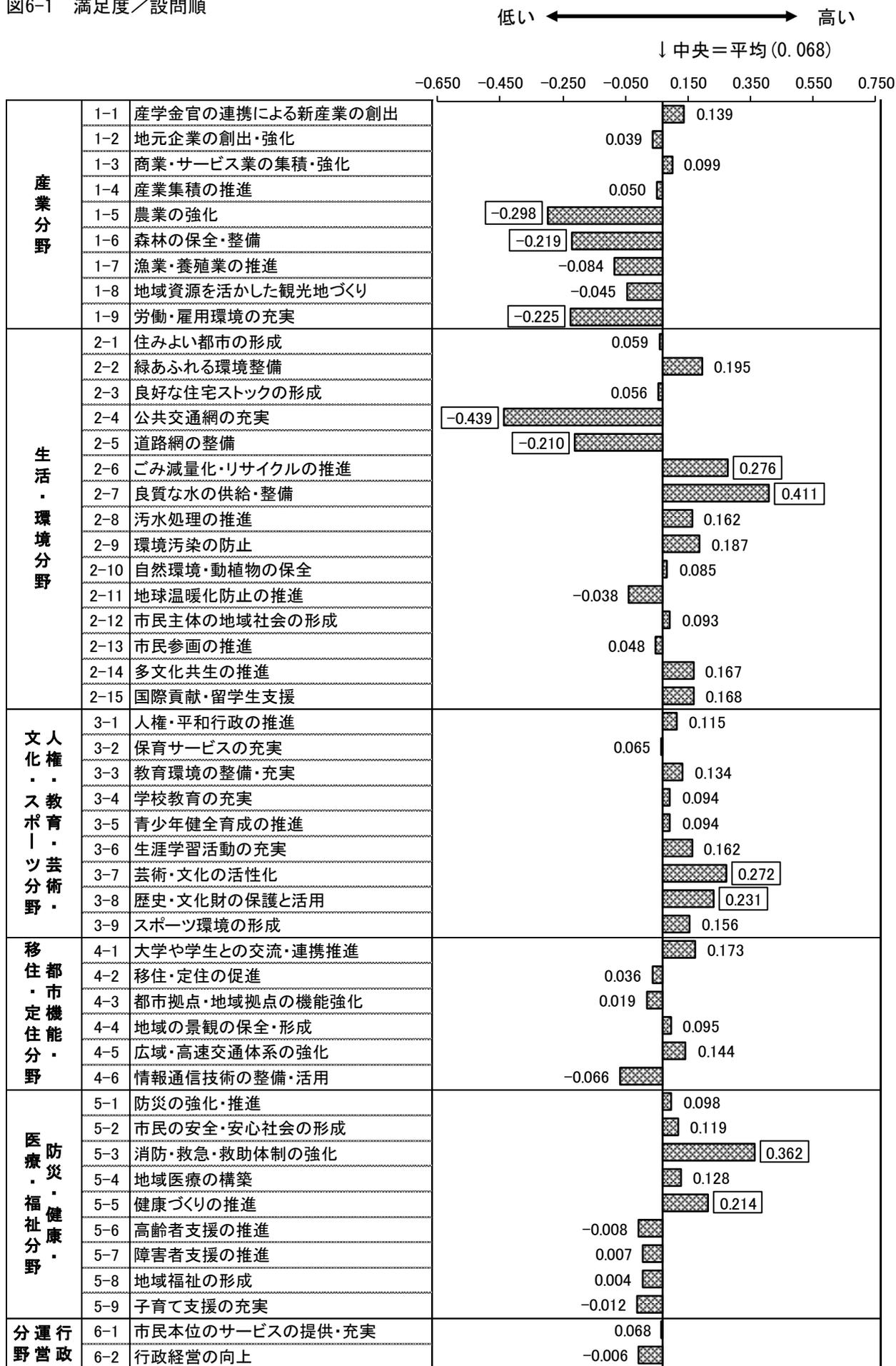
## ⑥ ニーズ度による分析 (36頁 図6-3参照)

### 【ニーズ度】

ニーズ度は、「2-4 公共交通網の充実」1.784、「2-5 道路網の整備」1.528、「1-9 労働・雇用環境の充実」1.395、「1-5 農業の強化」1.330、「5-4 地域医療の構築」1.252、などが上位にあがっている。

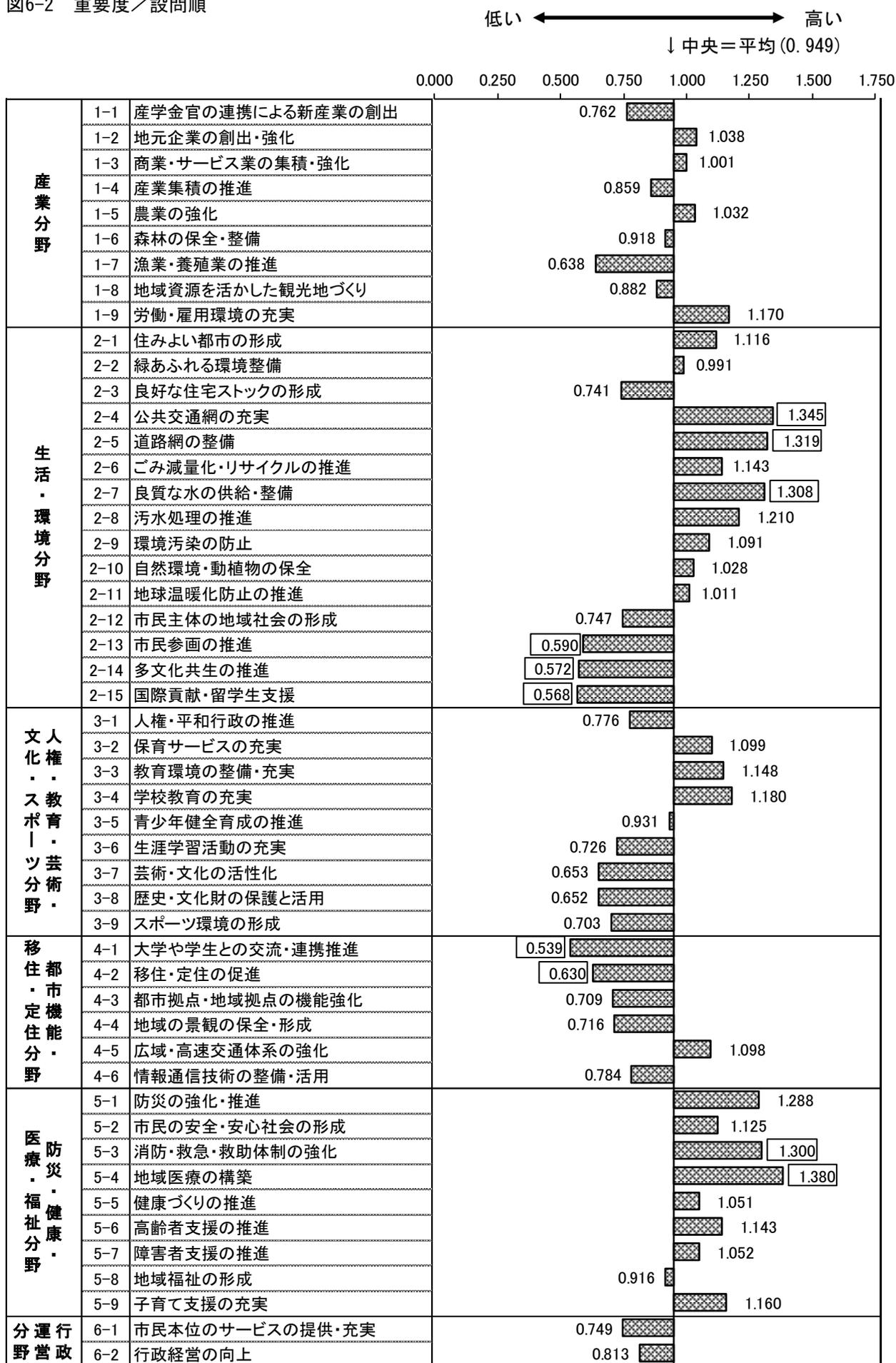
一方、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.365、「3-7 芸術・文化の活性化」0.381、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.400、「2-14 多文化共生の推進」0.406、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」0.420、などのニーズ度が低くなっている。

図6-1 満足度／設問順



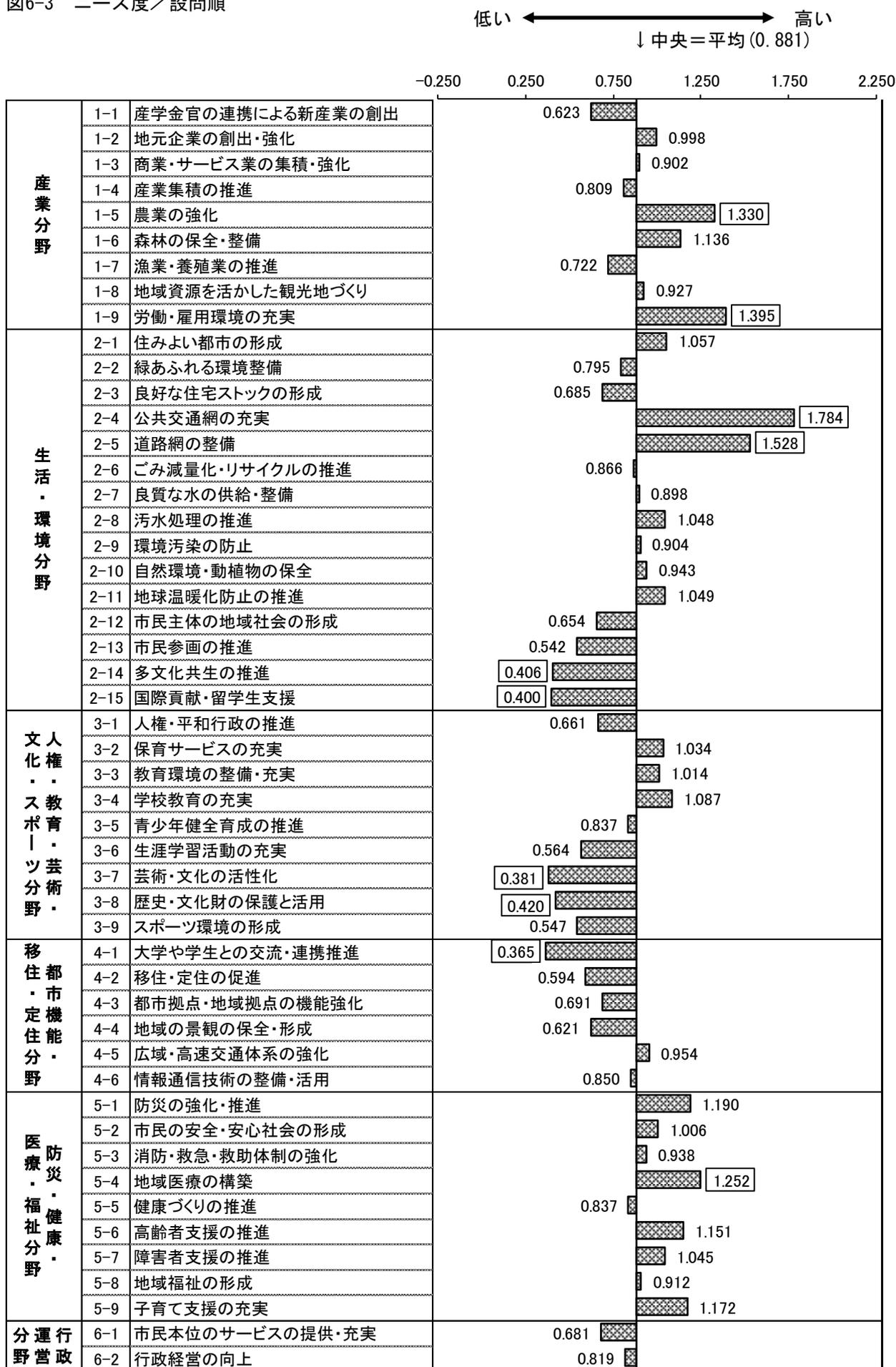
※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

図6-2 重要度／設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

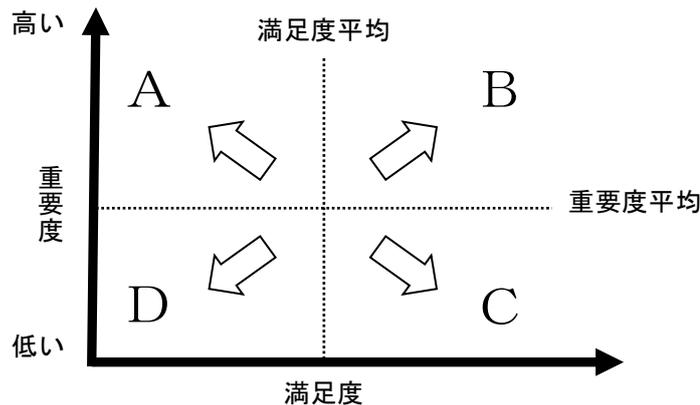
図6-3 ニーズ度／設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

## ⑦ 満足度と重要度の相関図による分析

### 【相関図による分析及び相関図の全体的な傾向】



縦軸に重要度、横軸に満足度を設定した相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、右下(C)、左下(D)の4方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

#### A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

- 「1-2 地元企業の創出・強化」、「1-5 農業の強化」、「1-9 労働・雇用環境の充実」、
- 「2-1 住みよい都市の形成」、「2-4 公共交通網の充実」、「2-5 道路網の整備」、「2-11 地球温暖化防止の推進」、
- 「3-2 保育サービスの充実」、「5-6 高齢者支援の推進」、「5-7 障害者支援の推進」、「5-9 子育て支援の充実」

#### B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

- 「1-3 商業・サービス業の集積・強化」、「2-2 緑あふれる環境整備」、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進」、
- 「2-7 良質な水の供給・整備」、「2-8 汚水処理の推進」、「2-9 環境汚染の防止」、「2-10 自然環境・動植物の保全」、
- 「3-3 教育環境の整備・充実」、「3-4 学校教育の充実」、「4-5 広域・高速交通体系の強化」、「5-1 防災の強化・推進」、
- 「5-2 市民の安全・安心社会の形成」、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」、「5-4 地域医療の構築」、
- 「5-5 健康づくりの推進」

#### C. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

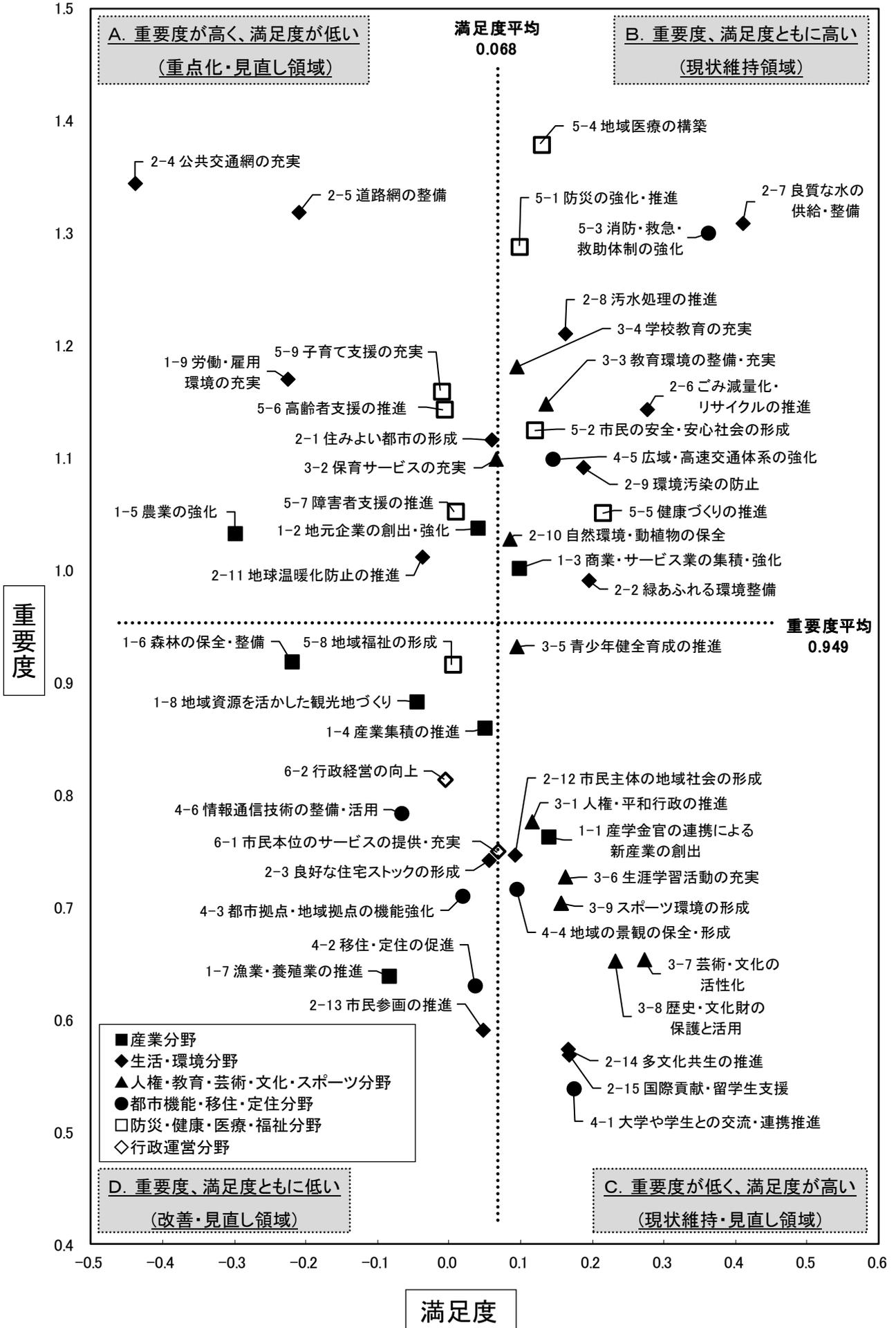
- 「1-1 産学官の連携による新産業の創出」、「2-12 市民主体の地域社会の形成」、「2-14 多文化共生の推進」、
- 「2-15 国際貢献・留学生支援」、「3-1 人権・平和行政の推進」、「3-5 青少年健全育成の推進」、
- 「3-6 生涯学習活動の充実」、「3-7 芸術・文化の活性化」、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」、
- 「3-9 スポーツ環境の形成」、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」、「4-4 地域の景観の保全・形成」、

#### D. 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再認識するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

- 「1-4 産業集積の推進」、「1-6 森林の保全・整備」、「1-7 漁業・養殖業の推進」、
- 「1-8 地域資源を活かした観光地づくり」、「2-3 良好な住宅ストックの形成」、「2-13 市民参画の推進」、
- 「4-2 移住・定住の促進」、「4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化」、「4-6 情報通信技術の整備・活用」、
- 「5-8 地域福祉の形成」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実」、「6-2 行政経営の向上」

図6-4 施策に対する満足度と重要度の相関図



## (2) 経年変化

### ① 満足度・重要度・ニーズ度の経年変化

#### 【満足度】

満足度は、50項目中50項目(全体の100%)が前回調査(令和4年度)より増加(改善)している。

特に満足度が令和4年度の値から増加している項目は、「4-5 広域・高速交通体系の強化(+0.195)」、「5-1 防災の強化・推進(+0.193)」、「2-1 住みよい都市の形成(+0.185)」、「2-5 道路網の整備(+0.154)」、「5-3 消防・救急・救助体制の強化(+0.151)」である。

一方、「5-7 障害者支援の推進(+0.028)」、「1-7 漁業・養殖業の推進(+0.039)」、「4-6 情報通信技術の整備・活用(+0.041)」、「5-8 地域福祉の形成(+0.043)」、「5-6 高齢者支援の推進(+0.050)」などは満足度は令和4年度の値から増加(改善)しているものの増加幅が小さい。

#### 【重要度】

重要度は、50項目中47項目(全体の94.0%)が前回調査(令和4年度)より増加している。

特に重要度が令和4年度の値から増加している項目は、「2-14 多文化共生の推進(+0.206)」、「2-15 国際貢献・留学生支援(+0.204)」、「2-3 良好な住宅ストックの形成(+0.148)」、「2-13 市民参画の推進(+0.146)」、「2-2 緑あふれる環境整備(+0.143)」である。

一方、「5-4 地域医療の構築(-0.010)」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実(-0.003)」、「5-1 防災の強化・推進(-0.002)」の重要度は低下している。

#### 【ニーズ度】

ニーズ度は、50項目中17項目(全体の34.0%)が前回調査(令和4年度)よりも増加している。

ニーズ度は重要度と満足度の加重平均値の差であり、ニーズ度の増加は、重要度の増加に対して相対的に満足度が低下していることを意味している。

ニーズ度の増加が高い項目の上位は、「2-15 国際貢献・留学生支援(+0.117)」、「3-1 人権・平和行政の推進(+0.078)」、「5-7 障害者支援の推進(+0.068)」、「2-14 多文化共生の推進(+0.066)」、「2-3 良好な住宅ストックの形成(+0.062)」などであり、これらの項目は特に前回調査時点と比較して重点化・見直しの優先度が高くなっている項目と言える。

一方、「5-1 防災の強化・推進(-0.194)」、「2-1 住みよい都市の形成(-0.179)」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実(-0.148)」、「4-5 広域・高速交通体系の強化(-0.141)」、「2-5 道路網の整備(-0.135)」などのニーズ度は低下している。

表6-4 令和5年度と令和4年度調査の比較表

項 目			満足度			重要度			ニーズ度		
			令和4年度	令和5年度	増減上位	令和4年度	令和5年度	増減上位	令和4年度	令和5年度	増減上位
産業分野	1-1	産学金官の連携による新産業の創出	0.051	0.139		0.729	0.762		0.679	0.623	
	1-2	地元企業の創出・強化	-0.078	0.039		0.944	1.038		1.021	0.998	
	1-3	商業・サービス業の集積・強化	-0.019	0.099		0.919	1.001		0.939	0.902	
	1-4	産業集積の推進	-0.024	0.050		0.836	0.859		0.860	0.809	
	1-5	農業の強化	-0.372	-0.298		1.016	1.032	↓5	1.388	1.330	
	1-6	森林の保全・整備	-0.279	-0.219		0.871	0.918		1.150	1.136	
	1-7	漁業・養殖業の推進	-0.123	-0.084	↓2	0.551	0.638		0.674	0.722	
	1-8	地域資源を活かした観光地づくり	-0.154	-0.045		0.847	0.882		1.001	0.927	
	1-9	労働・雇用環境の充実	-0.289	-0.225		1.143	1.170		1.433	1.395	
生活・環境分野	2-1	住みよい都市の形成	-0.126	0.059	↑3	1.110	1.116	↓4	1.236	1.057	↓2
	2-2	緑あふれる環境整備	0.088	0.195		0.848	0.991	↑5	0.759	0.795	
	2-3	良好な住宅ストックの形成	-0.031	0.056		0.593	0.741	↑3	0.623	0.685	↑5
	2-4	公共交通網の充実	-0.538	-0.439		1.276	1.345		1.814	1.784	
	2-5	道路網の整備	-0.364	-0.210	↑4	1.299	1.319		1.663	1.528	↓5
	2-6	ごみ減量化・リサイクルの推進	0.205	0.276		1.121	1.143		0.916	0.866	
	2-7	良質な水の供給・整備	0.295	0.411		1.290	1.308		0.996	0.898	
	2-8	汚水処理の推進	0.062	0.162		1.149	1.210		1.087	1.048	
	2-9	環境汚染の防止	0.108	0.187		1.048	1.091		0.940	0.904	
	2-10	自然環境・動植物の保全	0.001	0.085		0.952	1.028		0.951	0.943	
	2-11	地球温暖化防止の推進	-0.088	-0.038		0.961	1.011		1.049	1.049	
	2-12	市民主体の地域社会の形成	0.002	0.093		0.641	0.747		0.639	0.654	
	2-13	市民参画の推進	-0.043	0.048		0.444	0.590	↑4	0.487	0.542	
	2-14	多文化共生の推進	0.026	0.167		0.366	0.572	↑1	0.340	0.406	↑4
	2-15	国際貢献・留学生支援	0.081	0.168		0.364	0.568	↑2	0.283	0.400	↑1
文化・スポーツ・芸術分野	3-1	人権・平和行政の推進	0.051	0.115		0.634	0.776		0.583	0.661	↑2
	3-2	保育サービスの充実	0.012	0.065		0.995	1.099		0.983	1.034	
	3-3	教育環境の整備・充実	0.048	0.134		1.073	1.148		1.025	1.014	
	3-4	学校教育の充実	0.025	0.094		1.105	1.180		1.080	1.087	
	3-5	青少年健全育成の推進	-0.001	0.094		0.889	0.931		0.890	0.837	
	3-6	生涯学習活動の充実	0.047	0.162		0.660	0.726		0.612	0.564	
	3-7	芸術・文化の活性化	0.180	0.272		0.521	0.653		0.341	0.381	
	3-8	歴史・文化財の保護と活用	0.112	0.231		0.515	0.652		0.403	0.420	
	3-9	スポーツ環境の形成	0.066	0.156		0.610	0.703		0.544	0.547	
移住・都市機能分野	4-1	大学や学生との交流・連携推進	0.035	0.173		0.467	0.539		0.432	0.365	
	4-2	移住・定住の促進	-0.092	0.036		0.598	0.630		0.689	0.594	
	4-3	都市拠点・地域拠点の機能強化	-0.096	0.019		0.680	0.709		0.776	0.691	
	4-4	地域の景観の保全・形成	-0.004	0.095		0.623	0.716		0.626	0.621	
	4-5	広域・高速交通体系の強化	-0.051	0.144	↑1	1.043	1.098		1.095	0.954	↓4
	4-6	情報通信技術の整備・活用	-0.107	-0.066	↓3	0.754	0.784		0.860	0.850	
医療・福祉分野	5-1	防災の強化・推進	-0.095	0.098	↑2	1.290	1.288	↓3	1.384	1.190	↓1
	5-2	市民の安全・安心社会の形成	0.041	0.119		1.080	1.125		1.040	1.006	
	5-3	消防・救急・救助体制の強化	0.211	0.362	↑5	1.268	1.300		1.057	0.938	
	5-4	地域医療の構築	0.013	0.128		1.390	1.380	↓1	1.377	1.252	
	5-5	健康づくりの推進	0.116	0.214		1.006	1.051		0.890	0.837	
	5-6	高齢者支援の推進	-0.058	-0.008	↓5	1.088	1.143		1.145	1.151	
	5-7	障害者支援の推進	-0.021	0.007	↓1	0.956	1.052		0.977	1.045	↑3
	5-8	地域福祉の形成	-0.039	0.004	↓4	0.825	0.916		0.864	0.912	
	5-9	子育て支援の充実	-0.105	-0.012		1.127	1.160		1.232	1.172	
分運行野	6-1	市民本位のサービスの提供・充実	-0.077	0.068		0.752	0.749	↓2	0.829	0.681	↓3
	6-2	行政経営の向上	-0.109	-0.006		0.769	0.813		0.878	0.819	
平均			-0.030	0.068		0.881	0.949		0.911	0.881	

※表中の網掛け部分は、令和4年度調査結果を上回る(満足度が改善した、重要度・ニーズ度が増した)項目を示す。  
 ※両年度の値を比較して値が増加した上位5項目に↑、また最も減少、または増加が少なかった5項目に↓を表示している。

## 4. 男女共同参画について

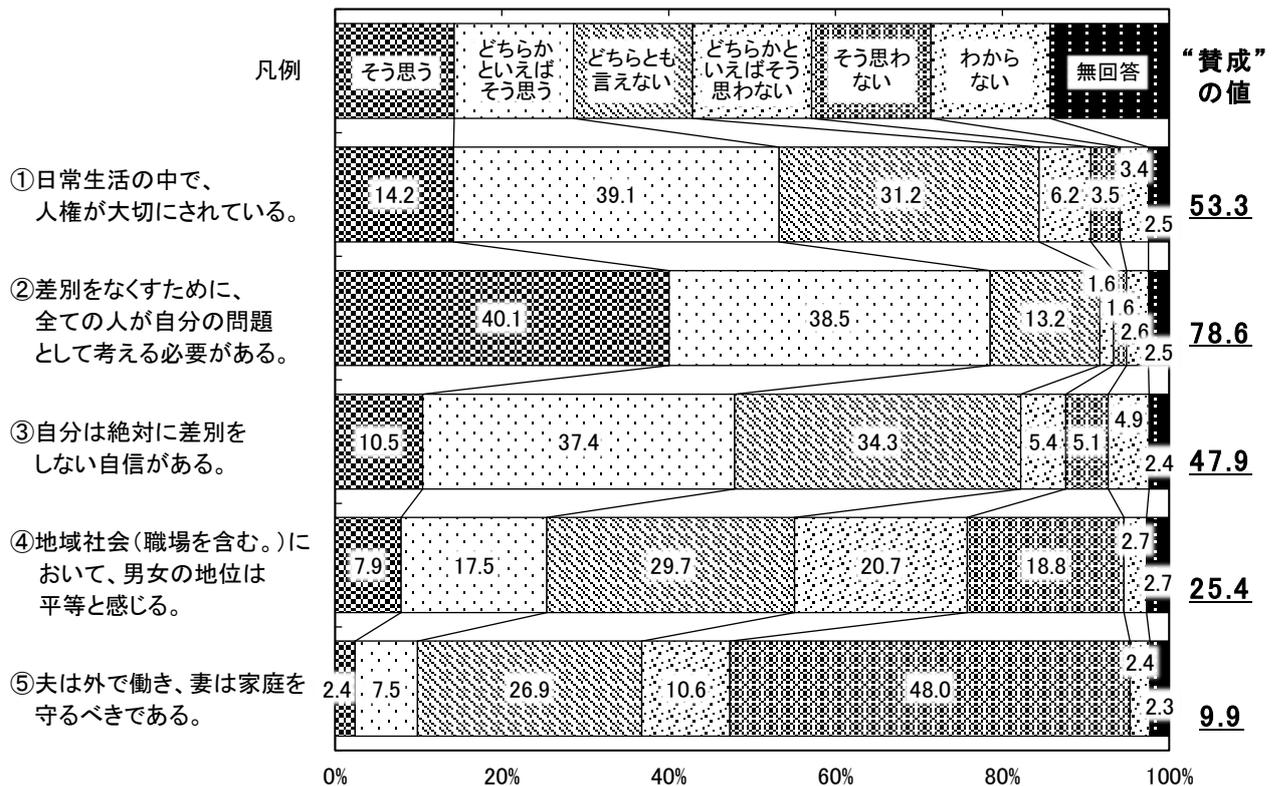
### (1) 男女共同参画について

問7 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。  
 また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。)

男女共同参画に関する各項目について“賛成”(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が高いものでは、『②差別をなくすために、全ての人々が自分の問題として考える必要がある』が78.6%と最も高く、次いで『①日常生活の中で、人権が大切にされている』が53.3%、『③自分は絶対に差別をしない自信がある』が47.9%、『④地域社会(職場を含む。)において、男女の地位は平等と感じる』が25.4%と続いている。

『⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』については「そう思わない」が48.0%と5割弱を占めており、“賛成”は9.9%であった。

図7-1 男女共同参画について [n=1,056]



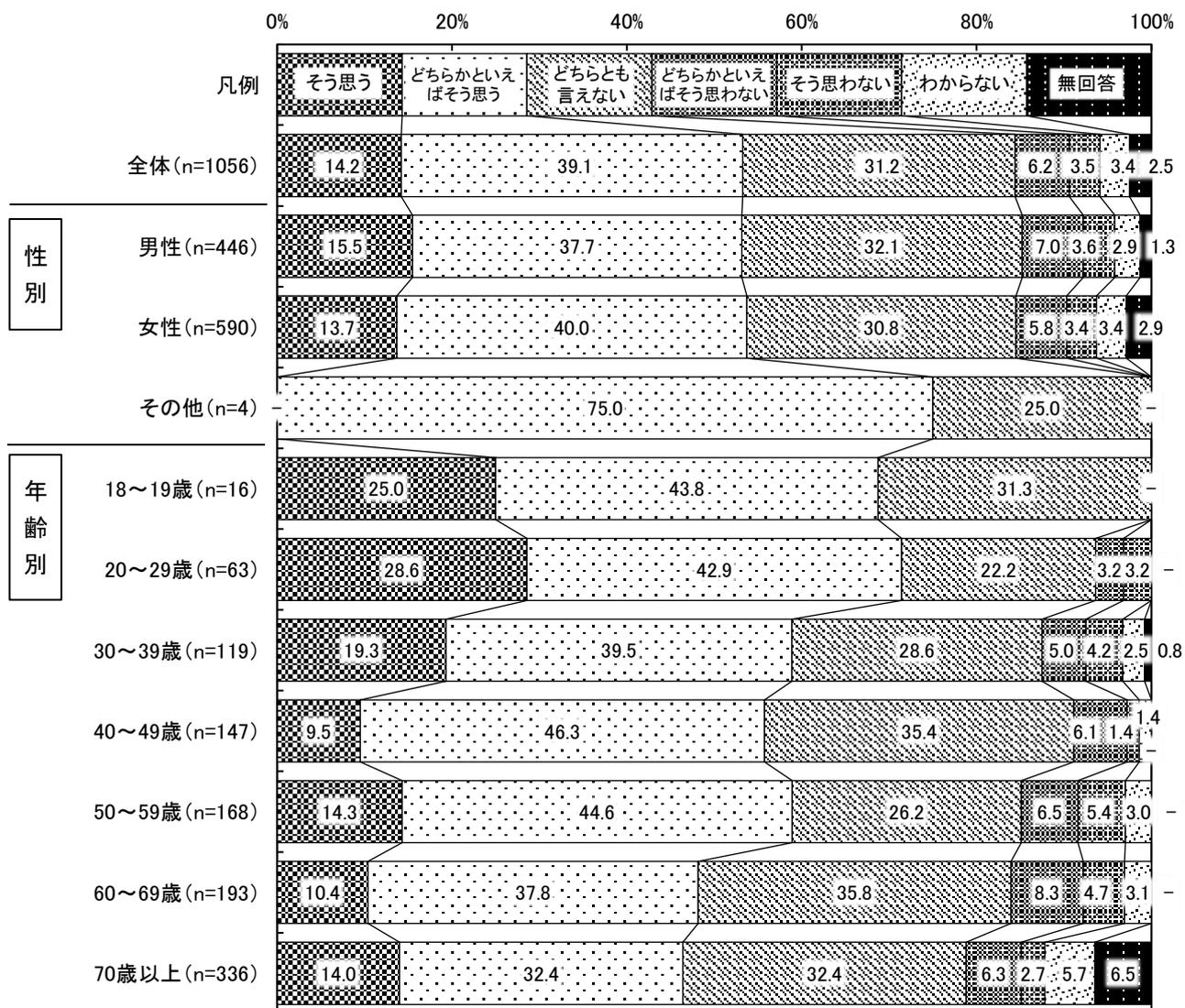
①日常生活の中で、人権が大切にされている

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「そう思う」は『20～29歳』が28.6%と14.4ポイント、『30～39歳』が19.3%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）についても『20～29歳』が71.5%と18.2ポイント全体より高くなっている。

図7-2 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／性別・年齢別

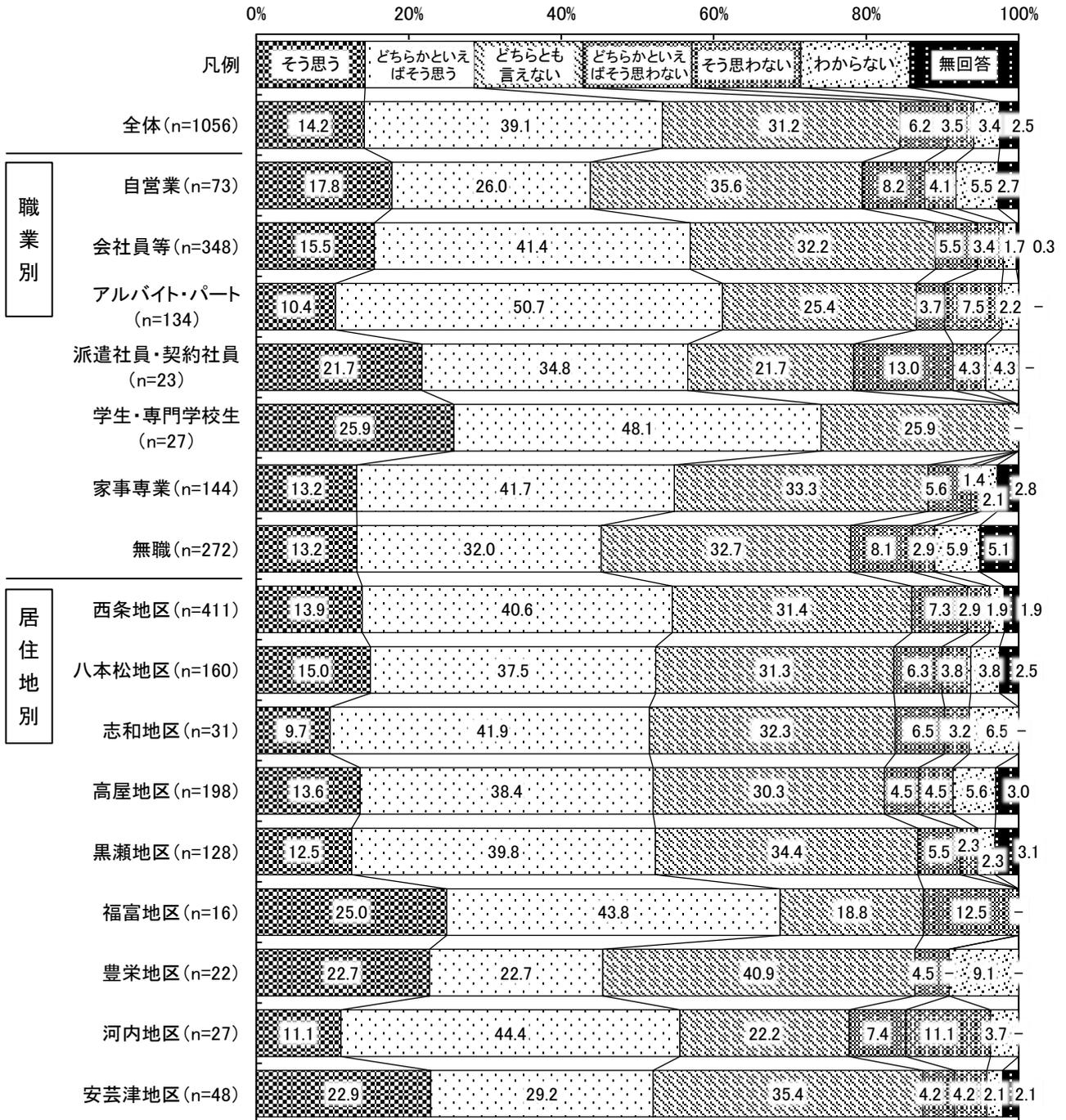


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『アルバイト・パート』が61.1%と7.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『福富地区』が68.8%と15.5ポイント全体より高い。

図7-3 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／職業別・居住地別



②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある

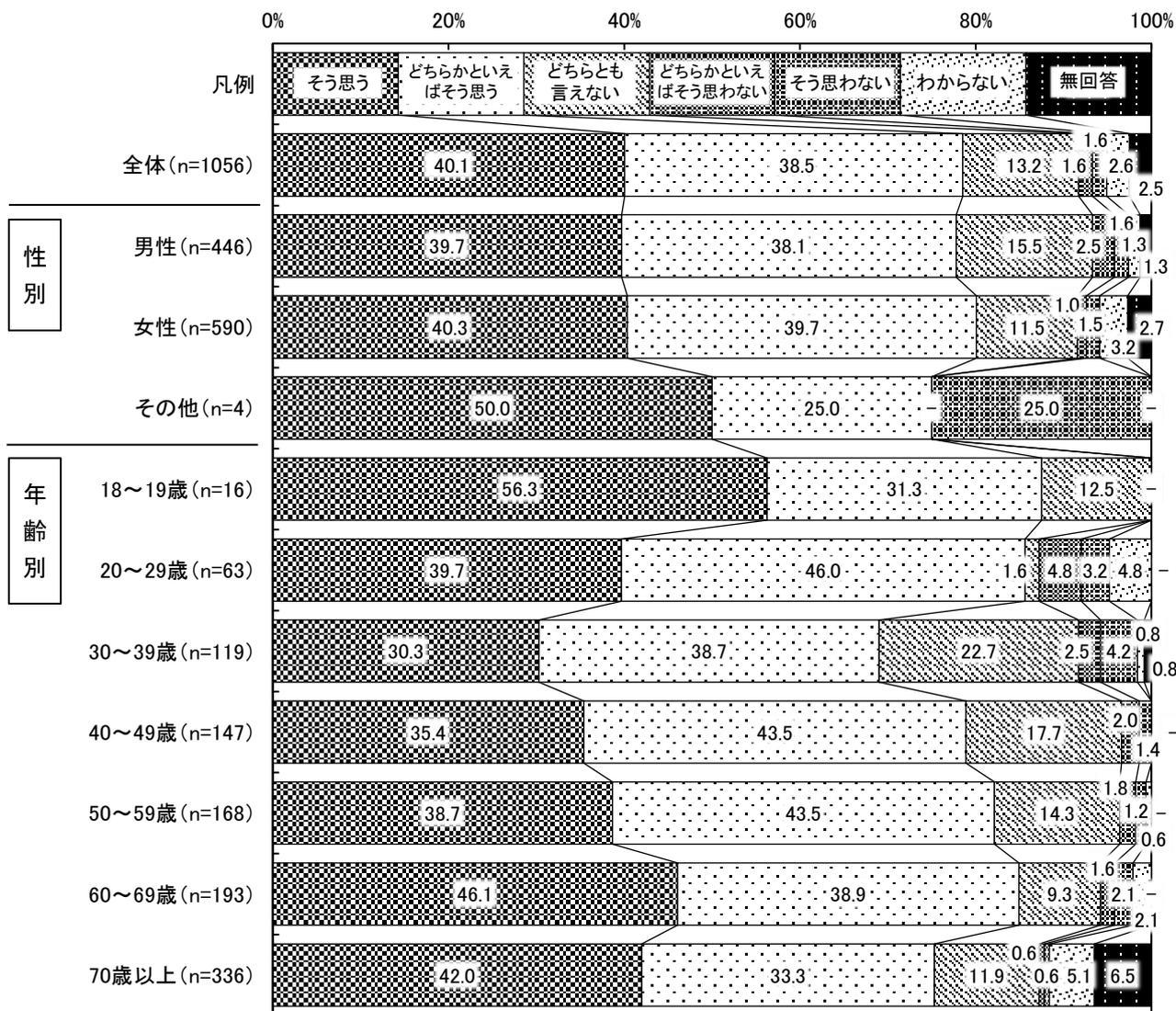
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「そう思う」は『60～69歳』が46.1%と6.0ポイント全体より高い。“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）については『20～29歳』が85.7%と7.1ポイント、『60～69歳』が85.0%と6.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-4 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／性別・年齢別



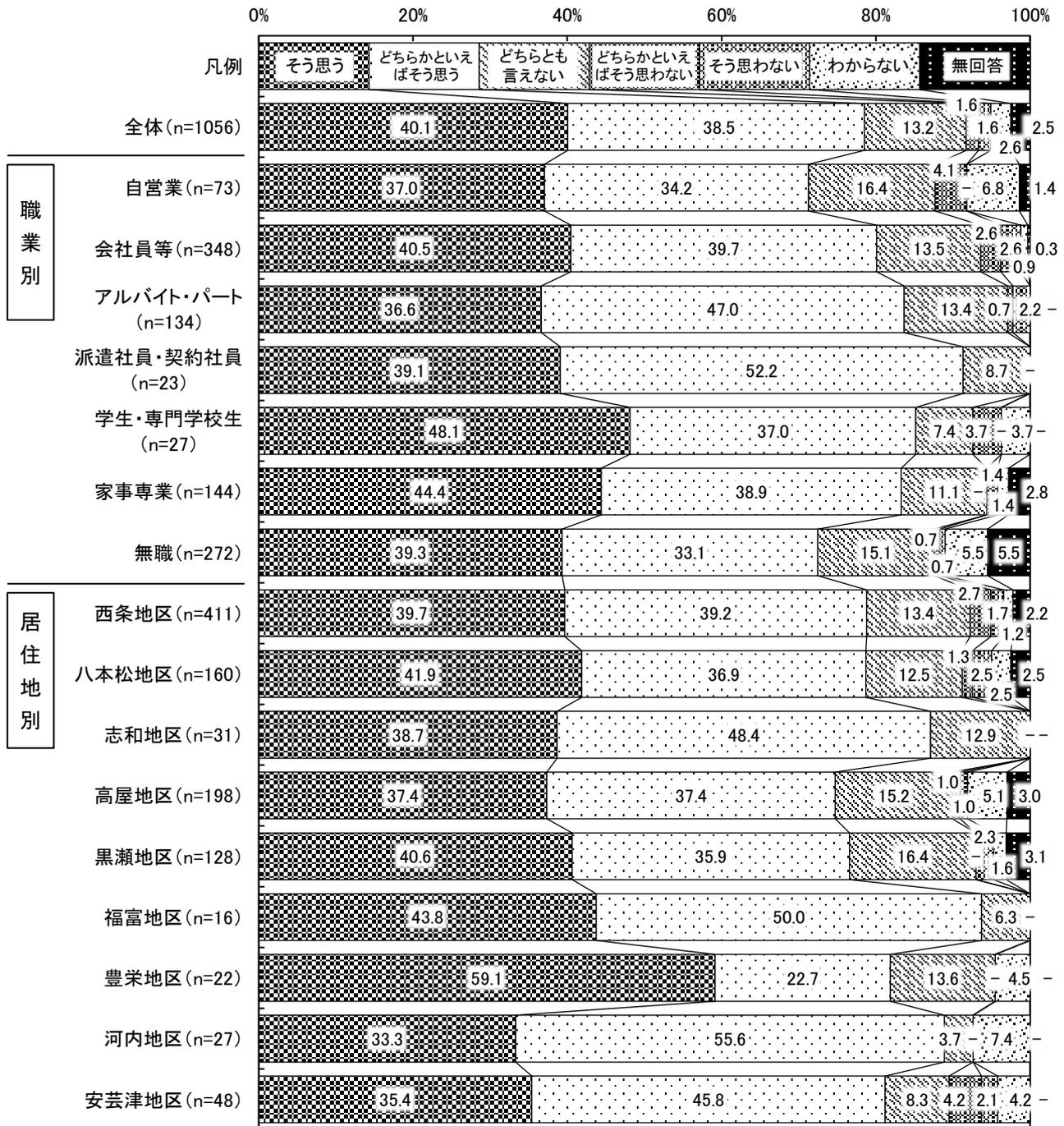
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『アルバイト・パート』が83.6%と5.0ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『福富地区』が93.8%と15.2ポイント、『河内地区』が88.9%と10.3ポイント、『志和地区』が87.1%と8.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-5 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／職業別・居住地別



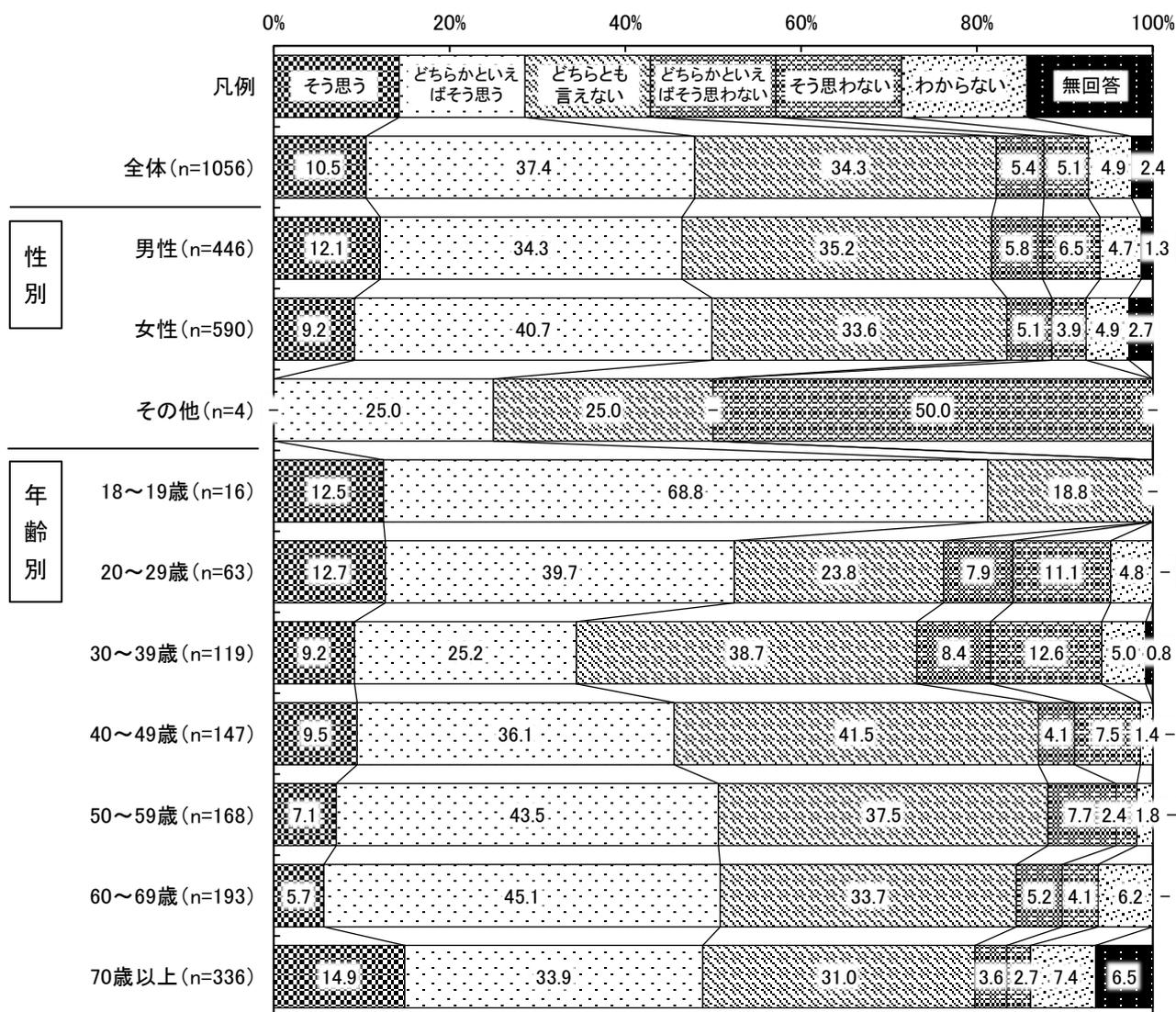
### ③自分は絶対に差別をしない自信がある

#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『30～39歳』が21.0%と10.5ポイント、『20～29歳』が19.0%と8.5ポイント、それぞれ全体より高い。

図7-6 男女共同参画について ③自分は絶対に差別をしない自信がある／性別・年齢別

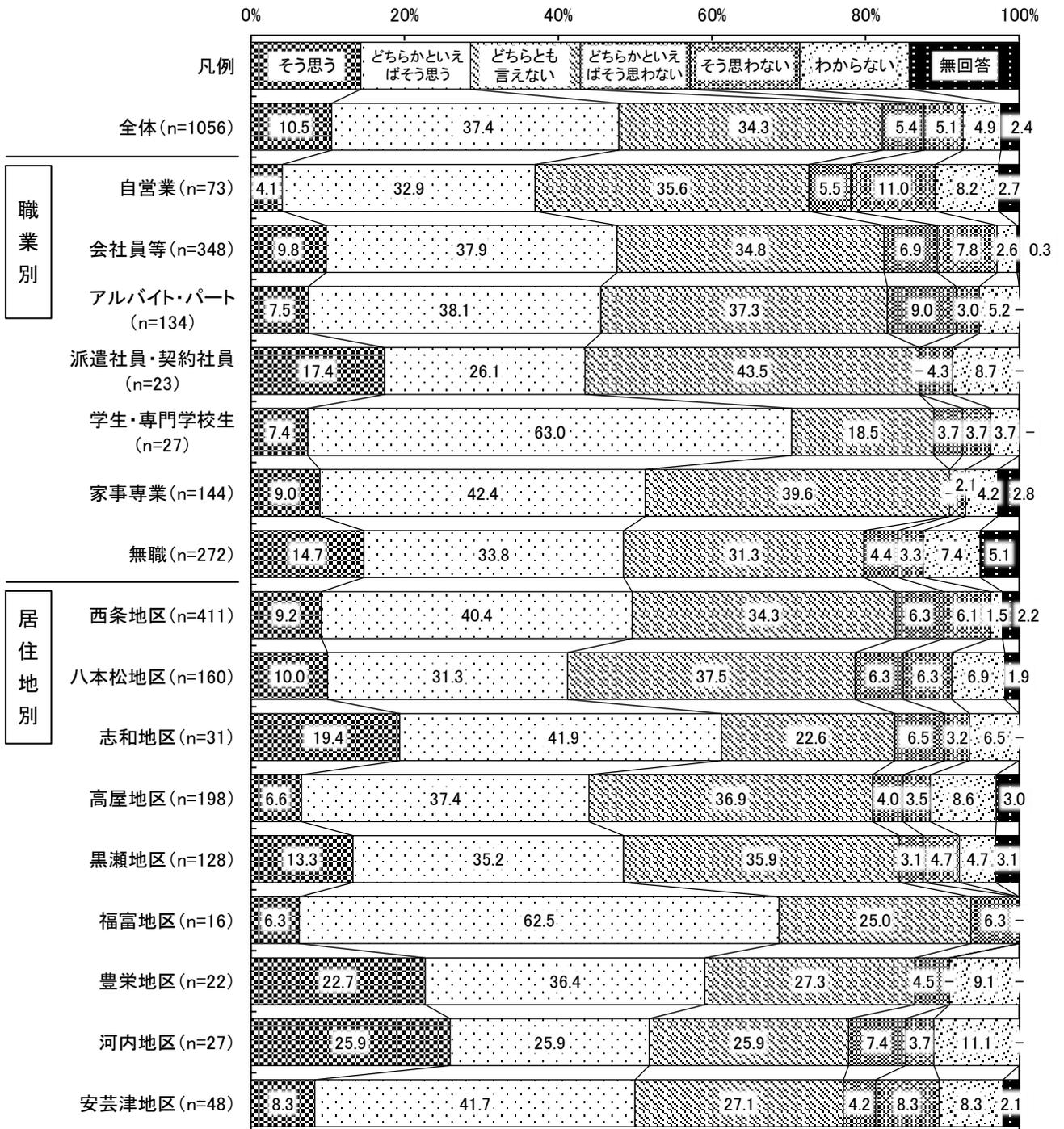


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『学生・専門学校生』が70.4%と22.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『福富地区』が68.8%と20.9ポイント、『志和地区』が61.3%と13.4ポイント、『豊栄地区』が59.1%と11.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図7-7 男女共同参画について ③自分は絶対に差別をしない自信がある／職業別・居住地別



④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等だ

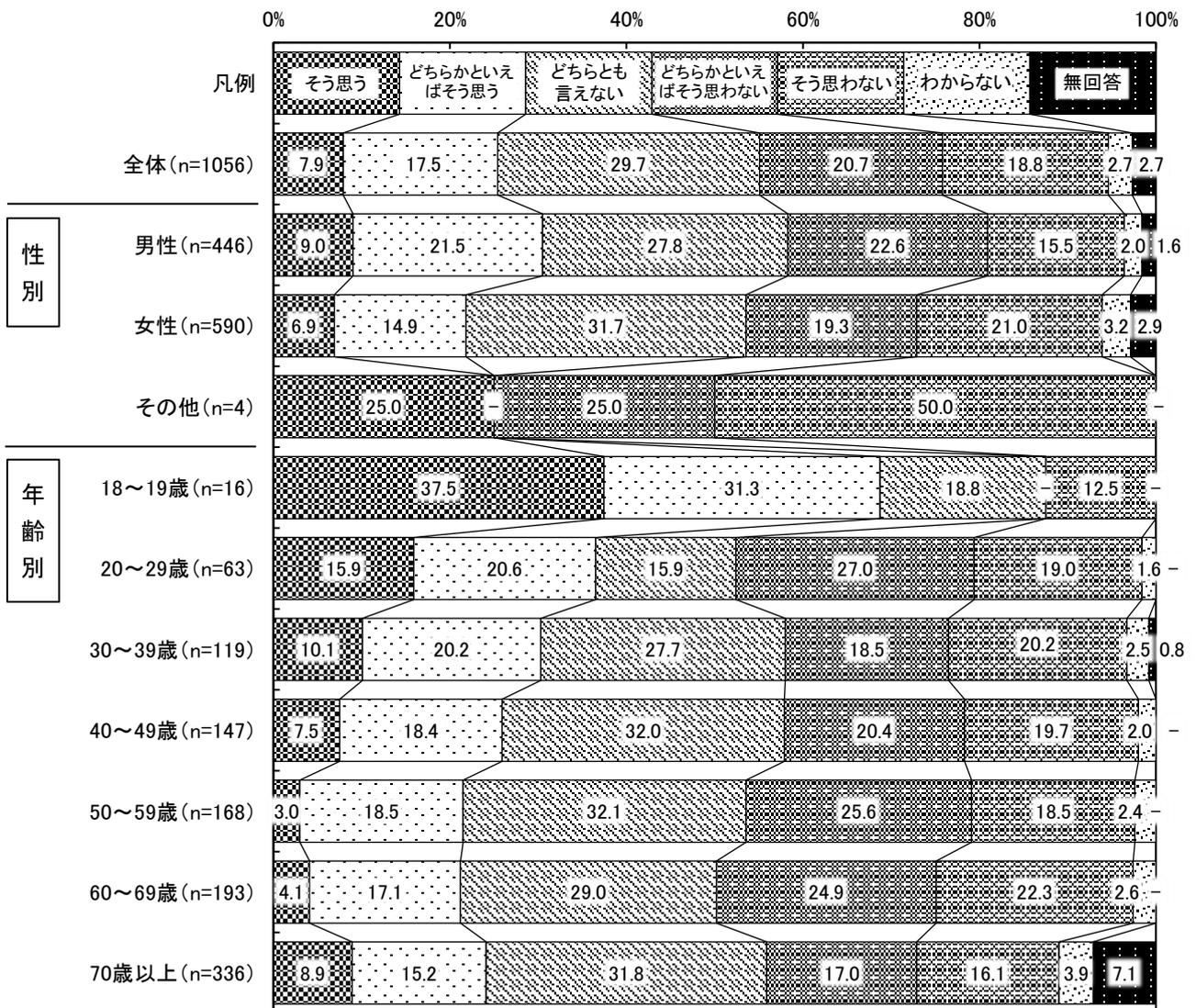
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『男性』30.5%、『女性』21.8%と、『男性』が『女性』より8.7ポイント高い。一方、「そう思わない」は『男性』15.5%、『女性』21.0%と、『女性』が『男性』より5.5ポイント高くなっている。

年齢別では、“賛成”は『20～29歳』が36.5%と11.1ポイント全体より高い。一方、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『60～69歳』が47.2%と7.7ポイント、『20～29歳』が46.0%と6.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-8 男女共同参画について

④地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等だ／性別・年齢別



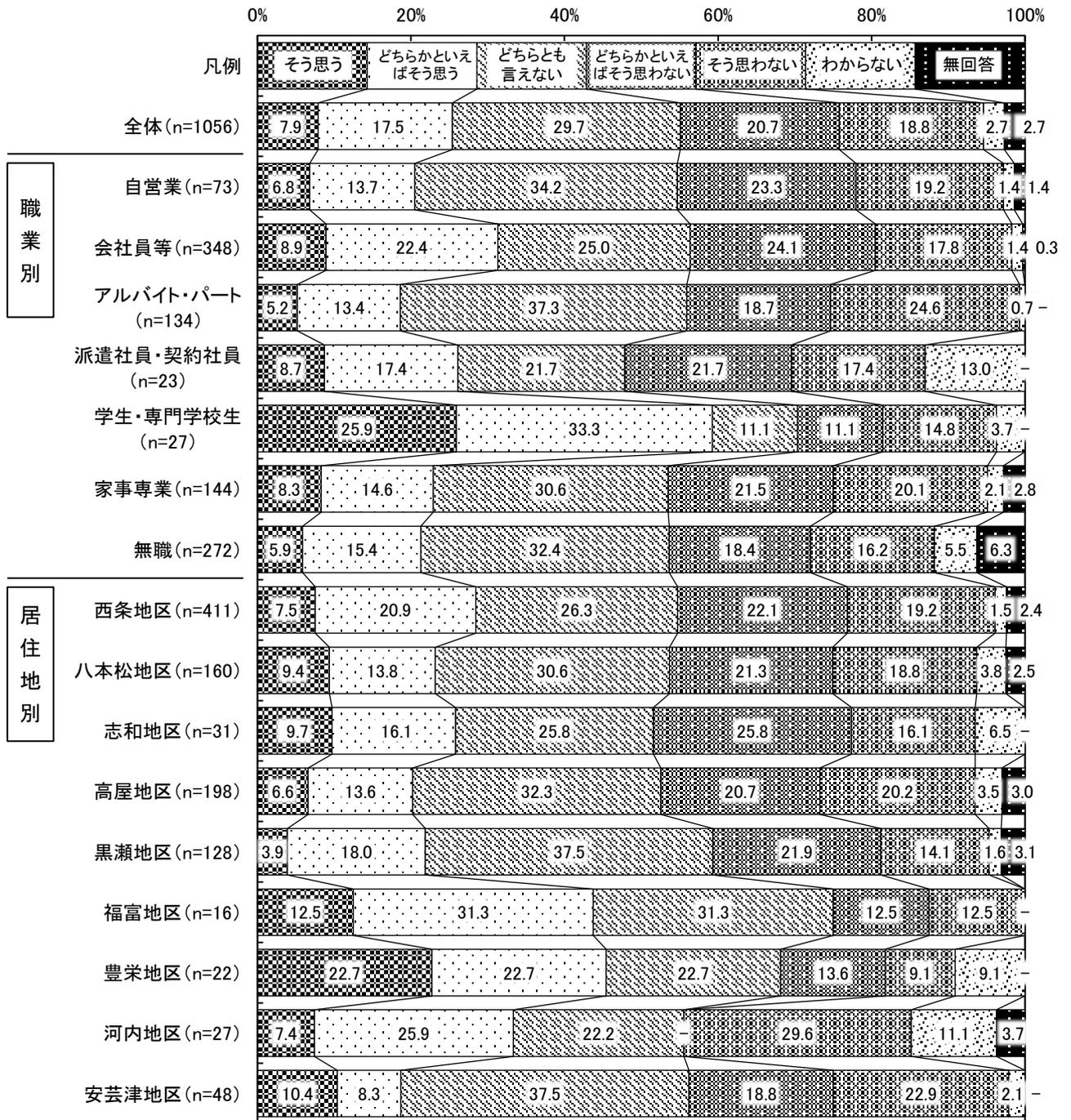
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『学生・専門学校生』が59.2%と33.8ポイント、『会社員等』が31.3%と5.9ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『豊栄地区』が45.4%と20.0ポイント、『福富地区』が43.8%と18.4ポイント、『河内地区』が33.3%と7.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-9 男女共同参画について

④地域社会（職場を含む）において、男女の地位は平等だ／職業別・居住地別



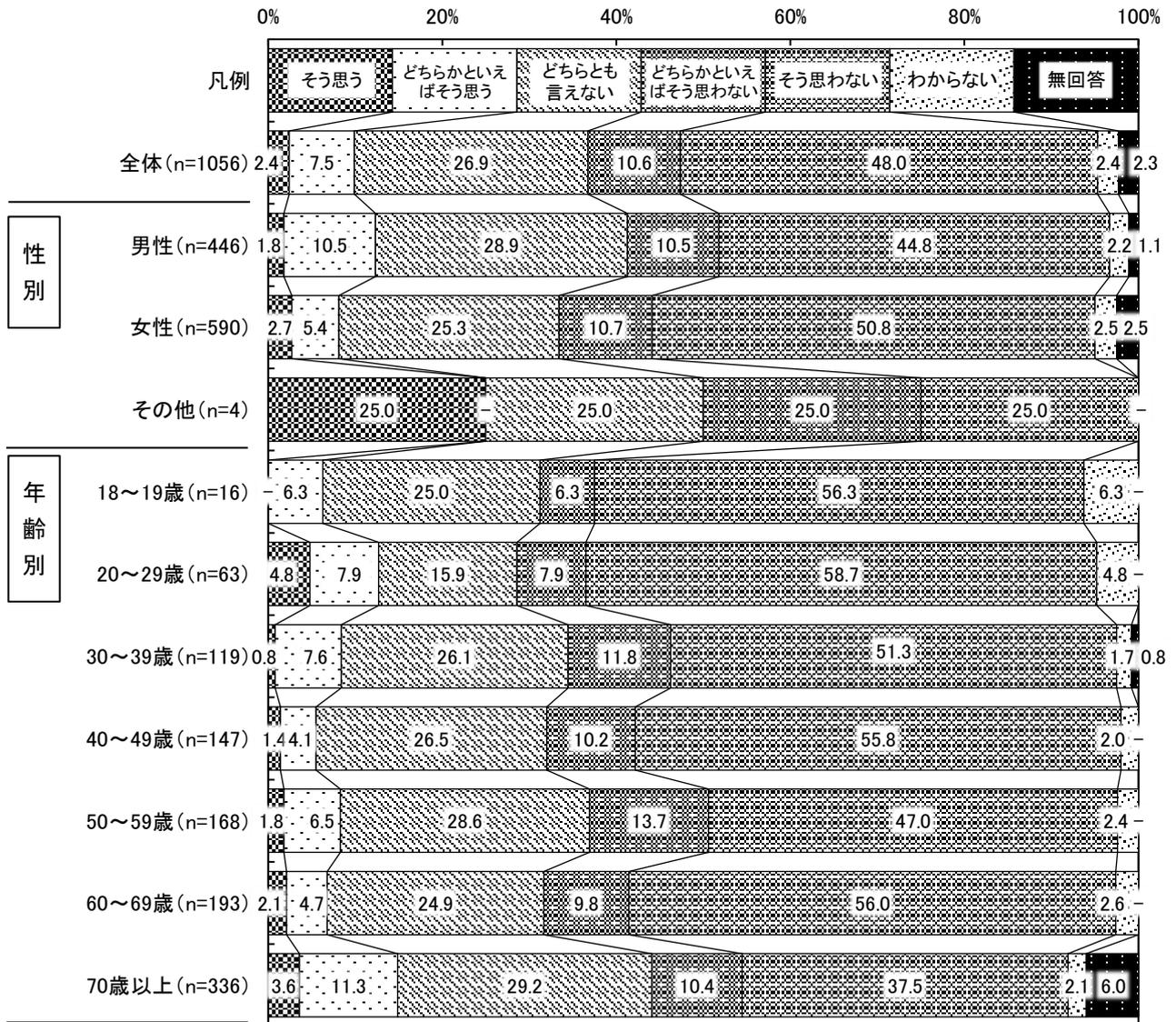
⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「そう思わない」は『男性』44.8%、『女性』50.8%と、『女性』が『男性』より6.0ポイント高い。

年齢別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『20～29歳』が66.6%と8.0ポイント、『40～49歳』が66.0%と7.4ポイント、『60～69歳』が65.8%と7.2ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『70歳以上』は47.9%と10.7ポイント全体より低く、各年齢層の中で最も低い。

図7-10 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／性別・年齢別

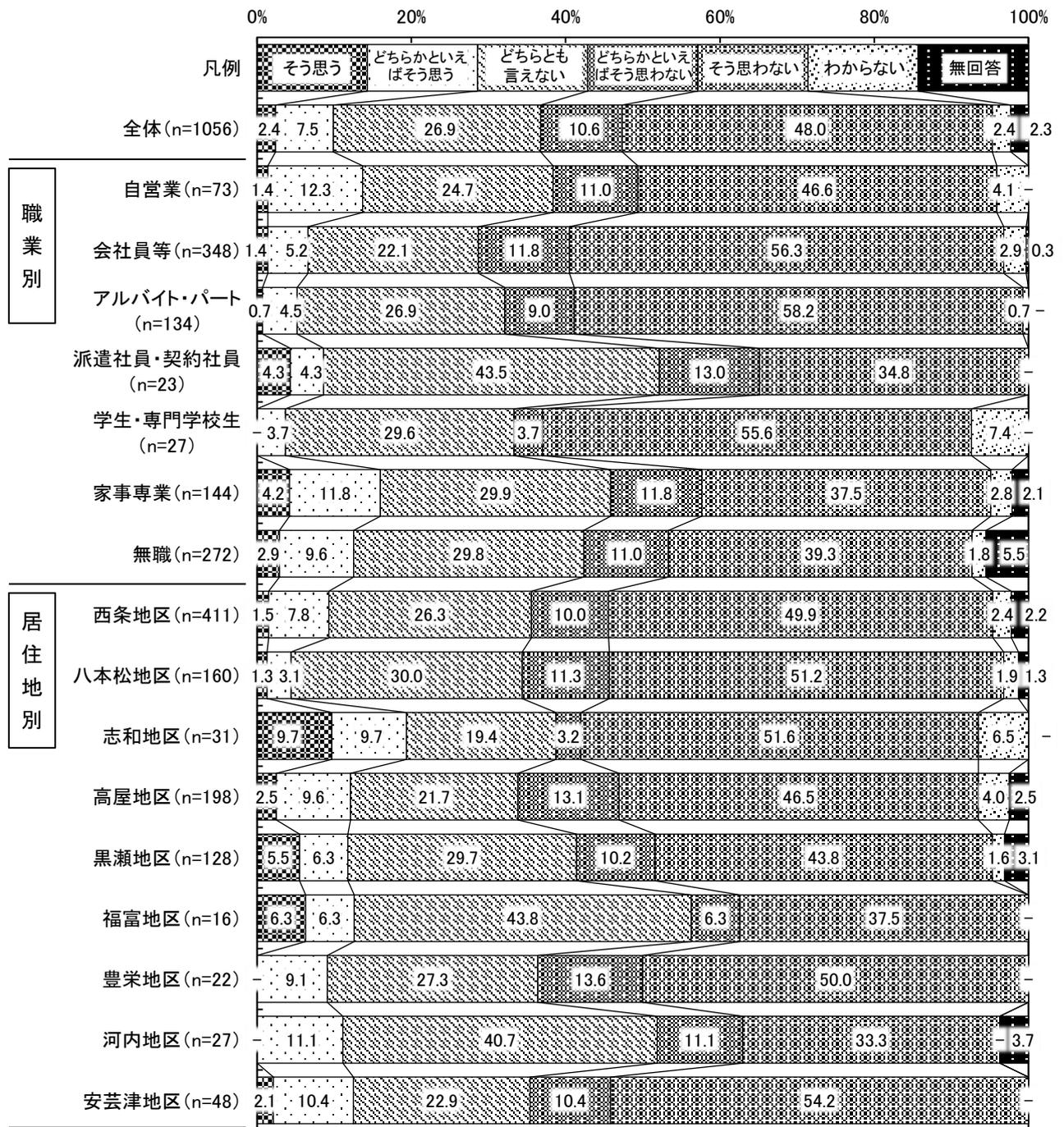


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）については、『家事専業』が16.0%と6.1ポイント全体より高く、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）については、『会社員等』が68.1%と9.5ポイント、『アルバイト・パート』が67.2%と8.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“賛成”は『志和地区』が19.4%と9.5ポイント全体より高い。

図7-11 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／職業別・居住地別



## 5. 「多文化共生のまちづくり」について

### (1) 多文化共生のまちづくりの必要性

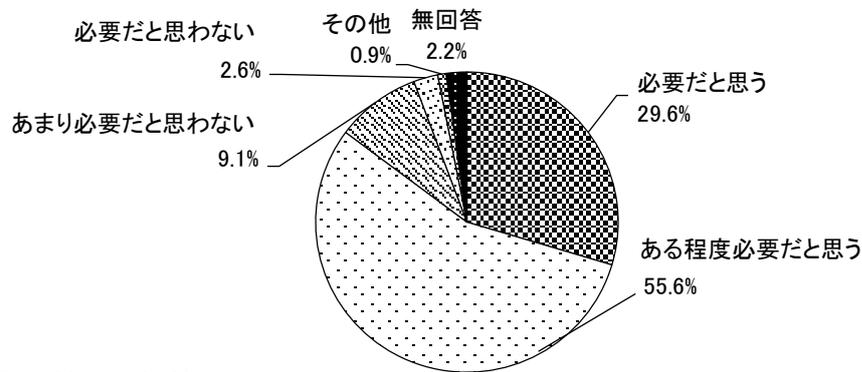
問8 あなたは、多文化共生のまちづくりが必要だと思いますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

多文化共生のまちづくりが必要だと思うかについては、「必要だと思う」が29.6%、「ある程度必要だと思う」が55.6%で、“必要”（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）は、85.2%と8割以上を占める。

「あまり必要だと思わない」は9.1%、「必要だと思わない」は2.6%で、“不要”（「必要だと思わない」と「あまり必要だと思わない」の合計）は、11.7%であった。

図8-1 多文化共生のまちづくりの必要性 [n=1,056]

単位：%

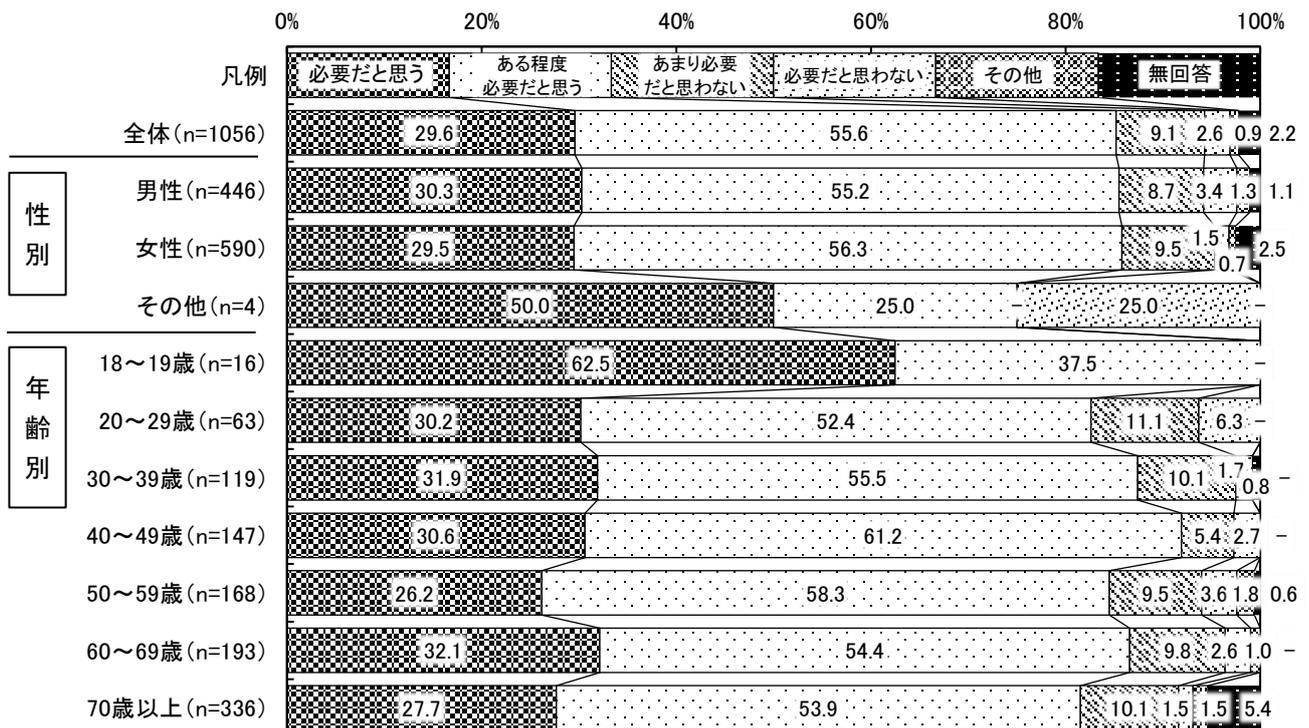


#### 【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“必要”（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）は『40～49歳』が91.8%と6.6ポイント全体より高い。

図8-2 多文化共生のまちづくりの必要性／性別・年齢別

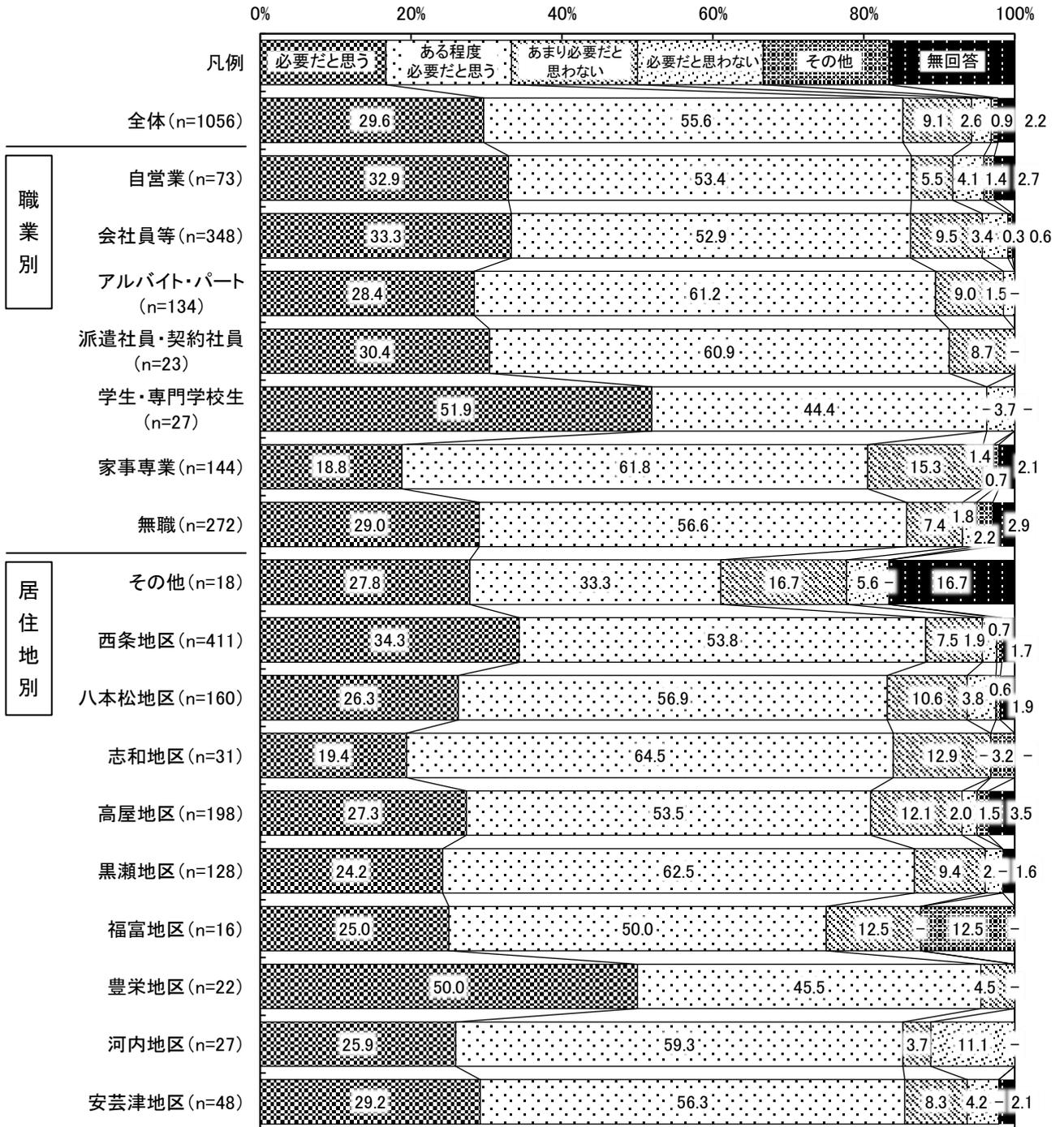


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、顕著な差はない。

居住地別では、“必要”（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）は『豊栄地区』が95.5%と10.3ポイント全体より高い。

表8-3 多文化共生のまちづくりの必要性／職業別・居住地別

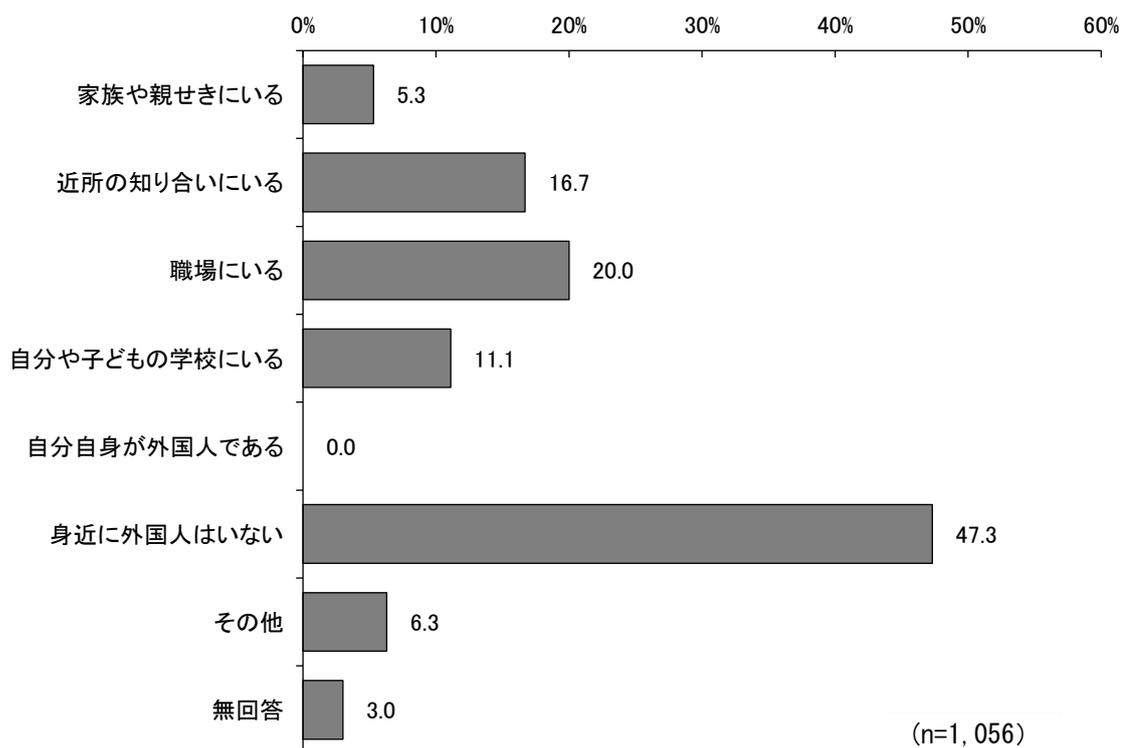


(2) 身近な外国人の有無

問9 あなたの身近に外国人はいますか。  
 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

身近に外国人がいるかについては、「身近に外国人はいない」47.3%と最も高く、次いで「職場にいる」が20.0%、「近所の知り合いにいる」が16.7%、「自分や子どもの学校にいる」が11.1%、「家族や親せきにいる」が5.3%となっている。

図9-1 身近な外国人の有無 [n=1,056]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「職場にいる」は『男性』23.5%、『女性』17.5%と『男性』が『女性』より6.0ポイント高い。

表9-1 身近な外国人の有無／性別

単位：%

		家族や親せきにいる	近所の知り合いにいる	職場にいる	自分や子どもの学校にいる	自分自身が外国人である	身近に外国人はいない	その他	無回答
全体(n=1056)		5.3	16.7	20.0	11.1	-	47.3	6.3	3.0
性別	男性(n=446)	5.6	18.2	23.5	11.0	-	<b>46.6</b>	5.4	2.0
	女性(n=590)	4.9	15.3	17.5	10.7	-	<b>48.5</b>	6.6	3.6
	その他(n=4)	-	-	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「職場にいる」は『30～39歳』が17.8ポイント、『20～29歳』が13.3ポイント、『40～49歳』が12.0ポイント、『50～59歳』が7.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「自分や子どもの学校にいる」は『40～49歳』が19.5ポイント、『30～39歳』が13.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「身近に外国人はいない」は『70歳以上』が59.5%と12.2ポイント全体より高い。

職業別では、「近所の知り合いにいる」は『自営業』が8.0ポイント全体より高い。「職場にいる」が『会社員等』が21.1ポイント、『アルバイト・パート』が9.1ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「近所の知り合いにいる」は『福富地区』が20.8ポイント、『豊栄地区』が19.7ポイント、それぞれ全体より高い。「身近に外国人はいない」は『河内地区』が26.8ポイント全体より高くなっている。

表9-2 身近な外国人の有無／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		家族や親せきにいる	近所の知り合いにいる	職場にいる	自分や子どもの学校にいる	自分自身が外国人である	身近に外国人はいない	その他	無回答
全体(n=1056)		5.3	16.7	20.0	11.1	-	47.3	6.3	3.0
年齢別	18～19歳(n=16)	-	12.5	-	31.3	-	50.0	6.3	-
	20～29歳(n=63)	4.8	17.5	33.3	7.9	-	41.3	4.8	-
	30～39歳(n=119)	3.4	19.3	37.8	24.4	-	30.3	2.5	-
	40～49歳(n=147)	4.8	14.3	32.0	30.6	-	34.7	2.7	-
	50～59歳(n=168)	2.4	19.0	27.4	7.7	-	48.2	4.2	0.6
	60～69歳(n=193)	6.7	18.7	19.2	5.7	-	49.2	7.3	2.1
	70歳以上(n=336)	6.5	14.0	4.2	2.1	-	59.5	9.5	7.4
職業別	自営業(n=73)	5.5	24.7	6.8	9.6	-	46.6	13.7	2.7
	会社員等(n=348)	4.9	17.5	41.1	15.2	-	33.3	3.4	0.6
	アルバイト・パート(n=134)	5.2	14.9	29.1	13.4	-	45.5	4.5	-
	派遣社員・契約社員(n=23)	4.3	21.7	47.8	8.7	-	39.1	-	-
	学生・専門学校生(n=27)	-	11.1	7.4	33.3	-	51.9	3.7	-
	家事専業(n=144)	2.1	18.1	2.8	11.8	-	57.6	7.6	3.5
	無職(n=272)	6.6	13.6	1.5	3.7	-	62.5	8.1	6.6
居住地別	西条地区(n=411)	5.4	18.2	22.6	16.5	-	42.1	6.3	2.4
	八本松地区(n=160)	5.6	12.5	19.4	10.6	-	50.6	7.5	1.9
	志和地区(n=31)	3.2	12.9	16.1	12.9	-	51.6	12.9	-
	高屋地区(n=198)	5.6	16.2	19.7	8.6	-	48.5	6.1	3.0
	黒瀬地区(n=128)	5.5	12.5	17.2	5.5	-	54.7	5.5	3.9
	福富地区(n=16)	6.3	37.5	12.5	6.3	-	56.3	-	-
	豊栄地区(n=22)	13.6	36.4	13.6	-	-	36.4	-	4.5
	河内地区(n=27)	-	3.7	18.5	-	-	74.1	3.7	3.7
	安芸津地区(n=48)	-	20.8	20.8	4.2	-	45.8	4.2	8.3

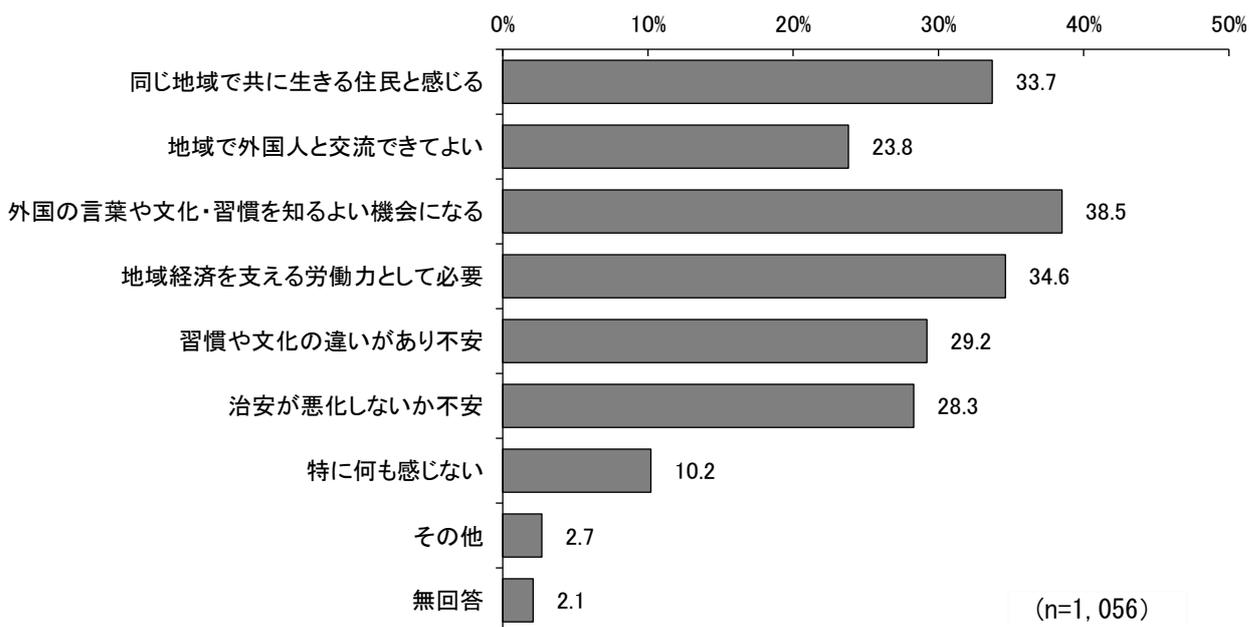
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別のサンプル数が20未満はしない。

(3) 東広島市に暮らす外国人についての考え

問10 市内には8,000人を超える外国人が暮らしています。そのことについてどう思いますか。  
 (主なものを3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に暮らす外国人についてどう思うかについては、「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」が38.5%と最も高く、次いで「地域経済を支える労働力として必要」が34.6%、「同じ地域で共に生きる住民と感じる」が33.7%と高い。一方、「習慣や文化の違いがあり不安」が29.2%、「治安が悪化しないか不安」が28.3%と3割弱が不安も感じている。

図10-1 東広島市に暮らす外国人についての考え [n=1,056]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では「地域経済を支える労働力として必要」は、『男性』40.4%、『女性』30.5%と『男性』が『女性』より9.9ポイント高い。

表10-1 東広島市に暮らす外国人についての考え／性別

単位：%

		同じ地域で共に生きる住民と感じる	地域で外国人と交流できてよい	外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる	地域経済を支える労働力として必要	習慣や文化の違いがあり不安	治安が悪化しないか不安	特に何も感じない	その他	無回答
全体(n=1056)		33.7	23.8	38.5	34.6	29.2	28.3	10.2	2.7	2.1
性別	男性(n=446)	33.0	24.0	37.7	<b>40.4</b>	30.0	30.5	11.2	2.2	0.9
	女性(n=590)	34.4	24.1	<b>39.7</b>	30.5	27.8	26.4	9.5	3.1	2.9
	その他(n=4)	50.0	-	25.0	25.0	75.0	25.0	-	25.0	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「同じ地域で共に生きる住民と感じる」は『20～29歳』が12.3ポイント全体より高い。「地域経済を支える労働力として必要」は、『70歳以上』が5.3ポイント、「習慣や文化の違いがあり不安」は『50～59歳』が6.5ポイント、『治安が悪化しないか不安』は『40～49歳』が5.0ポイント、『50～59歳』が6.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

職業別では、「習慣や文化の違いがあり不安」は『自営業』が6.4ポイント全体より高い。

居住地別では、「同じ地域で共に生きる住民と感じる」は『福富地区』が10.1ポイント、『西条地区』が7.2ポイント、それぞれ全体より高い。「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」は『西条地区』が6.0ポイント、「地域経済を支える労働力として必要」は『志和地区』が10.6ポイント、『安芸津地区』が15.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表10-2 東広島市に暮らす外国人についての考え／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		同じ地域で共に生きる住民と感じる	地域で外国人と交流できてよい	外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる	地域経済を支える労働力として必要	習慣や文化の違いがあり不安	治安が悪化しないか不安	特に何も感じない	その他	無回答
全体(n=1056)		33.7	23.8	38.5	34.6	29.2	28.3	10.2	2.7	2.1
年齢別	18～19歳(n=16)	31.3	43.8	56.3	12.5	18.8	18.8	12.5	-	-
	20～29歳(n=63)	<b>46.0</b>	27.0	42.9	34.9	23.8	15.9	11.1	3.2	-
	30～39歳(n=119)	36.1	24.4	<b>42.0</b>	29.4	31.1	26.9	10.1	2.5	-
	40～49歳(n=147)	35.4	27.9	<b>42.2</b>	38.8	32.7	<b>33.3</b>	6.1	2.0	0.7
	50～59歳(n=168)	32.1	20.8	<b>41.7</b>	31.0	<b>35.7</b>	<b>34.5</b>	8.3	2.4	1.2
	60～69歳(n=193)	35.2	22.3	<b>42.0</b>	30.6	29.0	29.0	9.8	2.1	1.0
	70歳以上(n=336)	30.1	23.2	31.0	<b>39.9</b>	25.0	25.6	13.1	3.9	4.8
職業別	自営業(n=73)	<b>35.6</b>	16.4	34.2	30.1	<b>35.6</b>	31.5	5.5	5.5	1.4
	会社員等(n=348)	35.9	26.1	<b>41.7</b>	38.5	31.6	28.7	8.0	2.3	0.6
	アルバイト・パート(n=134)	34.3	20.9	<b>38.8</b>	24.6	29.1	28.4	12.7	4.5	0.7
	派遣社員・契約社員(n=23)	<b>47.8</b>	30.4	39.1	43.5	21.7	21.7	8.7	-	-
	学生・専門学校生(n=27)	37.0	37.0	<b>55.6</b>	14.8	18.5	14.8	14.8	-	-
	家事専業(n=144)	32.6	25.0	<b>40.3</b>	29.9	31.3	29.2	9.0	2.1	2.8
	無職(n=272)	29.0	21.7	34.2	<b>39.3</b>	23.9	27.6	14.0	2.2	4.4
居住地別	西条地区(n=411)	40.9	25.8	<b>44.5</b>	28.5	30.2	28.5	8.8	3.2	1.2
	八本松地区(n=160)	30.0	18.8	32.5	<b>42.5</b>	38.1	33.1	11.3	4.4	1.9
	志和地区(n=31)	32.3	16.1	41.9	<b>45.2</b>	35.5	35.5	9.7	3.2	-
	高屋地区(n=198)	33.8	27.8	<b>41.9</b>	31.3	23.7	24.7	11.1	1.0	2.0
	黒瀬地区(n=128)	21.9	23.4	34.4	<b>43.8</b>	25.0	24.2	11.7	2.3	2.3
	福富地区(n=16)	<b>43.8</b>	25.0	18.8	25.0	25.0	25.0	18.8	-	-
	豊栄地区(n=22)	<b>36.4</b>	22.7	31.8	<b>36.4</b>	22.7	4.5	9.1	-	9.1
	河内地区(n=27)	14.8	18.5	<b>33.3</b>	22.2	14.8	25.9	<b>29.6</b>	3.7	7.4
	安芸津地区(n=48)	22.9	18.8	20.8	<b>50.0</b>	31.3	37.5	2.1	4.2	4.2

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

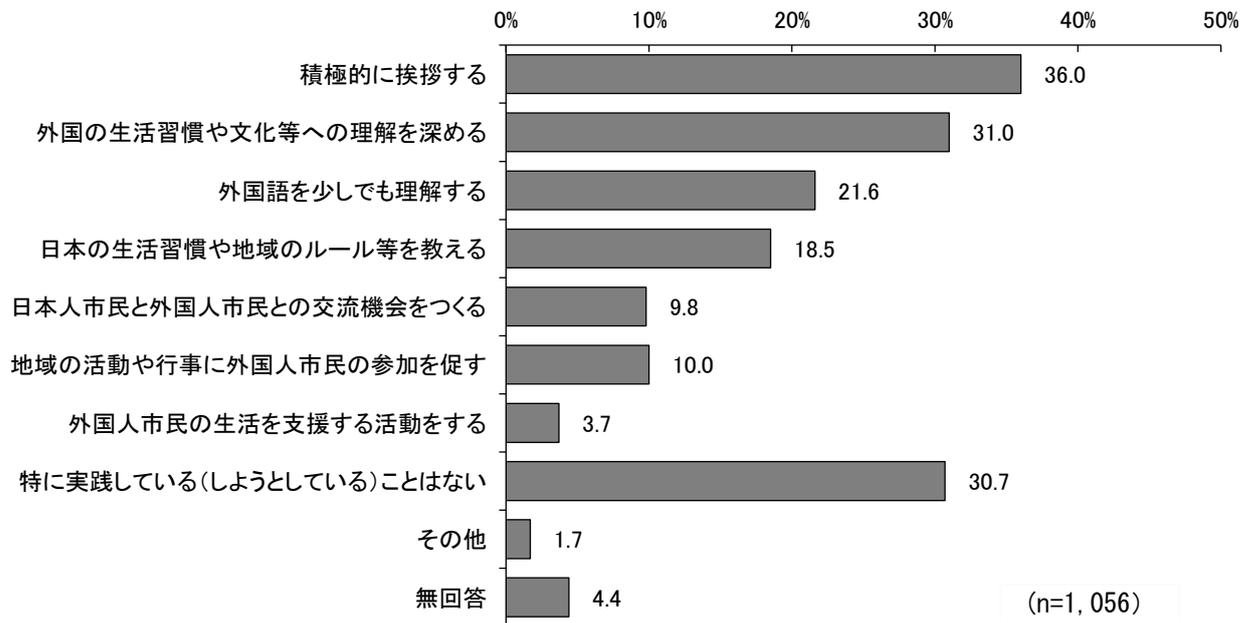
(4) 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項

問11 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように、あなたが実践していること（または、今後実践したいと思っていること）は何ですか。  
 （主なものを3つまで選んで○をお付けください）

外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項については、「積極的に挨拶する」が36.0%と最も高く、次いで「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」が31.0%と高い。

「特に実践している（しようとしている）ことはない」は30.7%となっている。

図11-1 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項 [n=1,056]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、男女で顕著な差はない。

表11-1 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項／性別 単位：%

性別	属性	積極的に挨拶する	外国の生活習慣や文化等への理解を深める	外国語を少しでも理解する	日本の生活習慣や地域のルール等を教える	日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる	地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す	外国人市民の生活を支援する活動をする	特に実践している(しようとしている)ことはない	その他	無回答
		全体(n=1056)	36.0	31.0	21.6	18.5	9.8	10.0	3.7	30.7	1.7
性別	男性(n=446)	<b>36.1</b>	33.4	21.5	20.2	11.9	10.5	3.4	33.0	1.1	2.7
	女性(n=590)	<b>35.6</b>	29.3	21.7	17.1	8.1	9.8	4.1	28.6	2.2	5.6
	その他(n=4)	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」は『20～29歳』が7.1ポイント、「外国語を少しでも理解する」は『30～39歳』が8.7ポイント、「地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す」は『70歳以上』が5.5ポイント、それぞれ全体より高い。

職業別では、「積極的に挨拶する」は『家事専業』が7.1ポイント、「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」は『会社員等』が6.9ポイント、「地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す」は『自営業』が10.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「積極的に挨拶する」は『志和地区』が25.3ポイント、「日本の生活習慣や地域のルール等を教える」についても『志和地区』が13.8ポイント全体より高い。「地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す」は『福富地区』が15.0ポイント高い。

表11-2 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項  
／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		積極的に挨拶するに 深める	外国の生活習慣や文化等への理解を深める	外国語を少しでも理解する	日本の生活習慣や地域のルール等を教える	日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる	外国人市民の参加を促す	地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す	外国人市民の生活を支援する活動をする	特に実践している（しようとしている）ことはない	その他	無回答
	全体(n=1056)	36.0	31.0	21.6	18.5	9.8	10.0	3.7	30.7	1.7	4.4	
年齢別	18～19歳(n=16)	31.3	43.8	43.8	6.3	18.8	12.5	6.3	25.0	-	-	
	20～29歳(n=63)	31.7	<b>38.1</b>	19.0	15.9	4.8	11.1	4.8	34.9	-	-	
	30～39歳(n=119)	<b>39.5</b>	34.5	30.3	10.9	9.2	5.0	2.5	30.3	-	-	
	40～49歳(n=147)	31.3	29.3	23.1	17.7	11.6	7.5	4.1	<b>34.7</b>	2.0	1.4	
	50～59歳(n=168)	24.4	<b>35.7</b>	23.8	19.6	10.7	7.7	5.4	33.9	-	1.2	
	60～69歳(n=193)	<b>39.4</b>	35.2	19.7	16.1	7.3	7.8	4.1	33.2	2.1	2.1	
	70歳以上(n=336)	<b>40.8</b>	24.1	17.3	23.2	10.7	<b>15.5</b>	2.7	25.3	3.3	11.0	
職業別	自営業(n=73)	<b>34.2</b>	32.9	19.2	20.5	9.6	<b>20.5</b>	4.1	26.0	2.7	1.4	
	会社員等(n=348)	33.6	<b>37.9</b>	22.4	18.4	9.8	7.8	3.7	31.6	0.9	1.1	
	アルバイト・パート(n=134)	30.6	29.1	20.9	15.7	5.2	9.0	3.7	<b>36.6</b>	1.5	1.5	
	派遣社員・契約社員(n=23)	<b>43.5</b>	13.0	30.4	13.0	17.4	4.3	8.7	34.8	-	4.3	
	学生・専門学校生(n=27)	22.2	<b>48.1</b>	37.0	14.8	18.5	7.4	7.4	18.5	-	-	
	家事専業(n=144)	<b>43.1</b>	18.8	18.1	22.2	7.6	6.3	4.2	31.3	2.1	6.9	
	無職(n=272)	<b>38.2</b>	28.7	20.2	18.4	11.4	14.0	1.8	29.0	2.6	8.8	
居住地別	西条地区(n=411)	<b>33.8</b>	32.6	26.5	17.0	10.0	8.0	3.6	31.9	1.9	2.2	
	八本松地区(n=160)	32.5	<b>35.6</b>	17.5	21.3	8.8	7.5	3.8	31.3	2.5	5.0	
	志和地区(n=31)	<b>61.3</b>	35.5	25.8	<b>32.3</b>	9.7	12.9	6.5	19.4	3.2	-	
	高屋地区(n=198)	<b>35.4</b>	28.8	22.2	15.7	10.6	9.1	2.5	30.8	2.5	5.1	
	黒瀬地区(n=128)	<b>37.5</b>	27.3	14.8	18.8	10.9	<b>18.0</b>	4.7	31.3	-	4.7	
	福富地区(n=16)	<b>43.8</b>	25.0	12.5	25.0	6.3	<b>25.0</b>	6.3	31.3	-	6.3	
	豊栄地区(n=22)	<b>45.5</b>	31.8	27.3	9.1	4.5	18.2	4.5	22.7	-	13.6	
	河内地区(n=27)	29.6	14.8	14.8	14.8	3.7	11.1	-	<b>37.0</b>	-	14.8	
	安芸津地区(n=48)	<b>37.5</b>	29.2	8.3	22.9	12.5	10.4	6.3	22.9	-	8.3	

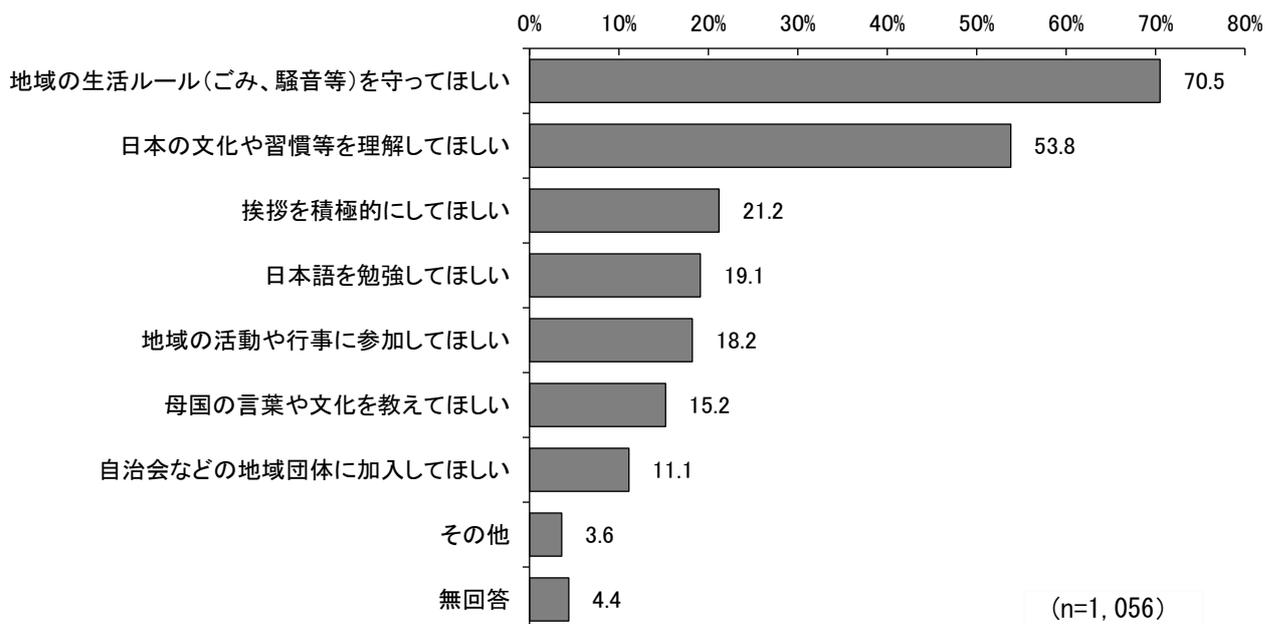
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない（地域別を除く）。

(5) 外国人市民にも努力をしてほしい事項

問12 ともに地域で暮らしやすくなるように、外国人市民にも努力をしてほしいと感じることは何ですか。（主なものを3つまで選んで○をお付けください）

外国人市民にも努力をしてほしい事項については、「地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい」が70.5%と最も高く、次いで「日本の文化や習慣等を理解してほしい」が53.8%と高い。

図12-1 外国人市民にも努力をしてほしいと感じること [n=1,056]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は8.3ポイント、「挨拶を積極的にしてほしい」は5.4ポイント、「日本語を勉強してほしい」は6.2ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高くなっている。

表12-1 外国人市民にも努力をしてほしい事項／性別

単位：%

		地域の生活ルール(ごみ、騒音等)を守ってほしい	日本の文化や習慣等を理解してほしい	挨拶を積極的にしてほしい	日本語を勉強してほしい	地域の活動や行事に参加してほしい	母国の言葉や文化を教えてほしい	自治会などの地域団体に加入してほしい	その他	無回答
全体(n=1056)		70.5	53.8	21.2	19.1	18.2	15.2	11.1	3.6	4.4
性別	男性(n=446)	<b>69.3</b>	58.5	24.4	22.6	18.8	14.1	12.3	2.5	3.8
	女性(n=590)	<b>71.2</b>	50.2	19.0	16.4	17.3	16.4	10.2	4.2	4.7
	その他(n=4)	100.0	75.0	-	50.0	-	-	-	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい」は『30～39歳』が6.0ポイント、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は『40～49歳』が7.4ポイント、『60～69歳』が6.8ポイント、「挨拶を積極的にしてほしい」は『70歳以上』が6.5ポイント、「日本語を勉強してほしい」は『20～29歳』が11.1ポイント、「地域の活動や行事に参加してほしい」は『70歳以上』が11.0ポイント、それぞれ全体より高い。

職業別では、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は『会社員等』が6.3ポイント高い。「挨拶を積極的にしてほしい」と「地域の活動や行事に参加してほしい」は『自営業』と『無職』で全体より高くなっている。

居住地別では、「挨拶を積極的にしてほしい」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、「日本語を勉強してほしい」は『志和地区』、「自治会などの地域団体に加入してほしい」は『福富地区』で、それぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。

表12-2 外国人市民にも努力をしてほしい事項／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		地域の生活ルール （ごみ、騒音等） を守ってほしい	日本の文化や 習慣等を理解して ほしい	挨拶を積極的に してほしい	日本語を勉強して ほしい	地域の活動や行事 に参加してほしい	母国の言葉や文化 を教えてほしい	自治会など の地域団体に加入 してほしい	その他	無回答
全体(n=1056)		70.5	53.8	21.2	19.1	18.2	15.2	11.1	3.6	4.4
年齢別	18～19歳(n=16)	75.0	56.3	-	25.0	6.3	12.5	-	-	-
	20～29歳(n=63)	<b>68.3</b>	54.0	15.9	<b>30.2</b>	3.2	15.9	7.9	4.8	3.2
	30～39歳(n=119)	<b>76.5</b>	58.0	11.8	17.6	8.4	18.5	5.9	4.2	1.7
	40～49歳(n=147)	<b>74.8</b>	61.2	15.0	23.8	11.6	21.1	10.2	2.7	0.7
	50～59歳(n=168)	<b>70.2</b>	57.7	19.6	21.4	14.9	22.6	8.9	1.2	1.2
	60～69歳(n=193)	<b>72.0</b>	60.6	24.9	15.0	17.1	14.0	9.8	5.2	3.1
	70歳以上(n=336)	<b>65.8</b>	42.9	27.7	17.0	<b>29.2</b>	9.2	16.1	3.9	9.5
職業別	自営業(n=73)	<b>64.4</b>	50.7	27.4	21.9	23.3	17.8	11.0	4.1	1.4
	会社員等(n=348)	<b>71.6</b>	60.1	17.5	21.6	12.6	21.8	9.5	2.3	2.0
	アルバイト・パート(n=134)	<b>73.9</b>	53.7	14.2	19.4	9.0	17.9	11.9	5.2	0.7
	派遣社員・契約社員(n=23)	<b>82.6</b>	56.5	26.1	13.0	13.0	8.7	4.3	4.3	4.3
	学生・専門学校生(n=27)	<b>70.4</b>	55.6	-	22.2	3.7	7.4	-	3.7	-
	家事専業(n=144)	<b>72.9</b>	55.6	25.7	18.8	16.0	8.3	8.3	2.8	5.6
	無職(n=272)	<b>66.5</b>	45.2	27.6	15.8	<b>30.5</b>	9.6	15.8	4.8	8.8
居住地別	西条地区(n=411)	<b>73.2</b>	59.4	18.7	22.1	14.4	17.0	8.3	2.2	2.4
	八本松地区(n=160)	<b>71.9</b>	55.0	21.3	16.9	15.6	10.6	13.8	4.4	4.4
	志和地区(n=31)	48.4	<b>58.1</b>	<b>38.7</b>	<b>35.5</b>	19.4	19.4	3.2	9.7	3.2
	高屋地区(n=198)	<b>70.7</b>	51.0	20.2	18.2	19.2	16.2	10.6	4.0	6.1
	黒瀬地区(n=128)	<b>71.9</b>	44.5	23.4	13.3	27.3	13.3	16.4	4.7	3.1
	福富地区(n=16)	50.0	<b>56.3</b>	<b>37.5</b>	12.5	25.0	18.8	<b>43.8</b>	-	-
	豊栄地区(n=22)	<b>45.5</b>	40.9	<b>31.8</b>	9.1	18.2	18.2	-	4.5	<b>18.2</b>
	河内地区(n=27)	<b>66.7</b>	22.2	18.5	14.8	22.2	18.5	11.1	11.1	<b>14.8</b>
	安芸津地区(n=48)	<b>70.8</b>	54.2	20.8	20.8	18.8	14.6	10.4	2.1	6.3

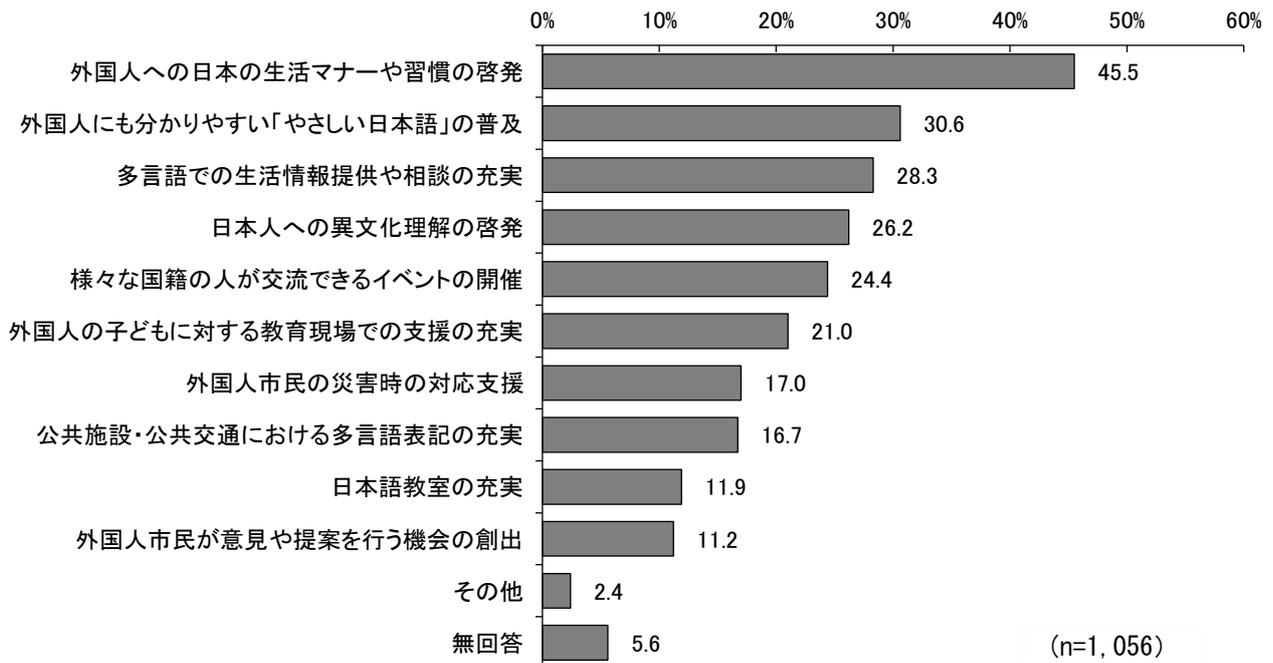
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

(6) 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと

問13 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことは何ですか。  
 (主なものを3つまで選んで○をお付けください)

外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことについては、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」が45.5%と最も高く、次いで「外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及」が30.6%、「多言語での生活情報提供や相談の充実」が28.3%と続いている。

図13-1 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと [n=1,056]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「日本人への異文化理解の啓発」は12.5ポイント、「日本語教室の充実」は6.5ポイント、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」は5.5ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高い。「多言語での生活情報提供や相談の充実」は『女性』が『男性』より6.8ポイント高くなっている。

表13-1 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと／性別

単位：%

		外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発	外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及	多言語での生活情報提供や相談の充実	日本人への異文化理解の啓発	様々な国籍の人が交流できるイベントの開催	外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実	外国人市民の災害時の対応支援	公共施設・公共交通における多言語表記の充実	日本語教室の充実	外国人市民が意見や提案を行う機会の創出	その他	無回答
全体(n=1056)		45.5	30.6	28.3	26.2	24.4	21.0	17.0	16.7	11.9	11.2	2.4	5.6
性別	男性(n=446)	<b>48.4</b>	32.1	24.7	33.2	26.0	18.8	16.6	15.7	15.7	12.1	2.7	3.8
	女性(n=590)	<b>42.9</b>	29.5	31.5	20.7	23.6	22.5	17.3	17.8	9.2	10.7	1.9	6.9
	その他(n=4)	75.0	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及」は『30～39歳』が8.1ポイント、「多言語での生活情報提供や相談の充実」は『20～29歳』が13.0ポイント、『50～59歳』が5.0ポイント、『60～69歳』が7.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「日本人への異文化理解の啓発」は『30～39歳』が5.7ポイント、『様々な国籍の人が交流できるイベントの開催』は『40～49歳』が6.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

職業別では、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」は『自営業』と『家事専業』、「多言語での生活情報提供や相談の充実」は『アルバイト・パート』で、それぞれ5ポイント以上全体より高い。

居住地別では、「外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及」は『安芸津地区』、「日本人への異文化理解の啓発」は『福富地区』でそれぞれ10ポイント以上全体より高い。

表13-2 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと  
／年齢別・職業別・居住地別

単位：％

	外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発	外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及	多言語での生活情報提供や相談の充実	日本人への異文化理解の啓発	様々な国籍の人が交流できるイベントの開催	外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実	外国人市民の災害時の対応支援	公共施設・公共交通における多言語表記の充実	日本語教室の充実	外国人市民が意見や提案を行う機会の創出	その他	無回答	
全体(n=1056)	45.5	30.6	28.3	26.2	24.4	21.0	17.0	16.7	11.9	11.2	2.4	5.6	
年齢別	18～19歳(n=16)	37.5	37.5	18.8	31.3	43.8	12.5	6.3	25.0	6.3	12.5	-	-
	20～29歳(n=63)	36.5	34.9	<b>41.3</b>	12.7	28.6	23.8	22.2	17.5	19.0	7.9	4.8	3.2
	30～39歳(n=119)	<b>44.5</b>	38.7	30.3	31.9	25.2	24.4	18.5	16.8	6.7	10.1	1.7	0.8
	40～49歳(n=147)	<b>50.3</b>	27.2	25.9	28.6	30.6	23.8	15.6	10.9	12.9	12.2	0.7	2.0
	50～59歳(n=168)	<b>43.5</b>	28.0	33.3	20.8	22.0	24.4	23.8	20.2	10.7	9.5	1.8	3.6
	60～69歳(n=193)	<b>46.1</b>	26.9	35.8	26.9	25.4	24.4	16.1	19.7	12.4	14.0	2.1	1.6
	70歳以上(n=336)	<b>46.1</b>	31.3	20.5	27.1	20.5	14.9	13.7	15.8	12.5	11.0	3.6	12.8
職業別	自営業(n=73)	<b>53.4</b>	31.5	26.0	27.4	20.5	16.4	21.9	16.4	9.6	16.4	5.5	-
	会社員等(n=348)	<b>43.4</b>	30.7	32.5	29.3	27.6	25.6	16.4	17.2	11.8	11.8	1.7	1.7
	アルバイト・パート(n=134)	<b>44.0</b>	28.4	35.1	20.9	23.1	23.9	19.4	17.9	9.0	11.9	2.2	1.5
	派遣社員・契約社員(n=23)	30.4	<b>39.1</b>	26.1	21.7	26.1	21.7	26.1	13.0	17.4	8.7	4.3	4.3
	学生・専門学校生(n=27)	<b>44.4</b>	<b>40.7</b>	29.6	22.2	33.3	14.8	18.5	18.5	3.7	7.4	-	-
	家事専業(n=144)	<b>52.8</b>	34.0	23.6	18.8	25.0	19.4	16.7	16.0	12.5	9.0	0.7	6.3
	無職(n=272)	<b>42.6</b>	28.3	23.9	28.7	22.1	16.5	15.1	17.3	14.0	11.4	2.9	13.2
居住地別	西条地区(n=411)	<b>45.0</b>	30.2	29.4	25.5	28.7	25.1	17.3	20.7	12.7	10.7	1.9	3.2
	八本松地区(n=160)	<b>45.0</b>	30.6	32.5	25.6	17.5	25.6	15.6	15.0	8.1	10.0	2.5	10.0
	志和地区(n=31)	<b>45.2</b>	38.7	32.3	29.0	12.9	22.6	12.9	12.9	16.1	16.1	3.2	3.2
	高屋地区(n=198)	<b>42.9</b>	27.8	27.3	27.8	26.8	16.7	15.7	13.6	11.1	11.1	3.0	6.6
	黒瀬地区(n=128)	<b>51.6</b>	30.5	24.2	21.9	28.1	15.6	18.8	13.3	13.3	12.5	3.1	4.7
	福富地区(n=16)	37.5	37.5	25.0	<b>43.8</b>	12.5	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	-	-
	豊栄地区(n=22)	<b>27.3</b>	22.7	18.2	18.2	22.7	9.1	22.7	9.1	18.2	9.1	-	18.2
	河内地区(n=27)	<b>40.7</b>	25.9	22.2	14.8	18.5	11.1	7.4	25.9	22.2	3.7	7.4	11.1
	安芸津地区(n=48)	<b>54.2</b>	43.8	29.2	35.4	10.4	16.7	25.0	14.6	4.2	14.6	-	4.2

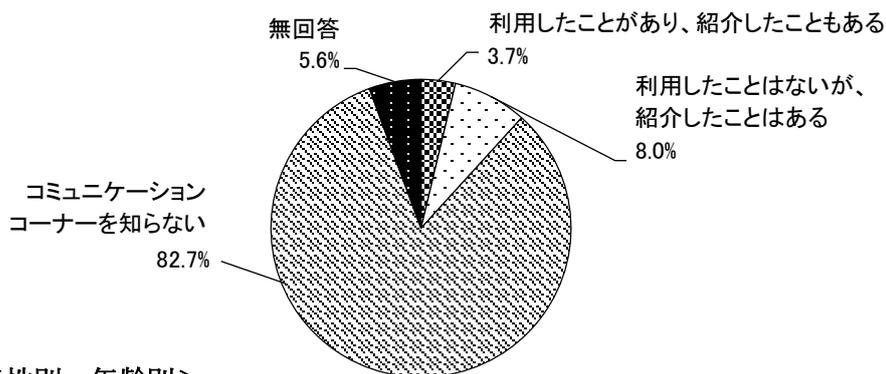
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない（地域別を除く）。

(7) コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況

問14 外国人相談や国際交流等に興味がある日本人も利用可能なコミュニケーションコーナー（サンスクエア1階）を利用したことはありますか。また、それを外国人市民に紹介したことはありますか。（1つだけ選んで○をお付けください）

コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況については、「コミュニケーションコーナーを知らない」が82.7%と最も高く、8割以上を占めている。「利用したことがあり、紹介したこともある」は3.7%、「利用したことはないが、紹介したことはある」が8.0%であり、この2つをあわせた“利用または紹介したことがある”は11.7%となっている。

図14-1 コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況 [n=1,056]

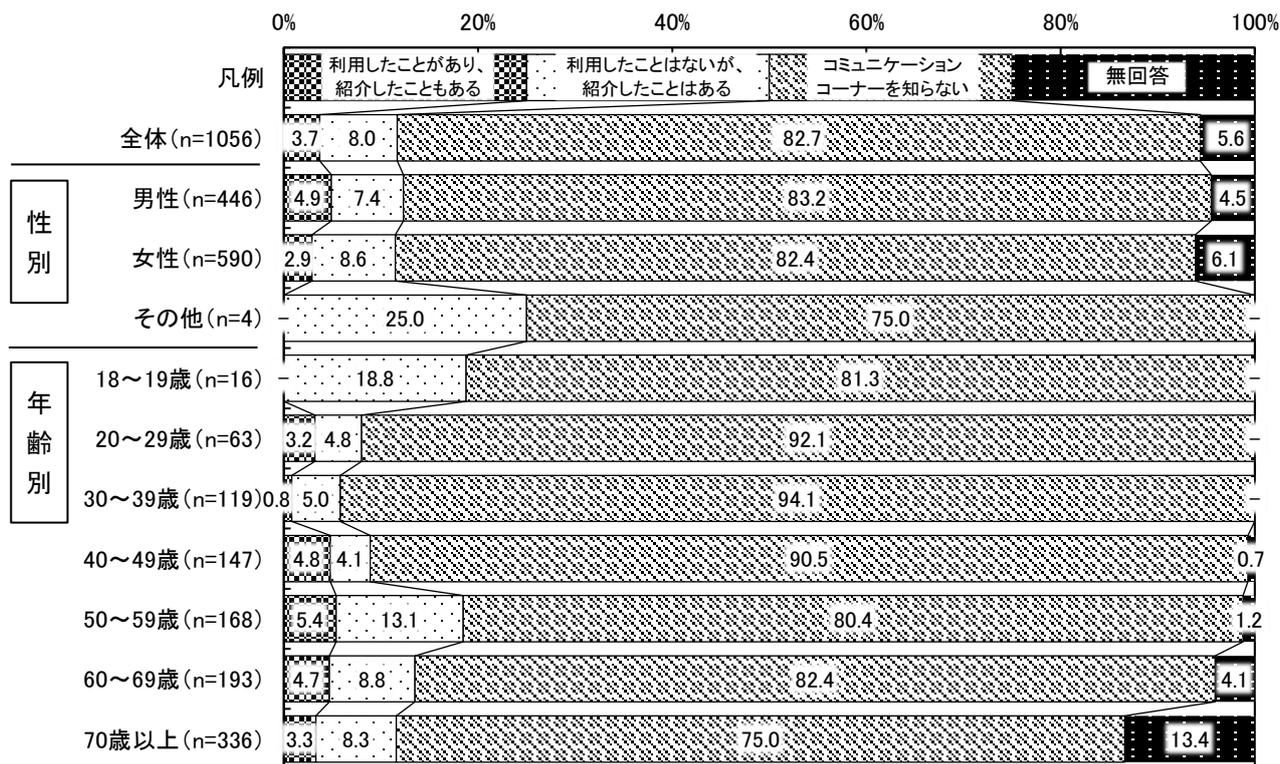


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「利用したことはないが、紹介したことはある」は『50～59歳』が5.1ポイント全体より高い。「コミュニケーションコーナーを知らない」は『30～39歳』が11.4ポイント、『20～29歳』が9.4ポイント、『40～49歳』が7.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-2 コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況／性別・年齢別

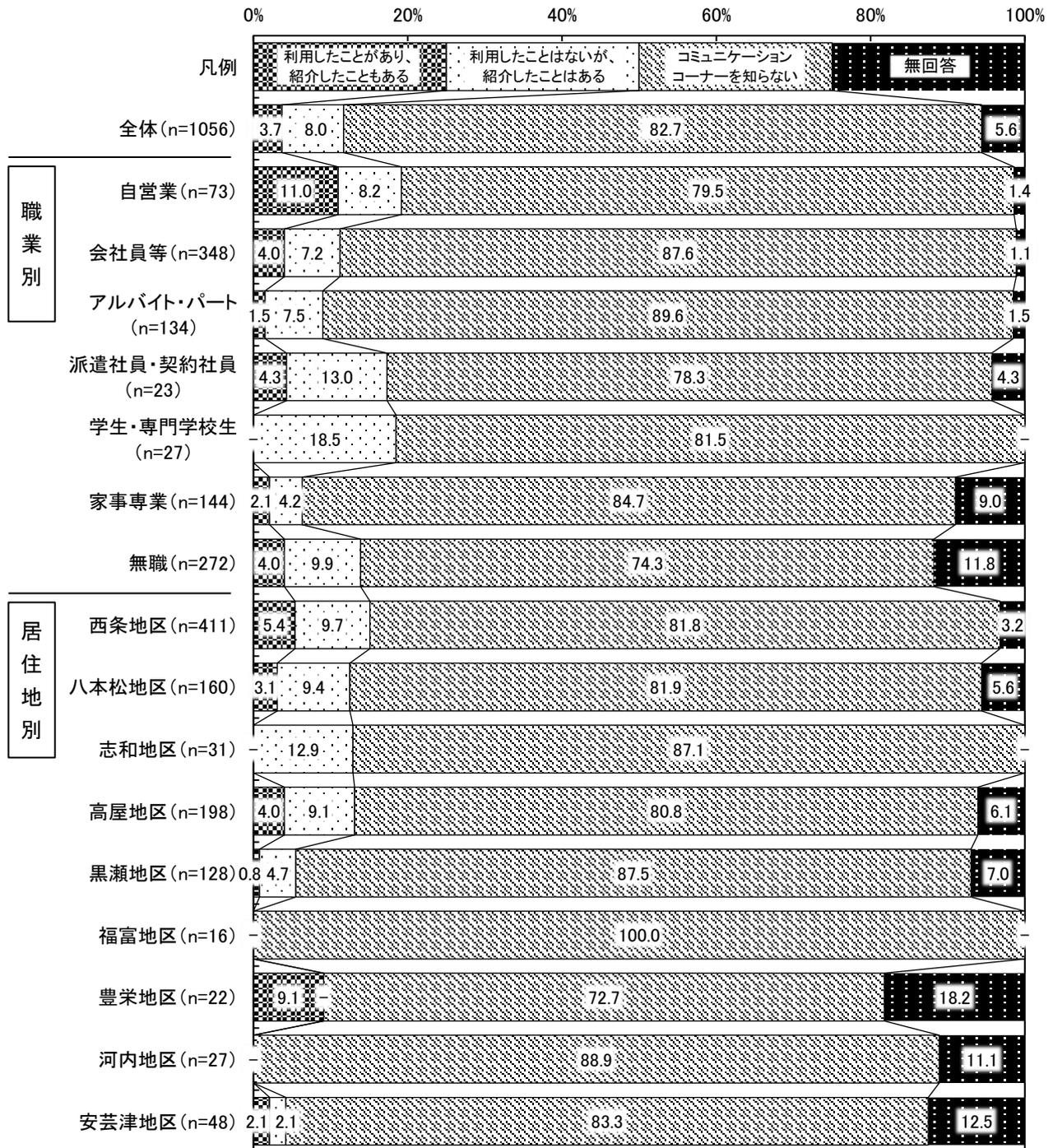


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「利用したことがあり、紹介したこともある」は『自営業』が11.0%と7.3ポイント全体より高い。「コミュニケーションコーナーを知らない」は『アルバイト・パート』が89.6%と6.9ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「利用したことがあり、紹介したこともある」は『豊栄地区』が9.1%と5.4ポイント全体より高い。「コミュニケーションコーナーを知らない」は『福富地区』が100.0%と17.3ポイント全体より高い。

図14-3 多文化共生のまちづくりの必要性／職業別・居住地別



## 6. 地域コミュニティ活動の参加状況について

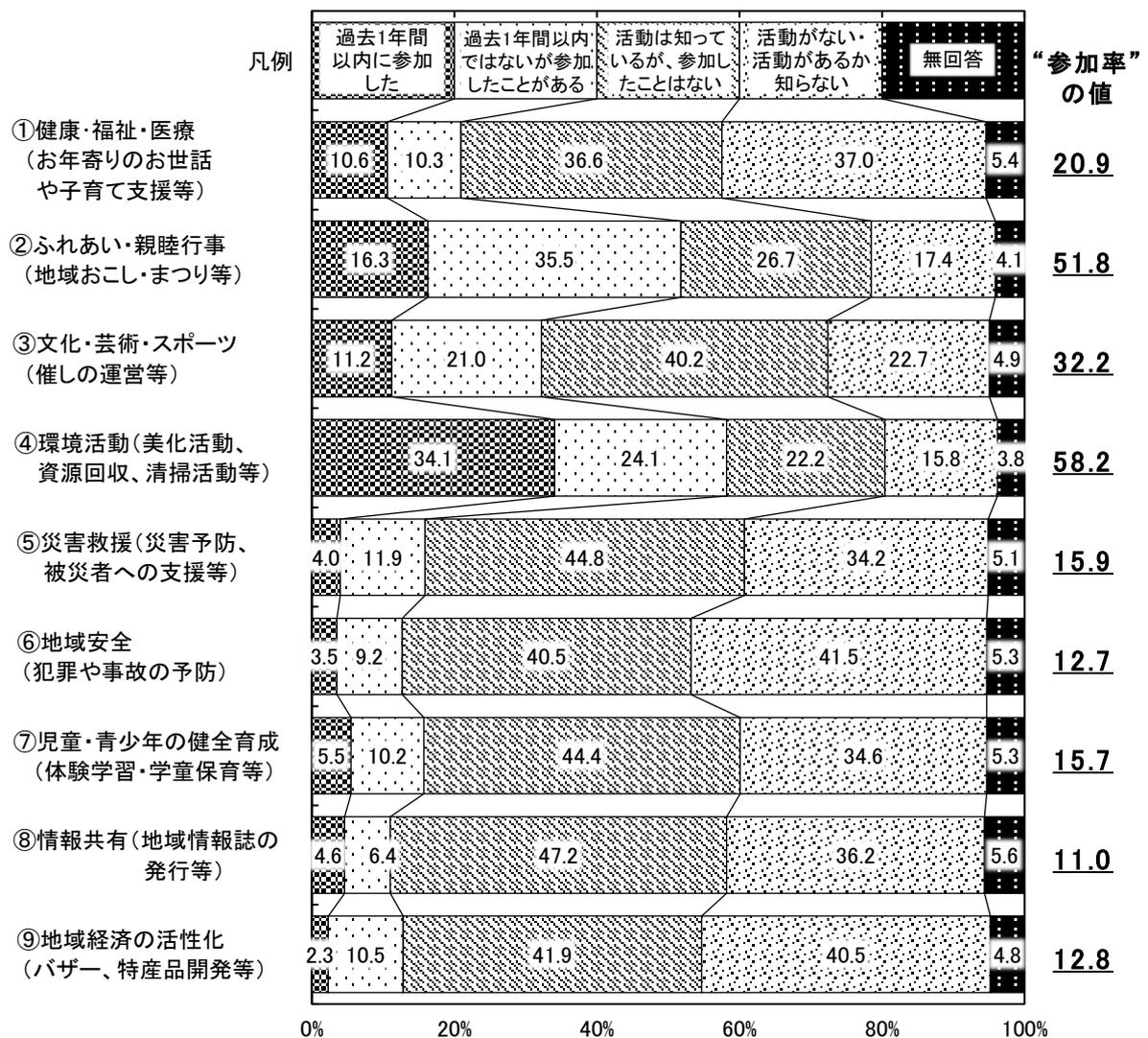
### (1) 地域活動の参加状況

問15 地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

地域コミュニティ活動については、「過去1年間以内に参加した」は『④環境活動』が34.1%と最も高く、次いで『②ふれあい・親睦行事（地域おこし・まつり等）』が16.3%、『③文化・芸術・スポーツ（催しの運営など）』が11.2%、『①健康・福祉・医療（お年寄りのお世話や子育て支援など）』が10.6%となっており、その他の項目では1割を下回っている。

“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『④環境活動』が58.2%、『②ふれあい・親睦行事』が51.8%と高い。次いで『③文化・芸術・スポーツ』が32.2%、『①健康・福祉・医療』が20.9%、『⑤災害救援』が15.9%、『⑦児童・青少年の健全育成』が15.7%、『⑥地域安全』が12.7%、『⑨地域経済の活性化』が12.8%、『⑧情報共有』が11.0%となっている。

図15-1 地域活動の参加状況 [n=1,056]



①健康・福祉・医療(お年寄りのお世話や子育て支援等)

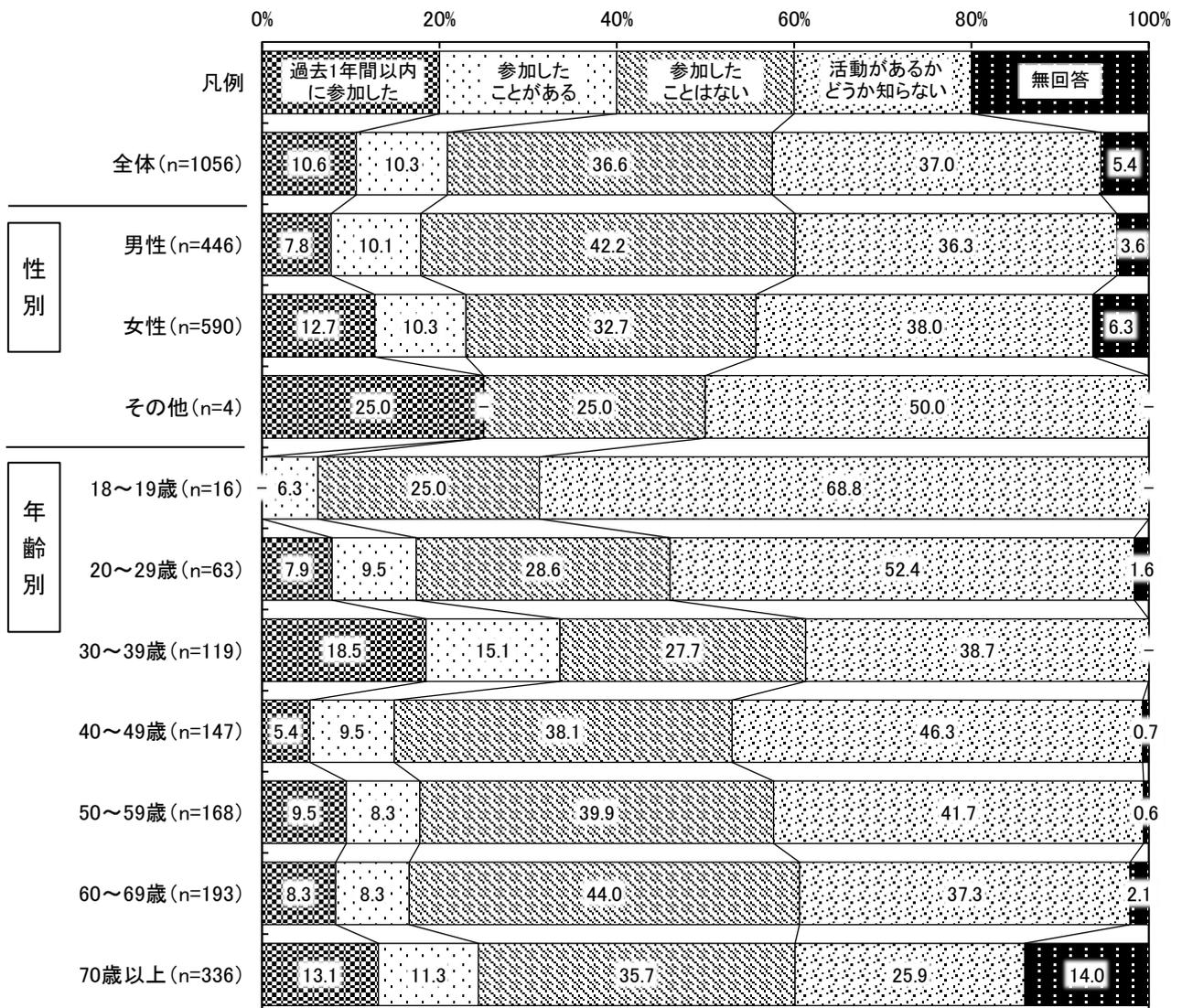
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』42.2%、『女性』32.7%と『男性』が『女性』より9.5ポイント高い。“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）では『男性』17.9%、『女性』23.0%と『女性』が『男性』より5.1ポイント高い。

年齢別では、「過去1年間以内に参加した」は『30～39歳』が18.5%と7.9ポイント全体より高く、“参加率”についても『30～39歳』が33.6%と12.7ポイント全体より高くなっている。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が44.0%と7.4ポイント全体より高く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が52.4%と15.4ポイント、『40～49歳』が46.3%と9.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-2 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／性別・年齢別



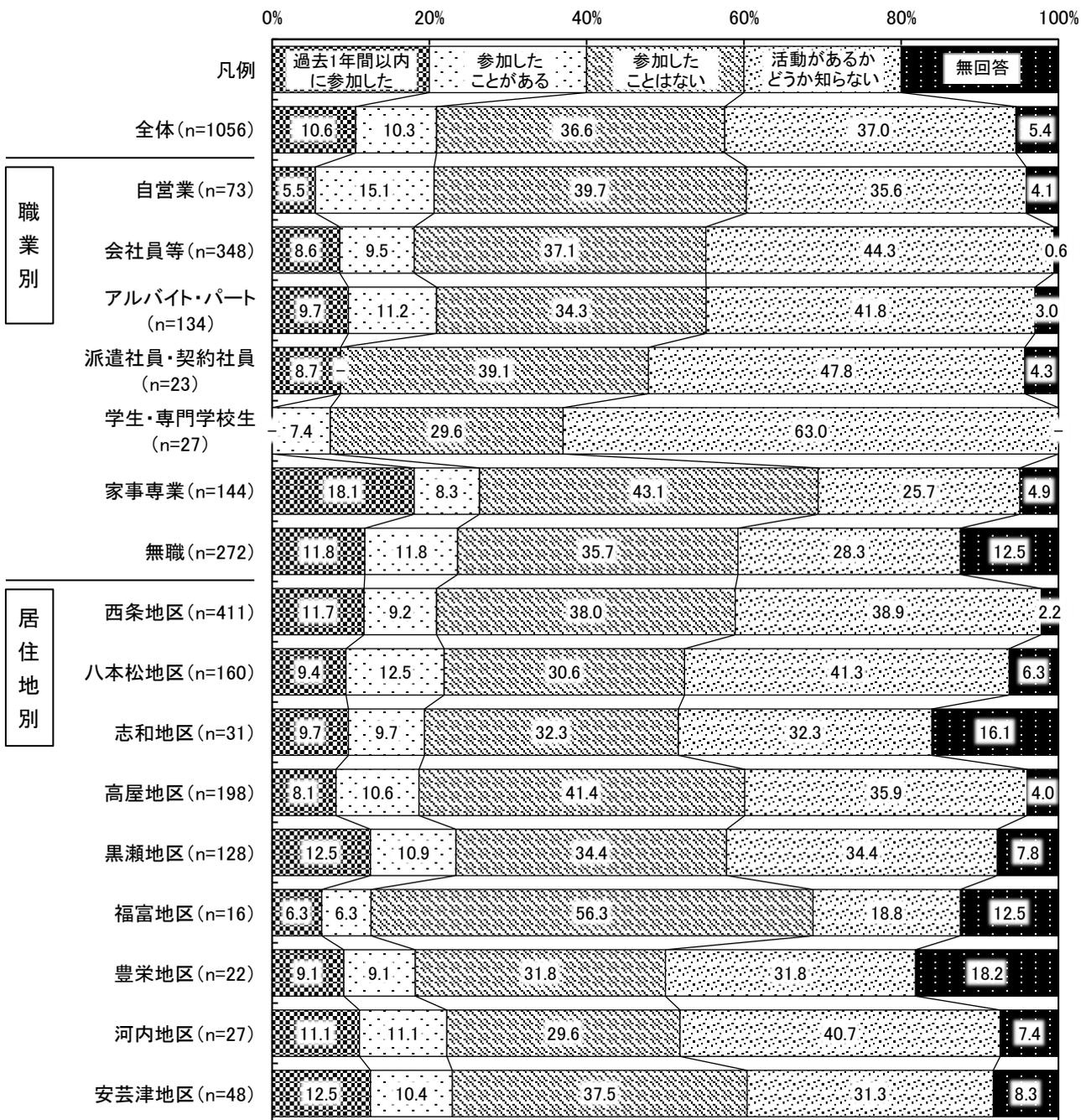
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『家事専業』が18.1%と7.5ポイント全体より高く、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても『家事専業』が26.4%と5.5ポイント全体より高くなっている。

一方、「活動は知っているが、参加したことはない」についても『家事専業』は43.1%と全体より6.5ポイント高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が44.3%と7.3ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が56.3%と19.7ポイント全体より高い。

図15-3 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／職業別・居住地別



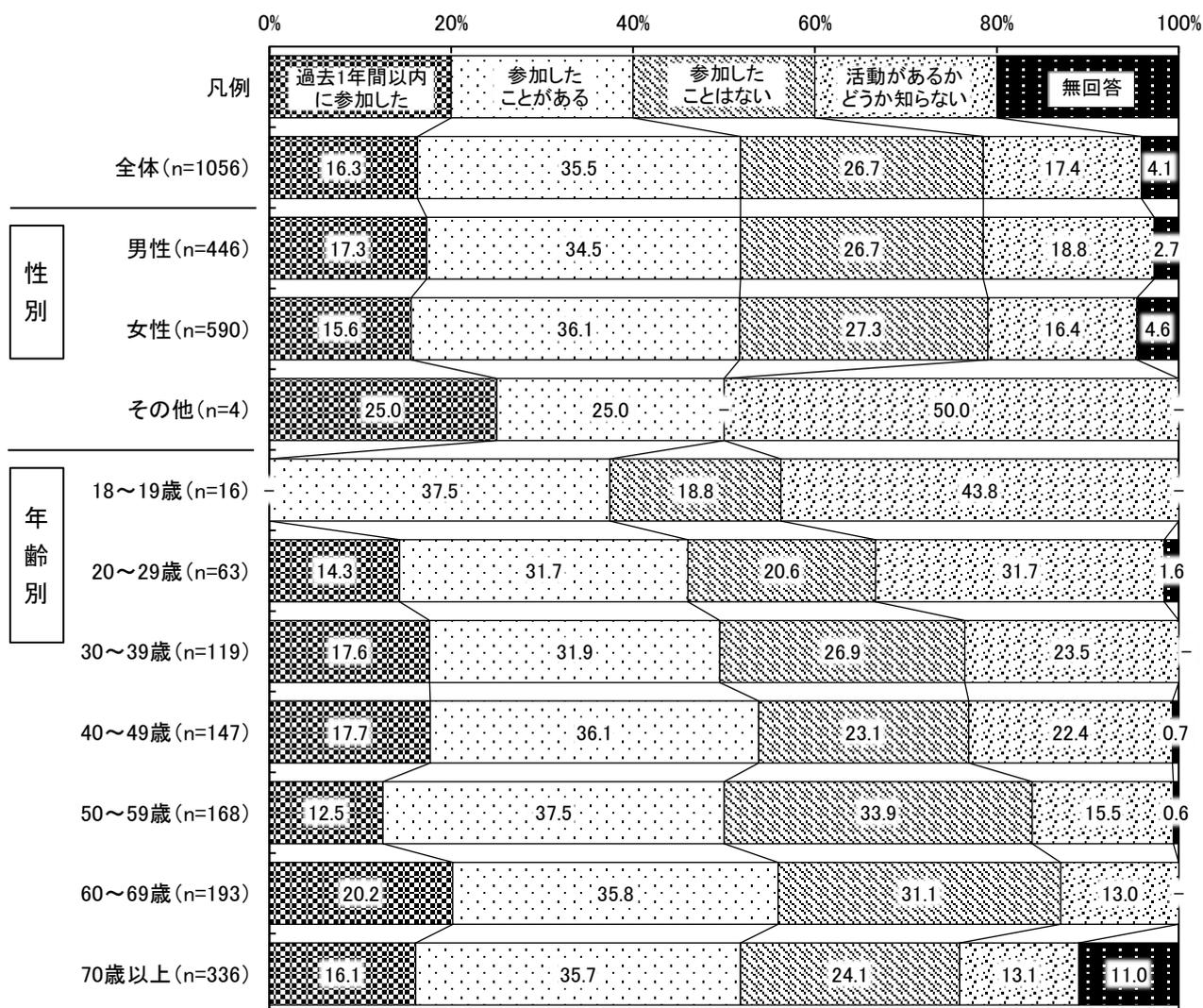
②ふれあい・親睦行事(地域おこし・まつり等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『50～59歳』が33.9%と7.2ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が31.7%と14.3ポイント、『30～39歳』が23.5%と6.1ポイント、『40～49歳』が22.4%と5.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-4 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／性別・年齢別



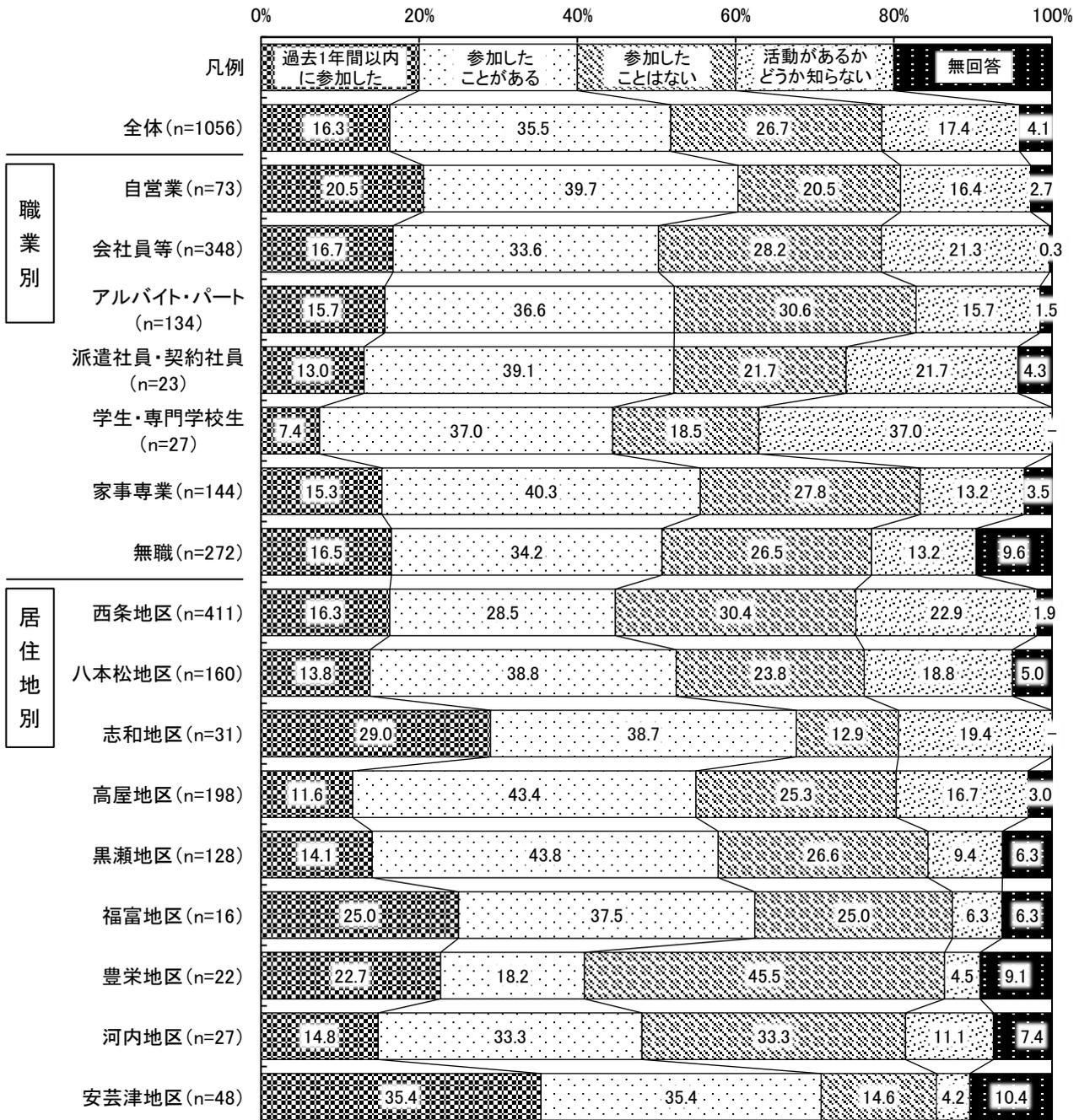
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、顕著な差はない。

居住地別では、“参加率”は『安芸津地区』が70.8%と19.0ポイント、『志和地区』が67.7%と15.9ポイント、『福富地区』が62.5%と10.7ポイント、『黒瀬地区』が57.9%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。一方、『西条地区』が44.8%と7.0ポイント全体より低くなっている。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『豊栄地区』が45.5%と18.8ポイント高く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が22.9%と5.5ポイント全体より高くなっている。

図15-5 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／職業別・居住地別



### ③文化・芸術・スポーツ(催しの運営等)

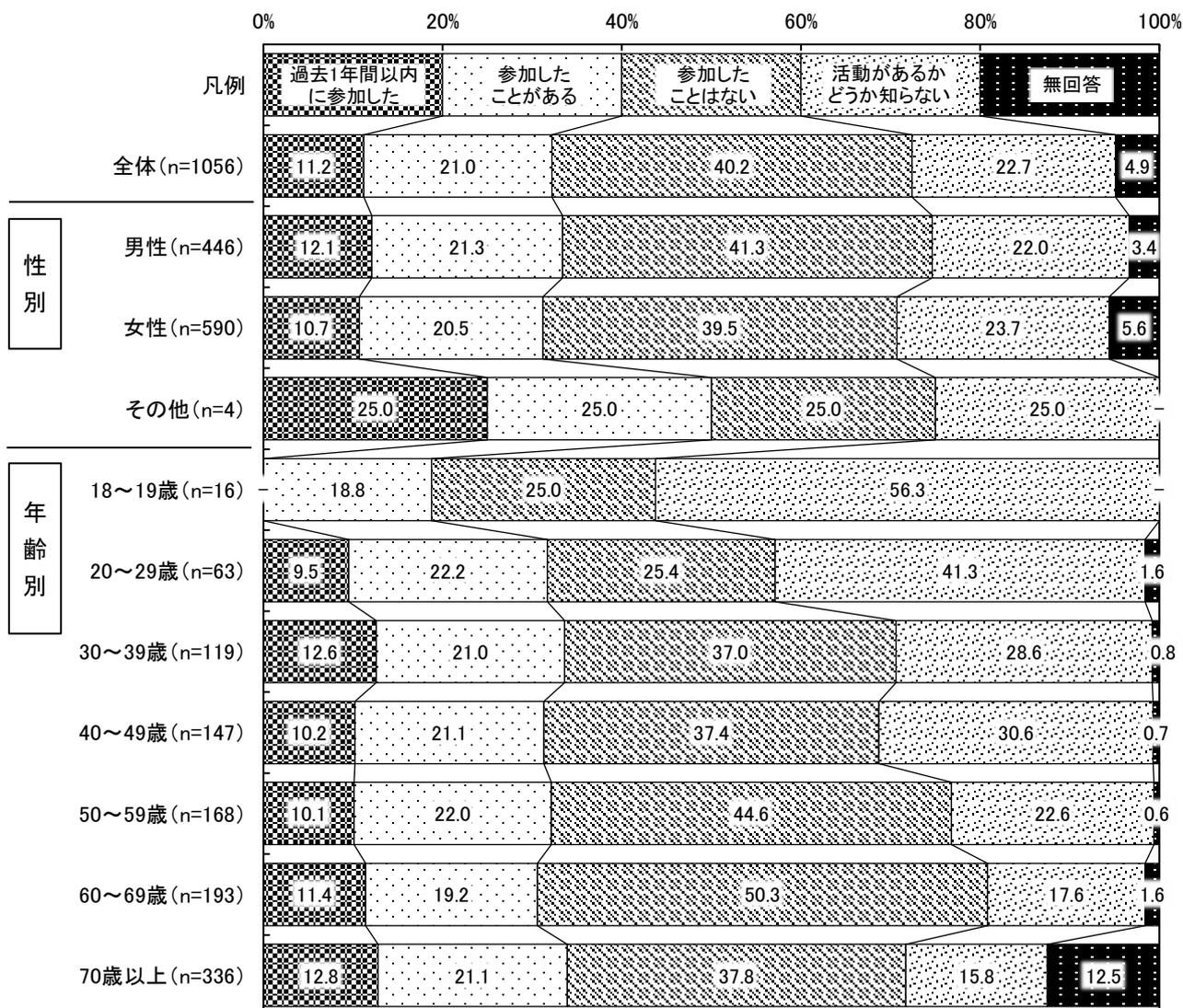
#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が50.3%と10.1ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が41.3%と18.6ポイント、『40～49歳』が30.6%と7.9ポイント、『30～39歳』が28.6%と5.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-6 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／性別・年齢別



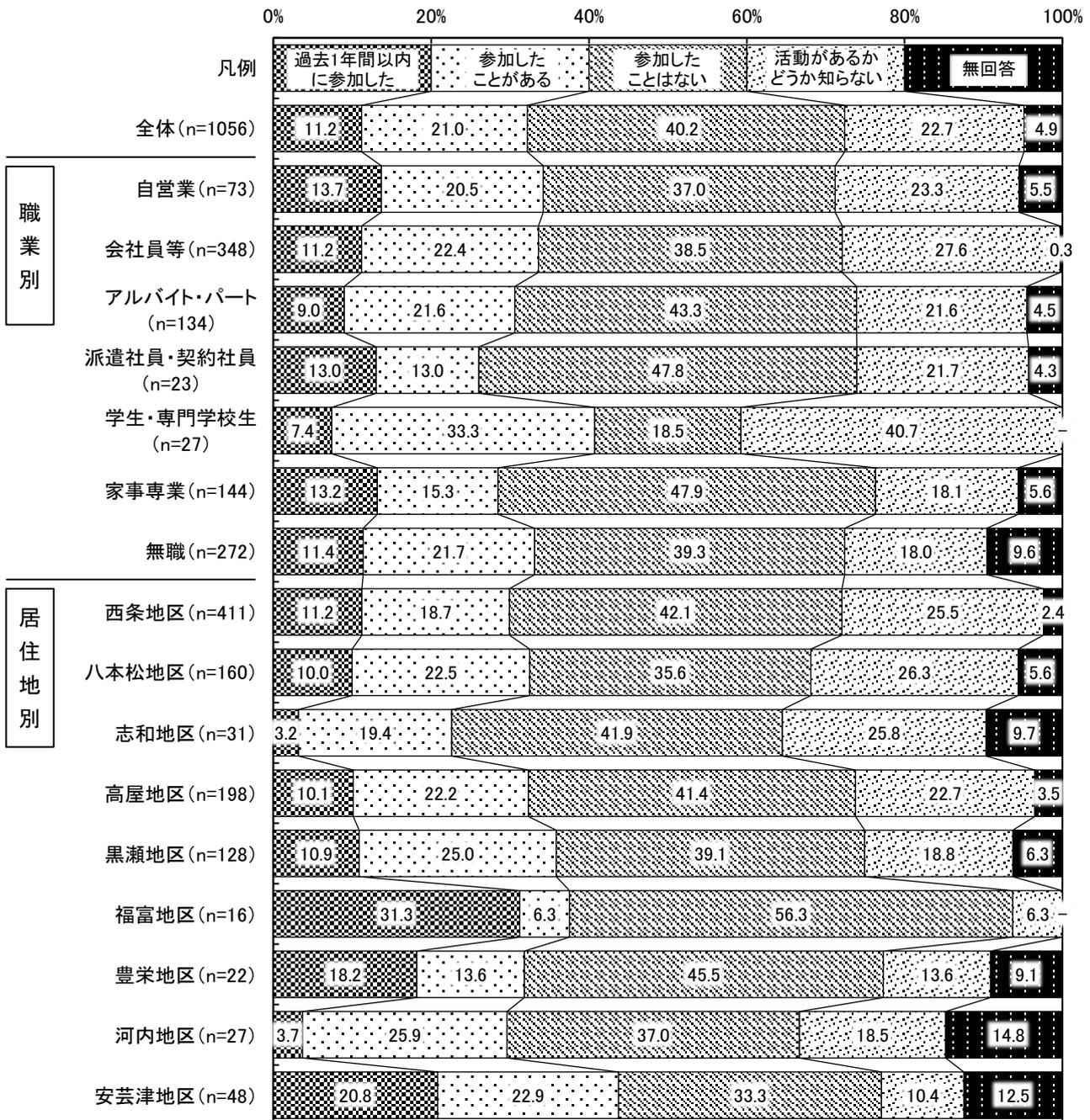
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『家事専業』が47.9%と7.7ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『安芸津地区』が43.7%と11.5ポイント全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が56.3%と16.1ポイント全体より高くなっている。

図15-7 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／職業別・居住地別



④環境活動(美化活動、資源回収、清掃活動等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

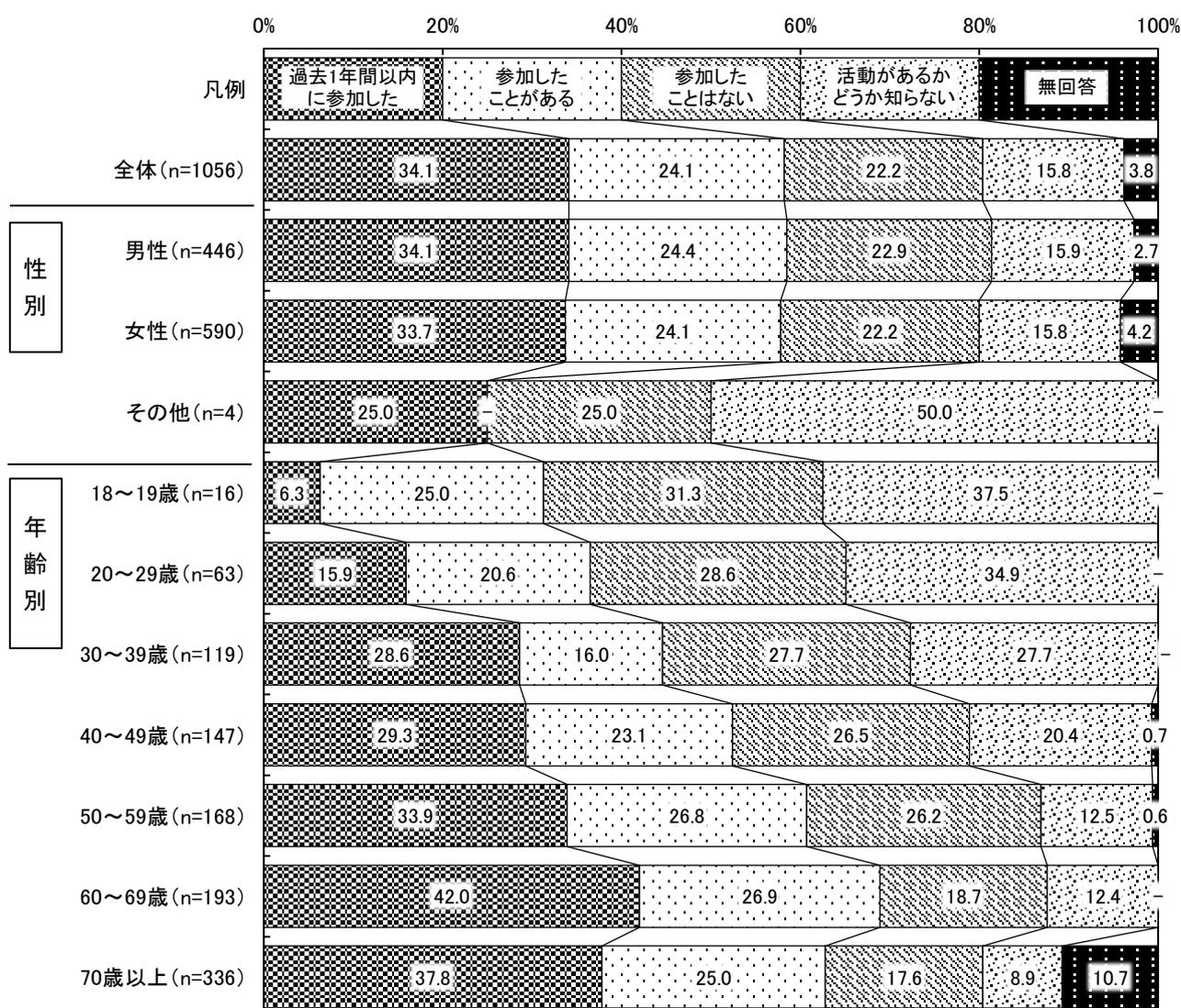
性別では、顕著な差はない。

年齢別では、“参加率”(「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計)は、『60～69歳』が68.9%と10.7ポイント全体より高く、以下年齢が下がるほど低くなっている。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『20～29歳』が28.6%と6.4ポイント、『30～39歳』が27.7%と5.5ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が34.9%と19.1ポイント、『30～39歳』が27.7%と11.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-8 地域活動の参加状況 ④環境活動/性別・年齢別



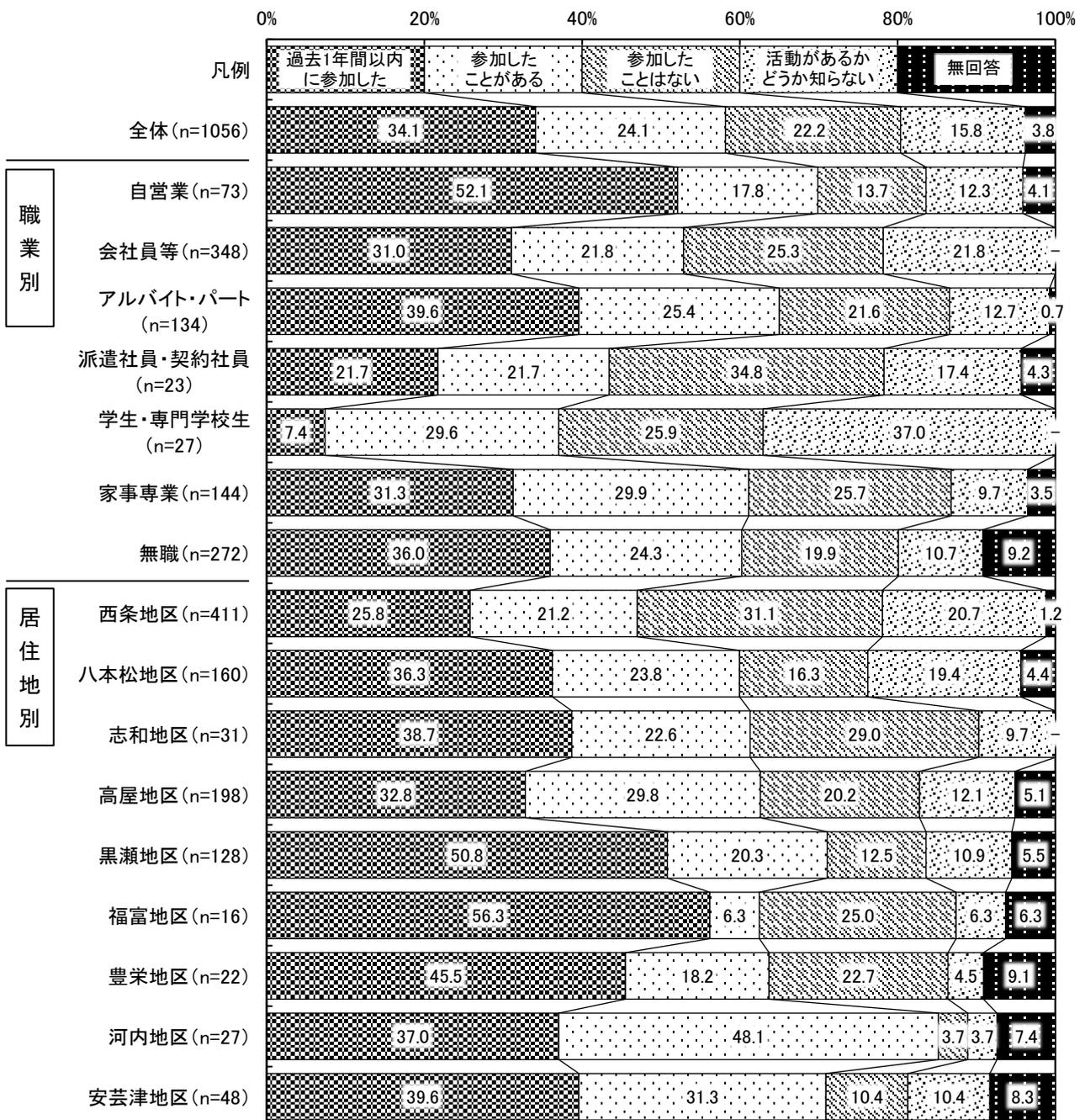
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『自営業』が52.1%と18.0ポイント全体より高く、「参加率」（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）についても、『自営業』が69.9%と11.7ポイント全体より高い。

「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『家事専業』が29.9%と5.8ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が21.8%と6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「参加率」はその他の地区が6割以上となっているのに対し、『西条地区』が47.0%と11.2ポイント全体より低く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が31.1%と8.9ポイント全体より高くなっている。

図15-9 地域活動の参加状況 ④環境活動／職業別・居住地別



⑤災害救援(災害予防、被災者への支援等)

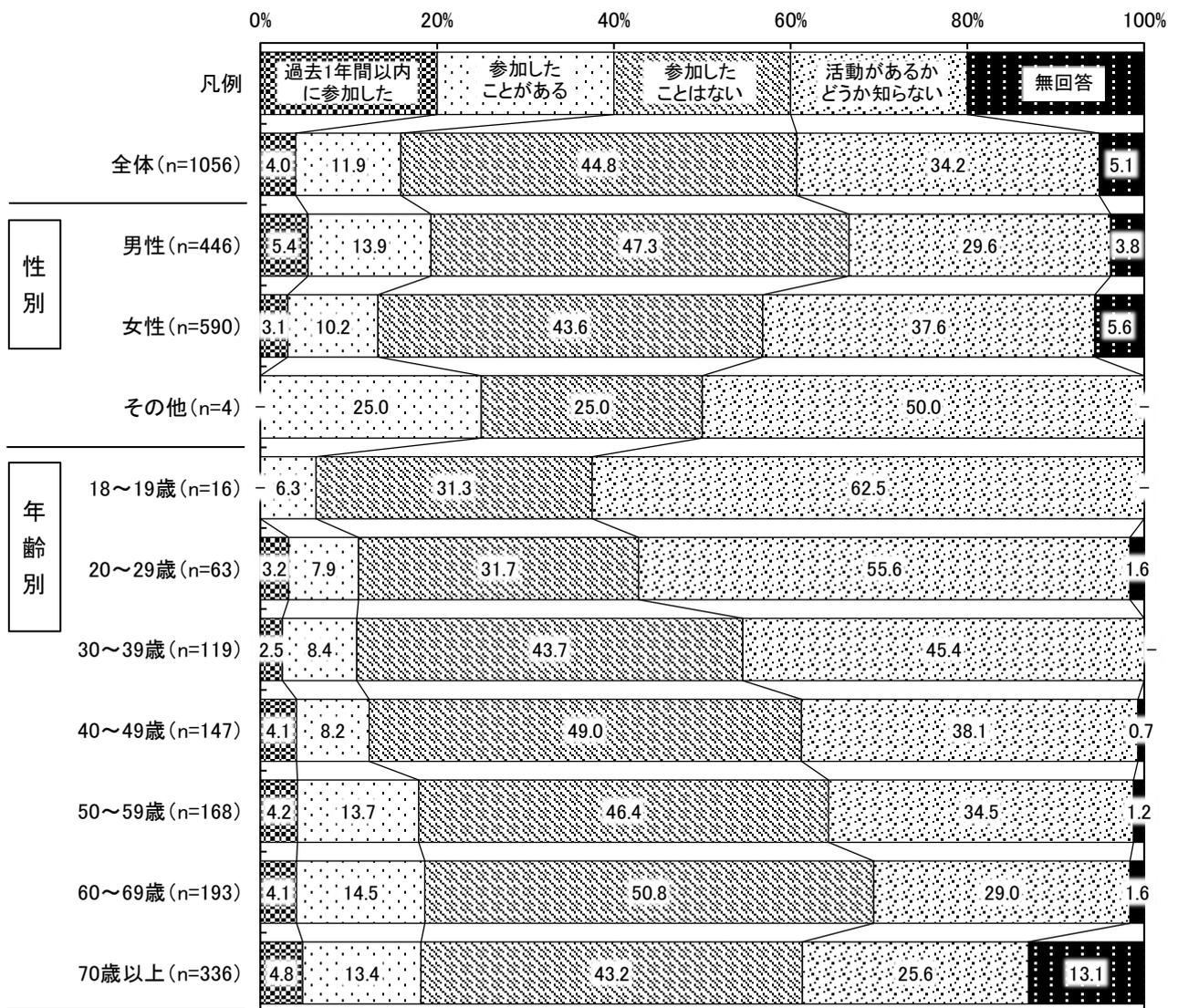
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』19.3%、『女性』13.3%と『男性』が『女性』より6.0ポイント高い。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』は50.8%と6.0ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が55.6%と21.4ポイント、『30～39歳』が45.4%と11.2ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図15-10 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／性別・年齢別



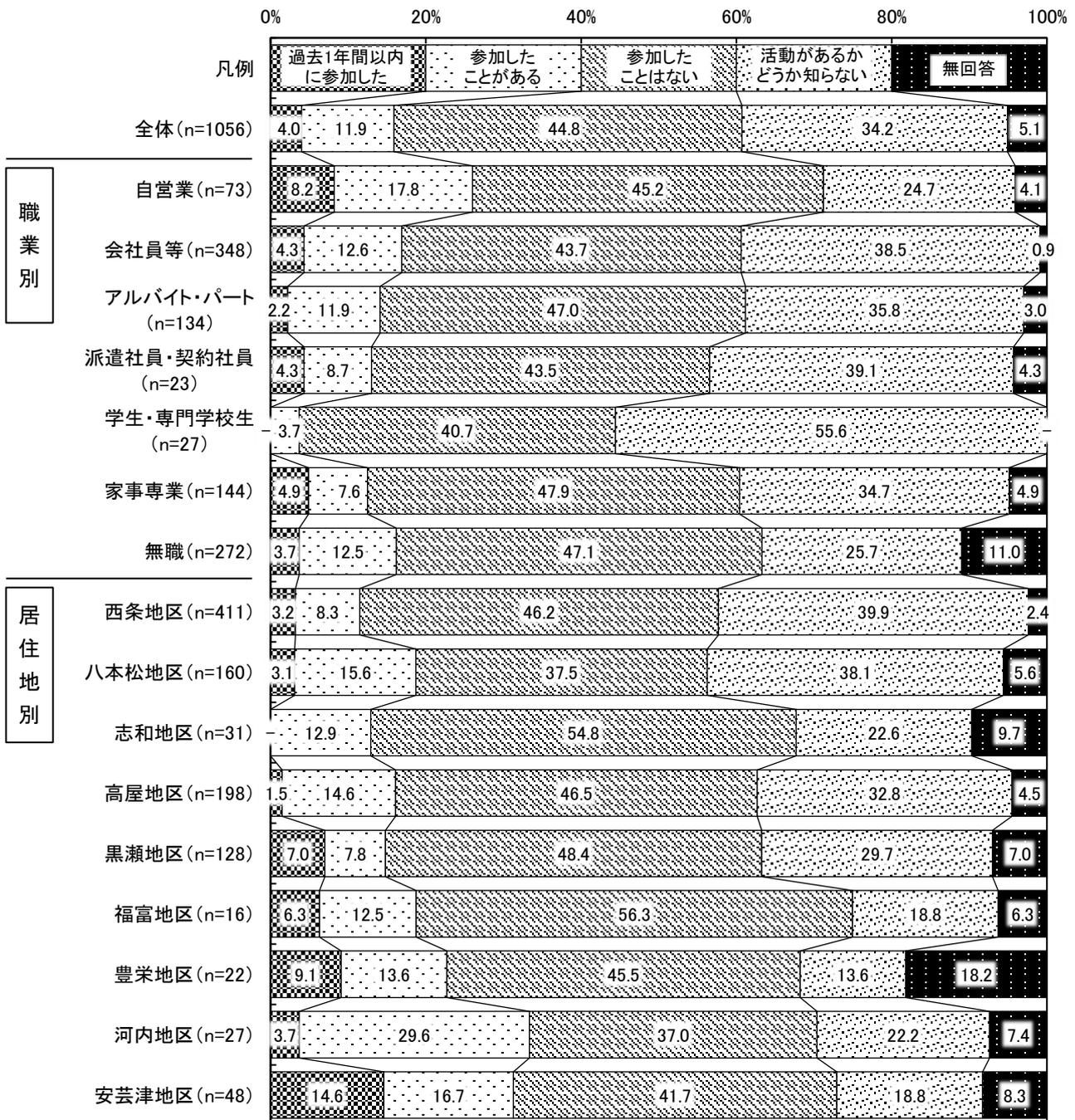
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が26.0%と10.1ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『河内地区』が33.3%と17.4ポイント、『安芸津地区』が31.3%と15.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『志和地区』が54.8%と10.0ポイント、『福富地区』が56.3%と11.5ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が39.9%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-11 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／職業別・居住地別



⑥地域安全(犯罪や事故の予防)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』15.4%、『女性』10.4%と『男性』が『女性』より5.0ポイント高い。

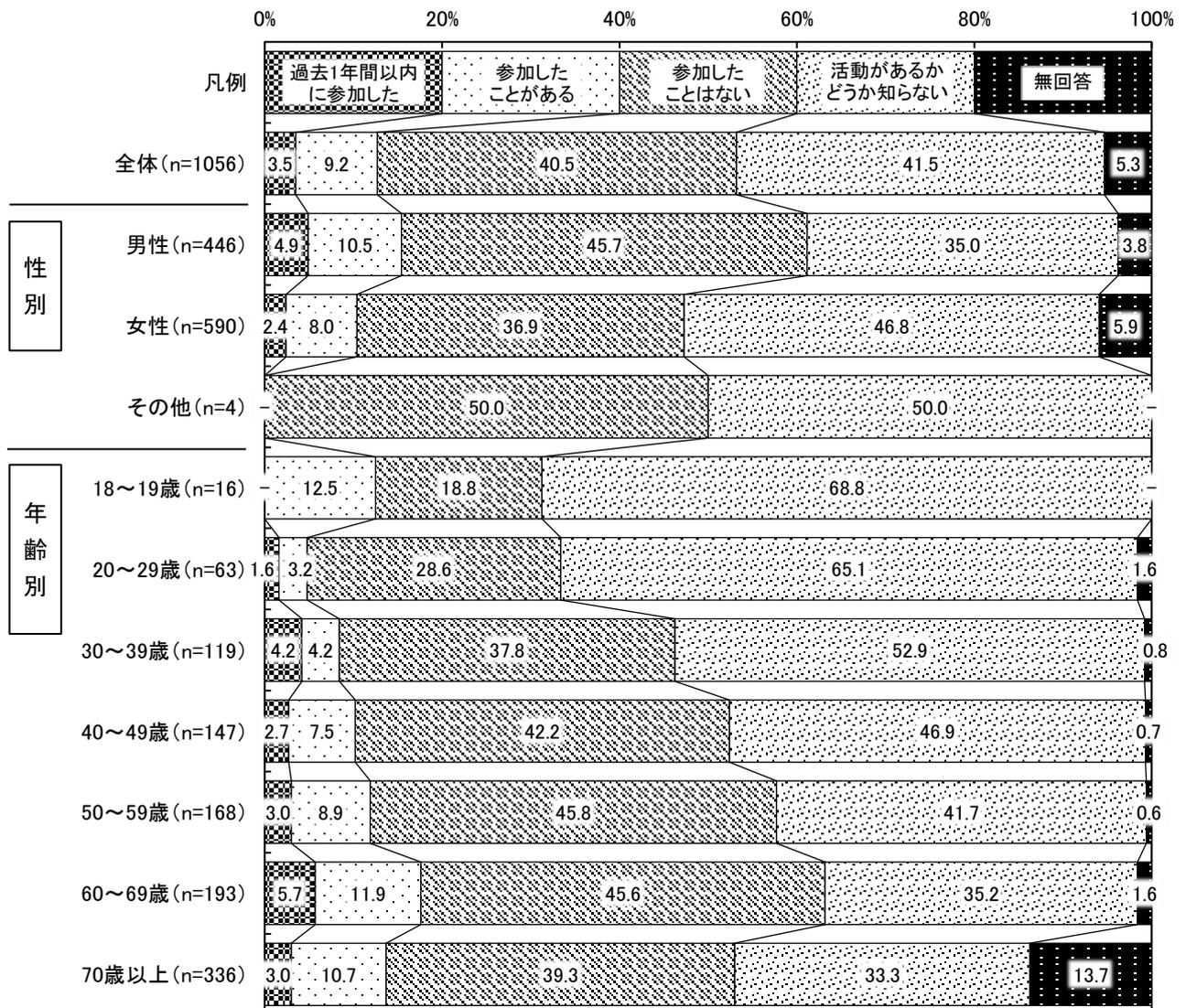
「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』が『女性』より8.8ポイント高く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『女性』が『男性』より11.8ポイント高くなっている。

年齢別では、“参加率”は『20～29歳』が4.8%と7.9ポイント全体より低い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『50～59歳』が45.8%と5.3ポイント、『60～69歳』が45.6%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が65.1%と23.6ポイント、『30～39歳』が52.9%と11.4ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図15-12 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／性別・年齢別

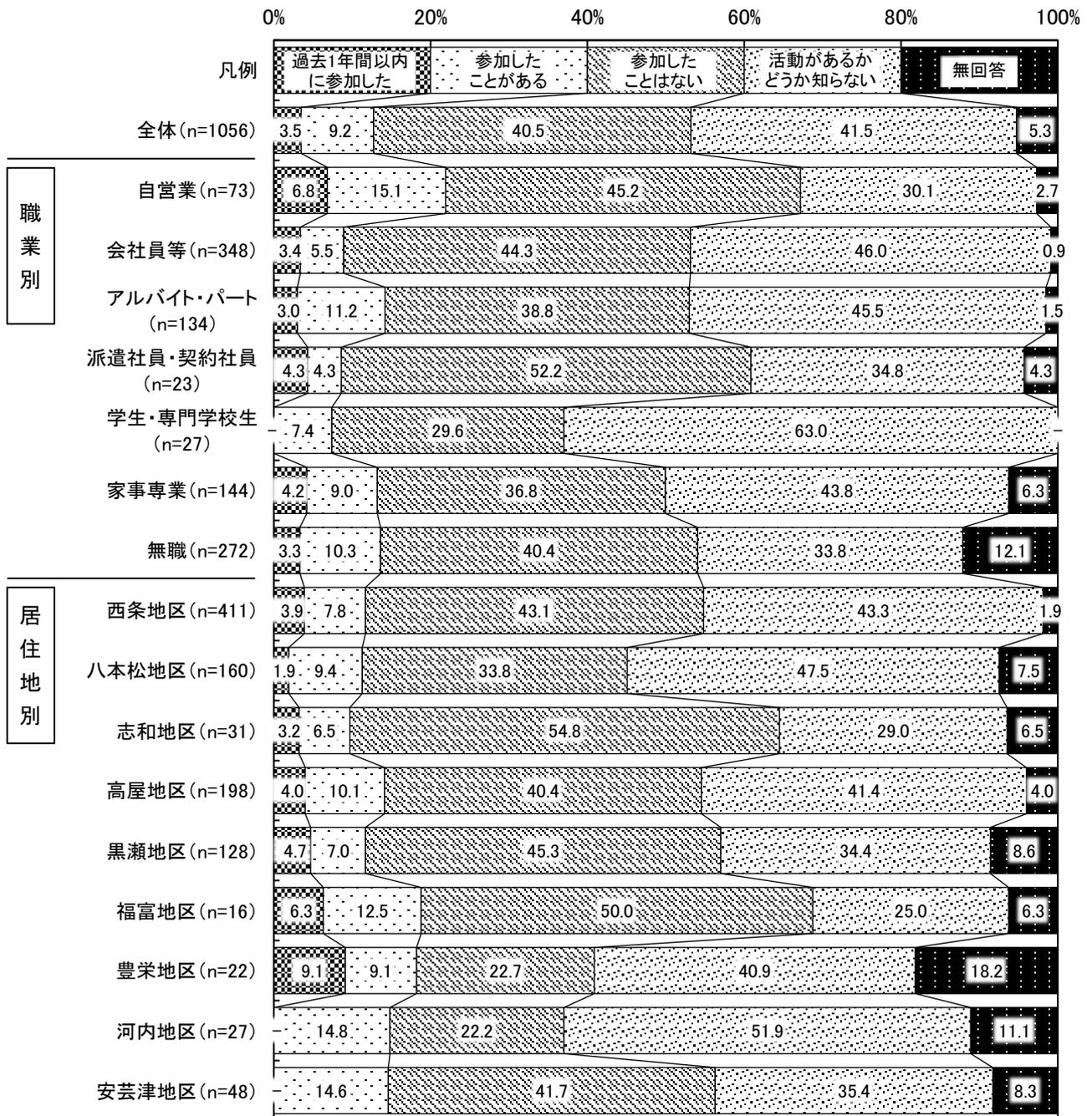


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が21.9%と9.2ポイント全体より高い。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『志和地区』が54.8%と14.3ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『河内地区』が51.9%と10.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-13 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／職業別・居住地別



⑦児童・青少年の健全育成(体験学習・学童保育等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』47.8%、『女性』42.2%と『男性』が『女性』より5.6ポイント高い。

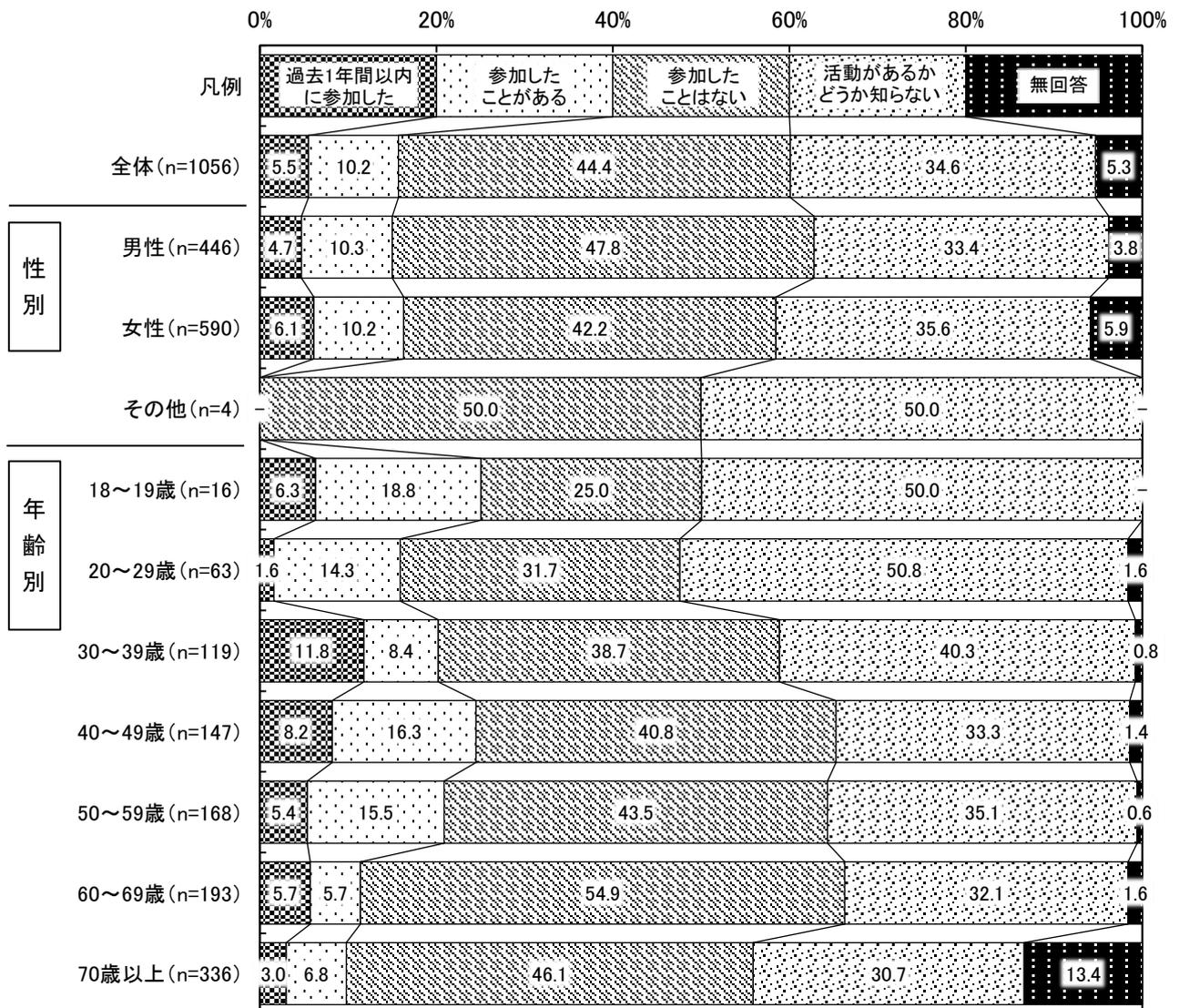
年齢別では、“参加率”は、『40～49歳』が24.5%と8.8ポイント、『50～59歳』が20.9%と5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「過去1年間以内に参加した」は『30～39歳』が11.8%と6.3ポイント全体より高く、「過去1年間以内ではないが参加したことがある」は『40～49歳』が16.3%と6.1ポイント、『50～59歳』が15.5%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が54.9%と10.5ポイント全体より高く、60歳未満の年齢層では年齢が下がるほど低くなっている。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が50.8%と16.2ポイント、『30～39歳』が40.3%と5.7ポイント、それぞれ全体より高い。

図15-14 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／性別・年齢別

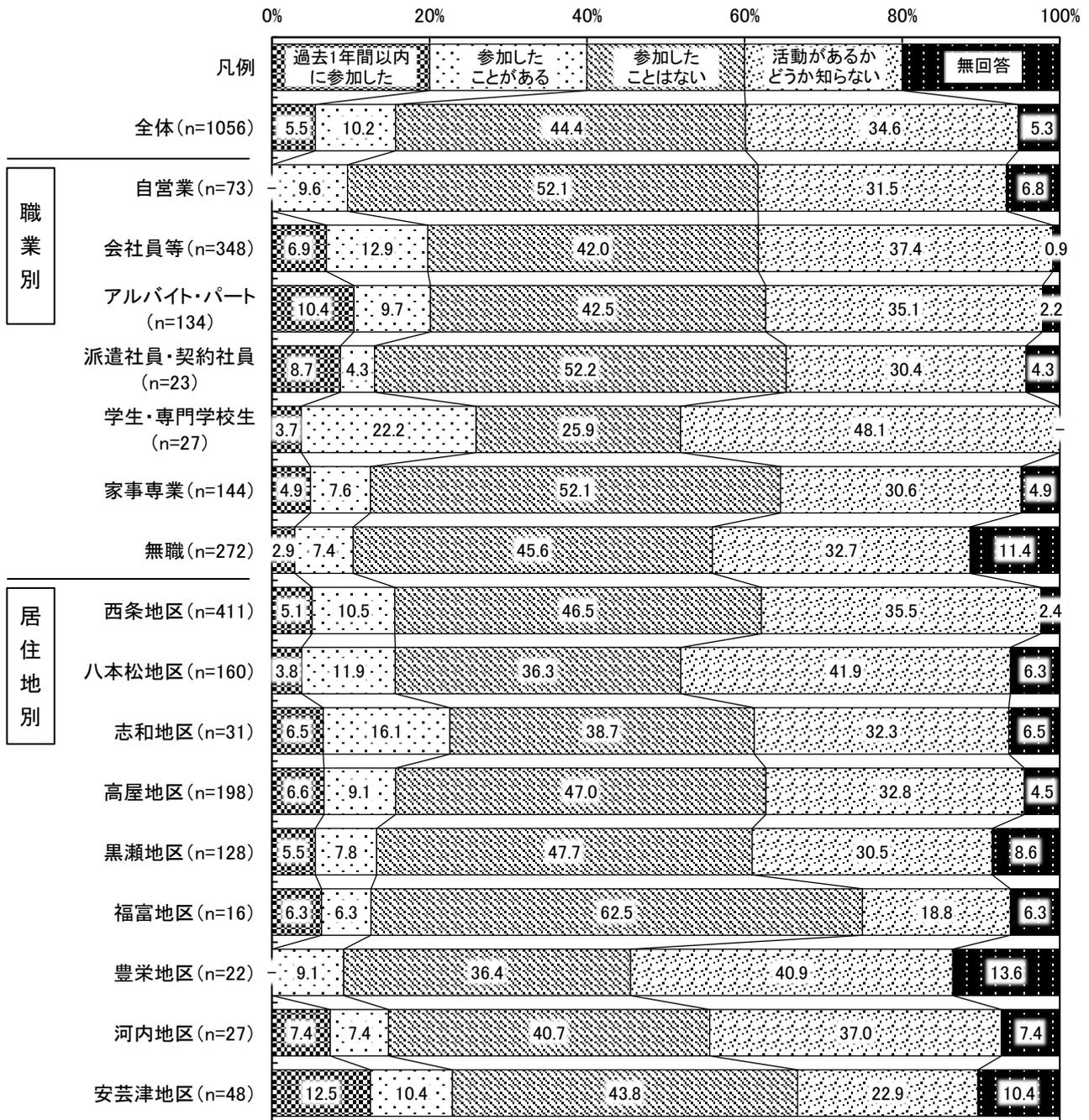


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『自営業』と『家事専業』がそれぞれ52.1%と7.7ポイント全体より高い。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が62.5%と18.1ポイント全体より高くなっている。

図15-15 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／職業別・居住地別



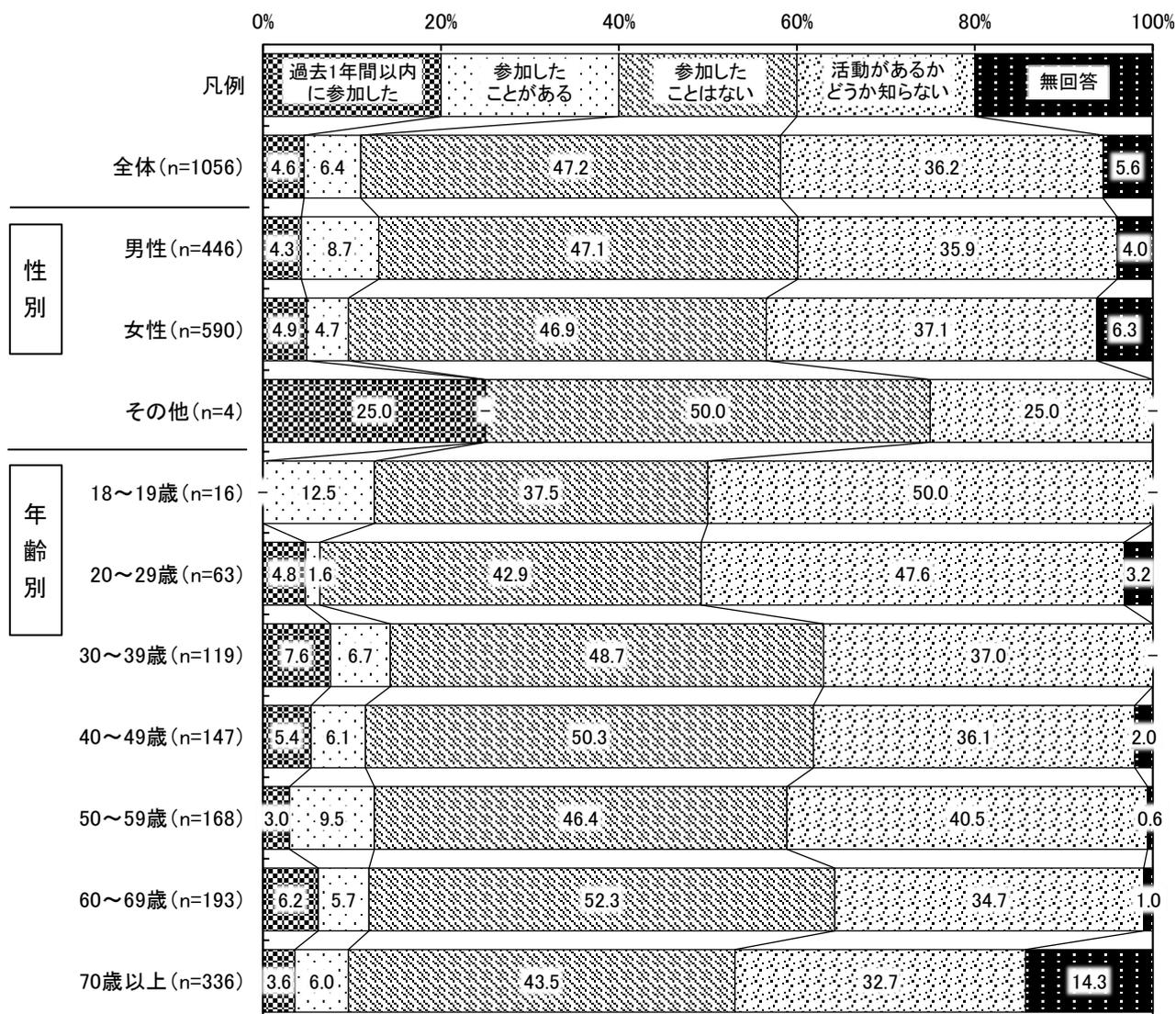
⑧情報共有(地域情報誌の発行等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『60～69歳』が52.3%と5.1ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が47.6%と11.4ポイント全体より高くなっている。

図15-16 地域活動の参加状況 ⑧情報共有/性別・年齢別

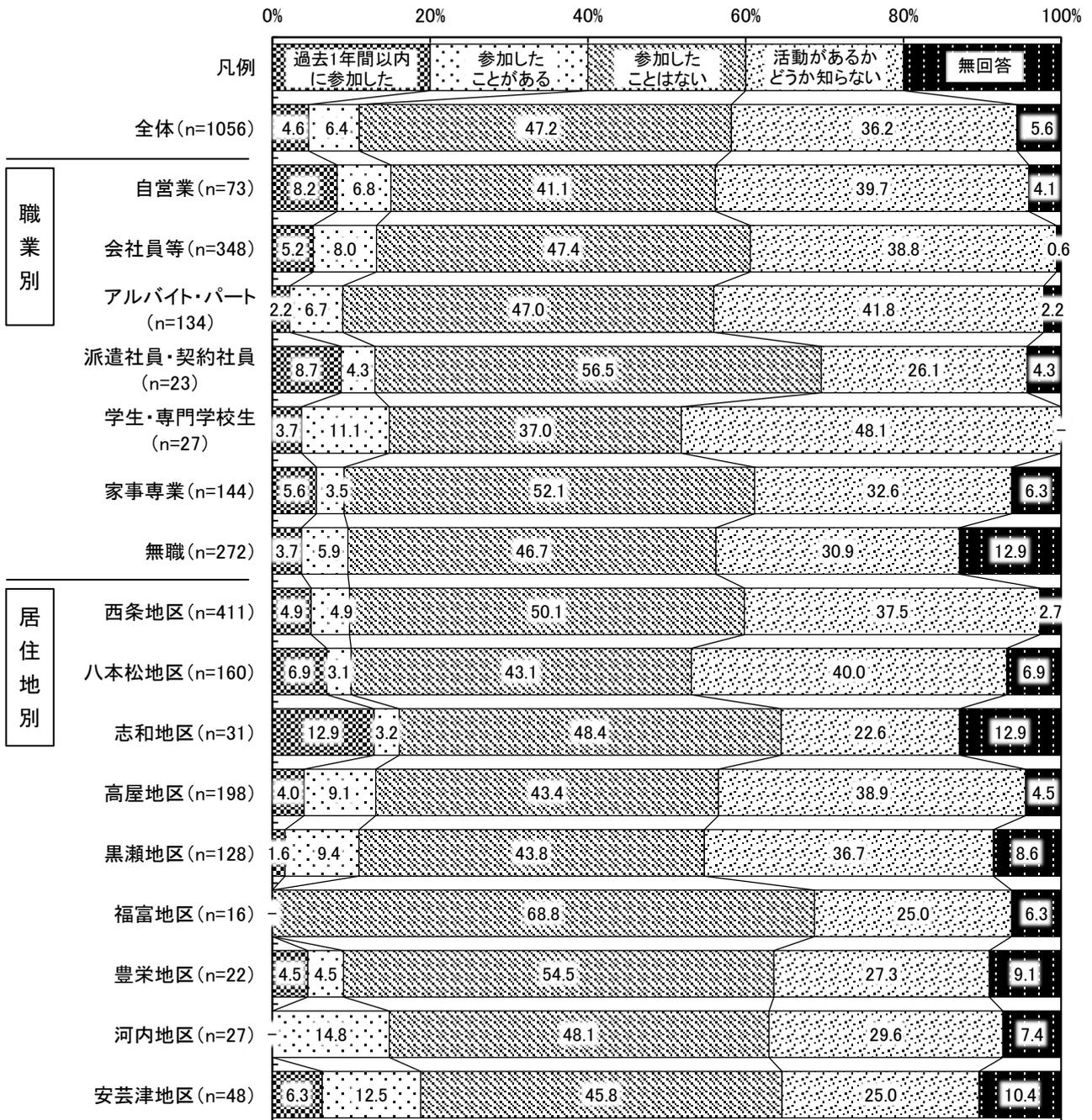


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『アルバイト・パート』が41.8%と5.6ポイント全体より高い。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が68.8%と21.6ポイント全体より高くなっている。

図15-17 地域活動の参加状況 ⑧情報共有／職業別・居住地別



⑨地域経済の活性化(バザー、特産品開発等)

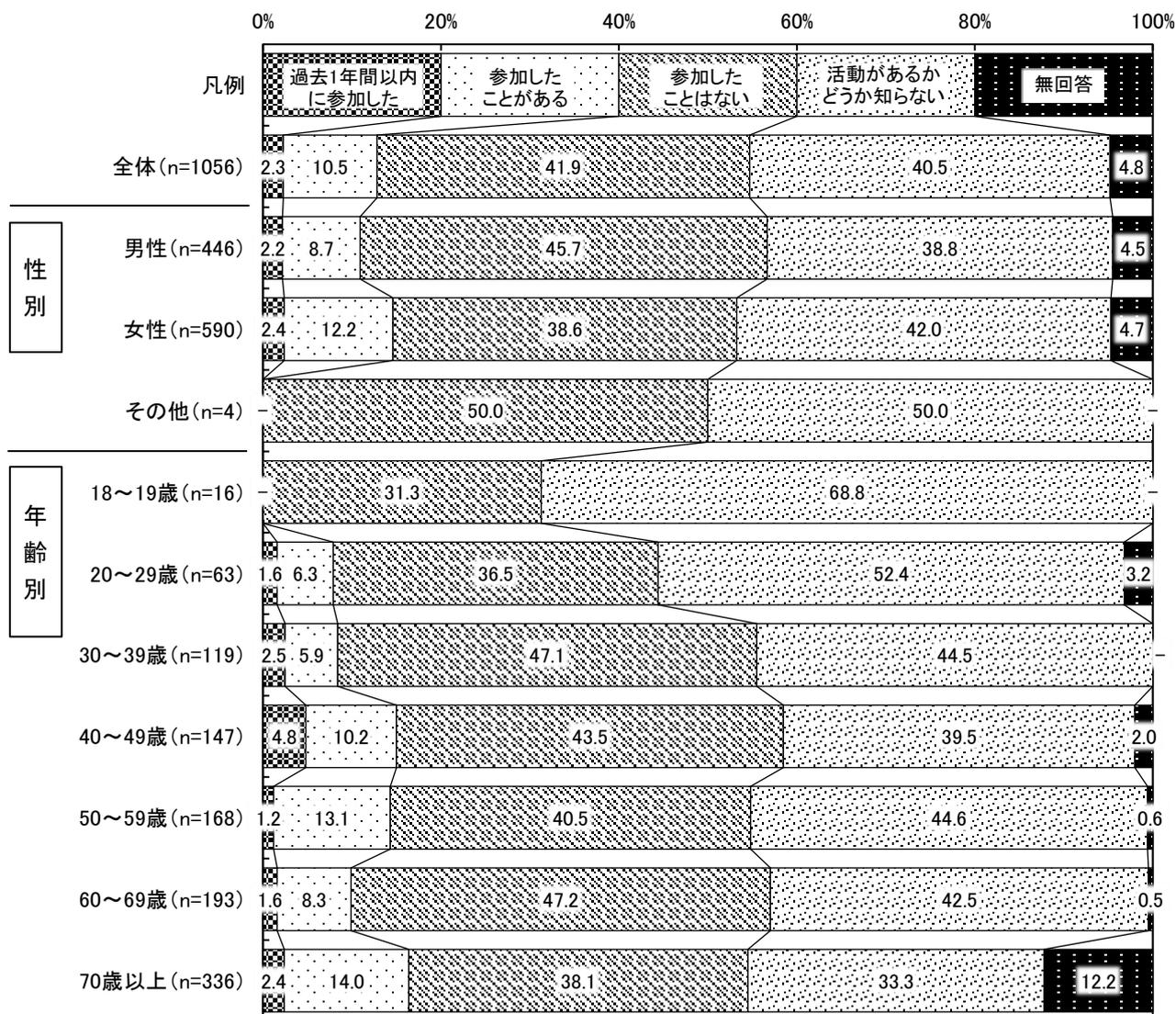
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『男性』45.7%、『女性』38.6%と『男性』が『女性』より7.1ポイント高い。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『30～39歳』が47.1%と5.2ポイント、『60～69歳』が47.2%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が52.4%と11.9ポイント全体より高くなっている。

図15-18 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化/性別・年齢別



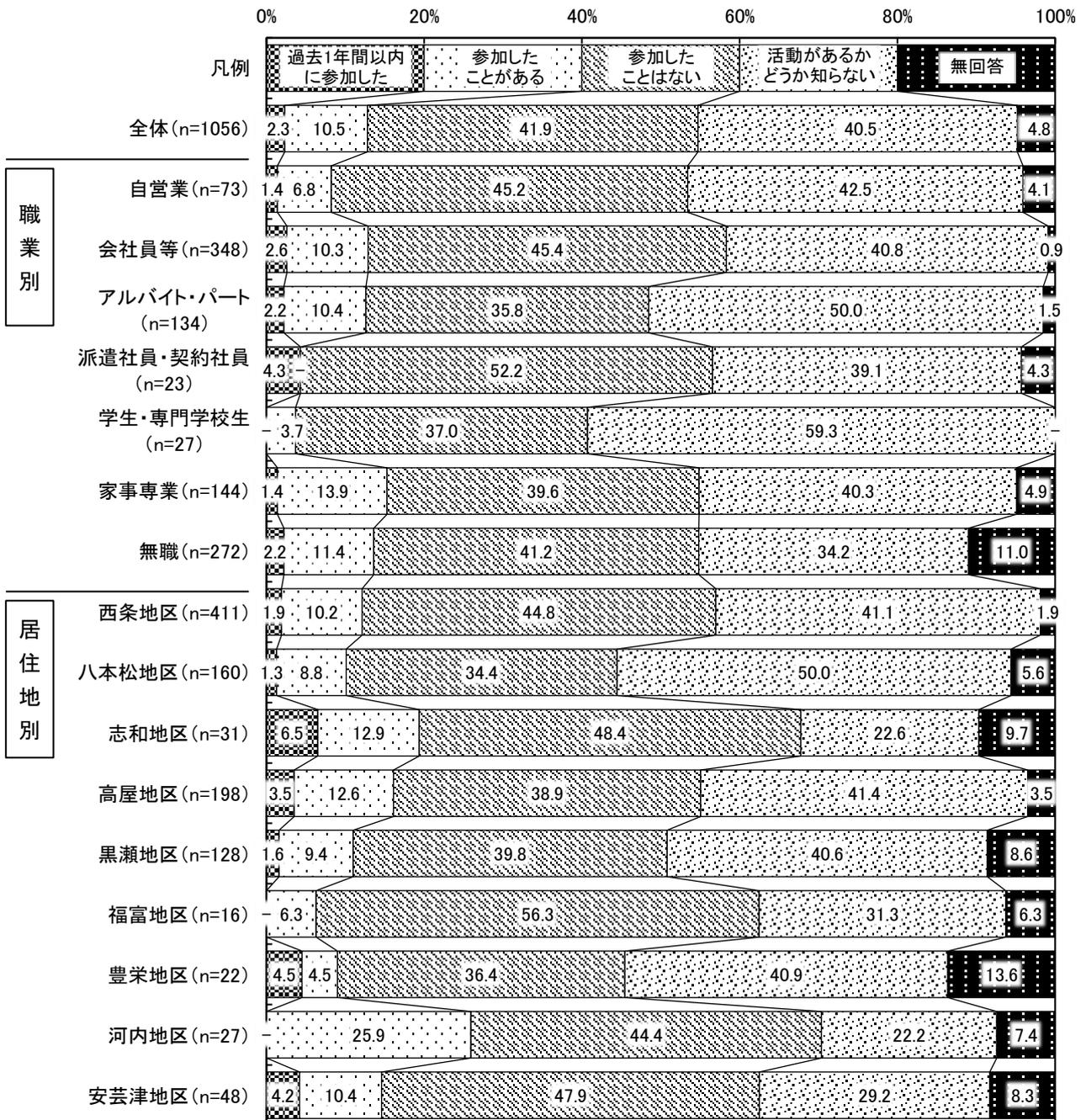
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『アルバイト・パート』が50.0%と9.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『河内地区』が25.9%と13.1ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『八本松地区』が50.0%と9.5ポイント全体より高くなっている。

図15-19 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／職業別・居住地別



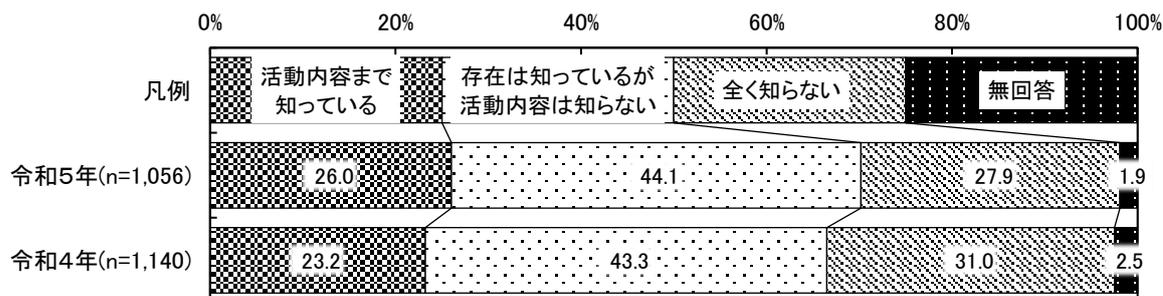
## 7. 住民自治協議会について

### (1) 住民自治協議会の認知状況

問16 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

住民自治協議会の認知状況については、「活動内容まで知っている」が26.0%、「存在は知っているが活動内容は知らない」が44.1%、「全く知らない」が27.9%となっている。

図16-1 住民自治協議会の認知状況



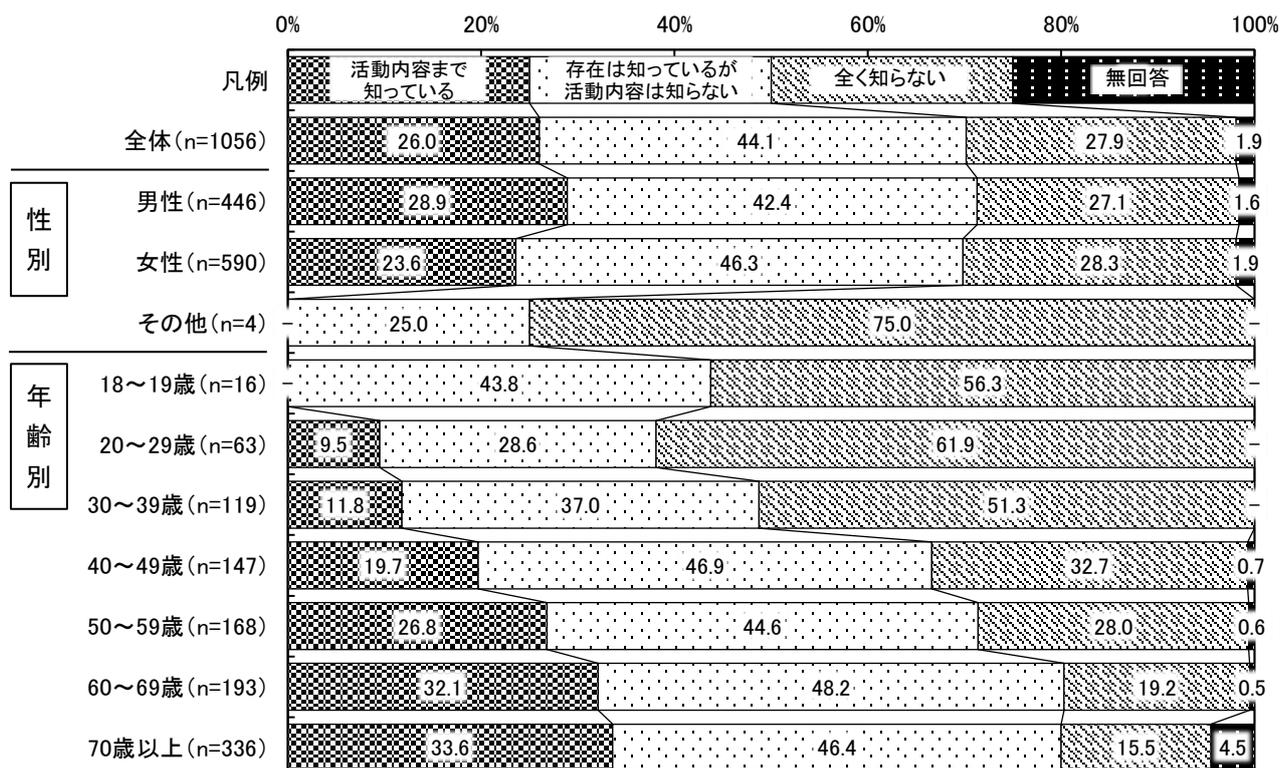
### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動内容まで知っている」は『男性』が『女性』より5.3ポイント高い。

年齢別では、「活動内容まで知っている」は『60～69歳』が32.1%と6.1ポイント、『70歳以上』が33.6%と7.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「全く知らない」は『20～29歳』が61.9%と34.0ポイント、『30～39歳』が51.3%と23.4ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図16-2 住民自治協議会の認知状況／性別・年齢別

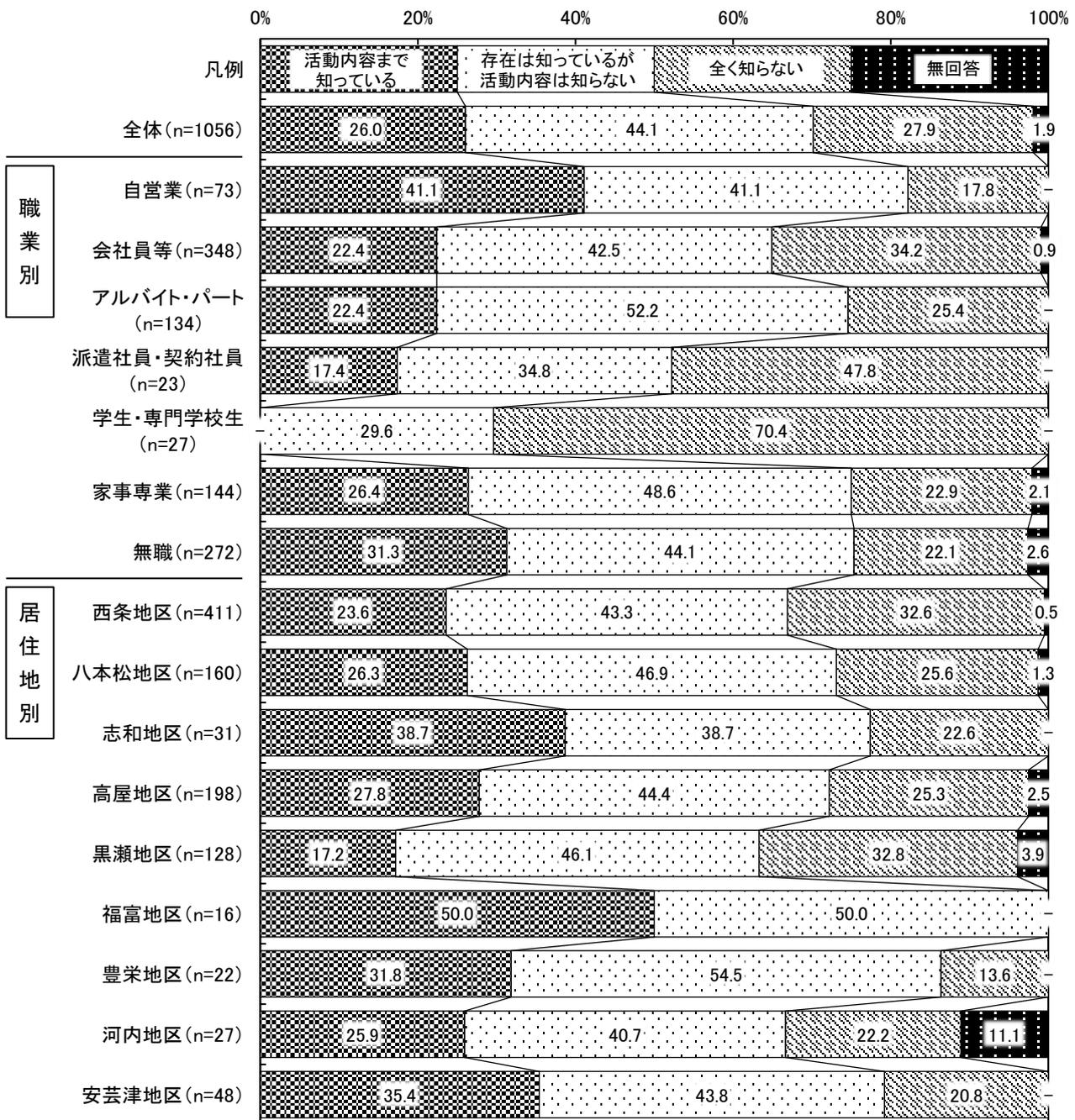


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動内容まで知っている」は『自営業』が41.1%と15.1ポイント、『無職』が31.3%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。「存在は知っているが活動内容は知らない」は『アルバイト・パート』が52.2%と8.1ポイント、「全く知らない」は『会社員等』が34.2%と6.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「活動内容まで知っている」は『志和地区』が38.7%と12.7ポイント、『福富地区』が50.0%と24.0ポイント、それぞれ全体より高い。「存在は知っているが活動内容は知らない」は『豊栄地区』が54.5%と10.4ポイント全体より高くなっている。

図16-3 住民自治協議会の認知状況／職業別・居住地別



## 8. 消費生活について

### (1) 「消費生活センター」設置の認知状況

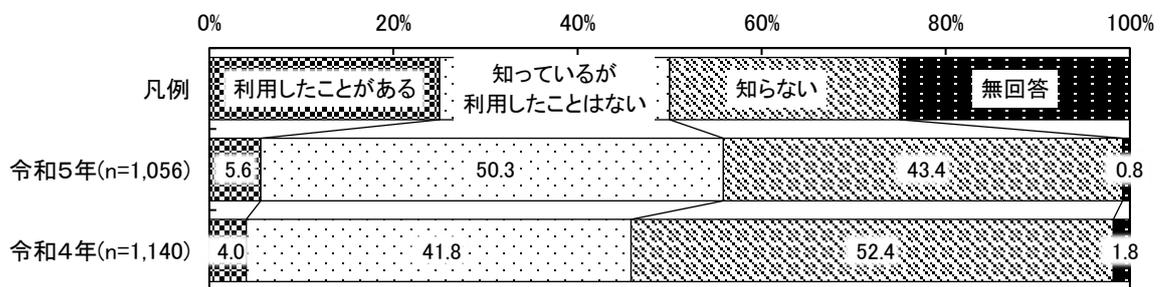
問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市における「消費生活センター」設置の認知状況については、「利用したことがある」が5.6%、「知っているが利用したことはない」が50.3%であり、“知っている”(「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計)は55.9%となっている。

「知らない」は43.4%であった。

令和4年度調査(前回)との比較では、“知っている”は45.8%から10.1ポイント増加した。

図17-1 「消費生活センター」設置の認知状況

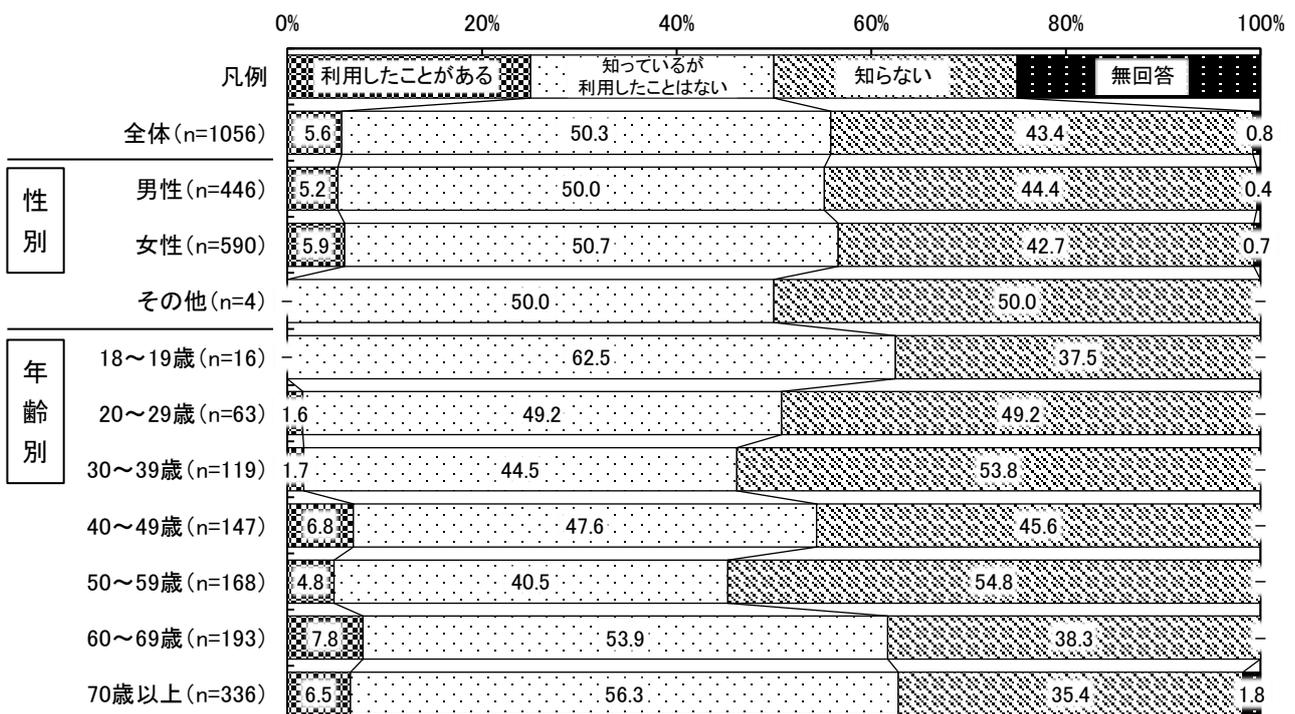


#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“知っている”は『70歳以上』が62.8%と6.9ポイント、『60～69歳』が61.7%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。一方、「知らない」は『50～59歳』が11.4ポイント、『30～39歳』が10.4ポイント、『20～29歳』が5.8ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図17-2 「消費生活センター」設置の認知状況／性別・年齢別



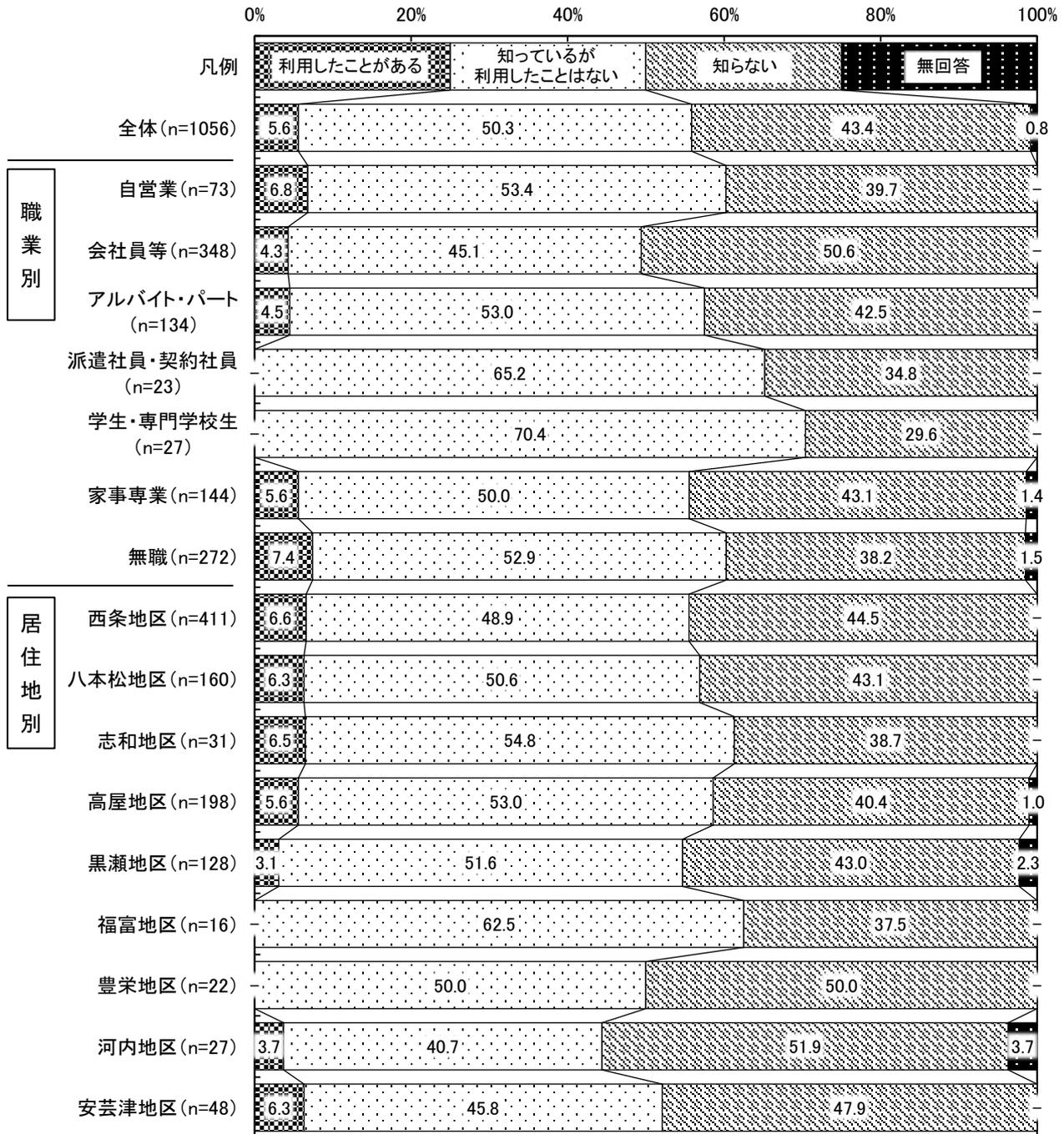
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「知らない」は『会社員等』が50.6%と7.2ポイント全体より高い。

居住地別では、“知っている”（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は『河内地区』が44.4%と11.5ポイント全体より低い。

「知っているが利用したことはない」は『福富地区』が62.5%と12.2ポイント全体より高くなっている。

図17-3 「消費生活センター」設置の認知状況／職業別・居住地別



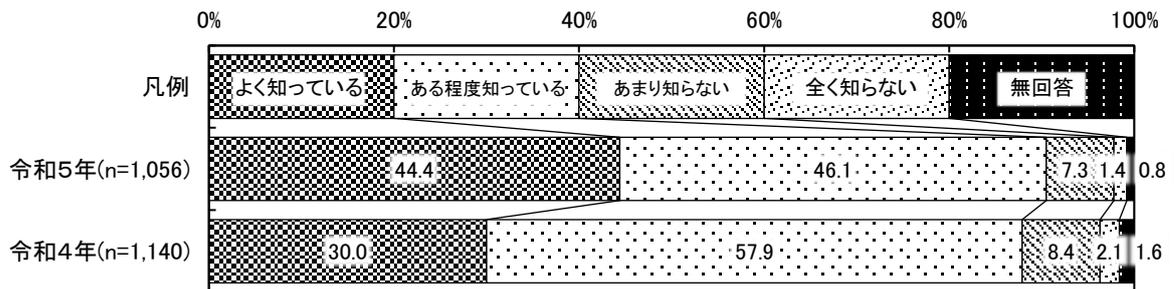
(2) 食品ロス問題の認知状況

問18 食品ロス（本来食べられるのに捨てられた食品）についておたずねします。  
食品ロスが問題となっていることを知っていますか。（1つだけ選んで○お付けください）

食品ロス問題の認知状況については、「よく知っている」が44.4%、「ある程度知っている」が46.1%と、「知っている」（「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計）は90.5%であり、9割が問題を認知している。

令和4年度調査(前回)との比較では、「知っている」の値については顕著な差はないが、「よく知っている」は30.0%から14.4ポイント増加した。

図18-1 食品ロス問題の認知状況

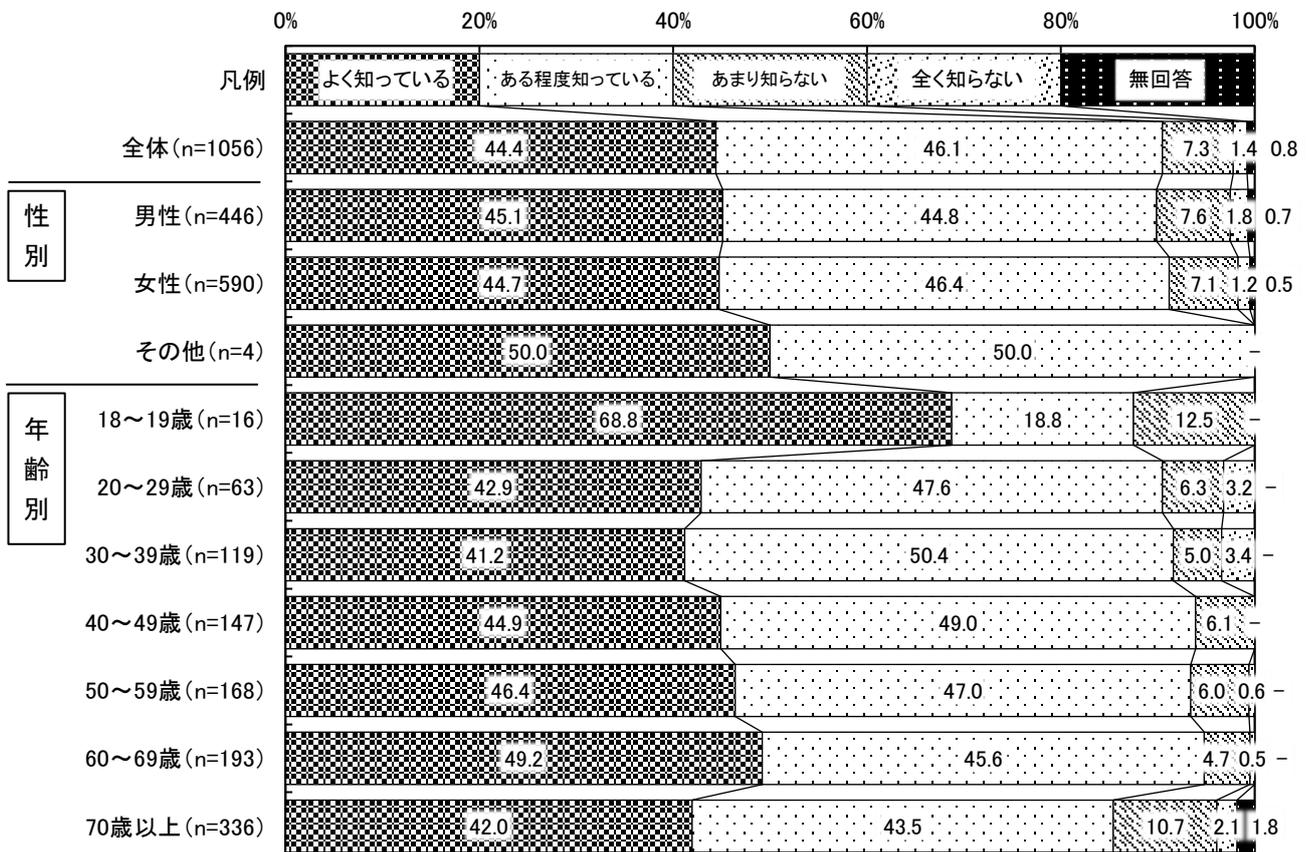


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「知っている」は『70歳以上』が85.5%と5.0ポイント全体より低くなっている。

図18-2 食品ロス問題の認知状況／性別・年齢別

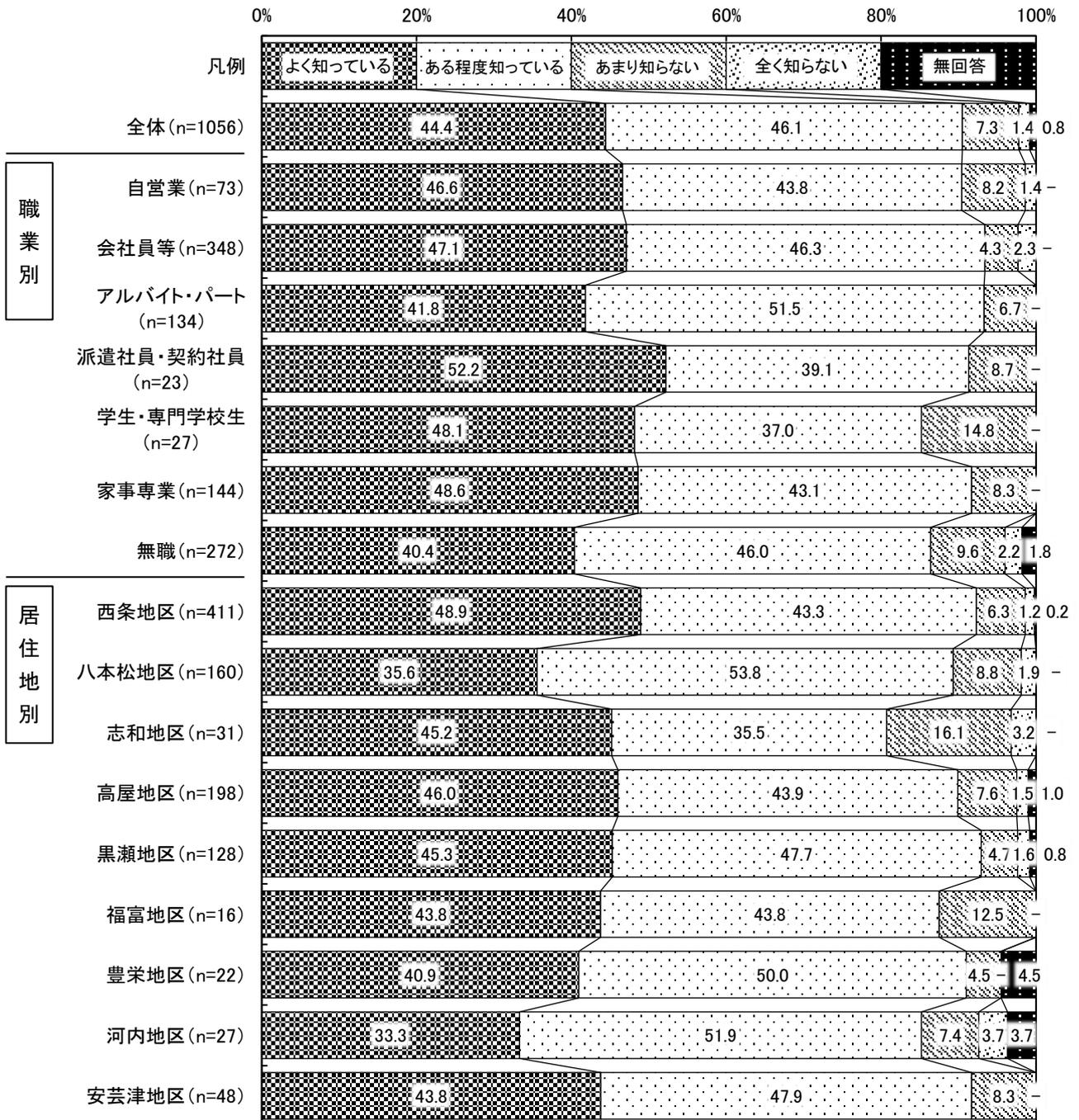


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ある程度知っている」は『アルバイト・パート』が51.5%と5.4ポイント全体より高い。

居住地別では、「よく知っている」は、『河内地区』が33.3%と11.1ポイント、『八本松地区』が35.6%と8.8ポイント、それぞれ全体より低い。

図18-3 食品ロス問題の認知状況／職業別・居住地別



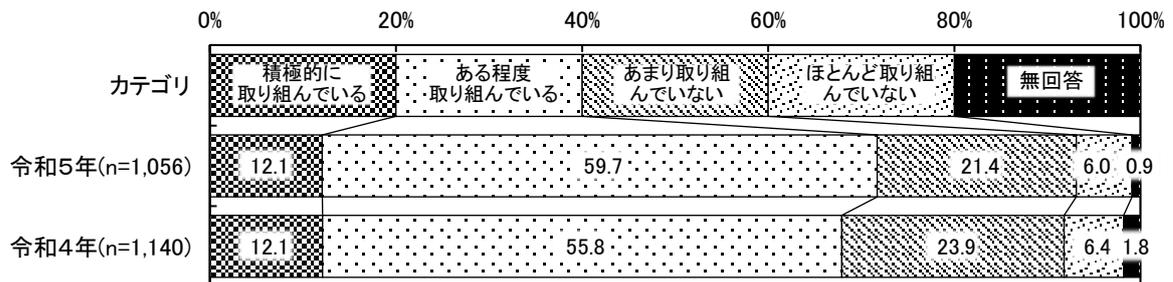
(3) 食品ロスを減らす取組み状況

問19 あなたは、食品ロスを減らす取組みをしていますか。(1つだけ選んで○お付けください)

食品ロスを減らす取組み状況については、「積極的に取り組んでいる」が12.1%、「ある程度取り組んでいる」が59.7%と、「取り組んでいる」（「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計）は71.8%であり、約7割が「取り組んでいる」と回答している。

「あまり取り組んでいない」は21.4%、「ほとんど取り組んでいない」は6.0%であり、「取り組んでいない」（「あまり取り組んでいない」と「ほとんど取り組んでいない」の合計）は27.4%となっている。

図19-1 食品ロスを減らす取組み状況

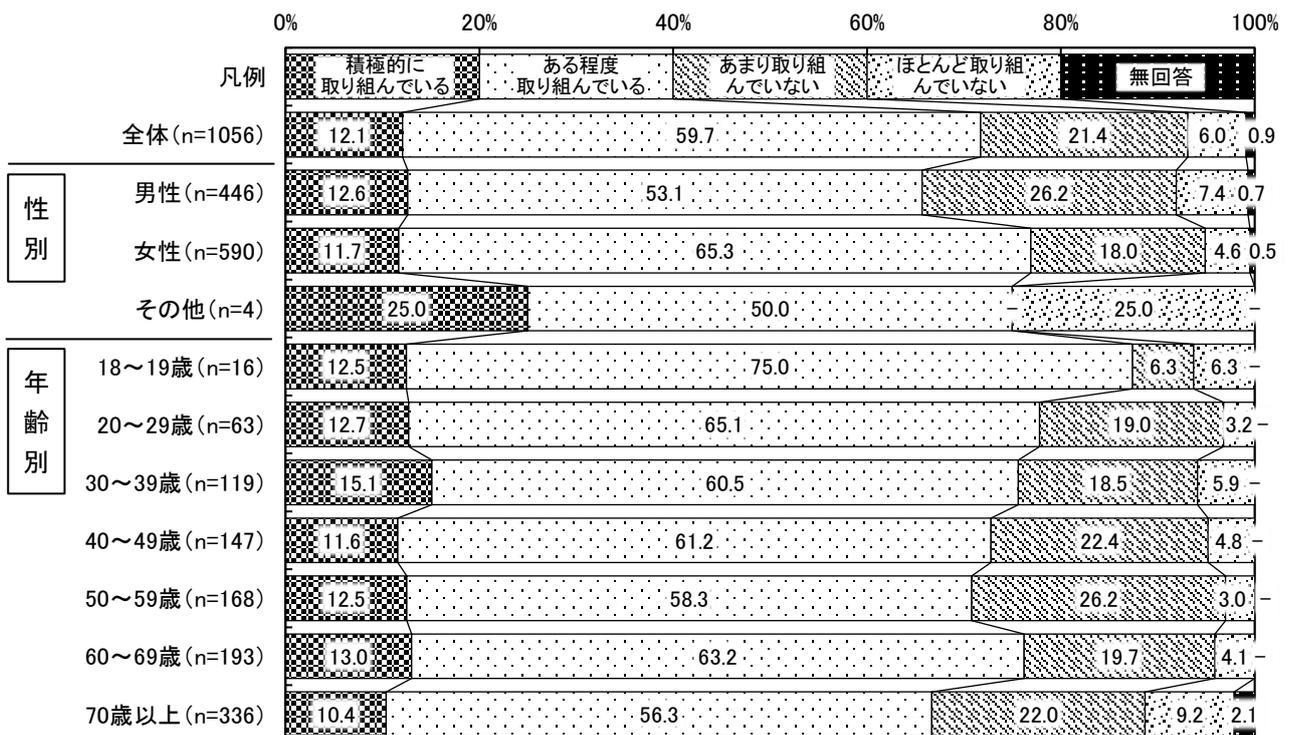


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“取り組んでいる”は『男性』65.7%、『女性』77.0%と『女性』が『男性』より11.3ポイント高い。

年齢別では、“取り組んでいる”は『20～29歳』が77.8%と6.0ポイント全体より高い。

図19-2 食品ロスを減らす取組み状況／性別・年齢別



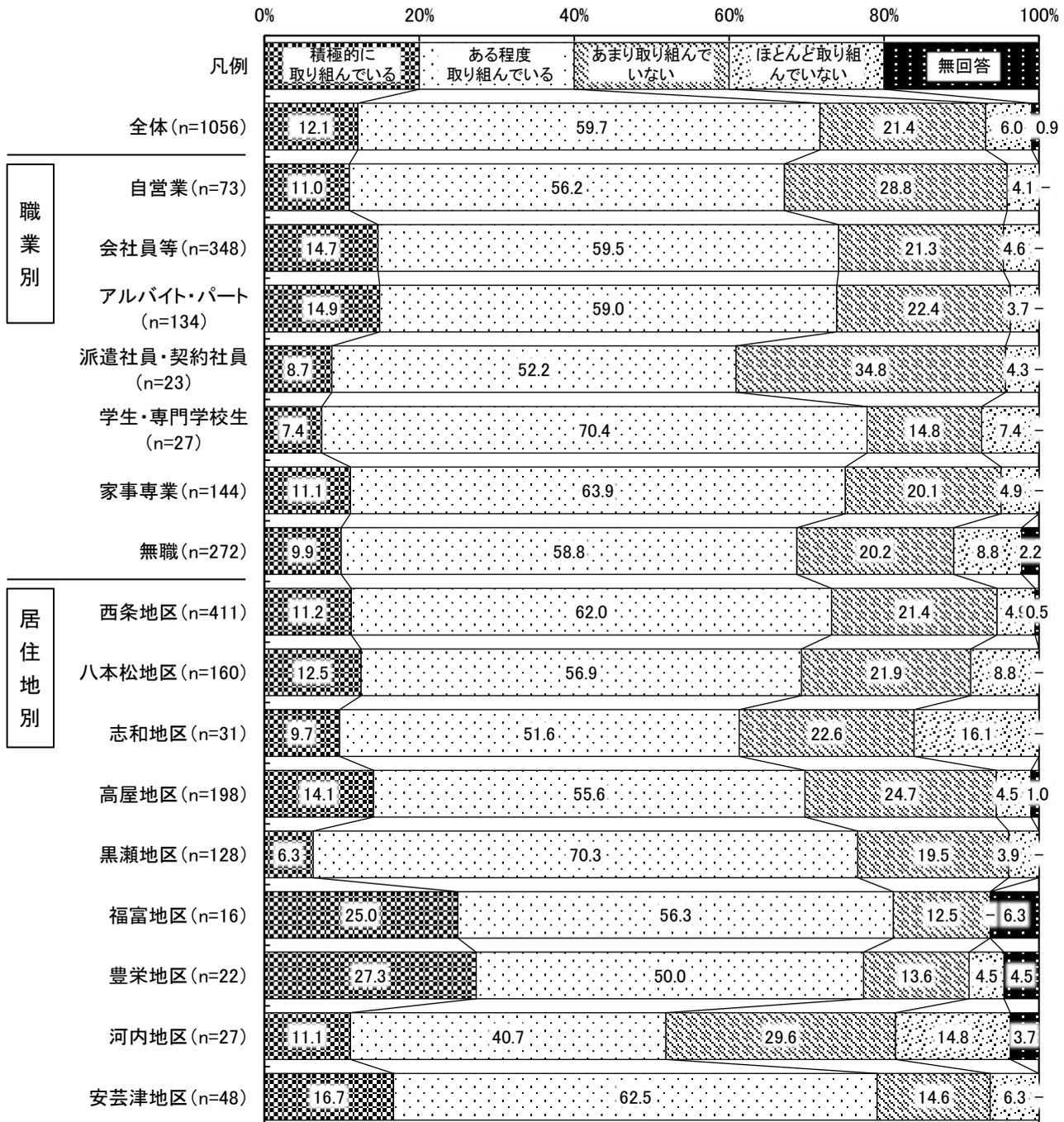
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」と「ほとんど取り組んでいない」の合計）は、『自営業』が32.9%と5.5ポイント全体より高い。

居住地別では、「取り組んでいる」については、『豊栄地区』が27.3%と15.2ポイント、『福富地区』が25.0%と12.9ポイント、それぞれ全体より高い。

“取り組んでいない”については、『河内地区』が44.4%と17.0ポイント、『志和地区』が38.7%と11.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図19-3 食品ロスを減らす取組み状況／職業別・居住地別

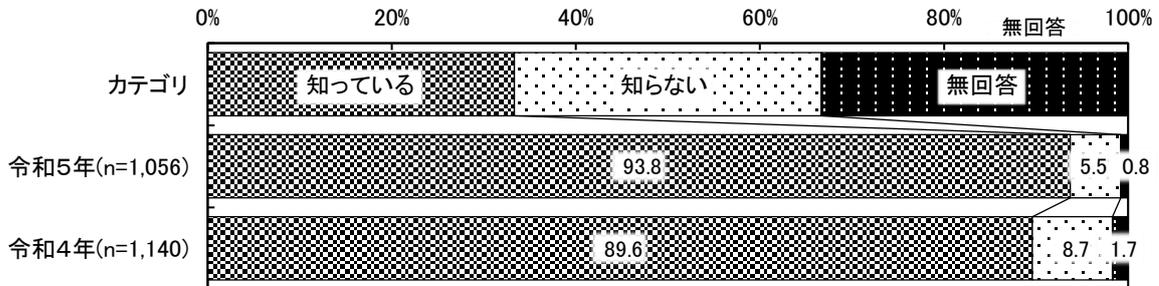


(4) 賞味期限と消費期限の違いの認知状況

問20 賞味期限と消費期限の違いを知っていますか。(1つだけ選んで○お付けください)

賞味期限と消費期限の違いの認知状況については、「知っている」が93.8%と約9割が違いを認知している。「知らない」は5.5%であった。

図20-1 賞味期限と消費期限の違いの認知状況

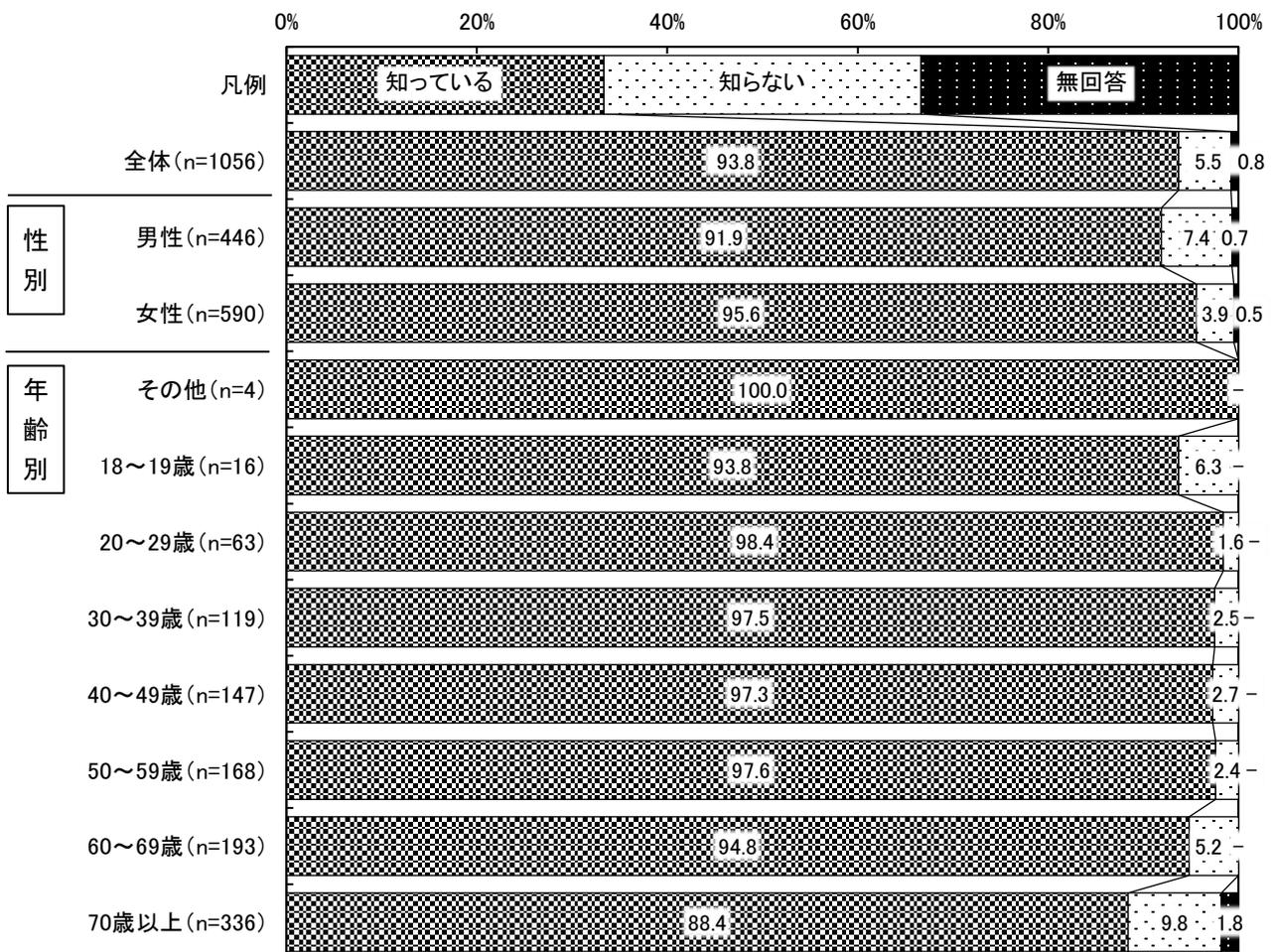


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「知っている」は『70歳以上』が88.4%と5.4ポイント全体より低い。

図20-2 賞味期限と消費期限の違いの認知状況／性別・年齢別

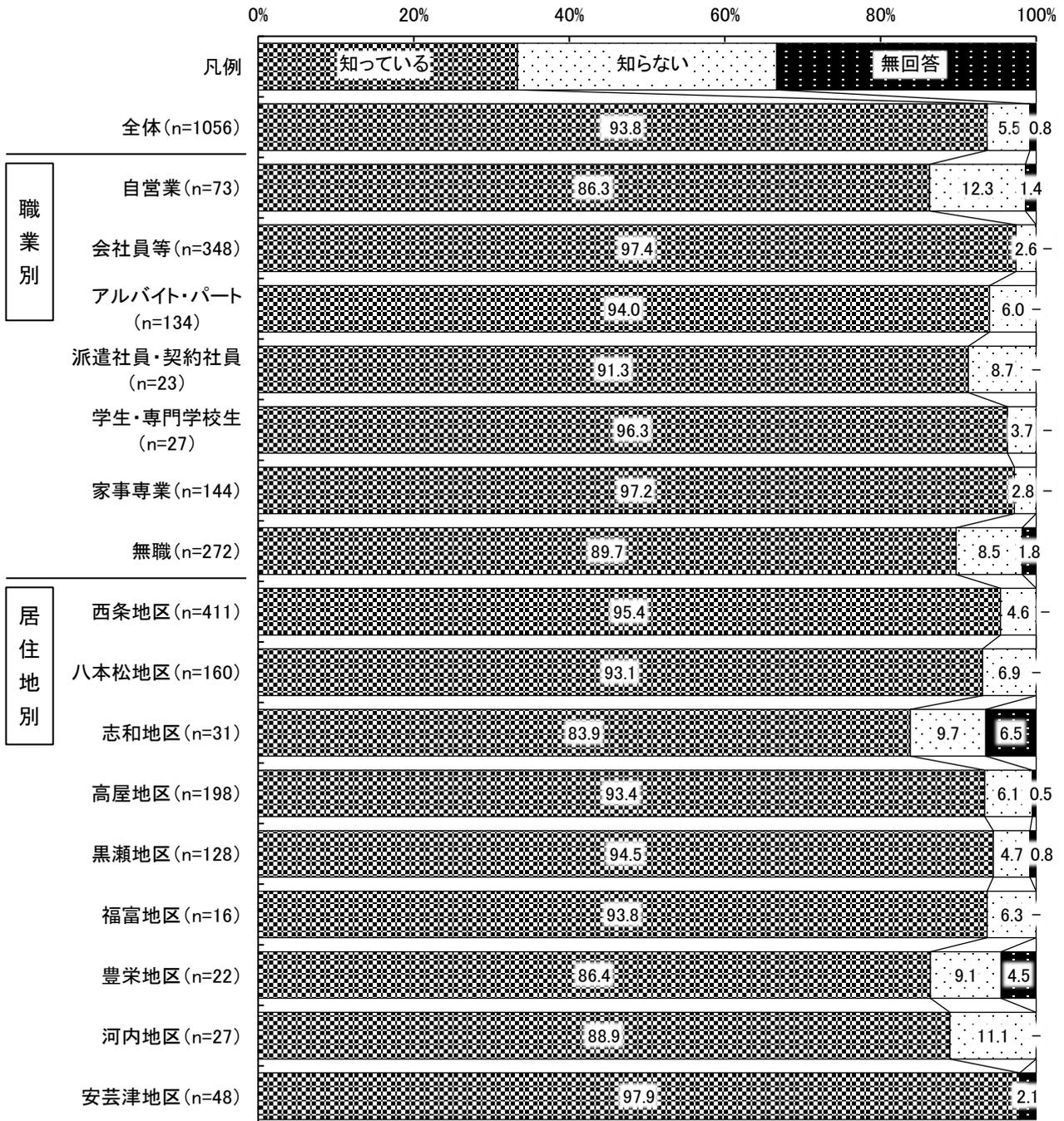


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「知らない」は『自営業』が12.3%と6.8ポイント全体より高い。

居住地別では、顕著な差はない。

図20-3 賞味期限と消費期限の違いの認知状況／職業別・居住地別



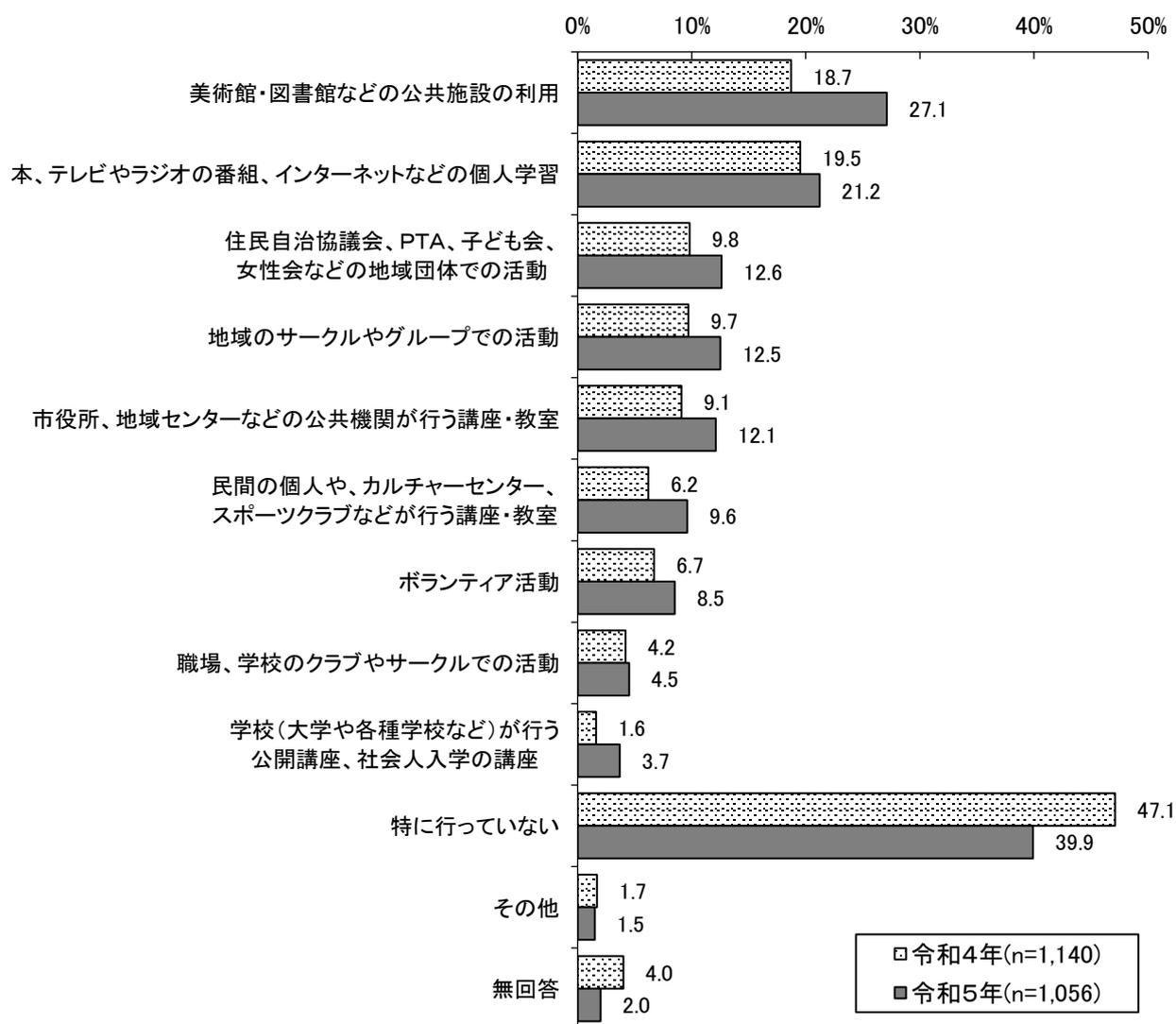
## 9. 生涯学習について

### (1) 生涯学習の実施状況

問21 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習については、「美術館・図書館などの公共施設の利用」が27.1%と最も高く、次いで、「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」が21.2%と高い。「特に行っていない」は39.9%であった。

図21-1 生涯学習の実施状況



【属性別の傾向】＜性別＞

「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は6.4ポイント、「民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室」は6.3ポイント、それぞれ『女性』が『男性』より高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『20～29歳』が14.2ポイント、『30～39歳』が7.4ポイント、「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」は『20～29歳』が12.1ポイント、『30～39歳』が12.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」は『40～49歳』が7.8ポイント、「地域のサークルやグループでの活動」は『70歳以上』が11.9ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」についても、『70歳以上』が6.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「職場、学校のクラブやサークルでの活動」は『20～29歳』が6.6ポイント全体より高い。

「特に行っていない」は『50～59歳』が7.1ポイント全体より高くなっている。

表21-1 生涯学習の実施状況／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	女性会などの地域団体での活動	住民自治協議会、PTA、子ども会、	地域のサークルやグループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行っていない	その他	無回答
全体 (n=1056)		27.1	21.2	12.6	12.5	12.1	9.6	8.5	4.5	3.7	39.9	1.5	2.0	
性別	男性 (n=446)	24.7	21.5	13.5	10.8	8.5	6.1	9.0	6.3	4.3	<b>42.2</b>	0.9	1.1	
	女性 (n=590)	28.6	21.0	11.9	14.1	14.9	12.4	8.3	3.4	3.2	<b>38.3</b>	1.9	2.4	
	その他 (n=4)	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	
年齢別	18～19歳 (n=16)	43.8	31.3	-	-	-	6.3	12.5	25.0	25.0	18.8	-	-	
	20～29歳 (n=63)	<b>41.3</b>	<b>33.3</b>	1.6	3.2	4.8	1.6	12.7	<b>11.1</b>	4.8	36.5	1.6	-	
	30～39歳 (n=119)	34.5	<b>33.6</b>	10.9	7.6	7.6	5.9	7.6	5.9	5.0	<b>37.8</b>	0.8	-	
	40～49歳 (n=147)	29.9	15.0	<b>20.4</b>	7.5	6.8	8.8	6.1	5.4	4.1	<b>42.9</b>	-	0.7	
	50～59歳 (n=168)	23.2	17.9	8.9	7.1	11.9	10.7	8.3	4.2	4.2	<b>47.0</b>	1.2	1.2	
	60～69歳 (n=193)	29.5	18.7	16.6	7.8	11.9	13.0	7.3	2.6	5.7	<b>40.4</b>	-	1.6	
	70歳以上 (n=336)	20.2	19.9	12.2	<b>24.4</b>	<b>18.5</b>	10.7	9.8	3.0	0.6	<b>36.9</b>	3.6	3.9	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

### 【属性別の傾向】＜職業別＞

「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」は『自営業』が7.6ポイント、「地域のサークルやグループでの活動」は『無職』が7.7ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は『家事専業』が6.0ポイント、『無職』が5.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室」は『自営業』が6.8ポイント、『家事専業』が7.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

### 【属性別の傾向】＜居住地別＞

「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」は『豊栄地区』が19.2ポイント、『福富地区』と『安芸津地区』が12.4ポイント、『志和地区』が10.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域のサークルやグループでの活動」は『福富地区』が12.5ポイント、『安芸津地区』が10.4ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は、『福富地区』が19.2ポイント、「ボランティア活動」は『福富地区』10.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表21-2 生涯学習の実施状況／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動	地域のサークルやグループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行っていない	その他	無回答
全体 (n=1056)		27.1	21.2	12.6	12.5	12.1	9.6	8.5	4.5	3.7	39.9	1.5	2.0
職業別	自営業 (n=73)	23.3	28.8	16.4	11.0	12.3	16.4	9.6	4.1	2.7	<b>37.0</b>	1.4	-
	会社員等 (n=348)	29.9	24.7	13.8	5.7	5.5	5.7	8.9	6.3	4.6	<b>40.8</b>	0.6	0.9
	アルバイト・パート (n=134)	25.4	17.9	12.7	9.7	11.9	9.7	7.5	3.0	1.5	<b>44.8</b>	-	1.5
	派遣社員・契約社員 (n=23)	21.7	8.7	8.7	17.4	13.0	8.7	4.3	4.3	-	<b>56.5</b>	-	-
	学生・専門学校生 (n=27)	<b>51.9</b>	29.6	-	-	3.7	3.7	11.1	<b>33.3</b>	<b>22.2</b>	18.5	-	-
	家事専業 (n=144)	24.3	18.8	11.1	17.4	18.1	16.7	6.3	2.8	3.5	<b>38.2</b>	3.5	2.1
	無職 (n=272)	23.9	18.8	12.9	20.2	17.3	9.2	8.5	1.5	2.9	<b>38.6</b>	1.5	3.7
居住地別	西条地区 (n=411)	31.4	23.8	10.0	10.7	11.7	8.3	7.8	4.9	4.4	<b>39.9</b>	1.9	1.2
	八本松地区 (n=160)	29.4	20.6	12.5	15.6	11.3	11.9	8.8	3.8	4.4	<b>40.0</b>	1.9	1.3
	志和地区 (n=31)	<b>29.0</b>	19.4	22.6	3.2	9.7	12.9	9.7	-	3.2	<b>29.0</b>	3.2	3.2
	高屋地区 (n=198)	23.2	20.2	9.6	10.6	9.6	9.1	7.6	6.1	3.0	<b>43.4</b>	0.5	1.0
	黒瀬地区 (n=128)	26.6	18.0	13.3	10.9	15.6	11.7	6.3	4.7	3.1	<b>41.4</b>	0.8	2.3
	福富地区 (n=16)	6.3	18.8	25.0	25.0	<b>31.3</b>	12.5	18.8	6.3	-	<b>31.3</b>	-	-
	豊栄地区 (n=22)	18.2	13.6	<b>31.8</b>	18.2	9.1	4.5	18.2	4.5	9.1	<b>31.8</b>	-	9.1
	河内地区 (n=27)	3.7	29.6	11.1	18.5	14.8	3.7	11.1	-	-	<b>40.7</b>	7.4	7.4
安芸津地区 (n=48)	20.8	14.6	25.0	22.9	16.7	14.6	14.6	4.2	2.1	<b>35.4</b>	-	4.2	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

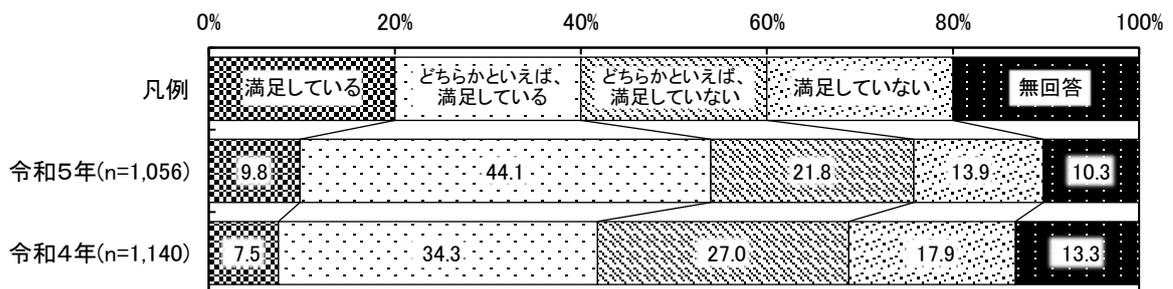
(2) 生涯学習の満足度

問22 この1年間に行った生涯学習に満足していますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習の満足度については、「満足している」が9.8%、「どちらかといえば、満足している」が44.1%と、「満足」（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は53.9%となっている。「どちらかといえば、満足していない」は21.8%、「満足していない」は13.9%であり、これらを合計した“不満足”は35.7%であった。

令和4年度調査(前回)との比較では、“満足”は41.8%から12.1ポイント増加した。

図22-1 生涯学習の満足度

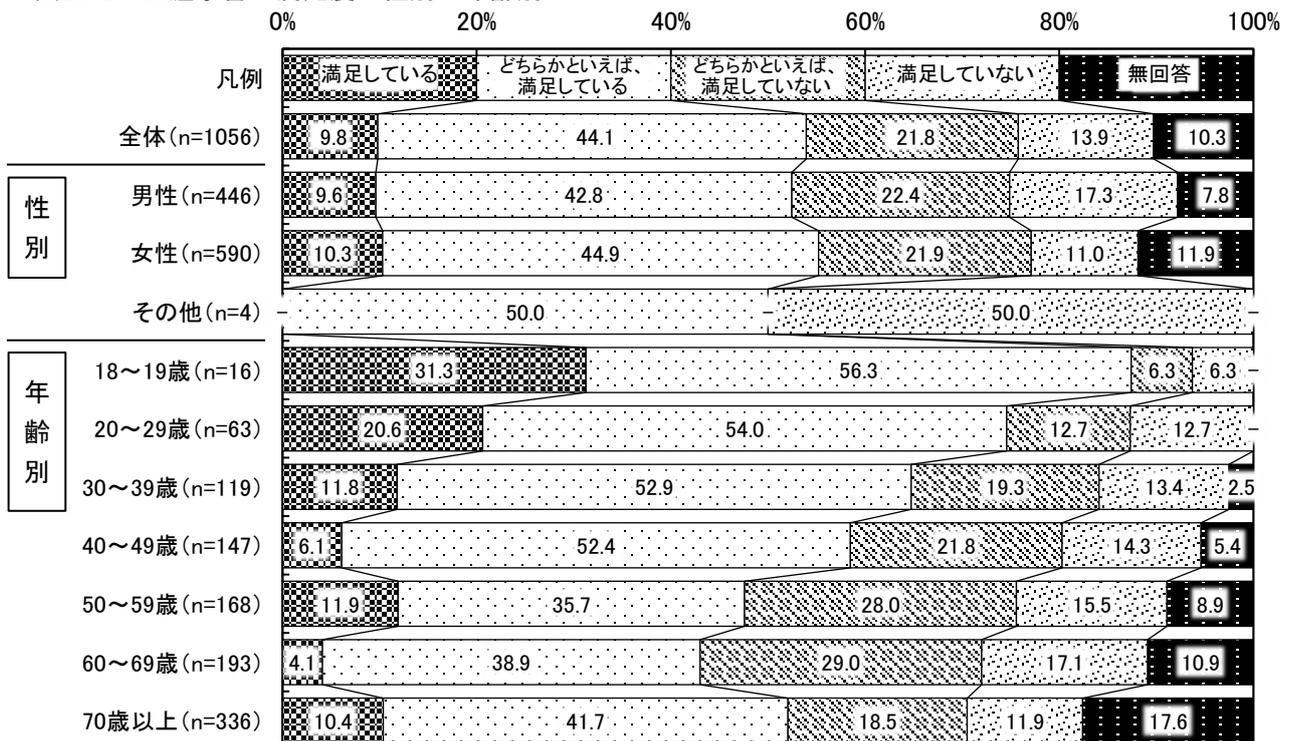


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“不満足”は『男性』39.7%、『女性』32.9%と『男性』が『女性』より6.8ポイント高い。

年齢別では、“満足”は『20～29歳』が74.6%と20.7ポイント、『30～39歳』が64.7%と10.8ポイント、それぞれ全体より高い。

図22-2 生涯学習の満足度／性別・年齢別

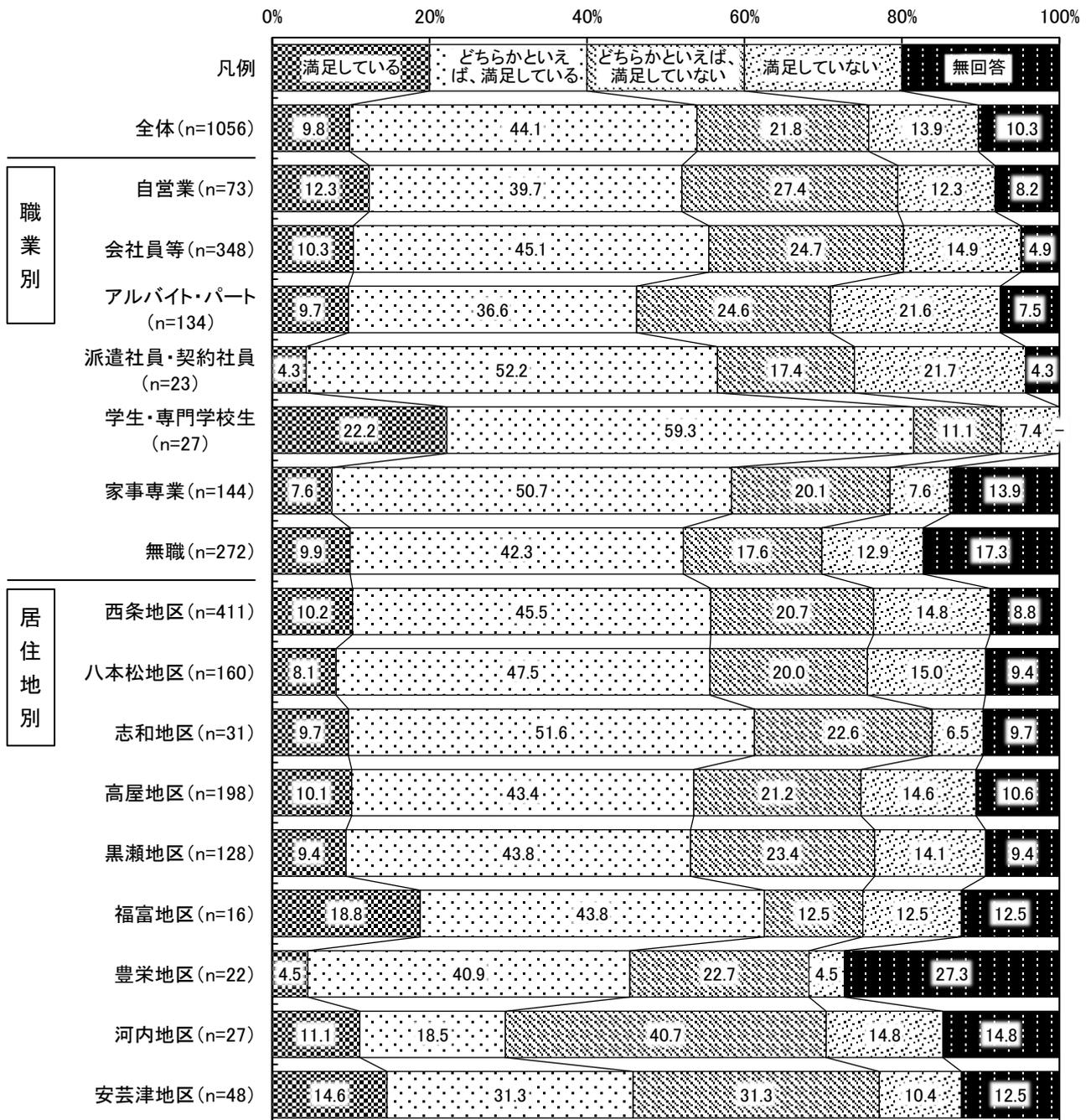


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“不満足”（「どちらかといえば、満足していない」と「満足していない」の合計）については、『パート・アルバイト』が46.2%と10.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“不満足”は『河内地区』が55.5%と19.8ポイント全体より高くなっている。

図22-3 生涯学習の満足度／職業別・居住地別

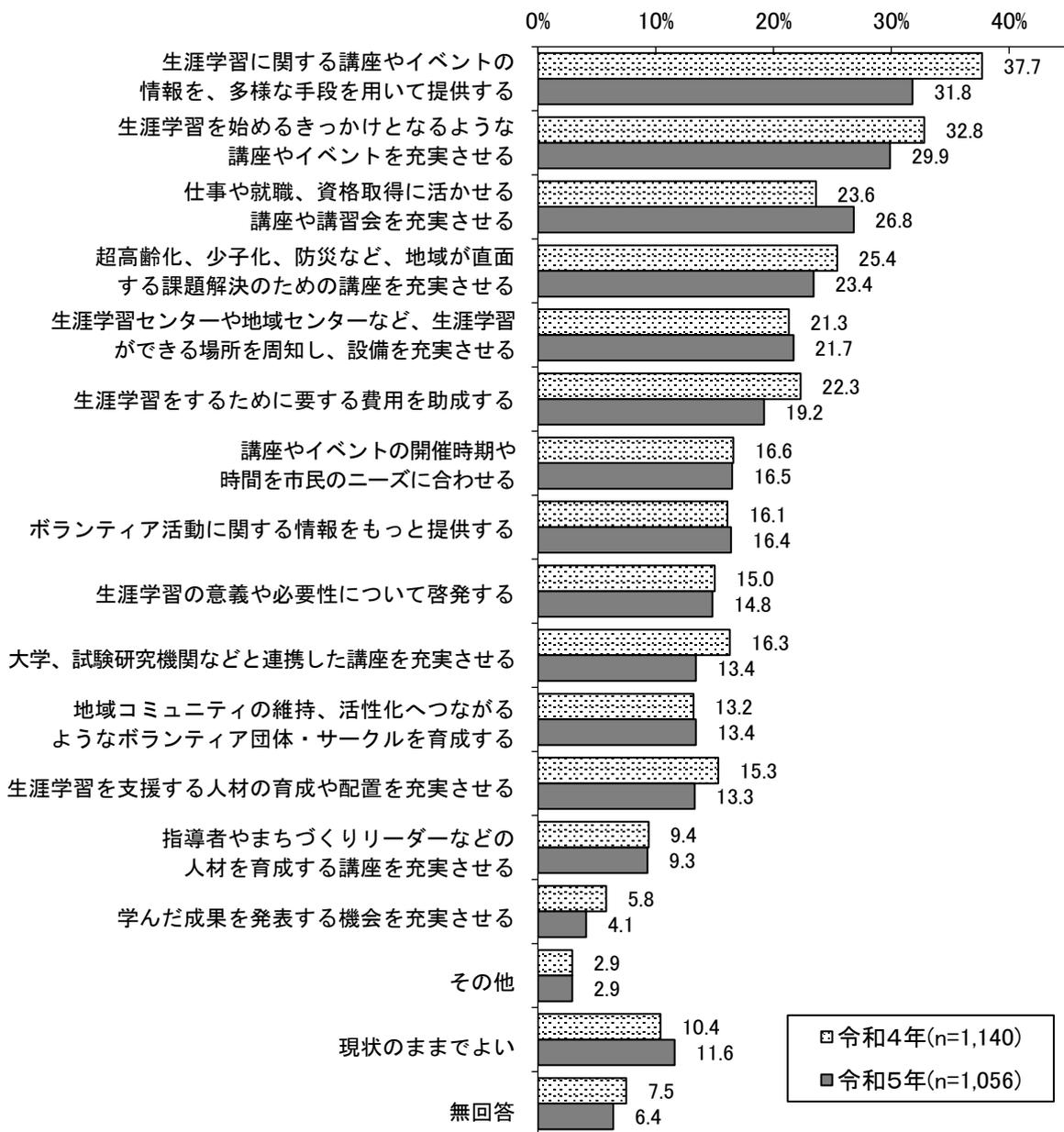


(3) 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項

問23 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取組みに力を入れるべきだと思いますか。（当てはまるもの全てを選んで○をお付けください）

生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項については、「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」が31.8%、「生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる」が29.9%と高く、次いで「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」が26.8%、「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」が23.4%、「生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる」が21.7%、「生涯学習をするために要する費用を助成する」が19.2%となっている。

図23-1 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取組み事項＜複数回答＞



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、「生涯学習の意義や必要性について啓発する」は『男性』18.6%、『女性』12.2%と『男性』が『女性』より6.4ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」は『60～69歳』が9.1ポイント、『50～59歳』が6.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は、『20～29歳』が14.5ポイント、『30～39歳』が15.2ポイント、『40～49歳』が8.6ポイント、『50～59歳』が11.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『7歳以上』が7.6ポイント全体より高い。

表23-1 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習をするために要する費用を助成する	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	ボランティア活動に関する情報をもっと提供する	生涯学習の意義や必要性について啓発する	大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる	地域コミュニティの維持、活性化へつなげるようなボランティア団体・サークルを育成する	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=1056)		31.8	29.9	26.8	23.4	21.7	19.2	16.5	16.4	14.8	13.4	13.4	13.3	9.3	4.1	2.9	11.6	6.4
性別	男性(n=446)	<b>30.3</b>	28.9	24.2	24.0	19.5	20.9	14.3	16.1	18.6	15.2	15.0	13.7	10.3	4.5	2.5	11.2	5.2
	女性(n=590)	<b>33.1</b>	30.3	29.0	23.1	23.1	18.5	18.5	16.6	12.2	12.2	11.9	12.9	8.8	3.7	3.1	11.7	7.1
	その他(n=4)	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=16)	37.5	25.0	25.0	25.0	6.3	12.5	25.0	12.5	18.8	50.0	12.5	-	6.3	-	-	12.5	-
	20～29歳(n=63)	23.8	27.0	<b>41.3</b>	6.3	15.9	15.9	14.3	15.9	7.9	<b>22.2</b>	9.5	4.8	4.8	4.8	1.6	12.7	1.6
	30～39歳(n=119)	30.3	22.7	<b>42.0</b>	16.8	15.1	16.0	12.6	12.6	12.6	<b>19.3</b>	5.9	7.6	5.0	3.4	2.5	13.4	2.5
	40～49歳(n=147)	27.9	31.3	<b>35.4</b>	18.4	14.3	17.7	<b>22.4</b>	8.8	17.7	<b>19.0</b>	9.5	12.2	5.4	4.1	2.7	10.9	2.7
	50～59歳(n=168)	38.1	32.1	<b>38.7</b>	22.0	26.8	23.2	20.2	18.5	14.3	15.5	14.3	13.1	8.9	4.2	2.4	7.7	3.0
	60～69歳(n=193)	<b>40.9</b>	33.7	24.9	24.9	28.0	25.9	17.6	<b>21.8</b>	17.1	10.4	15.0	17.6	10.4	4.7	3.1	7.8	2.1
	70歳以上(n=336)	26.8	28.9	10.7	<b>31.0</b>	22.6	16.7	13.4	17.3	14.6	6.5	16.7	15.5	13.4	3.9	3.6	15.2	14.3

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる」は『アルバイト・パート』が9.7ポイント全体より高い。「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は『会社員等』が8.8ポイント、『アルバイト・パート』が8.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『無職』が9.0ポイント高い。

【属性別の傾向】＜居住地＞

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は『西条地区』が5.8ポイント全体より高い。「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『福富地区』が20.4ポイント、「生涯学習をするために要する費用を助成する」は『河内地区』が14.1ポイント、『福富地区』が12.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「生涯学習の意義や必要性について啓発する」は『河内地区』が11.1ポイント、『志和地区』が11.0ポイント、それぞれ全体より高い。

表23-2 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

	生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習をするために要する費用を助成する	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	ボランティア活動に関する情報をもっと提供する	生涯学習の意義や必要性について啓発する	連携した講座を充実させる	大学・試験研究機関などと連携した講座を充実させる	地域コミュニティの維持、活性化へつなげるようなボランティア団体・サークルを育成する	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=1056)	31.8	29.9	26.8	23.4	21.7	19.2	16.5	16.4	14.8	13.4	13.4	13.3	9.3	4.1	2.9	11.6	6.4	
職業別																		
自営業(n=73)	<b>32.9</b>	24.7	21.9	23.3	27.4	23.3	17.8	21.9	15.1	15.1	13.7	19.2	8.2	4.1	5.5	9.6	8.2	
会社員等(n=348)	32.8	26.7	<b>35.6</b>	17.5	20.1	18.7	17.8	14.1	16.1	17.8	11.2	9.8	7.5	4.6	3.4	10.3	1.4	
アルバイト・パート(n=134)	30.6	<b>39.6</b>	35.1	24.6	22.4	20.9	21.6	14.9	12.7	9.7	14.2	13.4	11.2	3.7	1.5	11.2	3.0	
派遣社員・契約社員(n=23)	<b>30.4</b>	<b>30.4</b>	<b>30.4</b>	13.0	17.4	17.4	13.0	26.1	8.7	8.7	4.3	26.1	13.0	8.7	-	4.3	-	
学生・専門学校生(n=27)	25.9	25.9	29.6	14.8	14.8	14.8	22.2	18.5	18.5	<b>40.7</b>	11.1	-	3.7	3.7	-	11.1	-	
家事専業(n=144)	<b>30.6</b>	28.5	24.3	22.2	25.0	22.9	13.2	16.0	9.0	6.9	11.1	11.1	7.6	2.8	2.8	16.7	8.3	
無職(n=272)	31.3	30.1	14.3	<b>32.4</b>	20.2	16.5	14.7	17.3	18.0	10.3	17.6	16.5	11.4	3.7	2.2	12.9	12.5	
居住地別																		
西条地区(n=411)	31.1	28.0	<b>32.6</b>	19.7	20.4	20.0	17.3	16.3	14.8	17.3	11.9	13.6	8.8	4.9	3.2	11.2	4.1	
八本松地区(n=160)	32.5	<b>33.1</b>	25.0	30.0	20.6	23.1	16.3	18.1	13.1	15.0	14.4	18.8	10.6	5.6	1.9	12.5	6.3	
志和地区(n=31)	<b>35.5</b>	29.0	12.9	32.3	29.0	22.6	12.9	9.7	<b>25.8</b>	9.7	19.4	16.1	9.7	3.2	3.2	16.1	9.7	
高屋地区(n=198)	<b>35.9</b>	26.8	28.8	22.7	21.2	14.6	17.7	16.7	16.2	11.1	12.1	8.1	7.1	3.5	1.5	7.1	6.6	
黒瀬地区(n=128)	32.0	<b>36.7</b>	19.5	23.4	24.2	18.0	16.4	16.4	14.8	11.7	15.6	13.3	10.2	0.8	4.7	14.8	6.3	
福富地区(n=16)	18.8	18.8	25.0	<b>43.8</b>	18.8	<b>31.3</b>	18.8	18.8	6.3	6.3	<b>31.3</b>	18.8	18.8	12.5	-	18.8	6.3	
豊栄地区(n=22)	18.2	<b>31.8</b>	18.2	27.3	22.7	22.7	13.6	13.6	9.1	4.5	18.2	18.2	9.1	4.5	<b>13.6</b>	<b>13.6</b>	<b>22.7</b>	
河内地区(n=27)	18.5	22.2	22.2	22.2	14.8	<b>33.3</b>	7.4	11.1	<b>25.9</b>	-	11.1	11.1	7.4	3.7	3.7	<b>25.9</b>	11.1	
安芸津地区(n=48)	33.3	<b>35.4</b>	14.6	22.9	27.1	10.4	18.8	20.8	8.3	8.3	8.3	6.3	16.7	-	-	10.4	8.3	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 10. 運動・スポーツについて

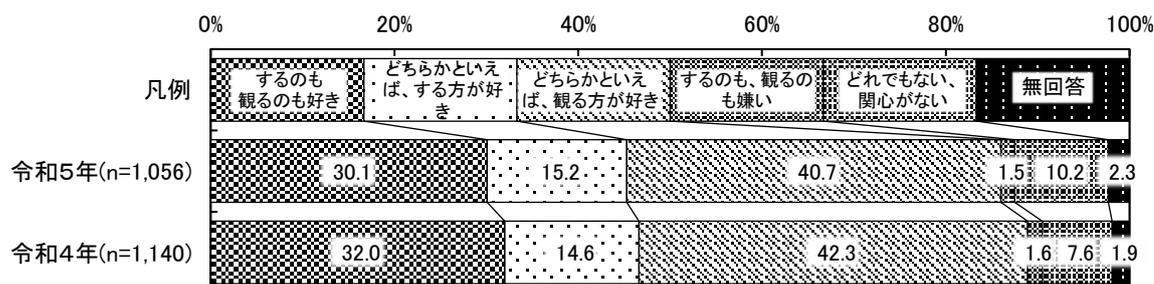
### (1) 運動・スポーツが好きか

問24 あなたは、運動やスポーツが好きですか？（1つだけ選んで○をお付けください）

運動やスポーツが好きかについては、「どちらかといえば観る方が好き」が40.7%と最も高く、次いで、「するのも観るのも好き」が30.1%、「どちらかといえばする方が好き」が15.2%となっている。

「するのも観るのも嫌い」は1.5%、「どれでもない、関心がない」は10.2%であった。

図24-1 運動・スポーツが好きか

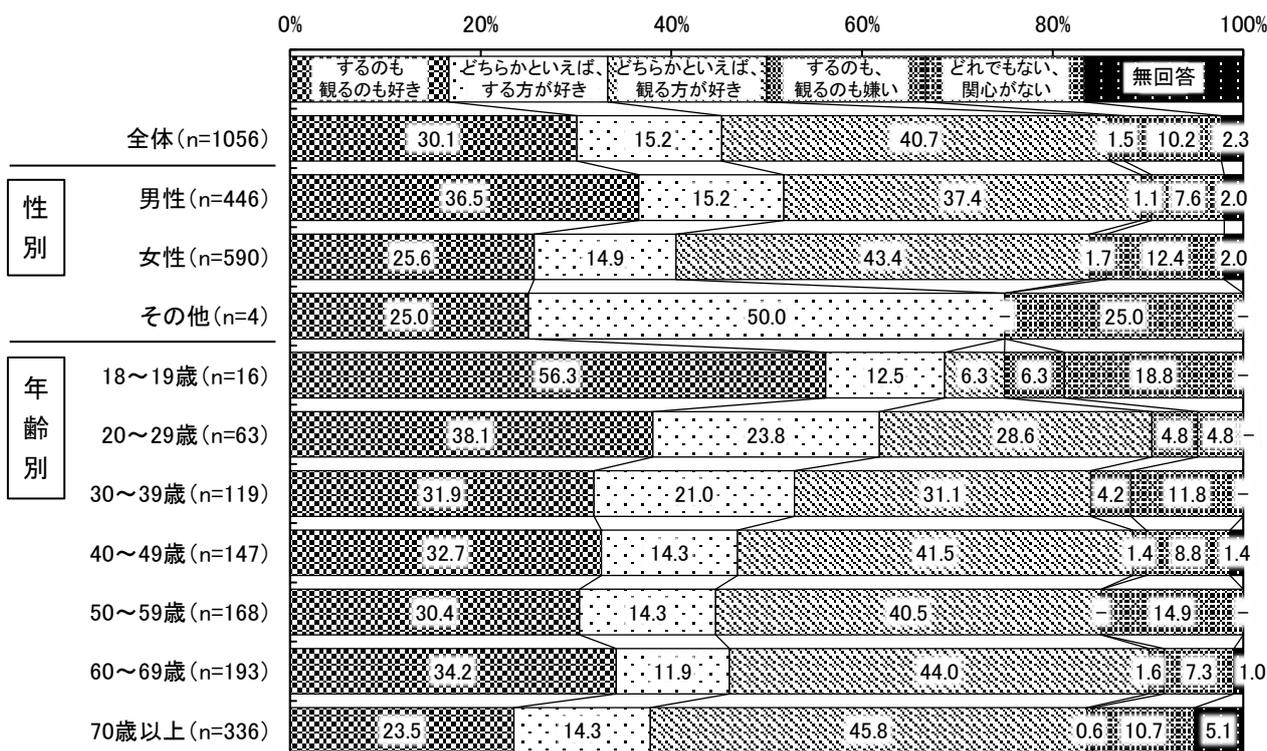


### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「するの観るのも好き」は『男性』が『女性』より10.9ポイント高く、「どちらかといえば観る方が好き」は『女性』が『男性』より6.0ポイント高くなっている。

年齢別では、「するの観るのも好き」は『20～29歳』が38.1%と8.0ポイント全体より高い。「どちらかといえば、する方が好き」は『20～29歳』が23.8%と8.6ポイント、『30～39歳』が21.0%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。

図24-2 運動・スポーツが好きか／性別・年齢別

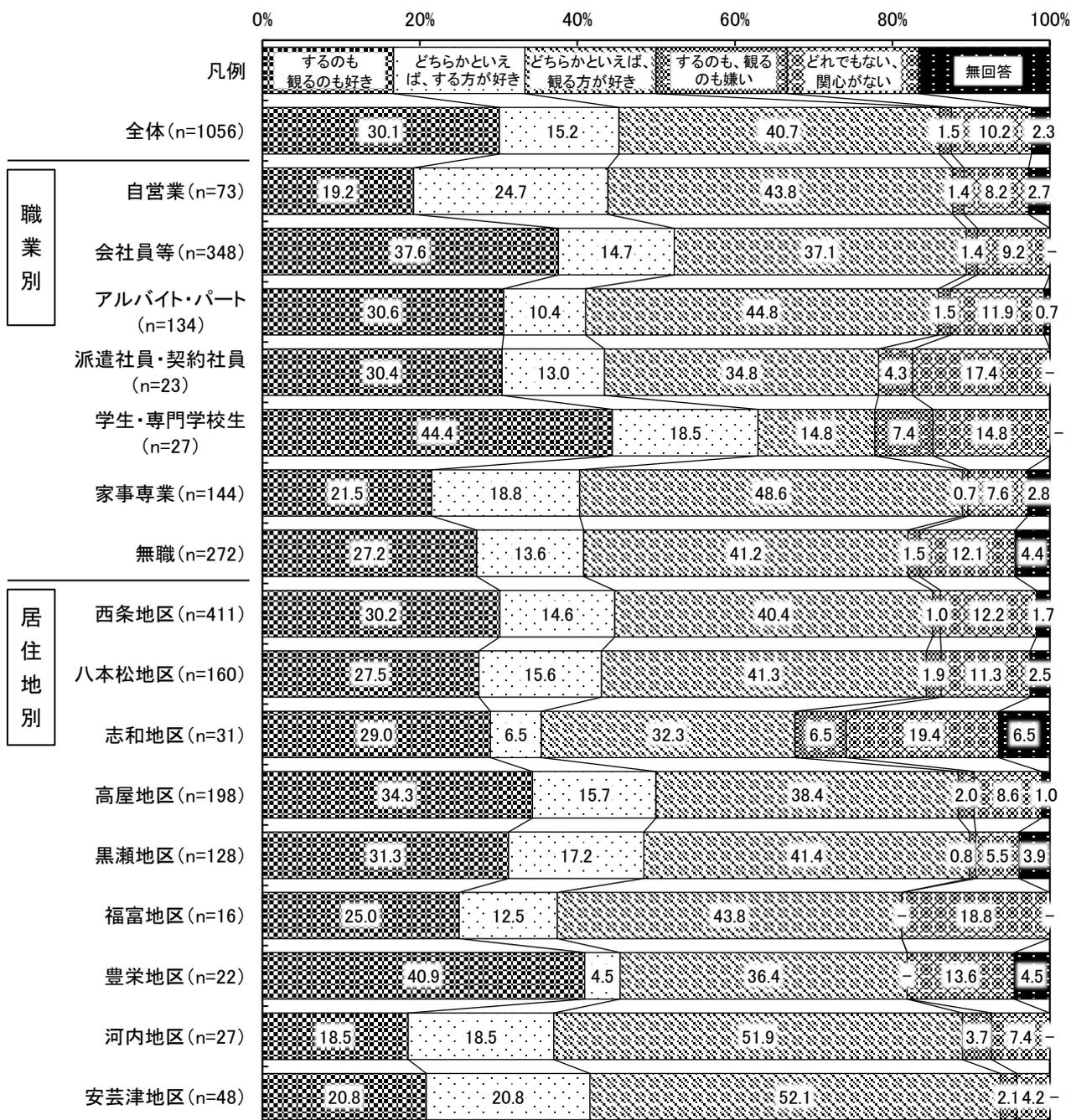


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「するのも観るのも好き」は『会社員等』が37.6%と7.5ポイント、「どちらかといえばする方が好き」は『自営業』が24.7%と9.5ポイント、「どちらかといえば観る方が好き」は『家事専業』が48.6%と7.9ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「するのも観るのも好き」は『豊栄地区』が40.9%と10.8ポイント、「どちらかといえばする方が好き」は『安芸津地区』が20.8%と5.6ポイント、「どちらかといえば観る方が好き」は『安芸津地区』が52.1%と11.4ポイント、『河内地区』が51.9%と11.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図24-3 運動・スポーツが好きか／職業別・居住地別



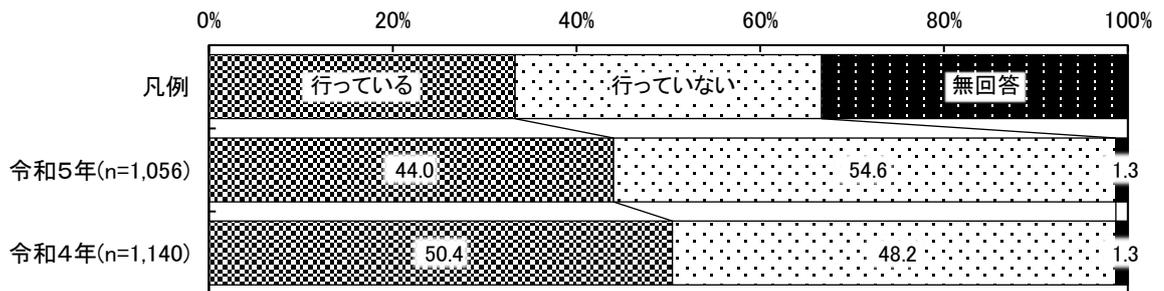
(2) 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか

問25 あなたは、現在週に1日以上スポーツや運動を行っていますか？  
 (ウォーキングやラジオ体操、いきいき体操ひがしひろしまなどもスポーツ・運動に含みます。)  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

現在週に1日以上スポーツや運動を行っているかについては、「行っている」が44.0%、「行っていない」が54.6%となっている。

令和4年度調査(前回)との比較では、「行っている」は50.4%から6.4ポイント減少した。

図25-1 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか

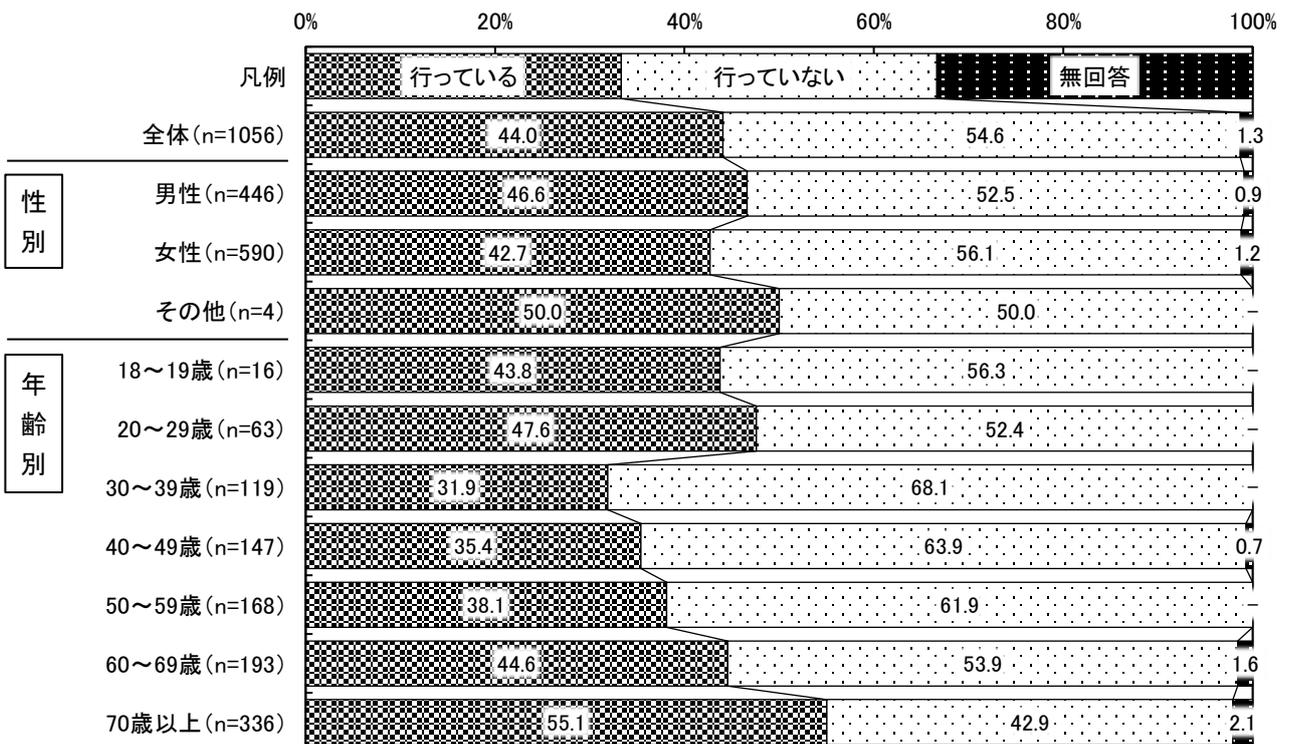


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「行っている」は『70歳以上』が55.1%と11.1ポイント全体より高い。「行っていない」は『30～39歳』が13.5ポイント全体より高く、以降年齢が上がるほど低くなっている。

図25-2 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか/性別・年齢別



【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

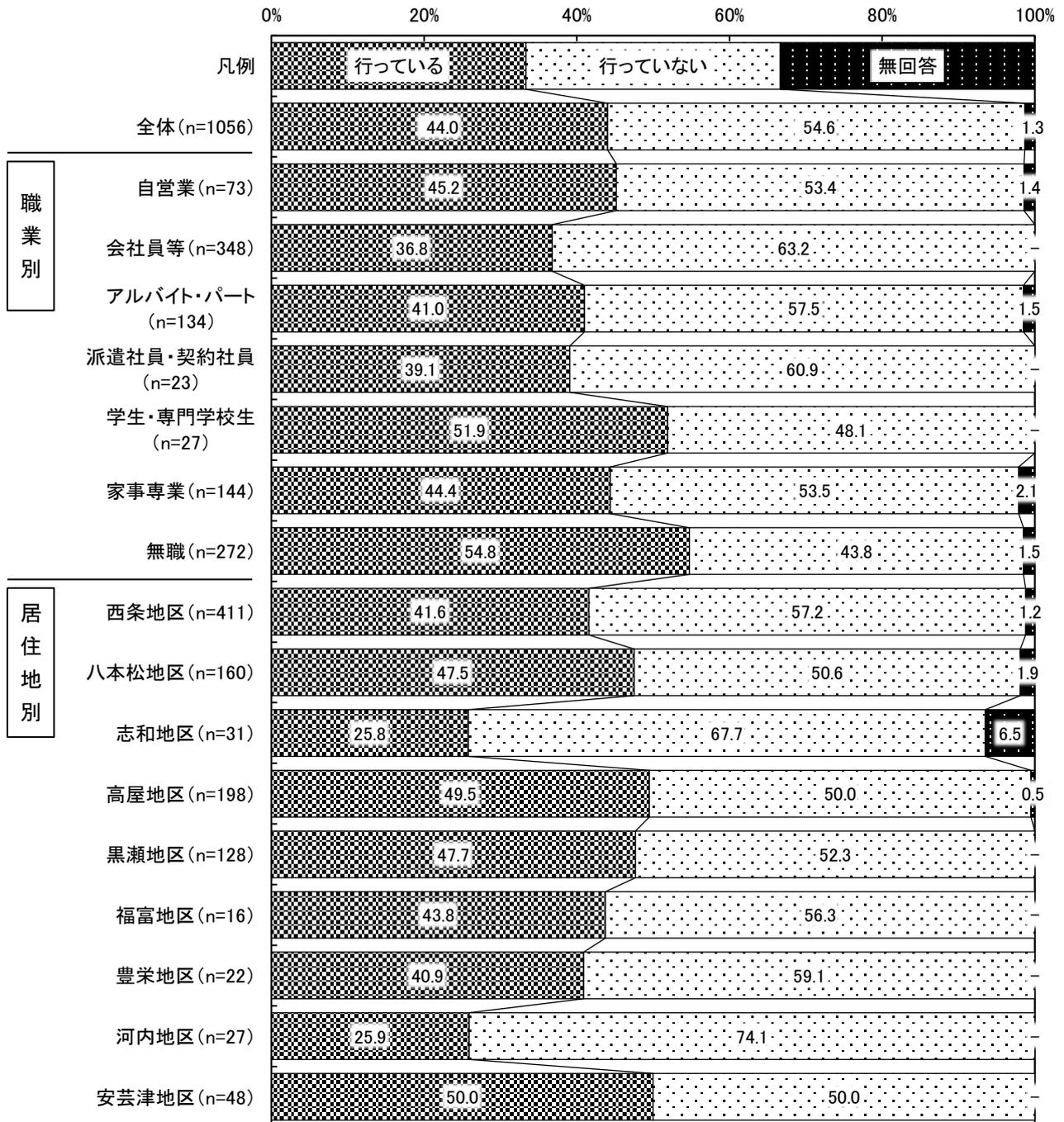
職業別では、「行っている」は『無職』が54.8%と10.8ポイント全体より高い。

「行っていない」は『会社員等』が63.2%と8.6ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「行っている」は『高屋地区』が49.5%と5.5ポイント、『安芸津地区』が50.0%と6.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「行っていない」は『河内地区』が74.1%と19.5ポイント、『志和地区』が67.7%と13.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図25-3 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか／職業別・居住地別



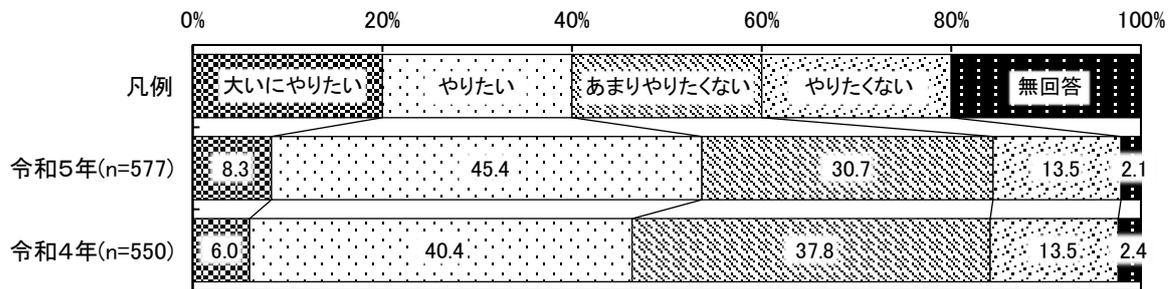
(3) 今後の運動・スポーツの開始意向

問25で、「2 行っていない」とした人のみ回答してください。  
 問25-1 今後、運動・スポーツを始めてみたいと思いますか？  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

問25で、「2 行っていない」の回答者(該当件数557件)に今後の運動・スポーツの開始意向をたずねると、「大いにやりたい」が8.3%、「やりたい」が45.4%で、“やりたい”(「大いにやりたい」と「やりたい」の合計)は、53.7%であり、“やりたくない”(「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計)は44.2%であった。

令和4年度調査(前回)との比較では“やりたい”は46.4%から7.3ポイント増加した。

図25-4 運動・スポーツの開始意向

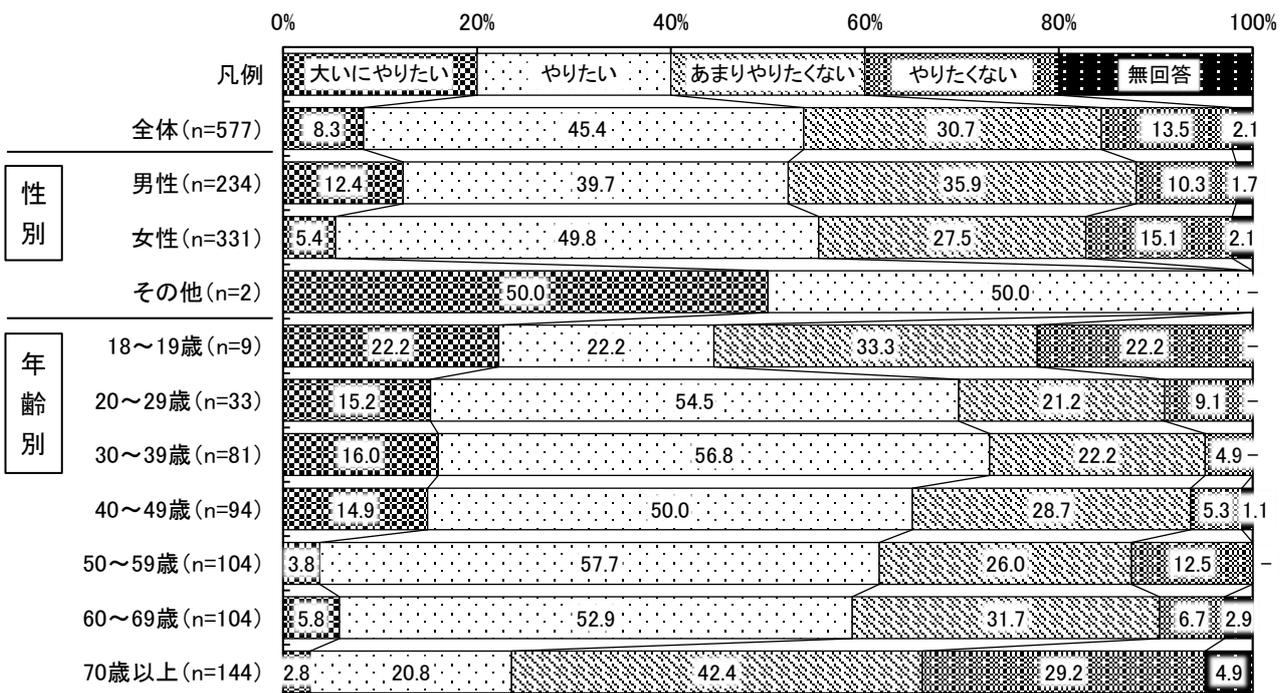


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「大いにやりたい」は7.0ポイント『男性』が『女性』より高い。

年齢別では、“やりたい”は、『30～39歳』が72.8%と19.1ポイント、『20～29歳』が69.7%と16.0ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっており、『70歳以上』では23.6%と各年齢層の中で最も低い。

図25-5 運動・スポーツの開始意向／性別・年齢別

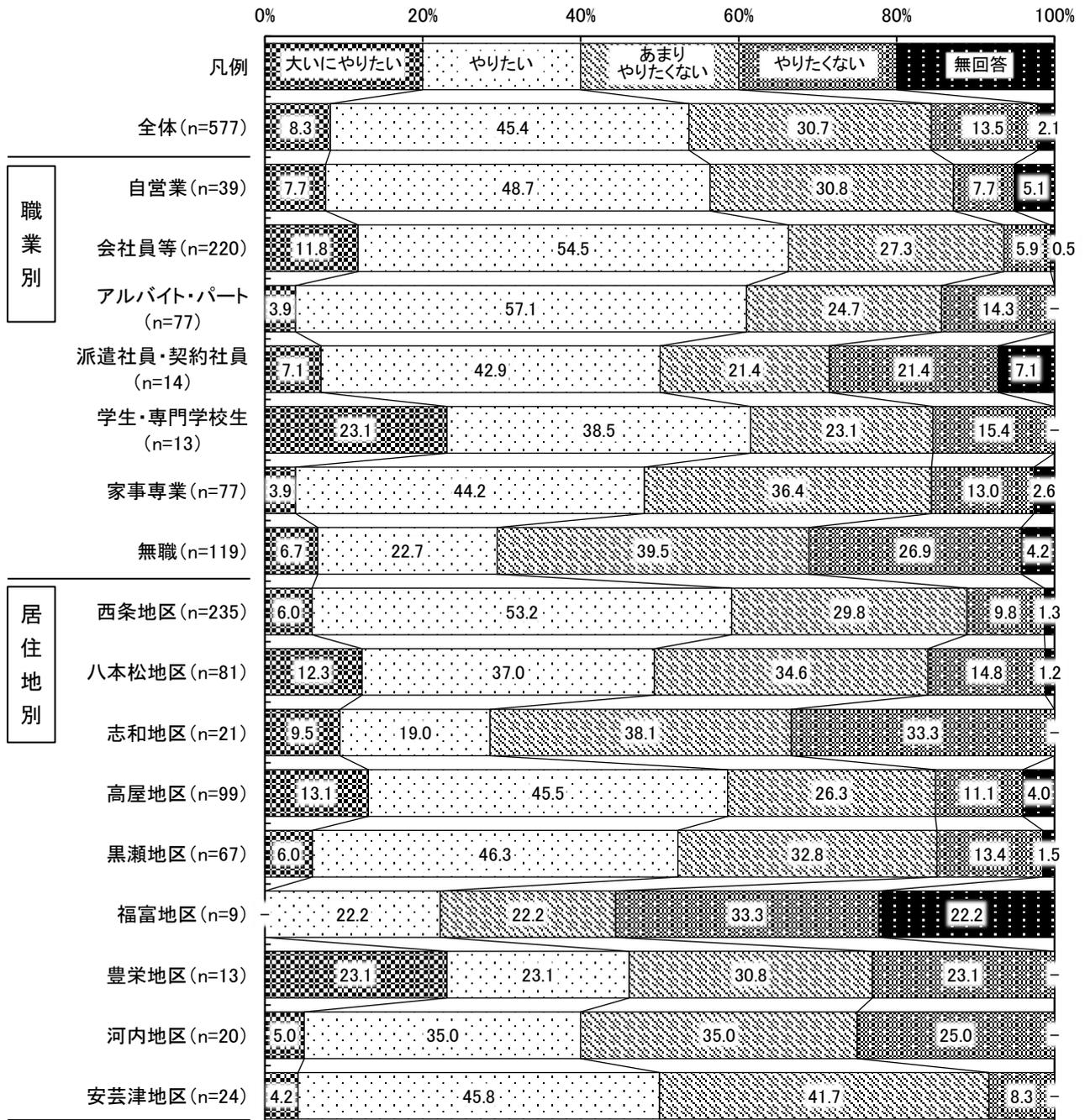


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“やりたい”（「大いにやりたい」と「やりたい」の合計）については、『会社員等』が66.3%と12.6ポイント、『アルバイト・パート』が61.0%と7.3ポイント、それぞれ全体より高い。“やりたくない”（「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計）については、『無職』が66.4%と22.2ポイント、『家事専業』が49.4%と5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“やりたい”については、『西条地区』が59.2%と5.5ポイント全体より高い。

図25-6 運動・スポーツの開始意向／職業別・居住地別

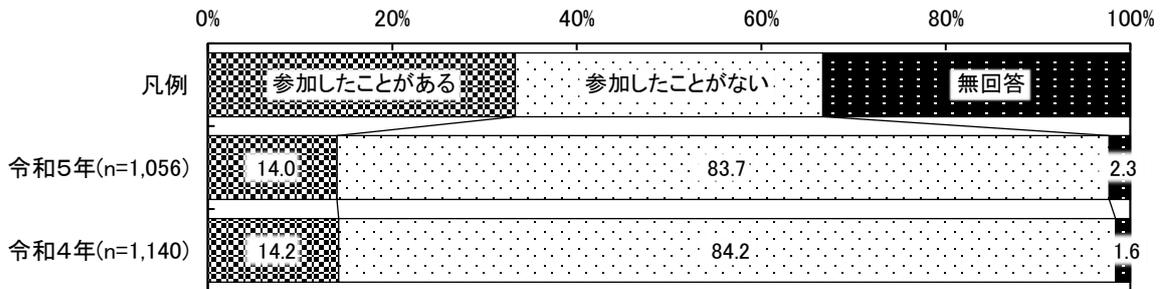


(4) 令和4年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況

問26 令和4年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？  
 （1つだけ選んで○をお付けください）

令和4年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況について、「参加したことがある」は14.0%、「参加したことがない」は83.7%となっている。

図26-1 令和4年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況

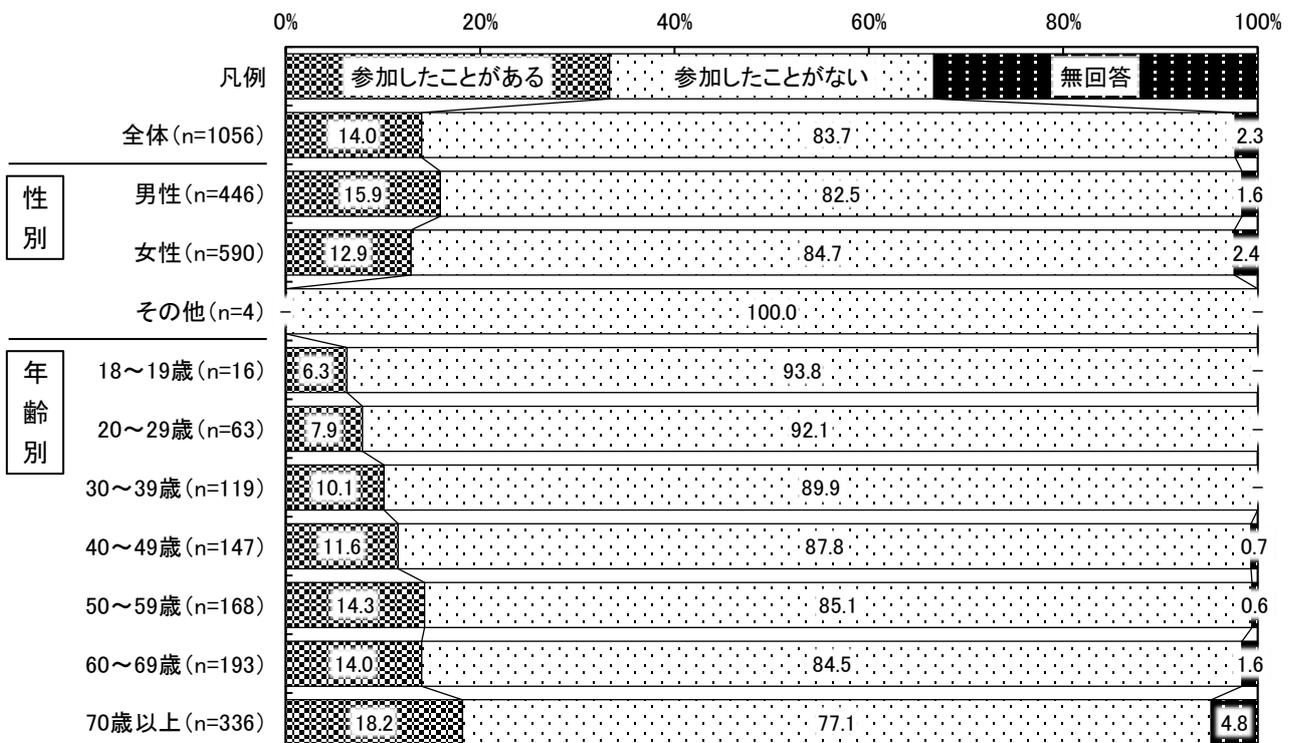


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「参加したことがない」は、「20～29歳」が92.1%と8.4ポイント、「30～39歳」が89.9%と6.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図26-2 令和4年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／性別・年齢別



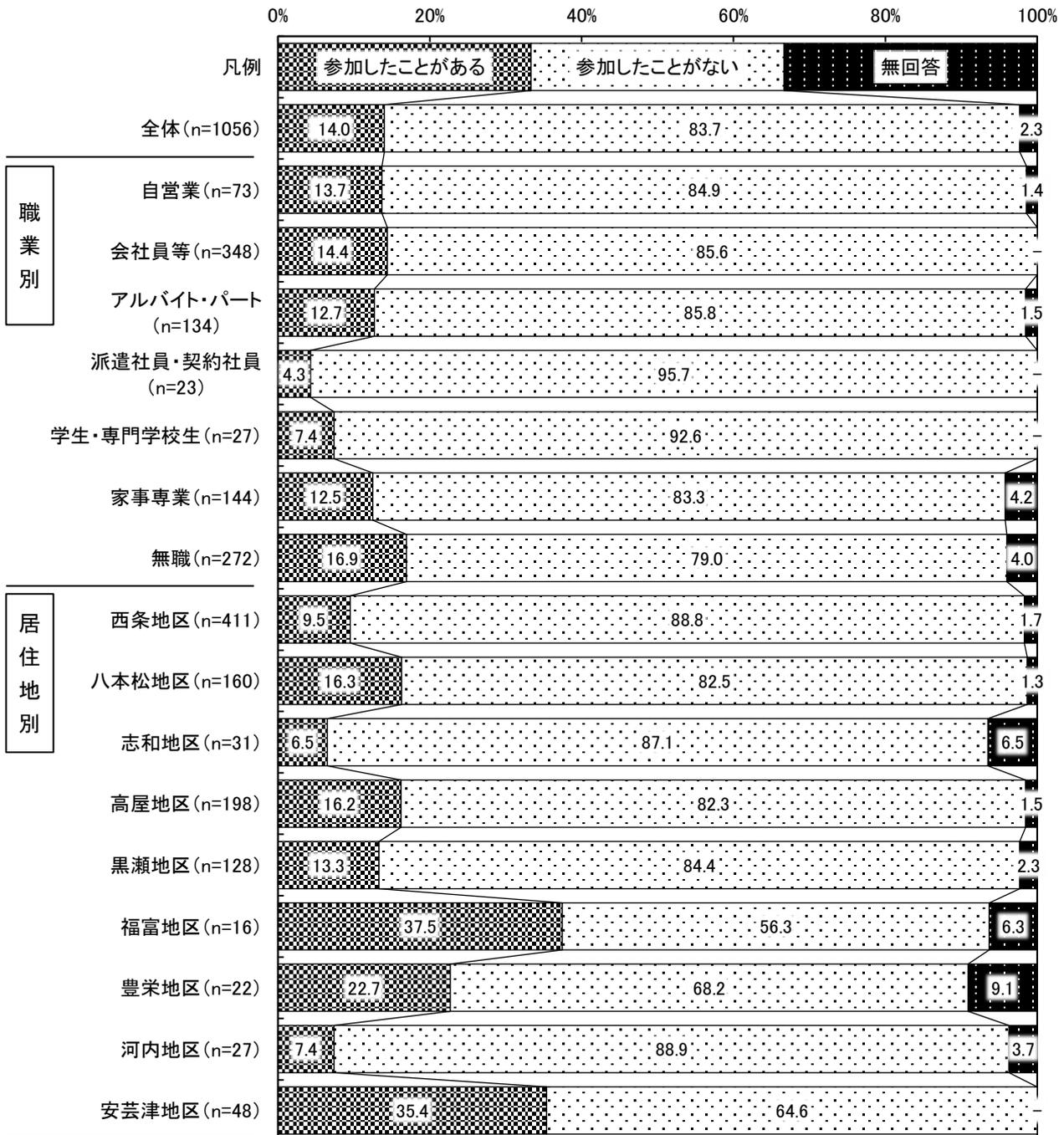
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、顕著な差はない。

居住地別では、「参加したことがある」は『福富地区』が37.5%と23.5ポイント、『安芸津地区』が35.4%と21.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「参加したことがない」は『西条地区』が88.8%と5.1ポイント全体より高くなっている。

図26-3 令和4年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／職業別・居住地別

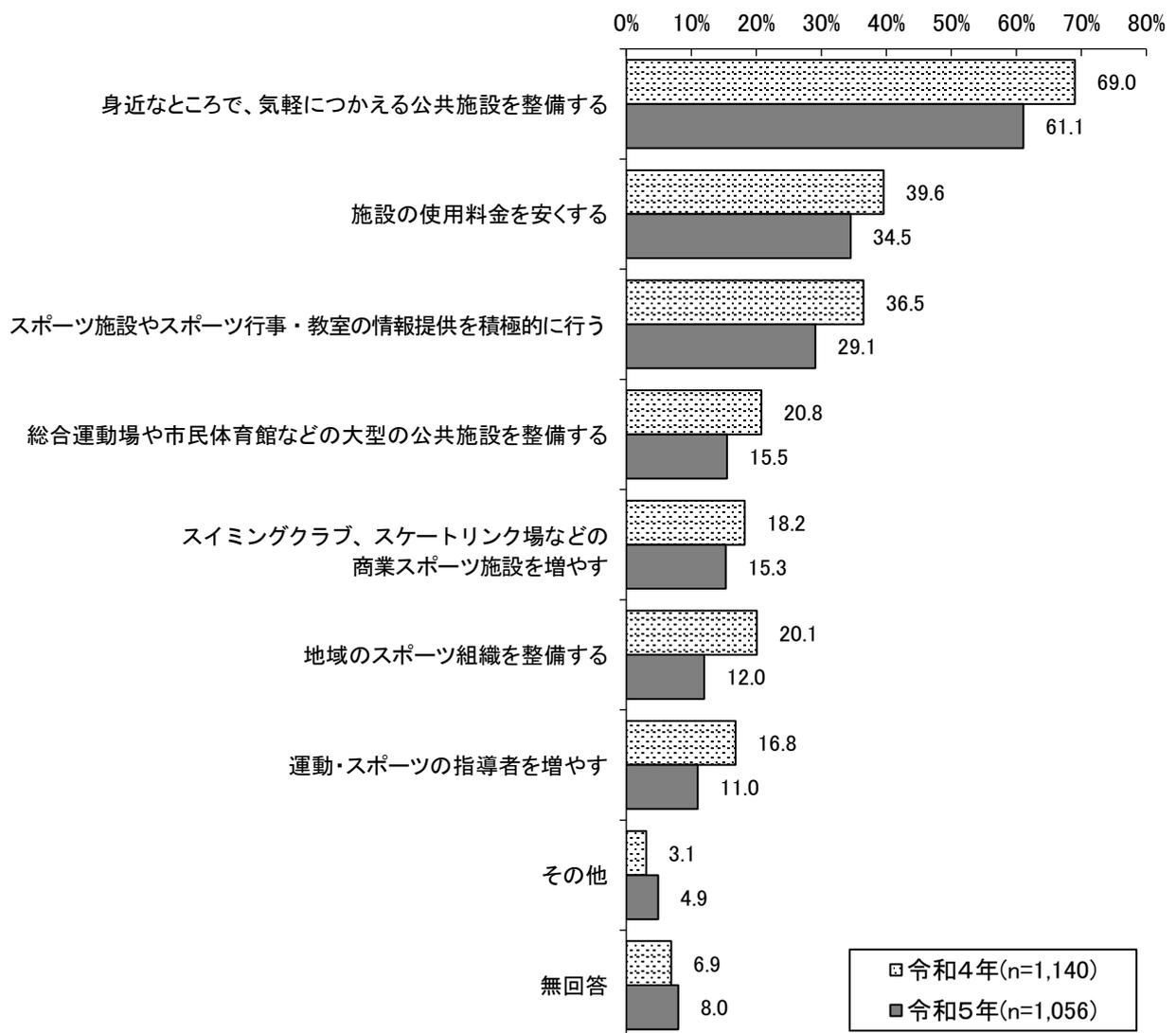


(5) 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項

問27 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？  
 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項については、「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」が61.1%と最も高く、約6割を占めている。次いで、「施設の使用料金を安くする」が34.5%、「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」が29.1%と高い。

図27-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『60～69歳』が67.9%と6.8ポイント全体より高い。

「施設の使用料金を安くする」は『20～29歳』が47.6%と13.1ポイント全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」は『50～59歳』が36.3%と7.2ポイント、『60～69歳』が34.7%と5.6ポイント、それぞれ全体より高い。

「総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する」は『20～29歳』が27.0%と11.5ポイント、『30～39歳』が21.0%と5.5ポイント、それぞれ全体より高い。「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は、『20～29歳』が31.7%と16.4ポイント、『30～39歳』が30.3%と15.0ポイント、全体より高く、以降年齢が上がるほど低くなっている。

表27-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／性別・年齢別＜複数回答＞ 単位：%

		身近なところで、 気軽につかえる 公共施設を整備する	施設の使用料金を 安くする	教室の情報提供を 積極的に行う	スポーツ施設や スポーツ行事・ 教室の情報を提供を 積極的に行う	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体 (n=1056)		61.1	34.5	29.1	15.5	15.3	12.0	11.0	4.9	8.0	
性別	男性 (n=446)	<b>58.7</b>	34.5	29.1	17.0	17.0	14.8	12.8	5.8	5.6	
	女性 (n=590)	<b>62.5</b>	33.9	29.2	14.4	14.4	10.2	9.8	3.9	9.2	
	その他 (n=4)	100.0	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	
年齢別	18～19歳 (n=16)	68.8	50.0	37.5	31.3	25.0	6.3	18.8	-	-	
	20～29歳 (n=63)	<b>65.1</b>	<b>47.6</b>	23.8	<b>27.0</b>	<b>31.7</b>	11.1	6.3	<b>14.3</b>	-	
	30～39歳 (n=119)	<b>63.0</b>	43.7	29.4	21.0	<b>30.3</b>	10.9	8.4	1.7	1.7	
	40～49歳 (n=147)	<b>59.2</b>	42.2	33.3	17.7	21.8	17.7	15.0	6.1	2.0	
	50～59歳 (n=168)	<b>60.7</b>	40.5	36.3	15.5	16.7	14.3	11.3	2.4	2.4	
	60～69歳 (n=193)	<b>67.9</b>	34.7	34.7	18.1	13.5	8.8	11.9	5.2	3.6	
	70歳以上 (n=336)	<b>56.0</b>	21.1	21.1	8.6	4.8	11.6	10.4	5.1	<b>19.3</b>	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」、「施設の使用料金を安くする」、「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」、「運動・スポーツの指導者を増やす」は、それぞれ『アルバイト・パート』が5ポイント以上全体より高い。

「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は『会社員等』が6.0ポイント全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『八本松地区』が6.4ポイント、「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」は『豊栄地区』が7.3ポイント、『安芸津地区』が6.3ポイント、「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は『河内地区』が14.3ポイント、「地域のスポーツ組織を整備する」は『豊栄地区』が19.8ポイント、それぞれ全体より高い。

表27-2 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／職業別・居住地別＜複数回答＞ 単位：%

		身近なところで、 気軽につかえる 公共施設を整備する	施設の使用料金を 安くする	教室の情報提供を 積極的に行う	スポーツ施設や スポーツ行事・ 教室の情報提供を 積極的に行う	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体 (n=1056)		61.1	34.5	29.1	15.5	15.3	12.0	11.0	4.9	8.0	
職業別	自営業 (n=73)	<b>61.6</b>	20.5	30.1	9.6	15.1	8.2	8.2	5.5	5.5	
	会社員等 (n=348)	<b>63.8</b>	37.4	32.5	18.1	21.3	12.9	9.5	5.2	2.0	
	アルバイト・パート (n=134)	<b>70.1</b>	42.5	35.1	15.7	19.4	16.4	18.7	2.2	0.7	
	派遣社員・契約社員 (n=23)	<b>65.2</b>	43.5	17.4	8.7	26.1	13.0	8.7	4.3	-	
	学生・専門学校生 (n=27)	<b>66.7</b>	55.6	33.3	29.6	22.2	7.4	11.1	3.7	-	
	家事専業 (n=144)	<b>61.1</b>	31.9	22.9	16.7	11.8	11.1	10.4	4.9	10.4	
	無職 (n=272)	<b>51.8</b>	29.4	24.6	13.2	7.4	11.0	10.7	5.5	18.8	
居住地別	西条地区 (n=411)	<b>61.3</b>	37.5	29.4	18.2	16.5	10.7	10.7	5.6	5.4	
	八本松地区 (n=160)	<b>67.5</b>	36.3	29.4	17.5	18.1	11.9	8.8	2.5	8.1	
	志和地区 (n=31)	<b>58.1</b>	38.7	32.3	9.7	16.1	16.1	19.4	3.2	9.7	
	高屋地区 (n=198)	<b>63.1</b>	32.8	26.3	16.7	16.2	10.6	11.1	5.6	7.6	
	黒瀬地区 (n=128)	<b>54.7</b>	34.4	29.7	12.5	10.2	15.6	15.6	3.1	10.9	
	福富地区 (n=16)	<b>56.3</b>	18.8	6.3	18.8	6.3	18.8	-	12.5	25.0	
	豊栄地区 (n=22)	<b>36.4</b>	18.2	<b>36.4</b>	-	13.6	31.8	9.1	13.6	13.6	
	河内地区 (n=27)	<b>55.6</b>	25.9	29.6	3.7	29.6	7.4	11.1	7.4	14.8	
安芸津地区 (n=48)	<b>64.6</b>	25.0	35.4	10.4	4.2	8.3	8.3	2.1	6.3		

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

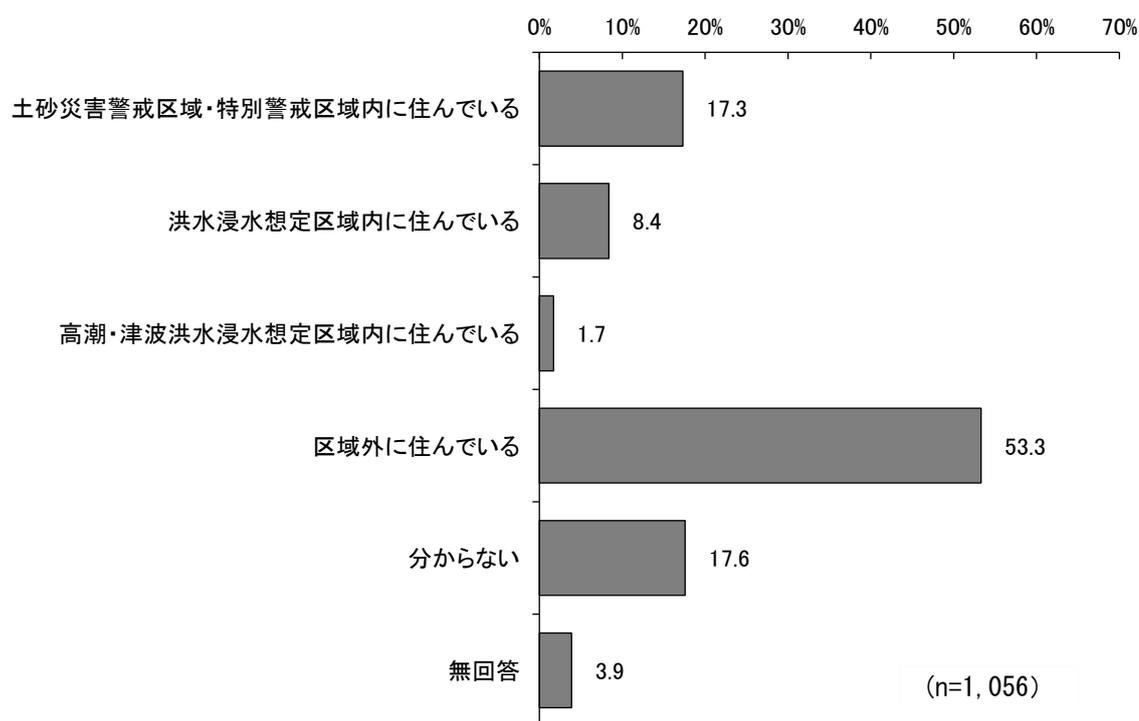
## 1 1. 防災について

### (1) 土砂災害警戒区域などへの居住状況

問28 土砂災害警戒区域など(※)にお住まいですか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

土砂災害警戒区域などへの居住状況については、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は17.3%、「洪水浸水想定区域内に住んでいる」は8.4%、「高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる」は1.7%、「区域外に住んでいる」は53.3%、「分からない」は17.6%となっている。

図28-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況<複数回答>



## 【属性別の傾向】

性別では、「わからない」は『女性』が『男性』より5.2ポイント高い。

年齢別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『70歳以上』が5.9ポイント全体より高い。「区域外に住んでいる」は『30～39歳』が8.9ポイント、『50～59歳』が5.0ポイント、『60～69歳』が7.8ポイント、それぞれ全体より高い。「分からない」は『20～29歳』が7.8ポイント、『40～49歳』が6.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

職業別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『自営業』が6.0ポイント、「区域外に住んでいる」は『会社員等』が5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』が10ポイント以上全体より高く、「区域外に住んでいる」は『西条地区』が10.0ポイント全体より高い。

表28-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況<複数回答>

単位：%

		土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる	洪水浸水想定区域内に住んでいる	高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる	区域外に住んでいる	分からない	無回答
全体(n=1056)		17.3	8.4	1.7	53.3	17.6	3.9
性別	男性(n=446)	17.7	9.0	1.8	<b>54.9</b>	14.6	4.5
	女性(n=590)	17.3	7.6	1.5	<b>52.5</b>	19.8	3.1
	その他(n=4)	-	-	-	75.0	25.0	-
年齢別	18～19歳(n=16)	12.5	12.5	6.3	31.3	43.8	-
	20～29歳(n=63)	11.1	9.5	-	<b>55.6</b>	25.4	1.6
	30～39歳(n=119)	12.6	9.2	-	<b>62.2</b>	16.0	-
	40～49歳(n=147)	15.0	9.5	0.7	<b>50.3</b>	23.8	0.7
	50～59歳(n=168)	13.1	4.8	1.2	<b>58.3</b>	20.8	2.4
	60～69歳(n=193)	18.1	4.7	2.1	<b>61.1</b>	12.4	2.6
	70歳以上(n=336)	23.2	10.4	2.7	<b>46.1</b>	14.3	8.0
職業別	自営業(n=73)	23.3	8.2	2.7	<b>52.1</b>	12.3	1.4
	会社員等(n=348)	15.5	7.8	0.6	<b>58.6</b>	17.0	1.4
	アルバイト・パート(n=134)	17.9	9.0	2.2	<b>49.3</b>	20.1	4.5
	派遣社員・契約社員(n=23)	17.4	4.3	4.3	<b>60.9</b>	13.0	-
	学生・専門学校生(n=27)	11.1	<b>18.5</b>	3.7	<b>37.0</b>	<b>33.3</b>	-
	家事専業(n=144)	17.4	7.6	0.7	<b>56.3</b>	18.1	2.8
	無職(n=272)	18.8	8.1	2.6	<b>50.4</b>	17.3	6.6
居住地別	西条地区(n=411)	7.8	11.9	0.2	<b>63.3</b>	15.6	2.9
	八本松地区(n=160)	20.6	5.0	0.6	<b>53.1</b>	19.4	3.8
	志和地区(n=31)	<b>38.7</b>	6.5	3.2	32.3	16.1	6.5
	高屋地区(n=198)	21.2	3.5	-	<b>53.0</b>	18.7	3.5
	黒瀬地区(n=128)	11.7	7.0	-	<b>55.5</b>	21.1	4.7
	福富地区(n=16)	<b>43.8</b>	6.3	-	37.5	18.8	-
	豊栄地区(n=22)	<b>36.4</b>	4.5	-	<b>36.4</b>	22.7	4.5
	河内地区(n=27)	<b>55.6</b>	3.7	-	22.2	18.5	3.7
	安芸津地区(n=48)	<b>31.3</b>	16.7	29.2	16.7	14.6	6.3

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、性別、年齢別のサンプル数が10未満はしない。

<資料編>

令和5年度 東広島市市民満足度調査

調査票

# 令和5年度 東広島市市民満足度調査 ご協力のおねがい

～市民のみなさまのご意見をお聞かせください～

## ◆調査の概要とご記入上の注意点

- 1 この調査は、東広島市に住民票があり、居住している18歳以上の方の中から、無作為に抽出した2,500人の方を対象に、郵送またはインターネットによりアンケート調査を行うものです。
- 2 この調査の結果は、「第五次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用します。
- 3 この調査票は、どなたが記入したものかわからないようになっています。回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用いたしません。
- 4 この調査の回答は、お送りしたあて名のご本人がお答えください。  
ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 5 この調査は、インターネットからも回答することができます。インターネット回答を利用される方は下記の二次元バーコードよりアクセスしてください。

○インターネットから回答いただいた方には、抽選で100名様に「東広島市産米 恋の予感」などをプレゼントします。詳細は回答ページをご確認ください。

○インターネットからの回答には、「市民ポータルサイト」への登録・ログインが必要です。「市民ポータルサイト」にまだ登録されていない方は、この調査票の最後のページをご覧ください。

※市民ポータルサイトにご登録いただいた個人情報は、この調査の集計等には利用されません。

### 回答ページへのアクセス方法

右記の二次元コードをスマートフォンなどから読み取り、回答ページにアクセスして回答いただけます。

URLを入力して回答される場合は、ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、下記のアドレスをすべて半角の英字小文字で入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

### 二次元バーコード



抽選番号

000000

※抽選結果ページへのアクセス方法は、この調査票の最後のページをご覧ください。

URL : <https://higashihiroshima.service-now.com/crm?id=r5css>

- 6 郵送回答の場合、記入後はこの「調査票」を同封の返信用封筒に入れて、**令和5年7月27日（木）**までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
- 7 ご不明な点などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

■お問い合わせ先 東広島市役所 総務部 政策推進監（担当：岡本）  
〒739-8601 東広島市西条栄町8-29  
TEL：082-420-0917 FAX：082-420-0402  
E-mail：hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

# 令和5年度 市民満足度調査 調査票

## ■ご記入上の注意点

- この「調査票」は、どなたのものか分からないようになっています。  
回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。日頃、お考えのことやお感じになられていることなどをそのままご記入ください。
- ご回答は、当てはまるものの番号を指示された数だけ○で囲んでください。
- 「その他」に当てはまるときは、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。

## 1 現在の住環境についておたずねします。

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。(1つだけ選んで○をお付けください)  
※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 1年未満       | 2 1年以上5年未満   | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上30年未満 | 6 30年以上     |

問2 あなたは、東広島市の住み心地についてどう感じていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- |           |                 |                 |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 1 大変住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 4 住みにくい   | 5 どちらともいえない     |                 |

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 ずっと住み続けたい    | 2 当分の間住み続けたい |
| 3 市内の他の地域へ移りたい | 4 他市町村へ移りたい  |
| 5 わからない        |              |

問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買いものなどの日常生活が便利            | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全       | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他( )                   | 16 特に理由はない                     |

**問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。**

問3-2 移転・転出したい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 通勤・通学が不便                   | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便 |
| 3 買いものなどの日常生活が不便             | 4 文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実していない        | 6 都心など、もっと都会に住みたい                |
| 7 地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない)      | 8 発展途上であるなど、都市のイメージがよくない         |
| 9 保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない | 10 地価や家賃が高い                      |
| 11 騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない     | 12 気候が悪く(暑い、寒いなど)、住みにくい          |
| 13 犯罪や災害が多く、暮らして不安           | 14 家庭の都合により、転居したい                |
| 15 進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである |                                  |
| 16 その他( )                    | 17 特に理由はない                       |

**過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。**

※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。

問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。(主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買いものなどの日常生活が便利            | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らして安全         | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他( )                   | 16 特に理由はない                     |

## 2 市政運営についておたずねします。

問5 国をはじめとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。

あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない         |
| 2 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない |
| 3 行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい     |
| 4 その他( )                            |

### 3 市が実施している施策の満足度と今後の重要度についておたずねします。

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。  
 あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。  
 また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。  
 (各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
5-1 防災の強化・推進 (取組み例) 「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 1 産業分野について

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1-1 産学金官の連携による新産業の創出 「共同研究等による新事業・新産業の創出」、「試験研究機関等の誘致・連携」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-2 地元企業の創出・強化 「地域資源を活かした新たな事業の創出促進」、「中小企業の経営基盤の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-3 商業・サービス業の集積・強化 「商業・サービス業の集積」、「中小企業者の経営基盤強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-4 産業集積の推進 「企業誘致・留置活動の促進」、「産業用地の確保・創出」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-5 農業の強化 「農業の担い手育成」、「農業経営体制の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-6 森林の保全・整備 「林業生産基盤の整備」、「森林の保全」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-7 漁業・養殖業の推進 「漁業経営体の育成・強化」、「水産資源・漁場環境の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-8 地域資源を活かした観光地づくり 「魅力的な観光地づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-9 労働・雇用環境の充実 「多様な雇用・就業機会の創出」、「働き方の改革による生産性の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 2 生活・環境分野について

2-1 住みよい都市の形成 「良好な土地利用のための規制と誘導」、「良好な市街地の形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-2 緑あふれる環境整備 「安全で快適な公園、緑地空間の整備」、「斎場、墓地の利便性向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
2-3 良好な住宅ストックの形成 「良好な住宅・宅地の形成促進」、「市営住宅の整備」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-4 公共交通網の充実 「地域住民の移動手段の確保・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-5 道路網の整備 「日常的な生活道の整備、維持管理」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進 「廃棄物処理体制の充実」、「ごみの減量化・リサイクルの推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-7 良質な水の供給・整備 「安全な水の供給」「災害に強い水道の整備」「水道サービスの持続性の確保」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-8 汚水処理の推進 「公共下水道の整備、更新」、「浄化槽設置と適切な維持管理の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-9 環境汚染の防止 「水や大気などの環境汚染対策」、「環境保全意識の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-10 自然環境・動植物の保全 「環境や動植物の保全」、「まちの美化活動推進や不法投棄防止」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-11 地球温暖化防止の推進 「地球温暖化対策の推進」、「環境問題に対する意識啓発」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-12 市民主体の地域社会の形成 「地域コミュニティの活性化」、「市民主体のまちづくり活動の活性化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-13 市民参画の推進 「市民協働の推進」、「行政情報の積極的な提供」「多様な市民参画手法の確立」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-14 多文化共生の推進 「外国人市民の生活環境の充実」、「国際交流の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-15 国際貢献・留学生支援 「国際協力」、「留生活活動支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

### 3 人権・教育・芸術・文化・スポーツ分野について

3-1 人権・平和行政の推進 「人権教育の推進」、「男女共同参画の推進」、「平和行政の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-2 保育サービスの充実 「利用者ニーズに応じた保育環境・サービスの充実」、「児童の活動拠点づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-3 教育環境の整備・充実 「学校施設・設備の充実」、「就学・就園に関する経済的な支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-4 学校教育の充実 「学校教育内容の充実」、「教職員の指導力の向上」、「特別支援教育の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-5 青少年健全育成の推進 「青少年の健全育成を支える環境づくり」、「青少年問題への的確な対応」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-6 生涯学習活動の充実 「生涯学習機会の充実や情報提供」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-7 芸術・文化の活性化 「芸術・文化活動の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-8 歴史・文化財の保護と活用 「文化財の保護と活用」「文化財歴史展示施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-9 スポーツ環境の形成 「イベントによるスポーツ活動の活性化」、「スポーツ施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 4 都市機能・移住・定住分野について

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
4-1 大学や学生との交流・連携推進 「大学との連携推進」「学生の地域活動の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-2 移住・定住の促進 「移住・定住希望者への支援・情報発信」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化 「市内の都市拠点・地域拠点それぞれの機能強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-4 地域の景観の保全・形成 「地域の景観保全と形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-5 広域・高速交通体系の強化 「高速道路・幹線道路などの利便性向上」「市内外への円滑な移動手段の更なる改善」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-6 情報通信技術の整備・活用 「インターネット利用環境の整備」「マイナンバー制度の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 5 防災・健康・医療・福祉分野について

5-1 防災の強化・推進 「地域における防災体制の充実」「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-2 市民の安全・安心社会の形成 「地域ぐるみの防犯対策の推進」「安心できる消費者生活の実現」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-3 消防・救急・救助体制の強化 「迅速に対応できる消防体制の強化」「救急体制の強化」「火災予防の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-4 地域医療の構築 「地域医療の充実」「救急医療体制の構築」「医療保険の健全な運営」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-5 健康づくりの推進 「健康づくりの支援」「介護予防の取組み支援」「感染症等の予防」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-6 高齢者支援の推進 「高齢者の在宅生活が継続できる環境づくり」「認知症の地域支援の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-7 障害者支援の推進 「障害者の地域生活支援体制の形成」「障害者の雇用・就労機会の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-8 地域福祉の形成 「地域福祉の推進体制の充実」「生活困窮者への自立支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-9 子育て支援の充実 「子育てに関する切れ目ない支援の充実」「子育てに伴う経済的負担の軽減」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 6 行政運営分野について

6-1 市民本位のサービスの提供・充実 「市民本位のサービス提供」「インターネットを活用したサービス提供の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6-2 行政経営の向上 「計画的な財政運営」「公共施設の適正配置」「近隣市町との機能分担」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 4 人権・男女共同参画についておたずねします。

問7 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。（それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。）

項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも 言えない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
① 日常生活の中で、人権が大切にされている。	1	2	3	4	5	6
② 差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある。	1	2	3	4	5	6
③ 自分は絶対に差別をしない自信がある。	1	2	3	4	5	6
④ 地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等と感じる。	1	2	3	4	5	6
⑤ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである。	1	2	3	4	5	6

#### 5 「多文化共生のまちづくり」についておたずねします。

東広島市には、現在、8,000人を超える外国人市民がいます（市民の23人に1人以上が外国人市民）。

こうした中、東広島市では、国籍や民族などの異なる人々が、互いの習慣や文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことが可能となるような「多文化共生のまちづくり」を推進しています。このような状況を踏まえ、以下の問いにお答えください。



※資料：東広島市「住民基本台帳」（各年3月末の人数）

問8 あなたは、多文化共生のまちづくりが必要だと思いますか。（1つだけ選んで○をお付けください）

- 1 必要だと思う
- 2 ある程度必要だと思う
- 3 あまり必要だと思わない
- 4 必要だと思わない
- 5 その他（ )

問9 あなたの身近に外国人はいますか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- 1 家族や親せきにいる
- 2 近所の知り合いにいる
- 3 職場にいる
- 4 自分や子どもの学校にいる
- 5 自分自身が外国人である
- 6 身近に外国人はいない
- 7 その他 ( )

問10 市内には8,000人を超える外国人が暮らしています。そのことについてどう思いますか。

(主なものを3つまでを選んで○をお付けください)

- 1 同じ地域で共に生きる住民と感じる
- 2 地域で外国人と交流できてよい
- 3 外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる
- 4 地域経済を支える労働力として必要
- 5 習慣や文化の違いがあり不安
- 6 治安が悪化しないか不安
- 7 特に何も感じない
- 8 その他 ( )

問11 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように、あなたが実践していること(または、今後実践したいと思っていること)は何ですか。

(主なものを3つまでを選んで○をお付けください)

- 1 積極的に挨拶する
- 2 外国の生活習慣や文化等への理解を深める
- 3 外国語を少しでも理解する
- 4 日本の生活習慣や地域のルール等を教える
- 5 日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる
- 6 地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す
- 7 外国人市民の生活を支援する活動をする
- 8 特に実践している(しようとしている)ことはない
- 9 その他 ( )

問 12 ともに地域で暮らしやすくなるように、外国人市民にも努力をしてほしいと感じることは何ですか。  
(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- 1 地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい
- 2 日本の文化や習慣等を理解してほしい
- 3 挨拶を積極的にしてほしい
- 4 日本語を勉強してほしい
- 5 地域の活動や行事に参加してほしい
- 6 母国の言葉や文化を教えてください
- 7 自治会などの地域団体に加入してほしい
- 8 その他（ )

問 13 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことは何ですか。  
(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- 1 日本人への異文化理解の啓発
- 2 様々な国籍の人が交流できるイベントの開催
- 3 多言語での生活情報提供や相談の充実
- 4 外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及
- 5 日本語教室の充実
- 6 外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発
- 7 外国人市民の災害時の対応支援
- 8 外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実
- 9 外国人市民が意見や提案を行う機会の創出
- 10 公共施設・公共交通における多言語表記の充実
- 11 その他（ )

問 14 外国人相談や国際交流等に興味がある日本人も利用可能なコミュニケーションコーナー（サンスクエア1階）を利用したことはありますか。また、それを外国人市民に紹介したことはありますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 利用したことがあり、紹介したこともある
- 2 利用したことはないが、紹介したことはある
- 3 コミュニケーションコーナーを知らない

## 6 地域コミュニティ活動の参加状況についておたずねします。

問15 あなたの地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

項 目	過去1年間 以内に 参加した	過去1年間以内 ではないが 参加したことが ある	活動は知って いるが、 参加したこと はない	活動がない・ 活動があるか どうか 知らない
① 健康・福祉・医療 (お年寄りのお世話や子育て支援など)	1	2	3	4
② ふれあい・親睦行事 (地域おこし・まつりなど)	1	2	3	4
③ 文化・芸術・スポーツ (催しの運営など)	1	2	3	4
④ 環境活動 (美化活動、資源回収、清掃活動など)	1	2	3	4
⑤ 災害救援 (災害予防、被災者への支援など)	1	2	3	4
⑥ 地域安全 (犯罪や事故の予防)	1	2	3	4
⑦ 児童・青少年の健全育成 (体験学習・学童保育など)	1	2	3	4
⑧ 情報共有 (地域情報誌の発行など)	1	2	3	4
⑨ 地域経済の活性化 (バザー、特産品開発など)	1	2	3	4

## 7 住民自治協議会についておたずねします。

問16 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

※ 住民自治協議会 … 小学校区単位 (一部、旧小学校区) を基本に、市内 48 の地域におけるまちづくりを推進する団体

- 1 活動内容まで知っている
- 2 存在は知っているが活動内容は知らない
- 3 全く知らない

## 8 消費生活についておたずねします。

問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。( 1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 利用したことがある
- 2 知っているが利用したことはない
- 3 知らない



問23 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取組みに力を入れるべきだと思いますか。(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- 1 生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する
- 2 生涯学習の意義や必要性について啓発する
- 3 超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる
- 4 大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる
- 5 生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる
- 6 学んだ成果を発表する機会を充実させる
- 7 仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる
- 8 生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる
- 9 地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する
- 10 指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる
- 11 ボランティア活動に関する情報をもっと提供する
- 12 生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる
- 13 講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる
- 14 生涯学習をするために要する費用を助成する
- 15 その他 ( )
- 16 現状のままでよい

## 10 運動・スポーツについておたずねします。

問24 あなたは、運動やスポーツが好きですか？(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 するのも観るのも好き
- 2 どちらかといえばする方が好き
- 3 どちらかといえば観る方が好き
- 4 するのも観るのも嫌い
- 5 どれでもない、関心がない

問25 あなたは、現在週に1日以上スポーツや運動を行っていますか？

(ウォーキングやラジオ体操、いきいき体操ひがしひろしまなどもスポーツ・運動に含みます。)

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 行っている
- 2 行っていない

**問25で、「2 行っていない」とした人のみ回答してください。**

問25-1 今後、運動・スポーツを始めてみたいと思いますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 大いにやりたい      2 やりたい      3 あまりやりたくない      4 やりたくない

問26 令和4年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 参加したことがある      2 参加したことがない

問27 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？

(当てはまるもの**全て**を選んで○をお付けください)

- 1 身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する  
2 施設の使用料金を安くする  
3 スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う  
4 スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす  
5 総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する  
6 運動・スポーツの指導者を増やす  
7 地域のスポーツ組織を整備する  
8 その他 ( )

## 11 防災についておたずねします。

問28 土砂災害警戒区域など(※)にお住まいですか。

(当てはまるもの**全て**を選んで○をお付けください)

- 1 土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる  
2 洪水浸水想定区域内に住んでいる  
3 高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる  
4 区域外に住んでいる  
5 分からない

※土砂災害警戒区域など

山麓部でのがけ崩れや土石流による土砂災害、市街地などでの洪水(河川氾濫)や海岸付近での高潮による浸水の危険性がある区域は、法令に基づき、県が調査し、指定・公表されています。

市が発令する避難指示などの避難情報は、基本的に、これら危険な区域に対して発令します。

## 12 最後に、あなた自身について教えてください。

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

(1) あなたの性別は	1 男性	2 女性	3 その他						
(2) あなたの年齢は	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上		
(3) あなたの家族構成は	1 1人世帯	2 1世代世帯(夫婦のみ)	3 2世代世帯(親と子)	4 3世代世帯(親と子と孫)	5 その他の世帯 ( )				
(4) あなたの家族(同居)に18歳未満の子どもはいますか	1 はい	2 いいえ							
(5) あなたの家族(同居)に65歳以上の方はいますか	1 はい	2 いいえ							
(6) あなたのご職業は	1 自営業(農林水産業等従事者も含む)	2 会社員等(団体職員・公務員・会社役員・専門職も含む)	3 アルバイト・パート	4 派遣社員・契約社員	5 学生・専門学校生	6 家事専業	7 無職	8 その他 ( )	
(7) あなたの居住地は	1 西条地区	2 八本松地区	3 志和地区	4 高屋地区	5 黒瀬地区	6 福富地区	7 豊栄地区	8 河内地区	9 安芸津地区
(8) あなたの通勤(職場)・通学(学校)先は	1 市内	2 市外	3 なし						
(9) あなたの主な移動手段は	1 徒歩(車椅子を含む)	2 自転車	3 原付自動車・自動二輪車	4 自動車	5 家族の送迎	6 バス・鉄道	7 タクシー	8 その他 ( )	
(10) 現在のお住まいの種類は	1 戸建て持ち家	2 戸建て借家	3 分譲マンション	4 賃貸マンション・アパート	5 社宅・官舎・寮	6 公営住宅	7 その他 ( )		



# 東広島市「市民ポータルサイト」について

「市民ポータルサイト」は、インターネットにより市民と市役所や学校をつなぐ、東広島市が運用するサービスのことで

本ポータルサイトに情報を登録すると、市からのお知らせが携帯電話やスマートフォンに電子メールやLINEで配信されます。

市民ポータルサイトの使い方



## 市民ポータルサイトに登録することでできること

### 小中学校・幼稚園からの情報配信

こどもの情報や学校関係者のグループ情報を登録してください。小中学校や幼稚園からお知らせを、メールやLINEにお知らせします。

### ゴミ収集日通知

あなたのお住いのごみ収集日を登録してください。ごみ収集日前日に、メールやLINEでお知らせします。

### 防災情報の通知

防災情報配信の受取希望を設定してください。詳細地域や危険区域を登録することで、該当する防災情報のみを受け取ることもできます。

など、知りたい情報を、メールやLINEにお知らせします。

## 「市民ポータルサイト」への新規登録から、インターネットでのこのアンケートへの回答の流れ

① 右記の二次元コードから、又は下記のURLを入力して市民ポータルサイトの新規登録ページにアクセスしてください。



又は

[https://higashihiroshima.service-now.com/crm?id=csp\\_registration](https://higashihiroshima.service-now.com/crm?id=csp_registration)

② メールアドレス・姓・名・パスワード(2回)を入力し、「個人情報保護方針・利用規約に同意」にチェックをし、「送信」をクリックください。

③ 先ほど登録したメールアドレスに、「東広島市市民ポータルサイトの本登録確認」が届きます。メール内のURLをクリックください。

④ 「本登録が完了しました。」と表示されれば、「市民ポータルサイト」への登録は完了です。



⑤ この調査票の表紙に記載されている二次元コード、又はURLからアンケート回答画面にアクセスしてください。先ほど登録したメールアドレスとパスワードを入力してログインすると、アンケートに回答できます。

⑥ インターネット回答のプレゼント抽選結果は、令和6年1月下旬以降に右記の二次元コード、又は下記のURLからご確認いただけます。



又は

[https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/2\\_1/2\\_1/36458.html](https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/2_1/2_1/36458.html)

令和5年度 東広島市市民満足度調査報告書

令和6年1月 発行

発行 東広島市  
編集 総務部 政策推進監  
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号  
TEL 082-420-0917  
E-Mail hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp